
羽村市
子ども・子育てに関する調査
報告書

令和 6 年 3 月

羽 村 市

目 次

第1部 調査の概要	1
Ⅰ. 調査実施の目的	3
Ⅱ. 調査の種類	3
Ⅲ. 調査方法と回収状況	3
Ⅳ. 調査項目	3
Ⅴ. 調査結果を見る上での注意事項	4
第2部 調査結果の概要等	5
Ⅰ. 調査結果の概要	7
1 就学前児童	7
2 就学児童	10
Ⅱ. 調査結果から見受けられる子ども・子育て支援の課題	13
1 親の就労状況の変化と平日の教育・保育ニーズへの対応	13
2 子どもが安心して過ごせる場の確保（居場所づくり）	13
3 包括的な相談支援体制づくり	13
4 育児休業制度のさらなる普及啓発	14
5 多様な情報発信の充実	14
6 子育てに関する各種支援の充実	14
7 こどもまんなか社会の実現にむけて	14
第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）	15
1 お住まいの地域について	17
2 お子さんご家族の状況について	17
（1）宛名の子どもの年齢	17
（2）きょうだいの数	18
（3）世帯構成【新規設問】	19
（4）回答者	19
（5）回答者の配偶関係	20
（6）子育て（教育を含む）を主に行っている方	20
3 子どもの育ちをめぐる環境について	21
（1）お子さんをみてもらえる親族・知人の有無	21
（2）子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無	21
（3）相談できる人・場所の内訳	22
（4）子育てをする上で希望するサポート	23
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	24
（1）定期的な教育・保育事業の利用の有無	24
（2）平日の教育・保育事業の利用状況	26
（3）平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業	31

(4) 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用希望の有無【新規設問】	36
5 地域の子育て支援事業の利用状況について	37
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	37
(2) 地域子育て支援拠点事業を利用していない理由	38
(3) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	38
(4) 事業の周知度、利用経験、利用意向	40
(5) 事業の満足度	46
(6) 子育てに関する情報の入手手段	48
6 土曜・日曜・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	49
(1) 土曜・日曜・祝日における教育・保育事業の利用希望	49
(2) 土曜・日曜・祝日に月に1～2回教育・保育事業を利用したい理由	52
(3) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	52
(4) 長期休暇期間中に週に数回教育・保育事業を利用したい理由	54
7 病気の際の対応について	54
(1) 平日の教育・保育事業を利用できなかったことの有無	54
(2) 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法	55
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望	56
(4) 病児・病後児保育施設等を利用していない理由	57
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について	58
(1) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業	58
(2) 利用していない理由	59
(3) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で必要とする事業の利用希望	60
(4) 乳幼児ショートステイ事業の利用希望【新規設問】	62
9 小学校就学後の放課後の過ごし方（来年度小学校に就学する方のみ）について	63
(1) 小学校就学後に希望する放課後の過ごし方	63
(2) 平日放課後・土曜・日曜・祝日・夏休み・冬休み等の学童クラブの利用希望	67
10 保護者の就労状況について	70
(1) 保護者の現在の就労状況	70
(2) フルタイムへの転換希望	72
(3) 今後の就労希望	73
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	76
(1) 育児休業の取得状況	76
(2) 育児休業後の職場復帰の状況	81
(3) 職場復帰のタイミング	82
(4) 育児休業の取得期間と希望	83
(5) 希望の時期に職場復帰をしなかった理由	84
(6) 育児休業の取得予定と希望	85
12 子育て環境や生活状況について	86
(1) 現在の暮らし向き	86

(2) 全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額【新規設問】	86
(3) 生活するうえでの不安や悩み	87
(4) 手作りの夕食の用意の状況	88
(5) 夕食の状況	89
(6) 子どもとの関係	90
(7) 食事の提供や学習支援を行う場所への参加意向	93
13 子育てに対する意識について	95
(1) 子育てを楽しんでいるとき、辛いと感じるとき	95
(2) 子育ての楽しさ、やりがい	97
(3) 子育てに関する不安感や負担感	97
(4) 子育ての環境や支援への満足度	98
(5) 子育てに関する悩み、気になること	99
(6) 子育てに関する日頃悩んでいること、気になることの解決方法【新規設問】	102
(7) 市に期待する子育て支援策	103
14 ヤングケアラーについて	104
(1) ヤングケアラーの認知状況【新規設問】	104
(2) ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにいるか【新規設問】	104
(3) ヤングケアラーに対する必要な支援【新規設問】	105
15 登校について	105
(1) あなたのまわりの学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していないお子さんに対する必要な支援【新規設問】	105
16 羽村市について	106
(1) 羽村市に住むことになったきっかけ【新規設問】	106
(2) 羽村市における子育て環境の強みと弱み【新規設問】	106
(3) 羽村市のこどもまんなか社会の実現状況【新規設問】	107
(4) こどもまんなか社会のイメージ【新規設問】	108
(5) 子育ての環境や支援に関するご意見	109

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）	115
1 お住まいの地域について	117
2 お子さんご家族の状況について	117
(1) 宛名の子どもの学年	117
(2) きょうだいの数	118
(3) 世帯構成【新規設問】	119
(4) 回答者	119
(5) 回答者の配偶関係	120
(6) 子育て（教育を含む）を主に行っている方	120
3 子どもの育ちをめぐる環境について	121
(1) お子さんをみてもらえる親族・知人の有無	121
(2) 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無	121

(3) 相談できる人・場所の内訳	122
(4) 子育てをする上で希望するサポート	123
4 子育てに関する情報の収集について	124
(1) 子育てに関する情報の入手手段	124
5 病気の際の対応について	125
(1) 病気やけがで学校を休まなければならなかったことの有無	125
(2) 病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法	126
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望	128
(4) 病児・病後児保育施設等を利用していない理由	129
6 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について	129
(1) お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無	129
(2) 一時預かりの利用意向	131
(3) 乳幼児向けのショートステイ事業の利用希望【新規設問】	132
(4) ファミリー・サポート・センターの利用の有無	133
(5) ファミリー・サポート・センターを利用していない理由	133
(6) ファミリー・サポート・センターの今後の利用希望	134
7 放課後の過ごし方について	135
(1) お子さんの放課後の過ごし方について	135
(2) 平日放課後・土曜・日曜・祝日・夏休み・冬休み等の学童クラブの利用希望	141
8 保護者の就労状況について	144
(1) 保護者の現在の就労状況	144
(2) フルタイムへの転換希望	146
(3) 今後の就労希望	147
9 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	151
(1) 育児休業の取得状況	151
10 子育て環境や生活状況について	155
(1) 現在の暮らし向き	155
(2) 全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額【新規設問】	155
(3) 生活するうえでの不安や悩み	156
(4) 手作りの夕食の用意の状況	157
(5) 夕食の状況	158
(6) 子どもとの関係	159
(7) 食事の提供や学習支援を行う場所への参加意向	162
11 子育てに対する意識について	164
(1) 子育てを楽しんでいるとき、辛いと感じるとき	164
(2) 子育ての楽しさ、やりがい	165
(3) 子育てに関する不安感や負担感	166
(4) 子育ての環境や支援への満足度	166
(5) 子育てに関する悩み、気になること	167
(6) 子育てに関する日頃悩んでいること、気になることの解決方法【新規設問】	170

(7) 市に期待する子育て支援策	171
12 ヤングケアラーについて	172
(1) ヤングケアラーの認知状況【新規設問】	172
(2) ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにいるか【新規設問】	172
(3) ヤングケアラーに対する必要な支援【新規設問】	173
13 登校について	173
(1) あなたのまわりの学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していないお子さんに対する必要な支援【新規設問】	173
14 羽村市について	174
(1) 羽村市に住むことになったきっかけ【新規設問】	174
(2) 羽村市における子育て環境の強みと弱み【新規設問】	175
(3) 羽村市のこどもまんなか社会の実現状況【新規設問】	176
(4) こどもまんなか社会のイメージ【新規設問】	176
(5) 子育ての環境や支援に関するご意見	177
【調査票】	181
1 羽村市子ども・子育て支援事業計画に関する調査票（就学前児童）	183
2 羽村市子ども・子育て支援事業計画に関する調査票（就学児童）	208

第1部 調査の概要

I. 調査実施の目的

（仮称）羽村市子ども計画を策定するための基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

II. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 就学前児童調査	就学前の児童を無作為に1,000人抽出
2. 就学児童調査	小学校就学年齢にある児童を無作為に600人抽出

III. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査（お礼兼督促ハガキ1回）

調査期間：令和5年11月15日（木）～12月8日（金）

<回収状況>

調査名	抽出数	回収数	回収率
1. 就学前児童調査	1,000	465	46.5%
2. 就学児童調査	600	314	52.3%
合 計	1,600	779	48.7%

IV. 調査項目

調査名	調査項目
1. 就学前児童調査	1. お住まいの地域について 2. お子さんご家族の状況について 3. 子どもの育ちをめぐる環境について 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について 5. 地域の子育て支援事業の利用状況について 6. 土曜・休日、長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について 7. 病気の際の対応について 8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について 10. 保護者の就労状況について 11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について 12. 子育て環境や生活状況について 13. 子育てに対する意識について 14. ヤングケアラーについて 15. 登校について 16. 羽村市について
2. 就学児童調査	1. お住まいの地域について 2. お子さんご家族の状況について 3. 子どもの育ちをめぐる環境について 4. 子育てに関する情報の収集について 5. 病気の際の対応について 6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について 7. 放課後の過ごし方について 8. 保護者の就労状況について 9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について 10. 子育て環境や生活状況について 11. 子育てに対する意識について 12. ヤングケアラーについて 13. 登校について 14. 羽村市について

V. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合は原則、参考値として掲載するのみとし、本文中では触れない。
- ・平成30年度に実施した調査結果と比較がないものは、今回、追加した項目又は前回調査と回答方法が変更となり比較が困難なものとなる。

第2部 調査結果の概要等

I. 調査結果の概要

1 就学前児童

○世帯構成（新規設問）は「お子さん+ご両親」が90.8%で最も高くなっています。（19頁）

○子育てを主に行っているのは「父母ともに」が69.9%で最も高く、前回調査に比べて7.9ポイント増加しています。（20頁）

○子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所は「いる（ある）」が93.5%となっており、相談先は「配偶者」が86.0%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」（81.1%）、「友人や知人」（69.0%）、「保育士」（46.9%）となっています。（21・22頁）

○子育てをする上で希望するサポートは、「子育て中の保護者が、気軽に相談でき、適切な支援やサービスなどを紹介してもらえること」が55.9%で最も高く、次いで「親子で一緒に遊んだり、学ぶ機会づくり」（41.1%）、「親子でお昼ごはんやおやつを食べられるような場所づくり」（33.5%）となっています。（23頁）

○平日の定期的な教育・保育事業は84.1%の人が「利用している」と回答しています。前回調査に比べて7.2ポイント増えています。子どもの年齢では、3歳以上で利用割合が95%以上となっています。前回調査に比べて、「認可保育園」が15.3ポイント増加しています。（24・25・26頁）

○平日に定期的に利用したい教育・保育事業は、子どもの年齢別では、すべての年齢で「認可保育園」が最も高くなっています。（32頁）

○特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用希望の有無（新規設問）は「はい」が59.6%、「いいえ」が38.5%となっています。（36頁）

○「地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）」の利用は5.6%、「羽村市で実施している類似の事業」の利用は10.3%となっています。利用していない理由は、「利用する必要がある」が33.7%、「時間がない」が31.8%となっています。今後の新たな利用希望は22.4%となっています。（37・38頁）

○子育てに関する情報の入手手段について、前回調査に比べて、「育児書や育児雑誌」が8.8ポイント、「羽村市子育て応援ガイドブック」が6.7ポイント減少した一方、「SNSなどのインターネットを通じた子育て仲間」が14.9ポイント、「羽村市公式サイト（ホームページ）」が2.8ポイント増加しています。（48頁）

○幼稚園を利用している方のうち、長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は75.0%となっています。（52頁）

第2部 調査結果の概要等

- 子どもが病気やケガで平日の教育・保育事業を利用できなかった経験は「あった」が83.6%となっており、前回調査に比べて7.2ポイント増加しています。また、そのときの対応では「母親が休んだ」が89.0%で最も高く、前回調査に比べて6.3ポイント増加しています。(54・55頁)
- 乳幼児ショートステイ事業の利用希望（新規設問）は「利用したい」が15.5%、「利用する必要はない」が81.1%となっており、利用する理由では「保護者や家族の育児疲れ・不安」が73.6%で最も高くなっています。利用日数の年間の合計は4泊以上が47.2%で最も高くなっています。(62頁)
- 小学校低学年時に希望する平日の放課後の過ごし方は、「学童クラブ」が73.8%で最も高く、次いで「自宅」(44.0%)、「習い事」(39.3%)となっています。一方、高学年時の希望は、「自宅」が52.4%で最も高く、次いで「習い事」(36.9%)、「学童クラブ」(25.0%)となっています。また、平日の学童クラブの利用希望は、「低学年までの利用」が69.4%、「6年生まで」が14.5%となっています。(63・65・67頁)
- 母親の就労状況は、現在休業中も含め、就労している人は78.7%となっています。そのうち、フルタイム就労は47.4%となっています。パートタイム就労者のうち、現在の形態での就労を希望している人は56.6%で、フルタイムへの転換希望は38.6%となっています。また、現在就労していない母親の希望する就労形態はフルタイム就労が10.0%で、前回調査に比べて1.6ポイント減少しています。(70・72・75頁)
- 育児休業の取得状況は、母親が59.6%、父親は14.8%で、前回調査に比べて、母親の取得が16.4ポイント増加しています。取得していない理由としては、母親の場合、「子育てや家事に専念するため退職した」が28.0%で最も高く、前回調査に比べて3.0ポイント増加しています。父親の場合は、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が35.8%で最も高く、前回調査に比べて9.6ポイント増加しています。(76・77・79・80頁)
- 全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額（新規設問）については、「500～700万円未満」が33.5%で最も多く、次いで「700～1,000万円未満」(22.4%)、「400～500万円未満」(14.2%)となっています。(86頁)
- 食事の提供や学習支援を行う場所への参加意向については、「食事の提供」は48.0%、「学習支援」は65.8%が「参加させたい」と回答しています。(93頁)
- 子育ての楽しさ、やりがいは、「子どもの日々の成長ぶりがわかること」が92.0%で最も高くなっています。前回調査に比べて、「自分のことを必要とする存在があること」は8.7ポイント、「子どもを通して友人が増えること」は8.3ポイント減少しています。(97頁)
- 子育てに関する不安や負担を感じる人は55.1%となっており、前回調査に比べて2.4ポイント増加しています。(97頁)

- 子育てに関する悩み、気になることについては、「病気や発育・発達に関すること」が39.8%で最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」(31.2%)となっています。前回調査に比べて、「病気や発育・発達に関すること」が17.9ポイント、「食事や栄養に関すること」が9.7ポイント、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が7.2ポイント増加しています。(99頁)
- 子育てに関する日頃悩んでいること、気になることの解決方法(新規設問)については、「自分の時間やストレス解消の時間をとるようにする」が28.7%で最も高く、次いで「親族や友人を頼る、相談する」(24.9%)、「子育てをする親同士で相談する」(19.7%)となっています。(102頁)
- ヤングケアラーの認知状況(新規設問)については、「詳しく知っている」が15.3%、「知っている」が60.2%、「知らない」が19.4%となっています。(104頁)
- あなたのまわりの学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していないお子さんに対する必要な支援(新規設問)については、「当事者や家族のための居場所づくり」が70.3%で最も高く、次いで「相談窓口の周知・相談窓口の充実」(46.7%)、「東京都、市や民間団体等の連携の充実」(26.2%)となっています。(105頁)
- 羽村市に住むことになったきっかけ(新規設問)については、「親族(親など)が近くにいるから」が43.0%で最も高く、次いで「もともと羽村市に住んでいる」(26.7%)、「交通(通勤や通学等)の便が良いから」(21.5%)となっています。(106頁)
- 羽村市における子育て環境の強みと弱み(新規設問)について、強みは「身近に公園や緑があり、自然に触れる場所がある」が78.1%で最も高く、次いで「児童館や図書館などの公共施設が充実している」(48.4%)、「希望する幼稚園や保育所等に通うことができる」(46.9%)となっています。一方、弱みは「経済的支援が不十分である」が37.8%で最も高く、次いで「子どもと一緒にでかけられる施設が少ない」(32.9%)、「子どもが安全に遊べる場所が少ない」(9.7%)となっています。(106・107頁)
- 羽村市のこどもまんなか社会の実現状況(新規設問)については、「実現している」(3.9%)と「やや実現している」(42.6%)を合わせた《実現している》の割合は46.5%、「やや実現していない」(32.5%)、「実現していない」(13.1%)を合わせた《実現していない》の割合は45.6%となっています。(107頁)
- こどもまんなか社会のイメージ(新規設問)については、「こどもや子育て当事者の意見を聞き、それが反映された社会」が32.9%、「すべてのこどもが幸せに暮らせる社会」が37.8%、「こどもの権利が保障された社会」が11.6%、「子どもに関する取組が最優先になる社会」が15.1%となっています。(108頁)

2 就学児童

○世帯構成（新規設問）は「お子さん＋ご両親」が85.7%で最も高くなっています。（119頁）

○子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が70.1%で最も高く、その割合は、前回調査に比べて8.6ポイント増加しています。（120頁）

○子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所は「いる（ある）」が90.4%となっており、相談先は「配偶者」が82.4%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」（70.4%）、「友人や知人」（70.1%）、「小学校教諭」（26.8%）となっています。（121・122頁）

○子育てをする上で希望するサポートは、「子育て中の保護者が、気軽に相談でき、適切な支援やサービスなどを紹介してもらえること」が57.3%で最も高く、次いで「親子で一緒に遊んだり、学ぶ機会づくり」（27.4%）、「メール配信・SNSなどの情報提供の充実」（27.1%）、「親同士が知り合う機会づくり」（22.3%）となっています。（123頁）

○子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかった経験は、「あった」が83.1%となっており、前回調査に比べて18.7ポイント増加しています。また、そのときの対応では「母親が休んだ」が71.3%で最も高く、前回調査に比べて2.3ポイント増加しています。（125・126頁）

○乳幼児ショートステイ事業の利用希望（新規設問）は「利用したい」が23.2%、「利用する必要はない」が75.2%となっており、利用する理由では「保護者や家族の病気」が67.1%で最も高くなっています。（132頁）

○ファミリー・サポート・センターの利用状況は、前回調査に比べて、「利用していない」が4.5ポイント増加しています。今後の利用希望は4.8%となっています。（133・134頁）

○現在の放課後の過ごし方は、低学年の場合は「自宅」が60.8%で最も高く、次いで「学童クラブ」（49.0%）、「習い事」（45.8%）となっています。高学年の場合は、「自宅」が90.1%で最も高く、次いで「習い事」（58.4%）、「公共施設」（37.9%）となっています。一方、希望する放課後の過ごし方は、低学年の場合は「学童クラブ」が56.2%で最も高く、次いで「自宅」（47.1%）、「習い事」（37.9%）となっています。高学年の場合は、「自宅」が64.6%で最も高くなっており、次いで「習い事」（51.6%）、「公共施設」（42.9%）となっています。（137・140頁）

○平日放課後の学童クラブの利用希望は、「低学年の間は利用したい」が35.4%で最も高くなっています。「6年生まで利用したい」との希望も29.3%となっています。（141頁）

- 母親の就労状況は、現在休業中も含め、80.9%の人が就労しています。そのうち、フルタイム就労は42.4%となっています。パートタイム就労者のうち、現在の形態での就労を希望している人は61.7%となっています。フルタイムへの転換希望は33.4%となっており、前回調査に比べて、6.4ポイント増加しています。また、現在就労していない母親の希望する就労形態はフルタイム就労が5.0%となっています。前回調査に比べて、「パートタイム、アルバイト等」が7.0ポイント増加しています。(144・146・149頁)

- 育児休業の取得状況は、母親が42.4%、父親は7.3%となっており、前回調査に比べて、母親の取得が17.3ポイント増加しています。取得していない理由としては、母親の場合、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が27.8%で最も高く、前回調査に比べて、7.1ポイント増加しています。父親の場合は、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が31.1%で最も高く、前回調査に比べて9.7ポイント増加しています。(151・153・154頁)

- 全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額（新規設問）については、「700～1,000万円未満」が28.7%で最も多く、次いで「500～700万円未満」（28.3%）、「1,000～1,500万円未満」（14.0%）となっています。(155頁)

- 食事の提供や学習支援を行う場所への参加意向については、「食事の提供」は37.9%、「学習支援」は63.7%が「参加させたい」と回答しています。(162頁)

- 子育ての楽しさ、やりがいは、「子どもの日々の成長ぶりがわかること」が91.4%で最も高く、前回調査に比べて、7.9ポイント増加しています。(165頁)

- 子育てに関する悩み、気になることについては、「子どもの教育に関すること」が30.3%で最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」（29.0%）となっています。前回調査に比べて、「病気や発育・発達に関すること」が13.0ポイント、「食事や栄養に関すること」が12.9ポイント増加しています。(167頁)

- 子育てに関する日頃悩んでいること、気になることの解決方法（新規設問）については、「自分の時間やストレス解消の時間をとるようにする」が30.5%で最も高く、次いで「親族や友人を頼る、相談する」（23.2%）、「SNSや書籍などで子育てに関する知識を習得する」（18.6%）となっています。(170頁)

- ヤングケアラーの認知状況（新規設問）については、「詳しく知っている」が14.6%、「知っている」が66.6%、「知らない」が18.5%となっています。(172頁)

- あなたのまわりの学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していないお子さんに対する必要な支援（新規設問）については、「当事者や家族のための居場所づくり」が72.0%で最も高く、次いで「相談窓口の周知・相談窓口の充実」（64.6%）、「東京都、市や民間団体等の連携の充実」（26.4%）となっています。(173頁)

第2部 調査結果の概要等

○羽村市に住むことになったきっかけ（新規設問）については、「親族（親など）が近くにいるから」が41.1%で最も高く、次いで「もともと羽村市に住んでいる」（30.6%）、「交通（通勤や通学等）の便が良いから」（25.5%）となっています。（174頁）

○羽村市における子育て環境の強みと弱み（新規設問）については、強みは「身近に公園や緑があり、自然に触れる場所がある」が79.6%で最も高く、次いで「児童館や図書館などの公共施設が充実している」（49.4%）、「子どもが安全に遊べる場所がある」（36.3%）となっています。一方、弱みは「経済的支援が不十分である」が36.3%で最も高く、次いで「子どもと一緒にでかけられる施設が少ない」（24.2%）、「教育・保育の質が低い」（17.8%）となっています（175頁）

○羽村市のこどもまんなか社会の実現状況（新規設問）については、「実現している」（2.2%）と「やや実現している」（43.9%）を合わせた《実現している》の割合は46.1%、「やや実現していない」（36.6%）、「実現していない」（15.0%）を合わせた《実現していない》の割合は51.6%となっています。（176頁）

○こどもまんなか社会のイメージ（新規設問）については、「こどもや子育て当事者の意見を聞き、それが反映された社会」が22.6%、「すべてのこどもが幸せに暮らせる社会」が46.8%、「こどもの権利が保障された社会」が14.0%、「子どもに関する取組が最優先になる社会」が14.0%となっています。（176頁）

Ⅱ. 調査結果から見受けられる子ども・子育て支援の課題

1 親の就労状況の変化と平日の教育・保育ニーズへの対応

○平日の定期的な教育・保育事業を利用している割合が前回調査に比べて増加しており、事業の内容としては認可保育園の割合が増加しています。母親の就労状況におけるフルタイムでの就労割合が前回調査に比べて増加しており、就労状況の変化から、教育・保育事業の確保及び多様なサービス基盤体制の整備が引き続き求められています。

2 子どもが安心して過ごせる場の確保（居場所づくり）

○小学校就学後（低学年時、高学年時）に希望する放課後の過ごし方について、就学前児童の保護者に聞いたところ、低学年時・高学年時とも「学童クラブ」との回答が、前回調査に比べて増加しています。また、就学児童の保護者に聞いたところ、低学年の場合は、「学童クラブ」が最も多く、高学年になると、「自宅」、「習い事」、「公共施設（児童館、図書館、ゆとりぎ、公園など）」が上位になり、学年により希望する居場所に違いはありますが、ライフステージに応じた地域における居場所づくりが求められています。

○市に期待する子育て支援策への期待についても、就学児童の保護者の場合、「子どもの居場所づくりの充実」との回答が2番目に多くあげられています。

○地域の子どもへの食事の提供や学習支援を行う場所への参加意向は、ともに5割前後と、一定のニーズがあり、特に学習支援の場への意向が高くなっています。子どもに対する地域での支援体制が求められています。

3 包括的な相談支援体制づくり

○子育てをする上で希望するサポートとして、「子育て中の保護者が、気軽に相談でき、適切な支援やサービスなどを紹介してもらえること」が最も多く、前回調査に比べてその割合は増加しています。各種相談窓口等のより一層の周知と支援体制の充実が求められています。

○子育てに関する不安感や負担感について、前回調査と同様に5割を超える方が不安感や負担感を感じていることから、引き続き、相談支援体制づくりの充実が求められています。

4 育児休業制度のさらなる普及啓発

- 育児休業の取得割合について、前回調査に比べて、母親、父親ともに取得は大幅に向上していますが、依然として父親の取得は少ない状況にあります。育児休業を取得していない理由として、父親の場合は、職場の雰囲気や仕事の忙しさが上位を占めており、環境づくりに向けて、各種制度のさらなる普及・啓発等が求められています。

5 多様な情報発信の充実

- 市が実施しているさまざまな子育て支援事業の認知度は、前回調査と大きな変化はなく、「家庭教育に関する講座」「教育相談室」は5割以下となっています。それぞれの事業を必要とする方にその事業を知ってもらい、利用につながるよう、引き続き、周知度の向上と事業の魅力向上に向けた取組の強化、発信が求められています。
- 子育てに関する情報の入手手段について、「広報はむら」「保育園・幼稚園などが発行しているお知らせ」と上位の順位に変動はありませんが、前回調査に比べて、「SNSなどのインターネットを通じた子育て仲間」の回答が増加しています。時代に合わせた多様な情報発信の充実が求められています。

6 子育てに関する各種支援の充実

- 市に期待する子育て支援策への期待について、就学前児童の保護者、就学児童の保護者とも「子育てに関する経済的支援」が最も多く、また、羽村市における子育て環境の弱みとして、「経済的支援が不十分である」が最も多くなっています。子育てに関する経済的支援の充実が求められています。また、2番目には就学前児童の保護者の場合、「妊娠・出産・子育てのための切れ目ない支援」があげられており、子育て家庭に対する切れ目のない支援体制が求められています。

7 こどもまんなか社会の実現にむけて

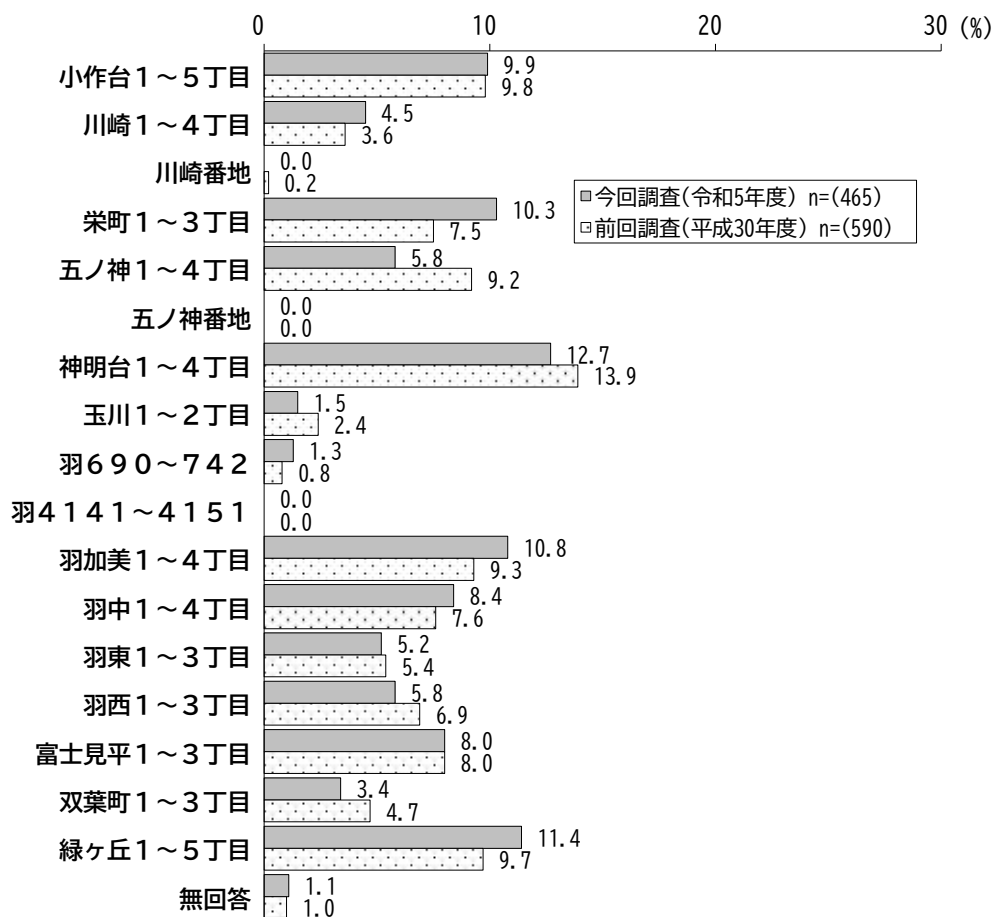
- 羽村市のこどもまんなか社会の実現状況についてみると、「実現している」と「やや実現している」を合わせた《実現している》の割合は、就学前児童・就学児童ともに約5割の状況となっており、今後、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組の推進が求められています。
- こどもまんなか社会のイメージでは、就学前児童・就学児童ともに「すべてのこどもが幸せに暮らせる社会」や「こどもや子育て当事者の意見を聞き、それが反映された社会」の割合が高く、今後は、市のさまざまな取組において、こども・若者の目線に立った施策の展開が求められています。

第3部 アンケート調査の結果 (就学前児童調査)

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

＜図表 1＞お住まいの地区



2 お子さんご家族の状況について

(1) 宛名の子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(カッコ内に数字でご記入ください。)

＜図表 2＞子どもの年齢

		(%)						
	回答者数 (n)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	無回答
今回調査(令和5年度)	465	13.3	16.1	18.1	18.1	16.3	18.1	0.0
前回調査(平成30年度)	590	17.8	18.1	14.4	15.9	15.6	15.9	2.2

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

（2）きょうだいの数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をカッコ内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

<図表 3> きょうだい数

								(%)
	回答者数 (n)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	
今回調査（令和5年度）	465	35.9	42.6	17.4	2.6	0.4	1.1	
前回調査（平成30年度）	590	38.0	41.4	15.9	2.0	0.7	2.0	

<図表 4> 末子の年齢

								(%)
	回答者数 (n)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	無回答
今回調査（令和5年度）	293	25.6	19.1	16.4	11.9	7.8	12.6	6.5
前回調査（平成30年度）	590	23.9	21.0	13.7	12.7	8.8	10.2	9.7

(3) 世帯構成【新規設問】

問4 宛名のお子さんの世帯（住民票上同じ世帯）は次のうちどれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※祖父母については、どちらか一方だけの場合でも、祖父母としてカウントしてください。

※お子さんには、きょうだいも含んでいます。

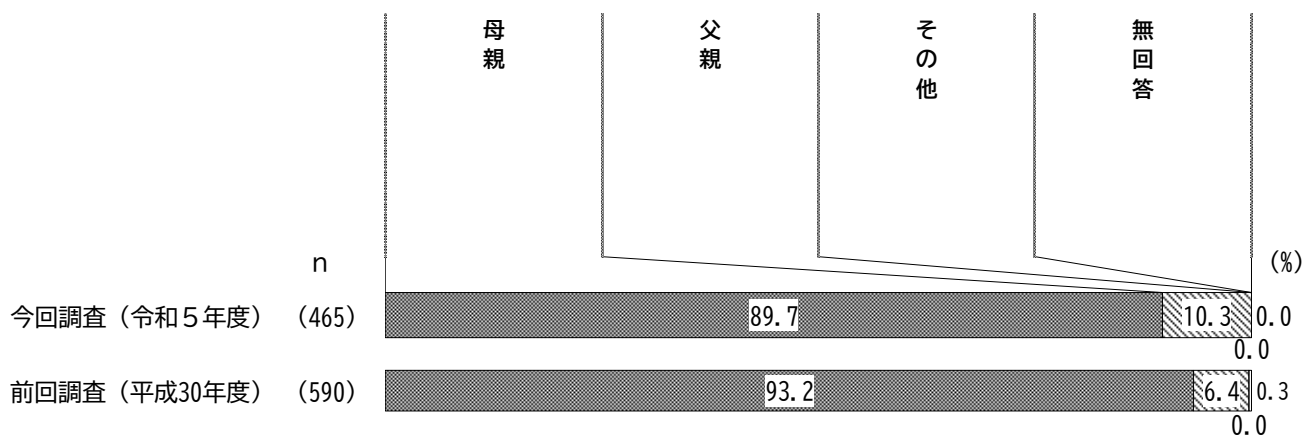
＜図表 5＞世帯構成

	回答者数 (n)	お子さん + ご両親	お子さん + ご両親 + 祖父母	お子さん + 母親 (ひとり親)	お子さん + 父親 (ひとり親)	お子さん + 母親 + 祖父母	お子さん + 父親 + 祖父母	お子さん + 祖父母	その他	(%) 無回答
世帯構成	465	90.8	2.4	4.5	1.1	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0

(4) 回答者

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

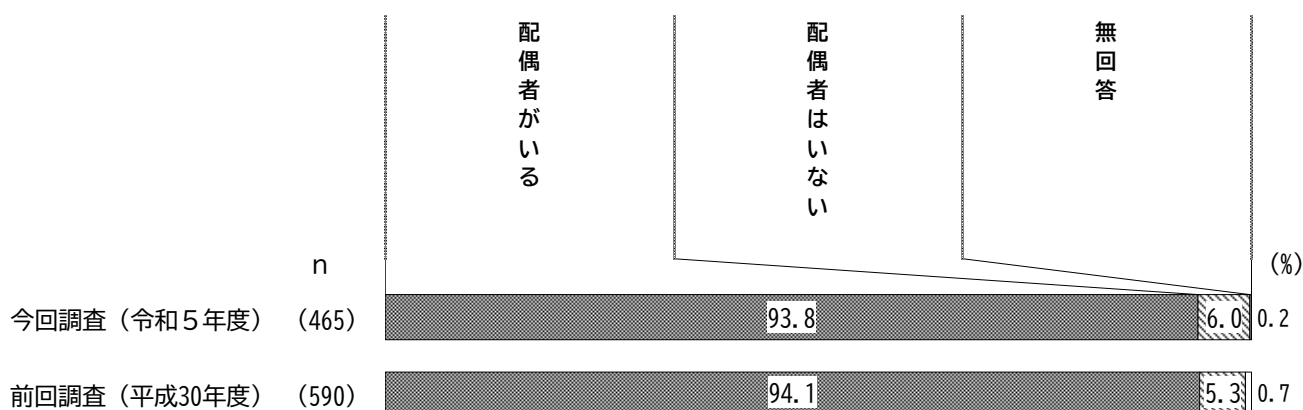
＜図表 6＞回答者



（5）回答者の配偶関係

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

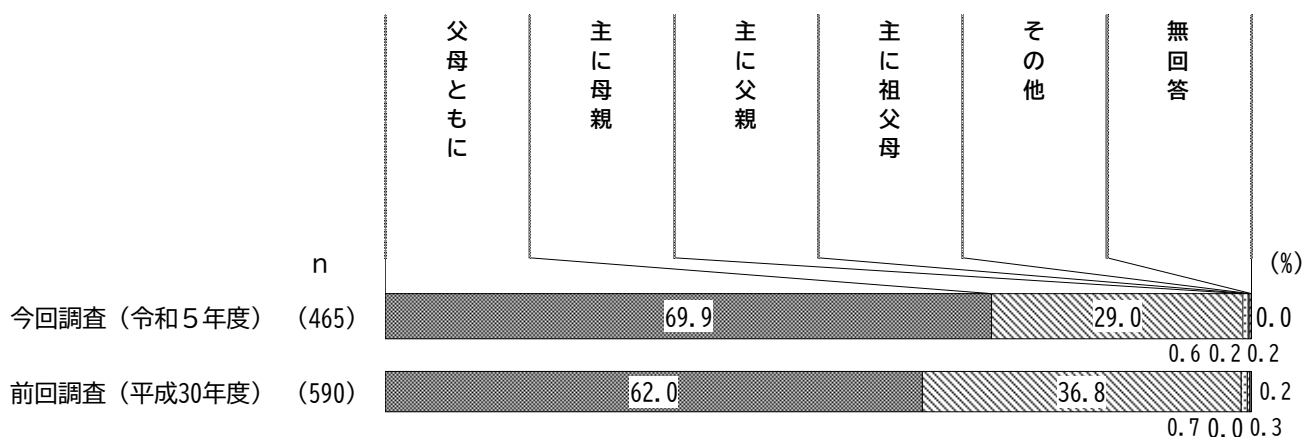
<図表 7> 回答者の配偶関係



（6）子育て(教育を含む)を主に行っている方

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 8> 子育てを主に行っている方



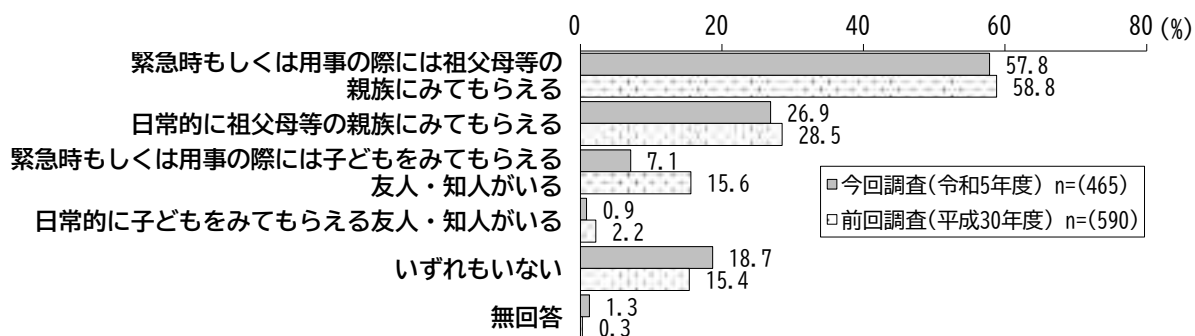
前回調査に比べて、「父母ともに」が7.9ポイント増加し、「主に母親」が7.8ポイント減少しています。

3 子どもの育ちをめぐる環境について

（1）お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 9> お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

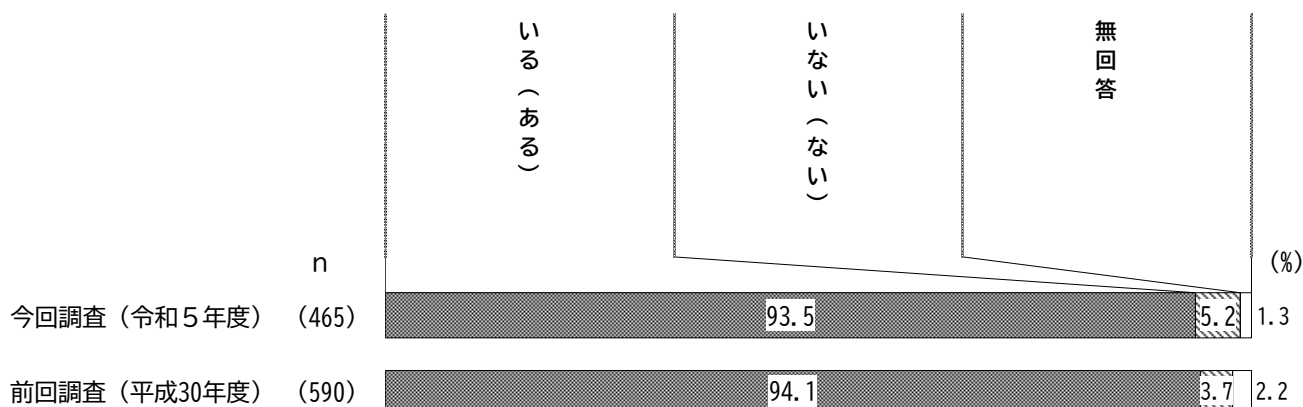


前回調査に比べて、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が8.5ポイント減少しています。

（2）子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 10> 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無

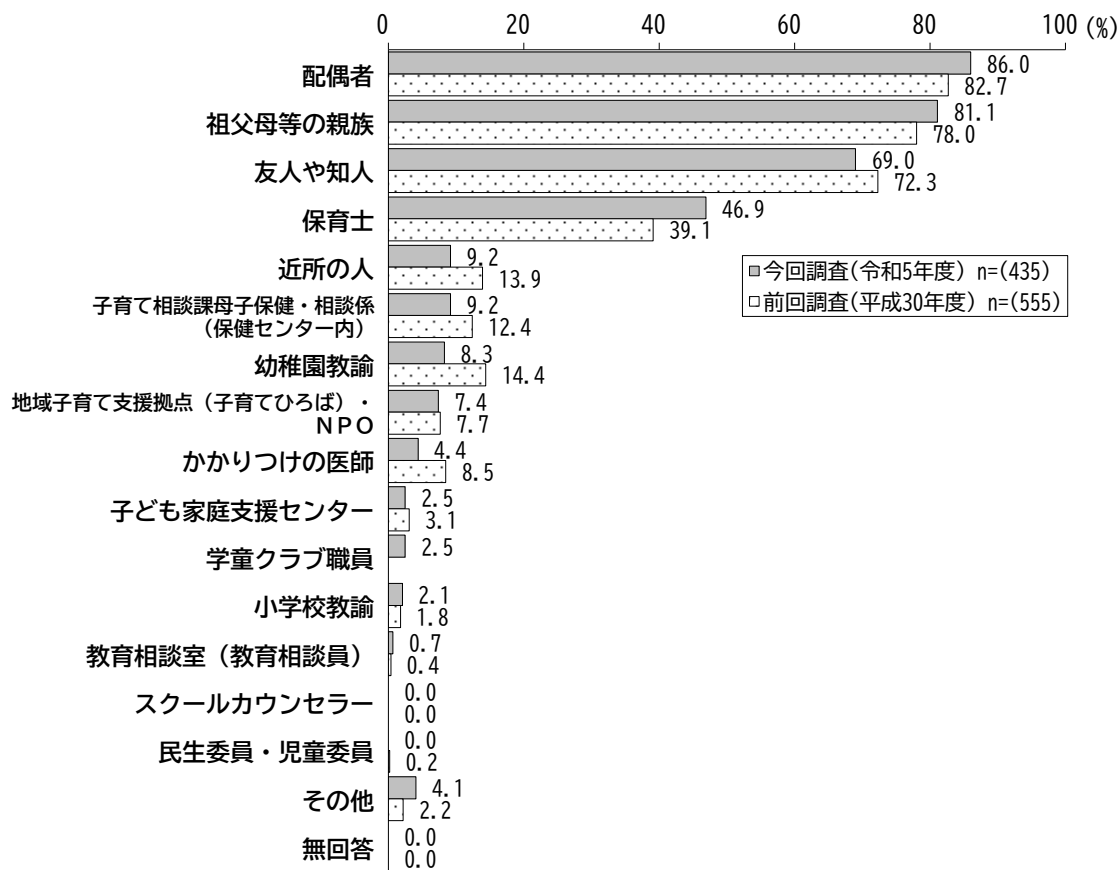


（3）相談できる人・場所の内訳

問9－1 問9で「いる(ある)」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 11> 相談できる人・場所の内訳



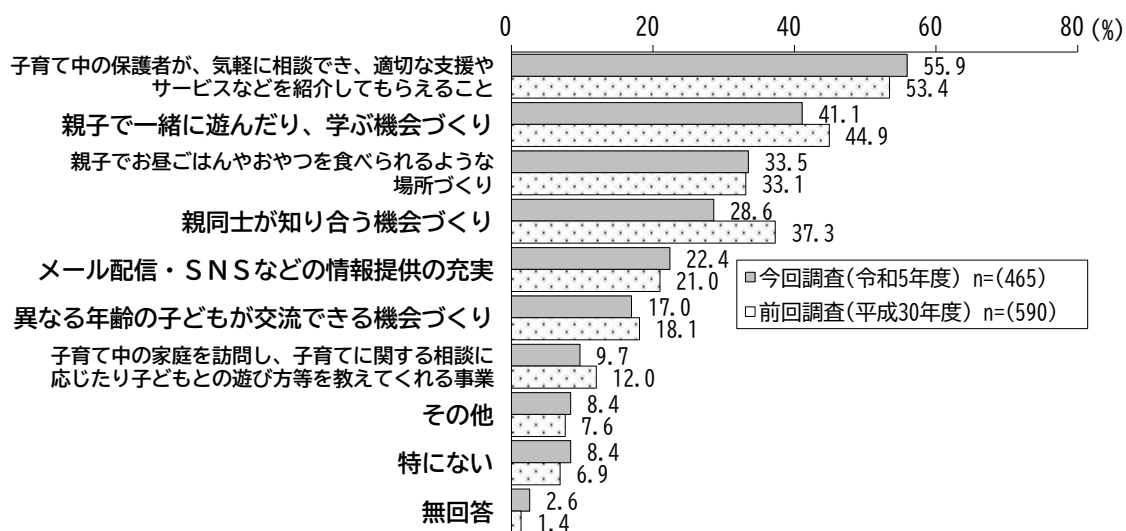
※「学童クラブ職員」は今回から新設

前回調査に比べて、「保育士」が7.8ポイント増加し、「幼稚園教諭」が6.1ポイント減少しています。

（4）子育てをする上で希望するサポート

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 12>子育てをする上で希望するサポート



前回調査に比べて、「子育て中の保護者が、気軽に相談でき、適切な支援やサービスなどを紹介してもらえること」が2.5ポイント増加し、「親同士が知り合う機会づくり」が8.7ポイント減少しています。

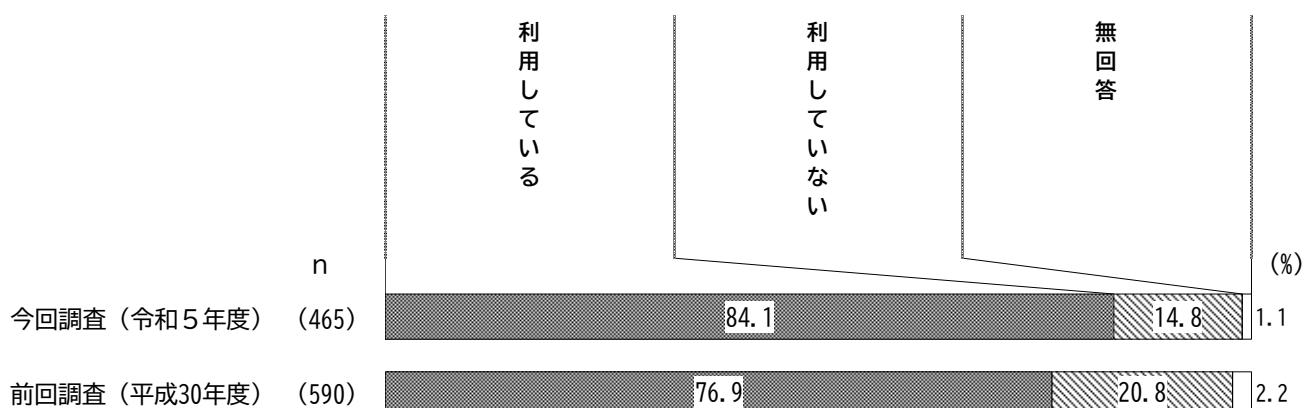
第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

（1）定期的な教育・保育事業の利用の有無

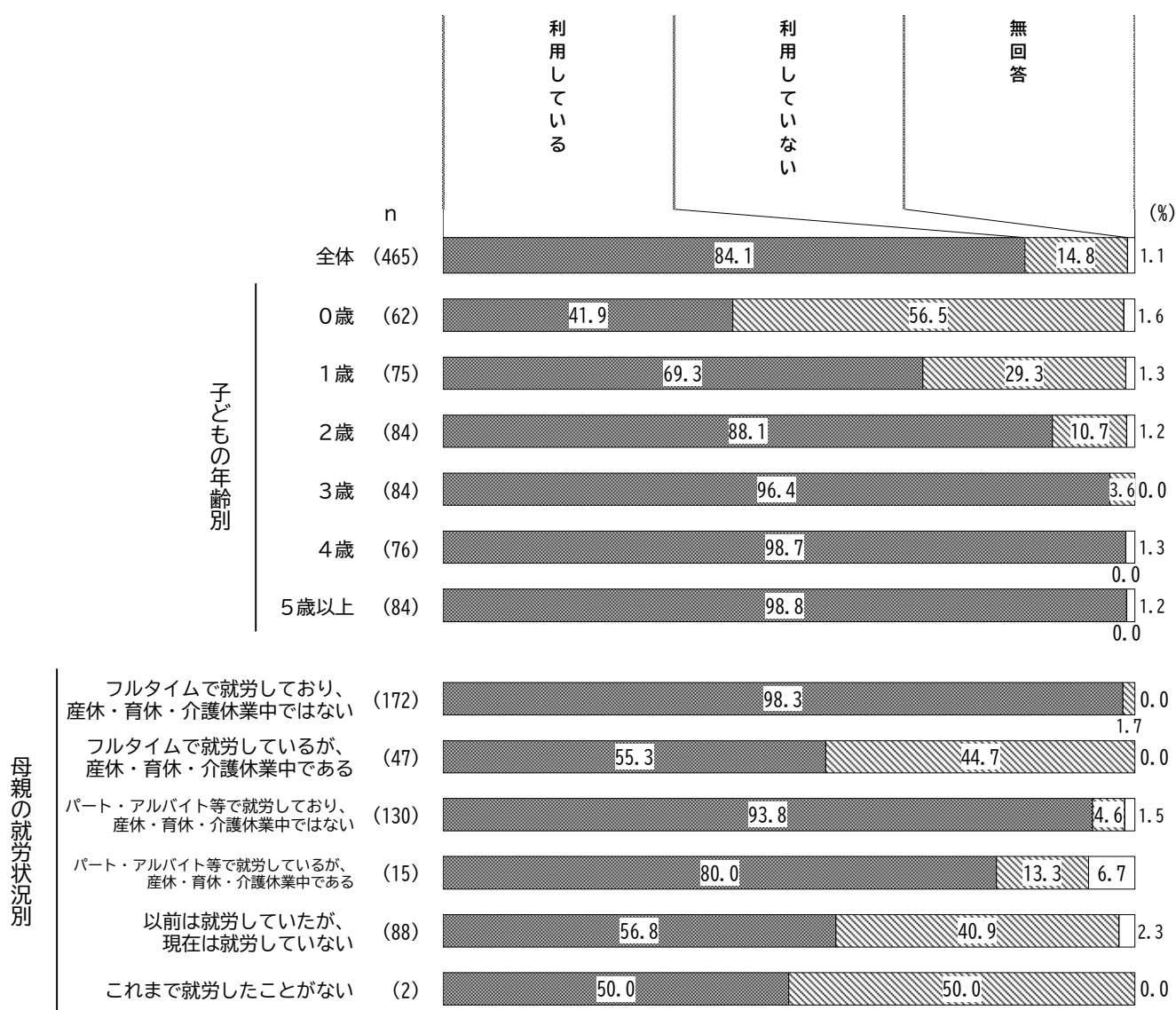
問11 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

＜図表 13＞定期的な教育・保育事業の利用の有無



前回調査に比べて、「利用している」が7.2ポイント増加しています。一方、「利用していない」が6.0ポイント減少しています。

<図表 14> 定期的な教育・保育事業の利用の有無（子どもの年齢別／母親の就労状況別）



子どもの年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて、「利用している」が増加する傾向にあります。

母親の就労状況別で見ると、「利用している」は、フルタイムでの就労（産休・育休・介護休業中ではない）において98.3%、パート・アルバイト等での就労（産休・育休・介護休業中ではない）において93.8%と高くなっています。

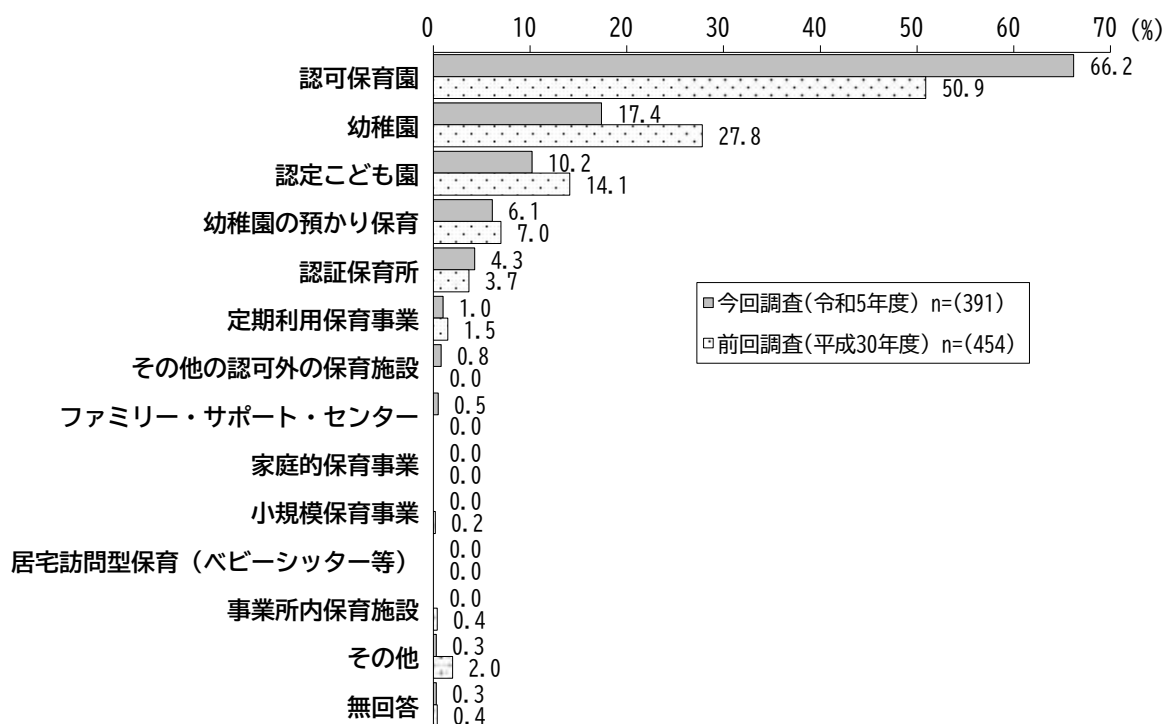
（2）平日の教育・保育事業の利用状況

問11で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問11－1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、平日にどのくらい利用していますか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かをカッコ内に数字でご記入ください。
（時間は、必ず（例）9～18時のように24時間制でご記入ください）

<図表 15> 平日に利用している教育・保育事業



前回調査に比べて、「認可保育園」が15.3ポイント増加し、「幼稚園」が10.4ポイント減少しています。

<図表 16> 平日に利用している教育・保育事業（子どもの年齢別/母親の就労状況別）

		(%)														
		回答者数 (n)	認可 保育園	幼稚園	認定こども園	幼稚園の預かり保育	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の 保育施設	ファミリー・サポート・ センター	家庭的保育事業	小規模保育事業	居宅訪問型保育 (ベビシッター等)	事業所内保育施設	その他	無回答
	全体	391	66.2	17.4	10.2	6.1	4.3	1.0	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
子どもの年齢別	0歳	26	88.5	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1歳	52	73.1	1.9	13.5	1.9	7.7	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2歳	74	74.3	9.5	9.5	0.0	5.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3歳	81	63.0	22.2	11.1	6.2	2.5	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2
	4歳	75	64.0	18.7	9.3	9.3	5.3	1.3	2.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5歳以上	83	53.0	32.5	10.8	13.3	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	169	80.5	3.0	13.0	3.0	3.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	26	61.5	3.8	19.2	0.0	11.5	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等で就労 しており、産休・育休・介護 休業中ではない	122	65.6	18.9	6.6	11.5	4.9	2.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	パート・アルバイト等で就労 しているが、産休・育休・介護 休業中である	12	91.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	以前は就労していたが、現在 は就労していない	50	14.0	74.0	8.0	10.0	4.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	これまで就労したことがない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

子どもの年齢別で見ると、すべての年齢で「認可保育園」が最も高くなっています。3歳以上になると、「幼稚園」の割合も高くなっています。

母親の就労状況別で見ると、「認可保育園」は、フルタイムでの就労（産休・育休・介護休業中ではない）において80.5%、パート・アルバイト等での就労（産休・育休・介護休業中ではない）において65.6%となっています。また、「幼稚園」は、以前は就労していたが、現在は就労していないにおいて74.0%と高くなっています。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

＜図表 17＞平日の教育・保育事業の利用状況【1週間の利用日数】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	認証保育所	家庭的保育事業	小規模保育事業	居宅訪問型保育 （ベビシッター等）	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	定期利用保育事業	ファミリー・サポート・ センター	(%) その他
回答者数（n）	68	24	259	40	17	0	0	0	0	3	4	2	1
1日	7.4	16.7	0.4	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
2日	0.0	12.5	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3日	1.5	8.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0
4日	0.0	4.2	7.3	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
5日	91.2	54.2	85.7	92.5	88.2	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	25.0	0.0	0.0
6日	0.0	0.0	5.4	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7日	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
無回答	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

1週間の利用日数については、「5日」が幼稚園では91.2%、認可保育園では85.7%、認定こども園では92.5%、認証保育所では88.2%で高くなっています。

<図表 18> 平日の教育・保育事業の利用状況【平日の利用時間】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	認証保育所	家庭的保育事業	小規模保育事業	居宅訪問型保育 （ベビーマッサージ等）	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	定期利用保育事業	ファミリー・サポート・ センター	(%) その他
回答者数（n）	68	24	259	40	17	0	0	0	0	3	4	2	1
4時間未満	8.8	75.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
4時間以上 7時間未満	80.9	12.5	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時間以上 10時間未満	8.8	0.0	60.6	62.5	70.6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0
10時間以上 12時間未満	0.0	8.3	35.5	32.5	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
12時間以上	0.0	0.0	0.8	2.5	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	25.0	0.0	0.0
無回答	1.5	4.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

平日の教育・保育事業の利用状況で、平日の利用時間については、幼稚園では「4時間以上7時間未満」が80.9%で最も高く、幼稚園の預かり保育では「4時間未満」が75.0%で最も高くなっています。認可保育園、認定こども園、認証保育所では、「7時間以上10時間未満」が最も高くなっています。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

＜図表 19＞平日の教育・保育事業の利用状況【利用時間帯】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	認証保育所	家庭的保育事業	小規模保育事業	居宅訪問型保育 （ベビシッター等）	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	定期利用保育事業	ファミリー・サポート・ センター	(%) その他
回答者数（n）	68	24	259	40	17	0	0	0	0	3	4	2	1
6時台以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
7時台	1.5	4.2	11.2	17.5	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
8時台	10.3	8.3	65.6	62.5	58.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	75.0	50.0	0.0
9時台	97.1	8.3	98.8	97.5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	75.0	50.0	100.0
10時台	100.0	8.3	99.2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	75.0	0.0	100.0
11時台	100.0	8.3	99.2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	75.0	0.0	100.0
12時台	94.1	8.3	99.2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	75.0	0.0	100.0
13時台	91.2	16.7	98.8	97.5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	75.0	0.0	0.0
14時台	88.2	91.7	98.8	97.5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	75.0	0.0	0.0
15時台	19.1	95.8	98.5	97.5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	75.0	0.0	0.0
16時台	4.4	91.7	98.1	97.5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	75.0	0.0	0.0
17時台	4.4	54.2	83.0	85.0	76.5	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	50.0	50.0	0.0
18時台	2.9	20.8	43.2	35.0	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	50.0	0.0
19時台	0.0	4.2	3.1	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
20時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21時台以後	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

利用時間帯については、幼稚園では、「9時台」から「13時台」において90%を超えています。認定こども園、認可保育園では、「9時台」から「16時台」において90%を超えています。

（3）平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業

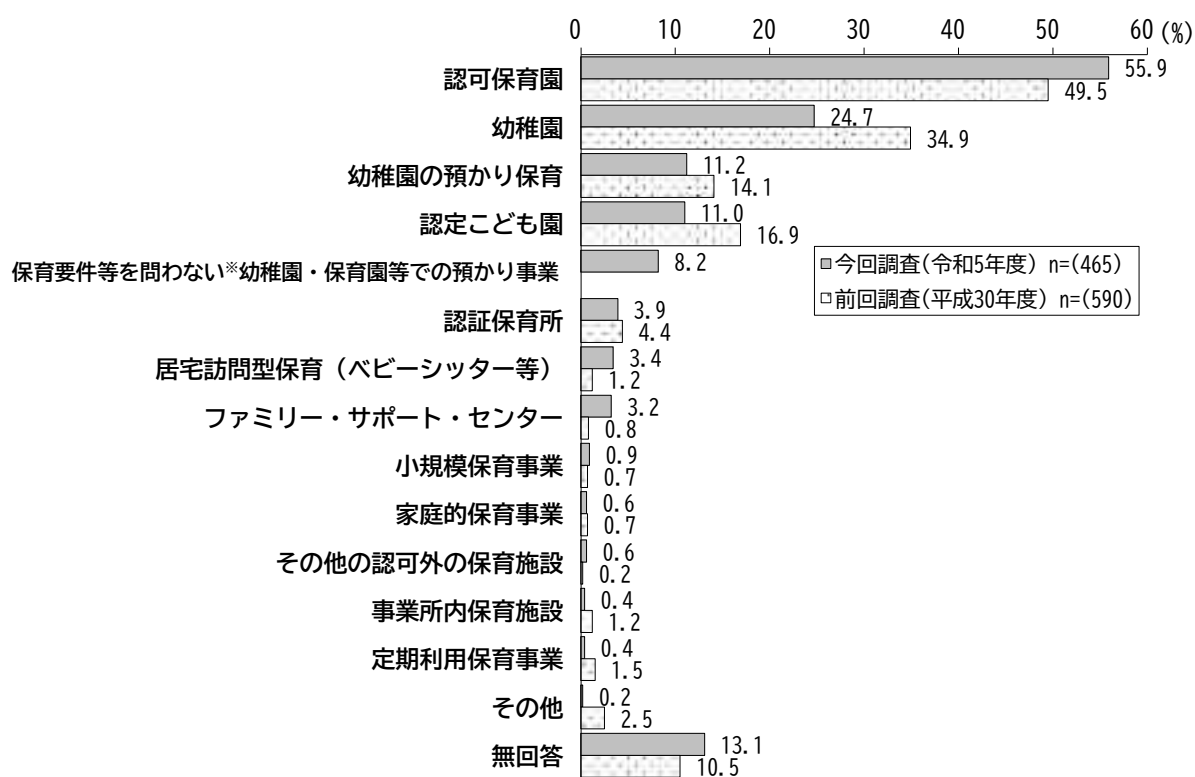
問12 令和5年10月から既存の3～5歳に加え、第2子以降の0～2歳も幼児教育・保育の無償化の対象となりました。それを踏まえ、現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かをカッコ内に数字でご記入ください。

（時間は、必ず（例）9～18時のように24時間制でご記入ください）

また、利用を開始したい時期はいつですか。カッコ内に数字でご記入ください。

<図表 20> 平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業



※保育要件等を問わない…就労・疾病・障害・看護・介護などの保育園を利用するための要件が必要ないこと
本項目は今回から新設

前回調査に比べて、「認可保育園」が6.4ポイント増加し、「幼稚園」が10.2ポイント、「認定こども園」が5.9ポイント減少しています。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

＜図表 21＞平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業
（子どもの年齢別／母親の就労状況別）

																	(%)
		回答者数（n）	認可保育園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認定こども園	保育要件等を問わない※ 幼稚園・保育園等での預かり事業	認証保育所	居宅訪問型保育（ベビシッター等）	ファミリー・サポート・センター	小規模保育事業	家庭的保育事業	その他の認可外の保育施設	事業所内保育施設	定期利用保育事業	その他	無回答
	全体	465	55.9	24.7	11.2	11.0	8.2	3.9	3.4	3.2	0.9	0.6	0.6	0.4	0.4	0.2	13.1
子どもの年齢別	0歳	62	66.1	29.0	6.5	8.1	9.7	3.2	9.7	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	8.1
	1歳	75	60.0	26.7	13.3	13.3	10.7	6.7	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	2.7	1.3	0.0	12.0
	2歳	84	52.4	22.6	9.5	10.7	9.5	6.0	1.2	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	3歳	84	56.0	21.4	13.1	11.9	8.3	1.2	2.4	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	11.9
	4歳	76	59.2	17.1	6.6	11.8	3.9	3.9	3.9	3.9	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	17.1
	5歳以上	84	45.2	32.1	16.7	9.5	7.1	2.4	3.6	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.2
母親の就労状況別	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	172	70.3	8.1	5.2	13.4	5.2	4.1	2.9	5.2	0.6	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	12.8
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	47	66.0	19.1	17.0	14.9	12.8	2.1	4.3	0.0	2.1	0.0	2.1	2.1	2.1	0.0	14.9
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	130	52.3	25.4	13.8	7.7	7.7	3.1	3.1	2.3	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	16.2
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15	80.0	13.3	6.7	13.3	6.7	20.0	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	88	23.9	62.5	18.2	10.2	12.5	3.4	2.3	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	11.4
	これまで就労したことがない	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

子どもの年齢別で見ると、すべての年齢で「認可保育園」が最も高くなっています。

母親の就労状況別で見ると、「認可保育園」は、フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中ではない）において70.3%、フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中）において66.0%、パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中）において80.0%と高くなっています。また、「幼稚園」は、以前は就労していたが、現在は就労していないにおいて62.5%と高くなっています。

<図表 22> 平日の教育・保育事業の利用希望【1週間の利用日数】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	認証保育所	家庭的保育事業	小規模保育事業	居宅訪問型保育 （ベビーマッサージ等）	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	定期利用保育事業	ファミリー・サポート・ センター	幼稚園・保育園等での 預かり事業 ※	その他
回答者数（n）	115	52	260	51	18	3	4	16	2	3	2	15	38	1
1日	0.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	50.0	40.0	18.4	100.0
2日	1.7	5.8	0.4	0.0	0.0	33.3	0.0	31.3	0.0	33.3	0.0	6.7	18.4	0.0
3日	8.7	15.4	1.5	3.9	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	26.7	5.3	0.0
4日	1.7	3.8	4.2	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0
5日	78.3	51.9	84.2	84.3	88.9	66.7	100.0	25.0	50.0	66.7	50.0	6.7	36.8	0.0
6日	1.7	0.0	5.8	7.8	5.6	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.7	5.3	0.0
7日	0.9	1.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
無回答	6.1	17.3	3.5	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	6.7	7.9	0.0

平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業で、1週間の希望利用日数については、「5日」が認可保育園では84.2%、認定こども園では84.3%、認証保育所では88.9%と高くなっています。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

＜図表 23＞平日の教育・保育事業の利用希望【平日の利用時間】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	認証保育所	家庭的保育事業	小規模保育事業	居宅訪問型保育 （ベビーマッサージ等）	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	定期利用保育事業	ファミリー・サポート・ センター	保育要件等を問わない※ 幼稚園・保育園等での 預かり事業	（％） その他
回答者数（n）	115	52	260	51	18	3	4	16	2	3	2	15	38	1
4時間未満	1.7	38.5	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	56.3	0.0	33.3	50.0	73.3	10.5	100.0
4時間以上 7時間未満	52.2	13.5	3.5	3.9	16.7	33.3	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	6.7	18.4	0.0
7時間以上 10時間未満	29.6	13.5	55.4	47.1	55.6	33.3	75.0	18.8	0.0	0.0	50.0	6.7	47.4	0.0
10時間以上 12時間未満	3.5	11.5	34.6	37.3	16.7	0.0	0.0	6.3	50.0	33.3	0.0	0.0	13.2	0.0
12時間以上	2.6	3.8	2.7	5.9	11.1	33.3	25.0	0.0	0.0	33.3	0.0	6.7	2.6	0.0
無回答	10.4	19.2	3.8	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	6.7	7.9	0.0

平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業で、平日の希望利用時間については、「7時間以上10時間未満」が認可保育園では55.4%、認定こども園では47.1%、認証保育所では55.6%で最も高く、幼稚園では「4時間以上7時間未満」が52.2%で最も高くなっています。

<図表 24> 平日の教育・保育事業の利用希望【利用時間帯】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	認証保育所	家庭的保育事業	小規模保育事業	居宅訪問型保育 （ベビーマッサージ等）	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	定期利用保育事業	ファミリー・サポート・ センター	預かり事業 幼稚園・保育園等 を問わない※	（%） その他
回答者数（n）	115	52	260	51	18	3	4	16	2	3	2	15	38	1
6時台以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	6.1	9.6	12.3	29.4	22.2	33.3	25.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	5.3	0.0
8時台	25.2	23.1	61.5	70.6	55.6	66.7	50.0	12.5	50.0	66.7	0.0	0.0	34.2	0.0
9時台	89.6	34.6	96.2	96.1	100.0	66.7	100.0	56.3	50.0	66.7	50.0	13.3	84.2	0.0
10時台	91.3	36.5	97.3	96.1	100.0	100.0	100.0	62.5	50.0	66.7	100.0	20.0	86.8	0.0
11時台	91.3	36.5	97.3	96.1	100.0	100.0	100.0	62.5	50.0	66.7	100.0	20.0	86.8	0.0
12時台	91.3	36.5	97.3	96.1	100.0	100.0	100.0	62.5	50.0	66.7	100.0	20.0	86.8	0.0
13時台	90.4	38.5	97.3	96.1	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	13.3	81.6	0.0
14時台	89.6	71.2	96.9	96.1	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	13.3	86.8	0.0
15時台	47.8	75.0	96.2	96.1	94.4	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	6.7	84.2	100.0
16時台	33.0	69.2	93.8	96.1	88.9	66.7	100.0	56.3	50.0	100.0	50.0	26.7	71.1	100.0
17時台	23.5	59.6	81.5	84.3	77.8	66.7	50.0	50.0	50.0	66.7	50.0	40.0	42.1	0.0
18時台	9.6	26.9	43.8	51.0	33.3	66.7	50.0	50.0	50.0	66.7	0.0	53.3	15.8	0.0
19時台	2.6	9.6	6.9	11.8	11.1	33.3	25.0	31.3	0.0	33.3	0.0	40.0	5.3	0.0
20時台	0.0	0.0	1.2	2.0	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	13.3	2.6	0.0
21時台以後	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.8	17.3	2.7	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	20.0	7.9	0.0

希望利用時間帯については、幼稚園では、「10時台」から「13時台」において、認可保育園、認定こども園では、「9時台」から「16時台」において90%を超えています。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

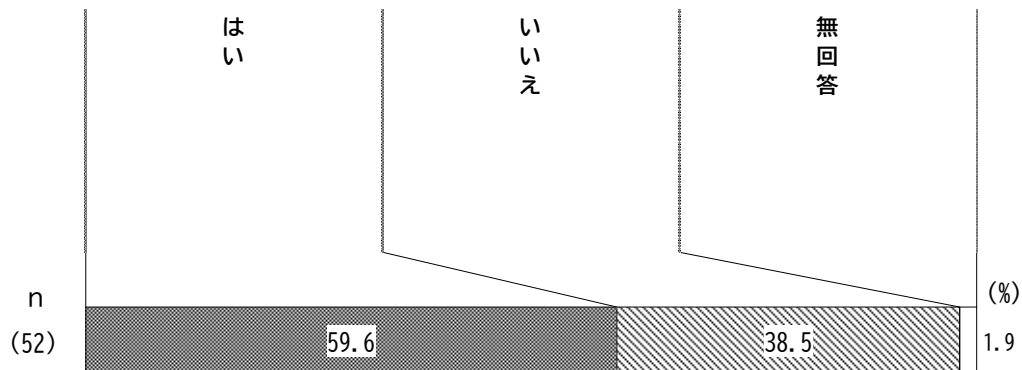
<図表 25> 平日の教育・保育事業の利用希望【利用時期】

	回答者数（n）	0ヶ月～6ヶ月未満	6ヶ月～1歳未満	1歳～1歳6ヶ月未満	1歳6ヶ月～2歳未満	2歳～2歳6ヶ月未満	2歳6ヶ月～3歳未満	3歳以上	無回答
平日の教育・保育事業の利用希望【利用時期】	465	1.5	4.9	14.2	2.2	6.2	1.7	16.8	52.5

（4）特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用希望の有無【新規設問】

問12-1 問12で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ認可保育園～保育要件等を問わない※幼稚園・保育園等での預かり事業にも○をつけた方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

<図表 26> 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用希望の有無

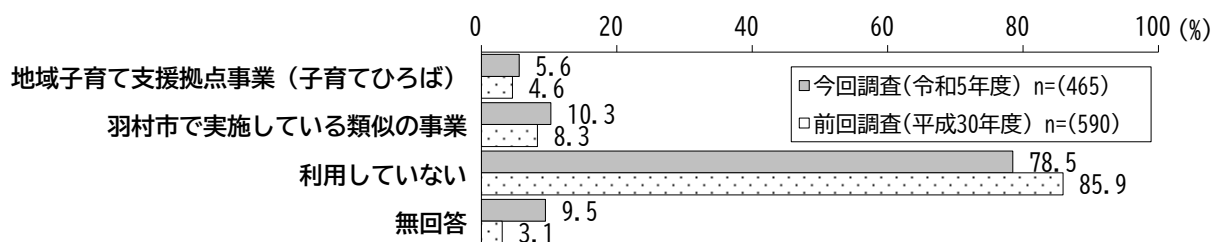


5 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問13 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。次の中から利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をカッコ内に数字でご記入ください。

<図表 27> 地域子育て支援拠点事業の利用状況



前回調査に比べて、「利用していない」が7.4ポイント減少しています。

<図表 28> 地域子育て支援拠点事業の利用状況【1週間当たりの利用回数】

	回答者数 (n)	1回	2回	3回	4回以上	無回答
地域子育て支援拠点事業	26	15.4	7.7	0.0	3.8	73.1
羽村市で実施している類似の事業	48	10.4	8.3	4.2	4.2	72.9

<図表 29> 地域子育て支援拠点事業の利用状況【1ヶ月当たりの利用回数】

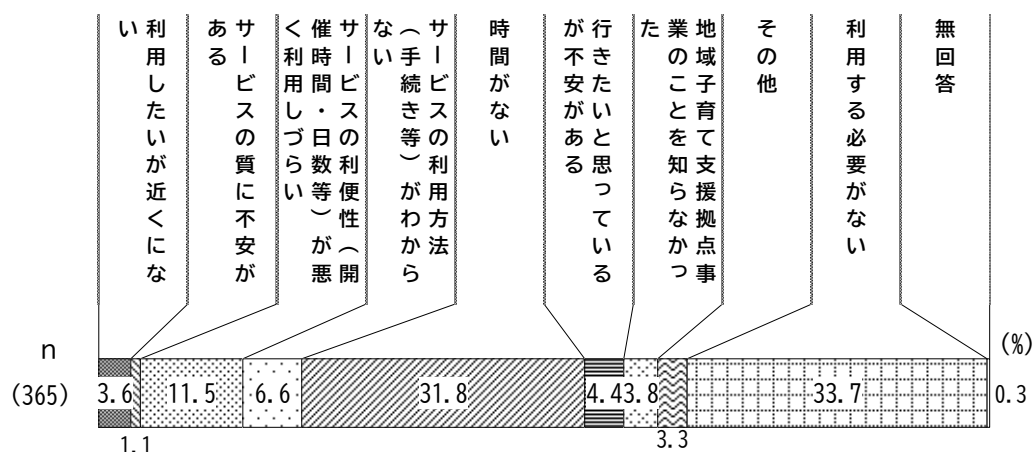
	回答者数 (n)	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
地域子育て支援拠点事業	26	26.9	26.9	19.2	11.5	0.0	15.4
羽村市で実施している類似の事業	48	52.1	16.7	2.1	0.0	4.2	25.0

（2）地域子育て支援拠点事業を利用していない理由

問13-1 問13で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

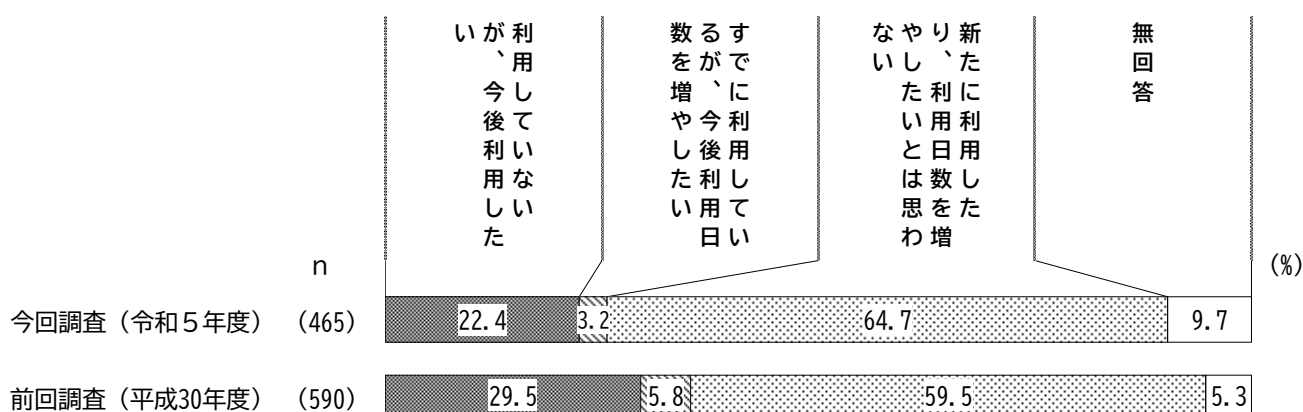
<図表 30> 地域子育て支援拠点事業を利用していない理由



（3）地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望

問14 地域子育て支援拠点事業の今後の利用についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）をカッコ内に数字でご記入ください。

<図表 31> 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望



前回調査に比べて、「利用していないが、今後利用したい」が7.1ポイント、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が2.6ポイント減少しています。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が5.2ポイント増加しています。

<図表 32> 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望【1週間当たりの希望利用回数】

	回答者数 (n)	1 回	2 回	3 回	4 回 以上	(%) 無 回 答
利用していないが、今後利用したい	104	20.2	1.9	2.9	1.0	74.0
今後、利用日数を増やしたい	15	26.7	13.3	13.3	0.0	46.7

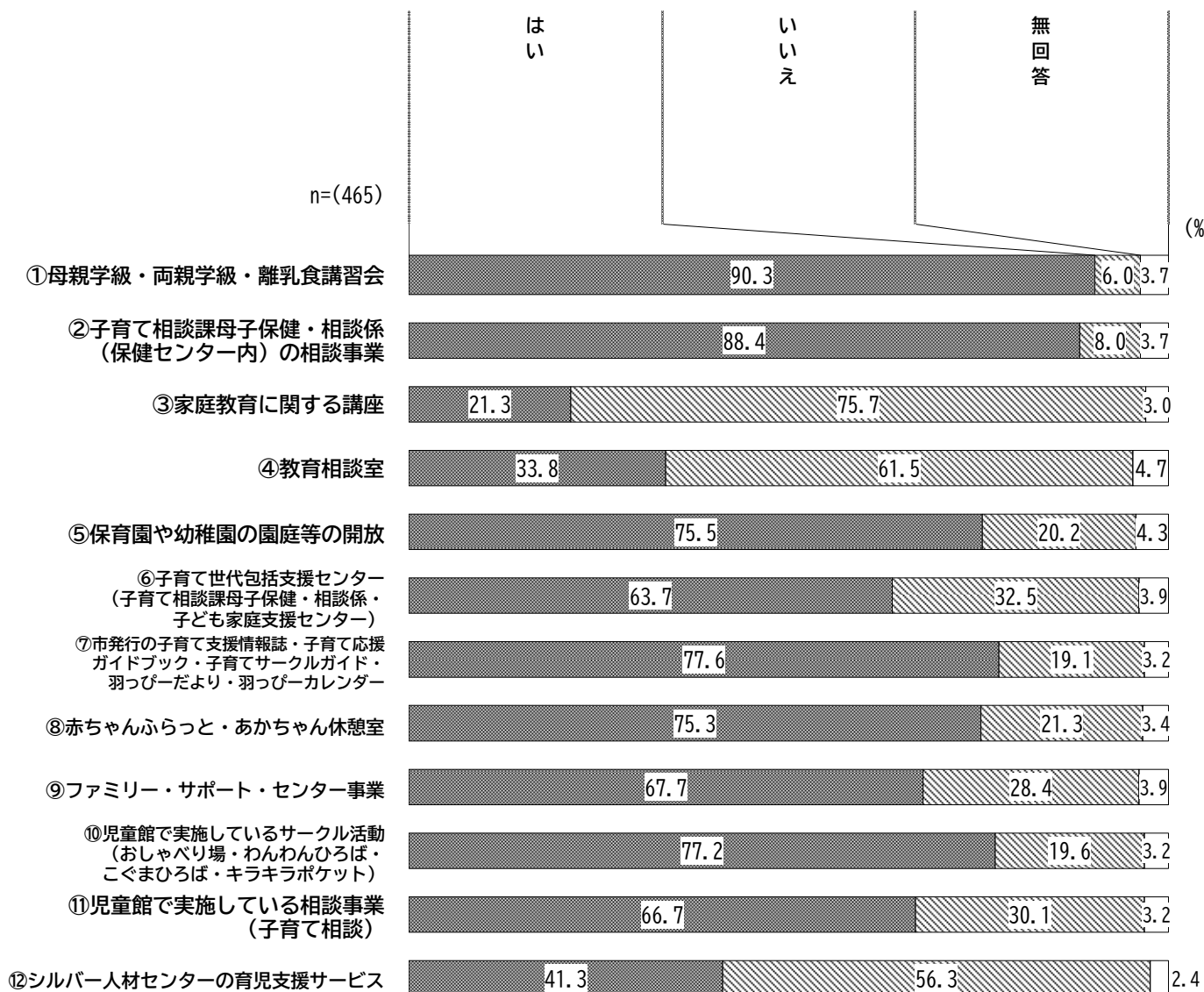
<図表 33> 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望【1ヶ月当たりの希望利用回数】

	回答者数 (n)	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以上	(%) 無 回 答
利用していないが、今後利用したい	104	42.3	24.0	5.8	6.7	3.8	17.3
今後、利用日数を増やしたい	15	26.7	13.3	6.7	6.7	0.0	46.7

（4）事業の周知度、利用経験、利用意向

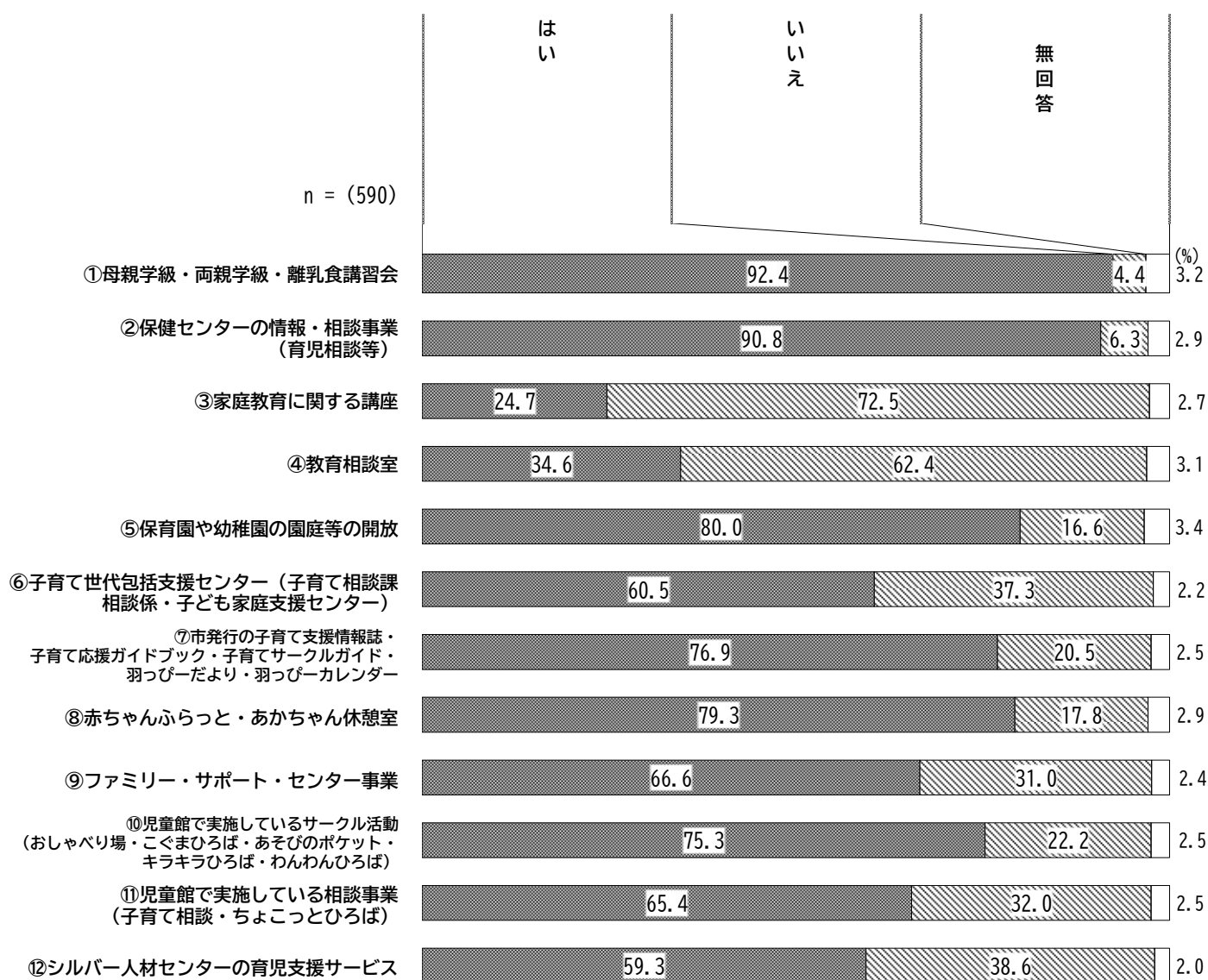
問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、周知度、利用経験、利用意向について「1」（はい）、「2」（いいえ）のいずれかに○をつけてください。

<図表 34> 事業の周知度（知っている）



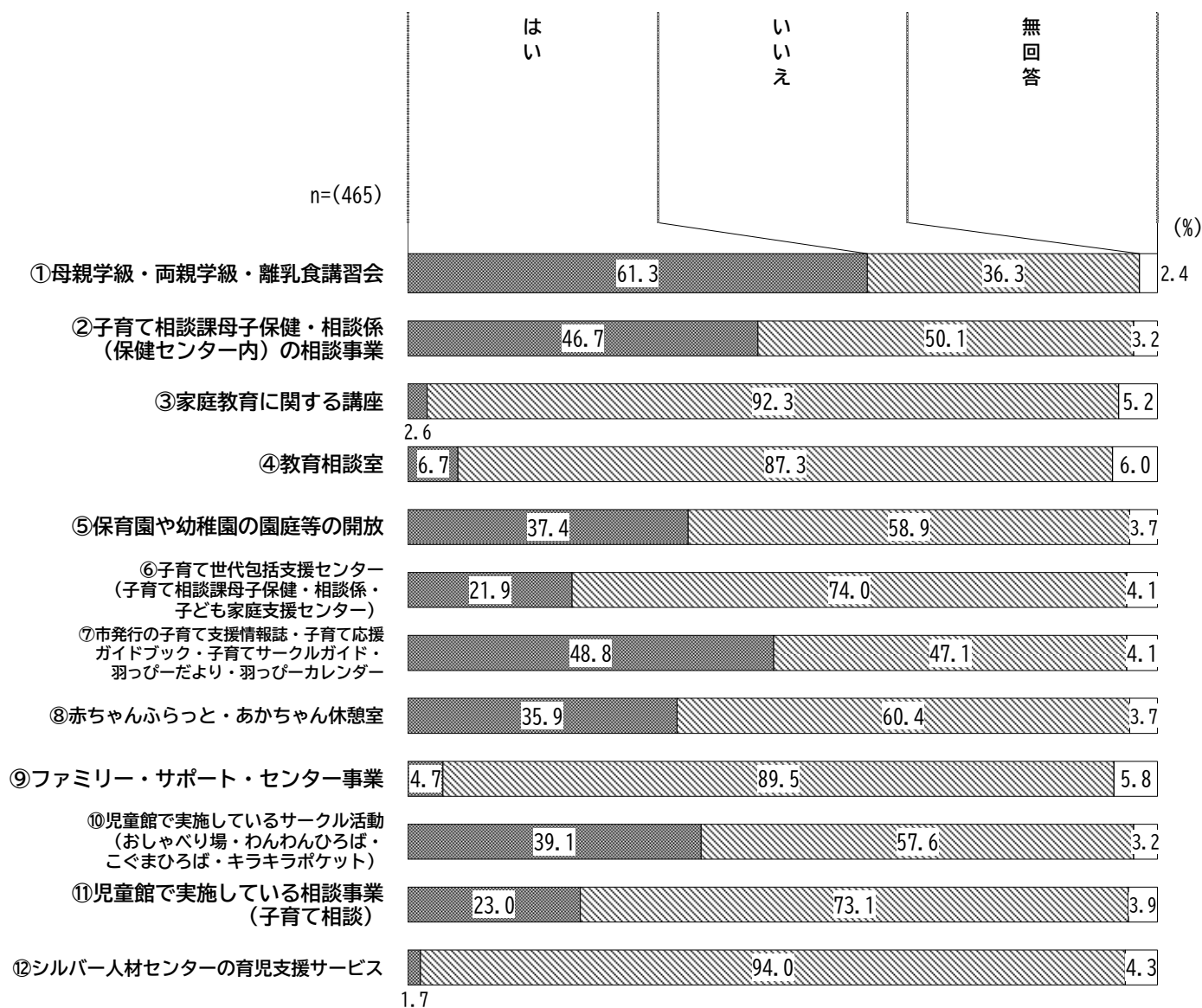
周知度については、①母親学級・両親学級・離乳食講習会が90.3%で最も高く、以下、②子育て相談課母子保健・相談係（保健センター内）の相談事業(88.4%)、⑦市発行の子育て支援情報誌・子育て応援ガイドブック・子育てサークルガイド・羽っぴーだより・羽っぴーカレンダー（77.6%）、⑩児童館で実施しているサークル活動（おしゃべり場・わんわんひろば・こぐまひろば・キラキラポケット）（77.2%）、⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放(75.5%)、⑧赤ちゃんふらっと・あかちゃん休憩室(75.3%)の順となっています。

<図表 35> 【参考 前回調査】事業の周知度（知っている）



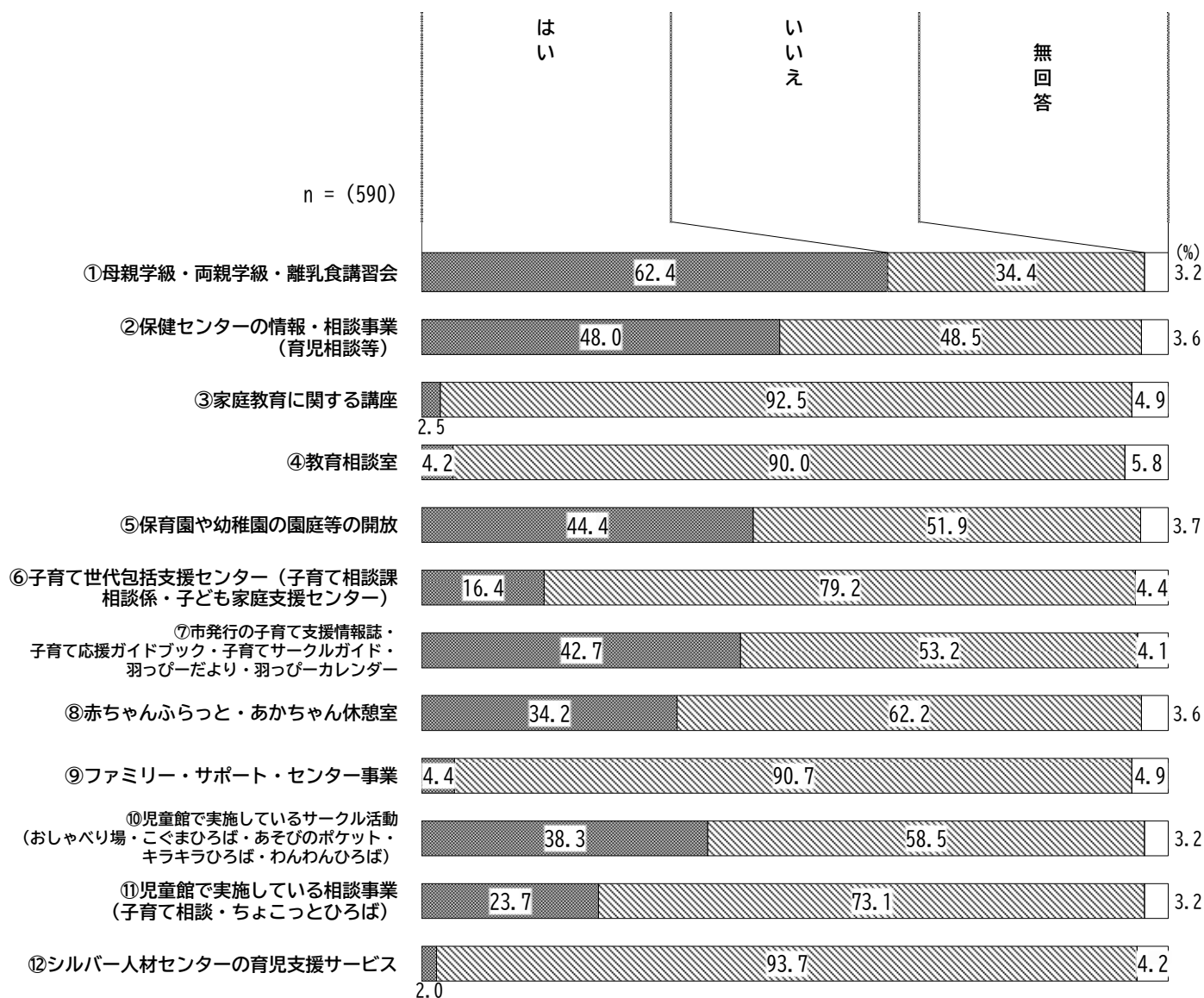
第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

<図表 36>事業の利用経験（これまでに利用したことがある）



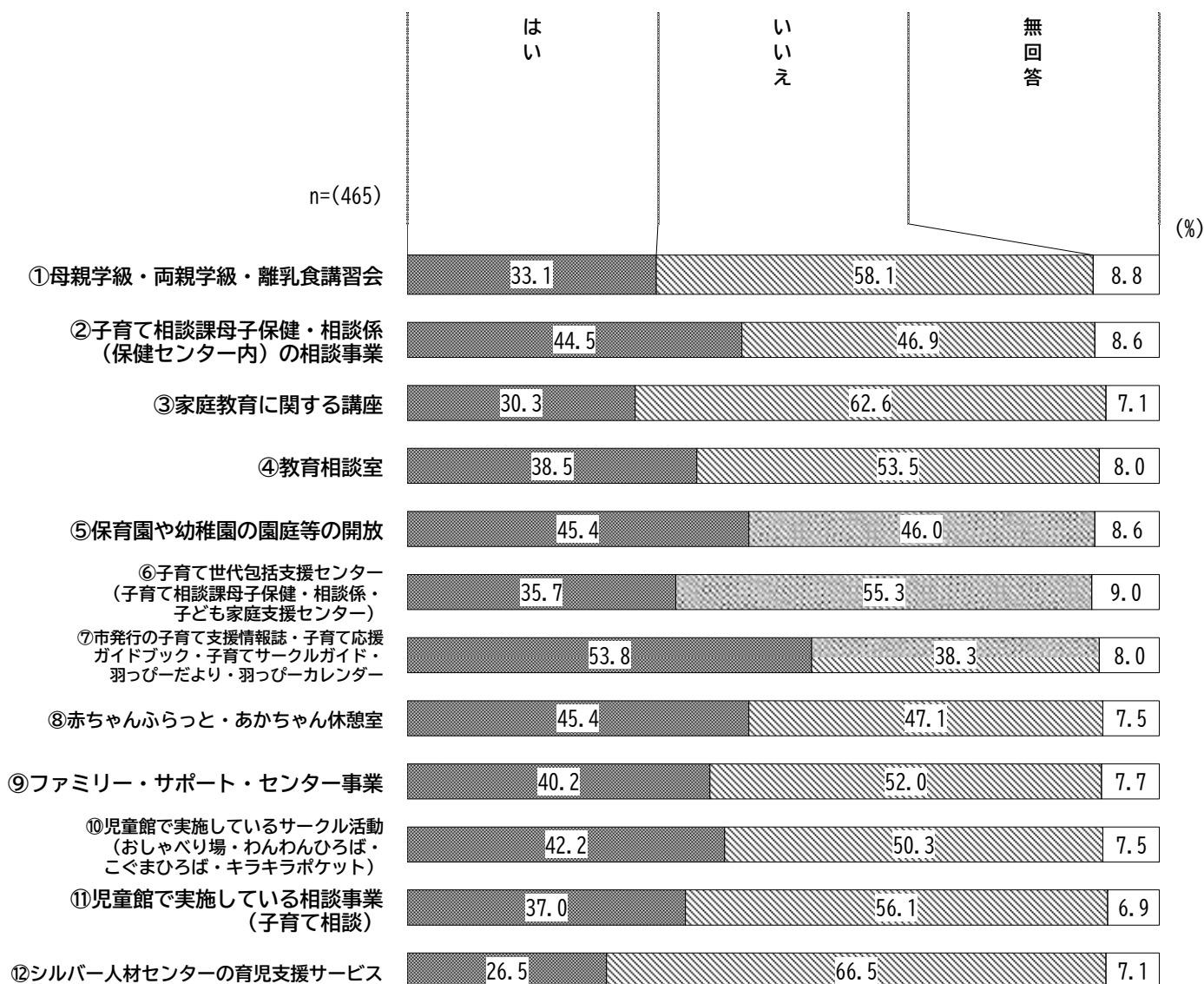
利用経験については、①母親学級・両親学級・離乳食講習会が61.3%で最も高く、以下、⑦市発行の子育て支援情報誌・子育て応援ガイドブック・子育てサークルガイド・羽っぴーだより・羽っぴーカレンダー（48.8%）②子育て相談課母子保健・相談係（保健センター内）の相談事業（46.7%）、⑩児童館で実施しているサークル活動（おしゃべり場・わんわんひろば・こぐまひろば・キラキラポケット）（39.1%）、⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放（37.4%）、⑧赤ちゃんふらっと・あかちゃん休憩室（35.9%）の順となっています。

<図表 37> 【参考 前回調査】事業の利用経験（これまでに利用したことがある）



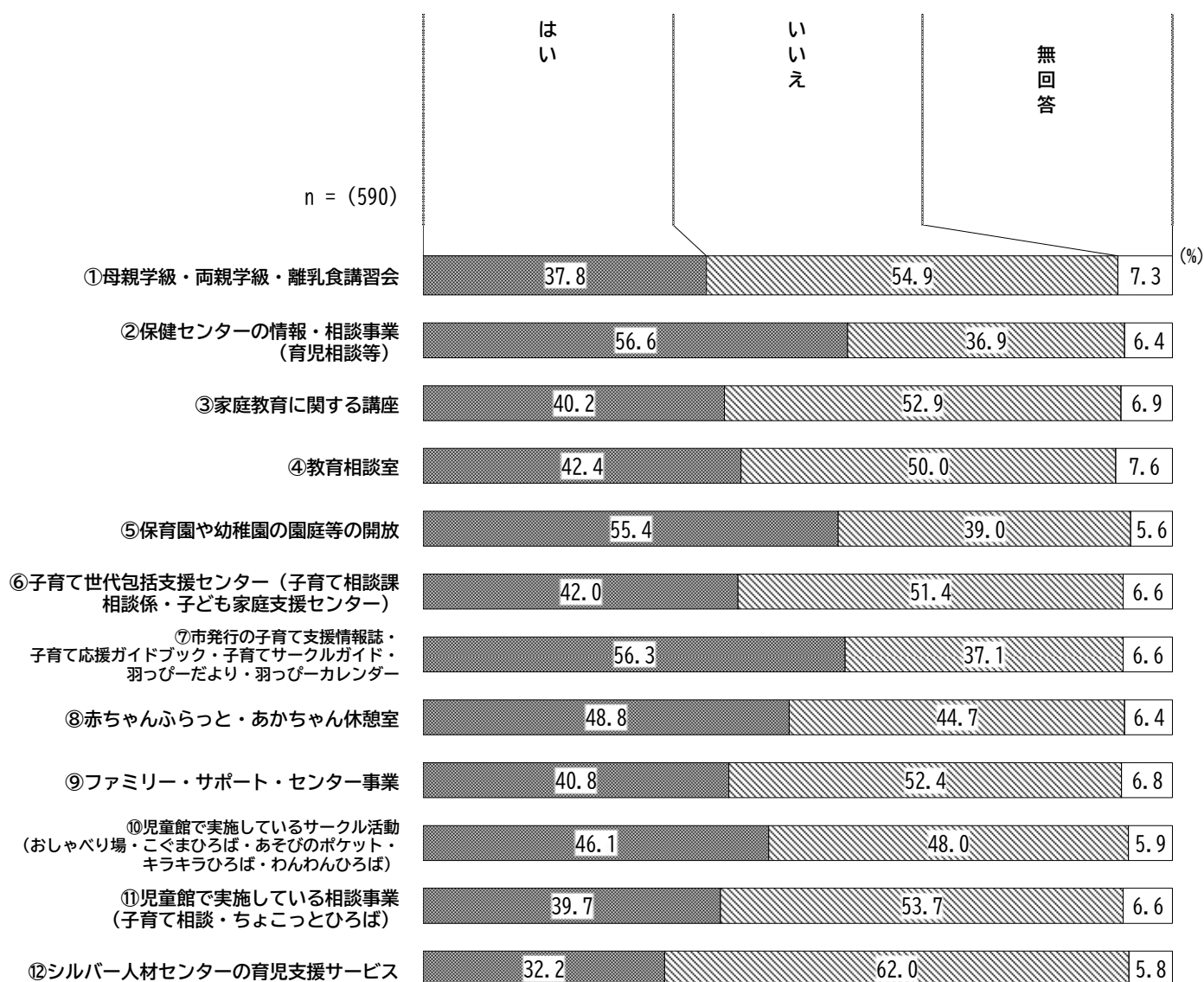
第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

＜図表 38＞事業の利用意向（今後利用したいと思う）



利用意向については、⑦市発行の子育て支援情報誌・子育て応援ガイドブック・子育てサークルガイド・羽っぴーだより・羽っぴーカレンダーが53.8%で最も高く、以下、⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放、⑧赤ちゃんふらっと・あかちゃん休憩室(45.4%)、②子育て相談課母子保健・相談係（保健センター内）の相談事業（44.5%）、⑩児童館で実施しているサークル活動（おしゃべり場・わんわんひろば・こぐまひろば・キラキラポケット）（42.2%）、⑨ファミリー・サポート・センター事業（40.2%）の順となっています。

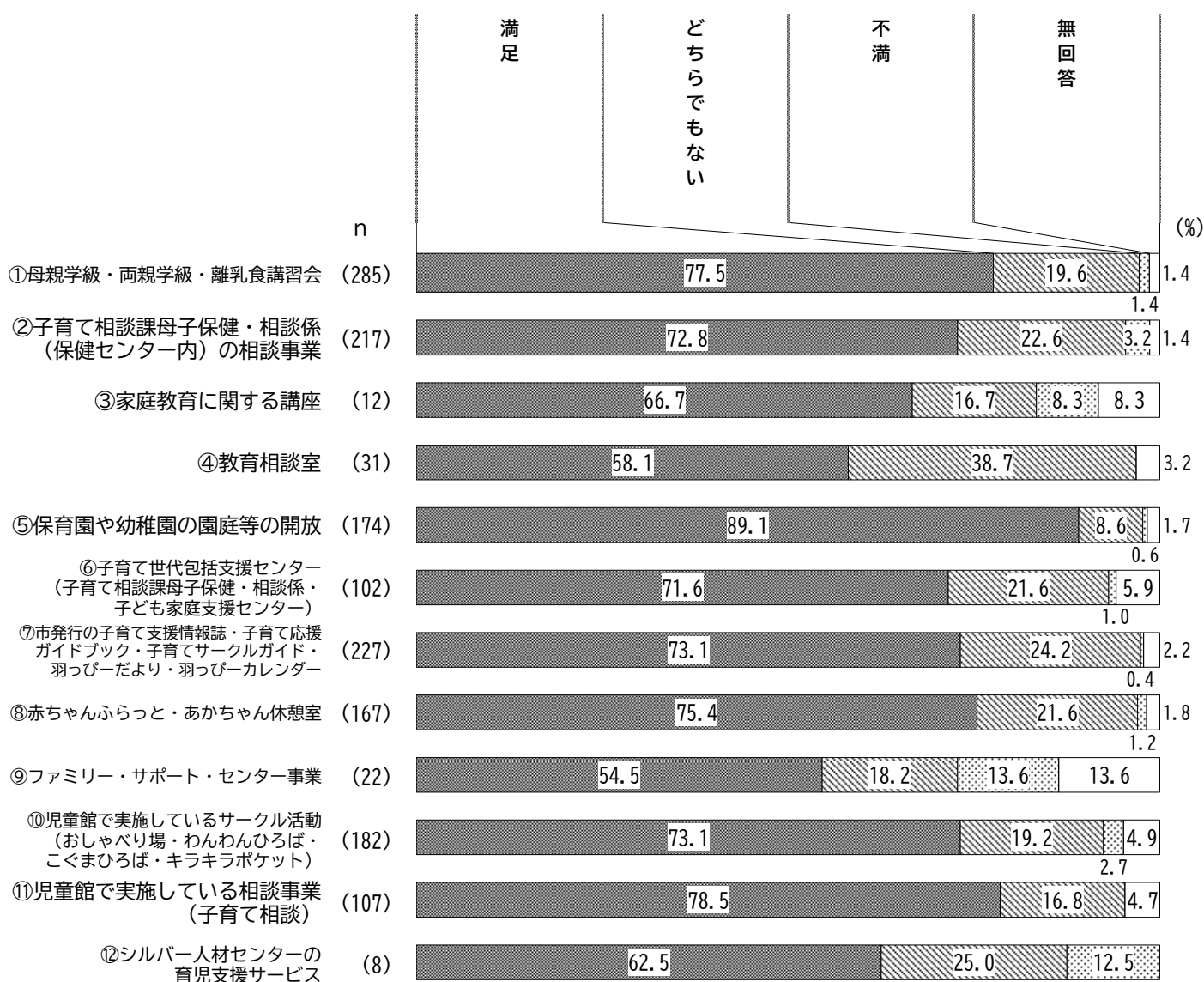
<図表 39> 【参考 前回調査】事業の利用意向（今後利用したいと思う）



（5）事業の満足度

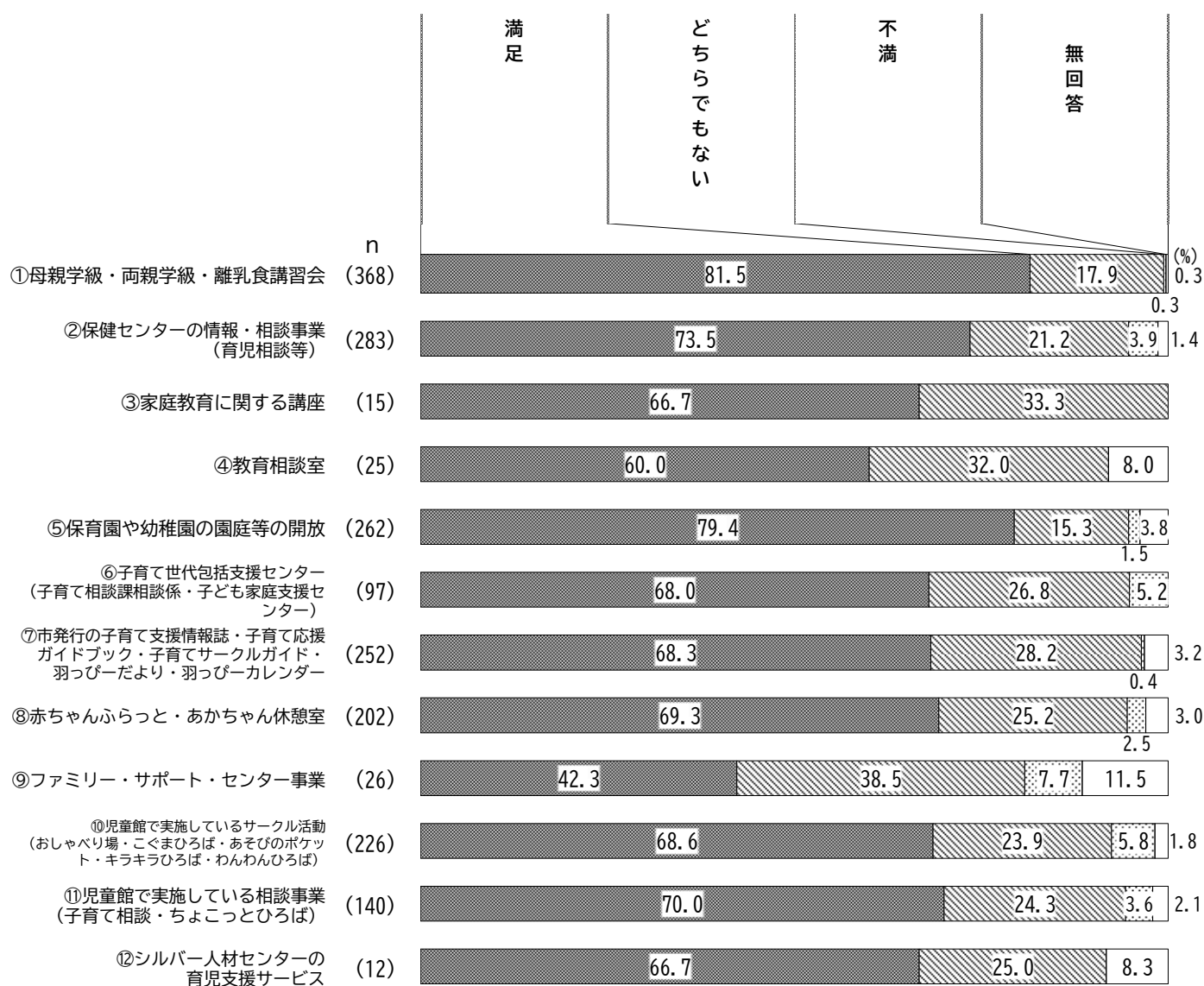
問15－1 問15で利用経験があると回答した事業について、うかがいます。問15で利用経験があると回答した①～⑫の事業ごとの満足度について「1」（満足）、「2」（どちらでもない）、「3」（不満）のいずれかに○をつけ、その理由をご記入ください。

<図表 40> 事業の満足度



事業の満足度は、⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放が89.1%で最も高く、以下、⑪児童館で実施している相談事業（子育て相談）（78.5%）、①母親学級・両親学級・離乳食講習会（77.5%）、⑧赤ちゃんふらっと・あかちゃん休憩室（75.4%）、⑦市発行の子育て支援情報誌・子育て応援ガイドブック・子育てサークルガイド・羽っぴーだより・羽っぴーカレンダー、⑩児童館で実施しているサークル活動（おしゃべり場・わんわんひろば・こぐまひろば・キラキラポケット）（73.1%）の順となっています。

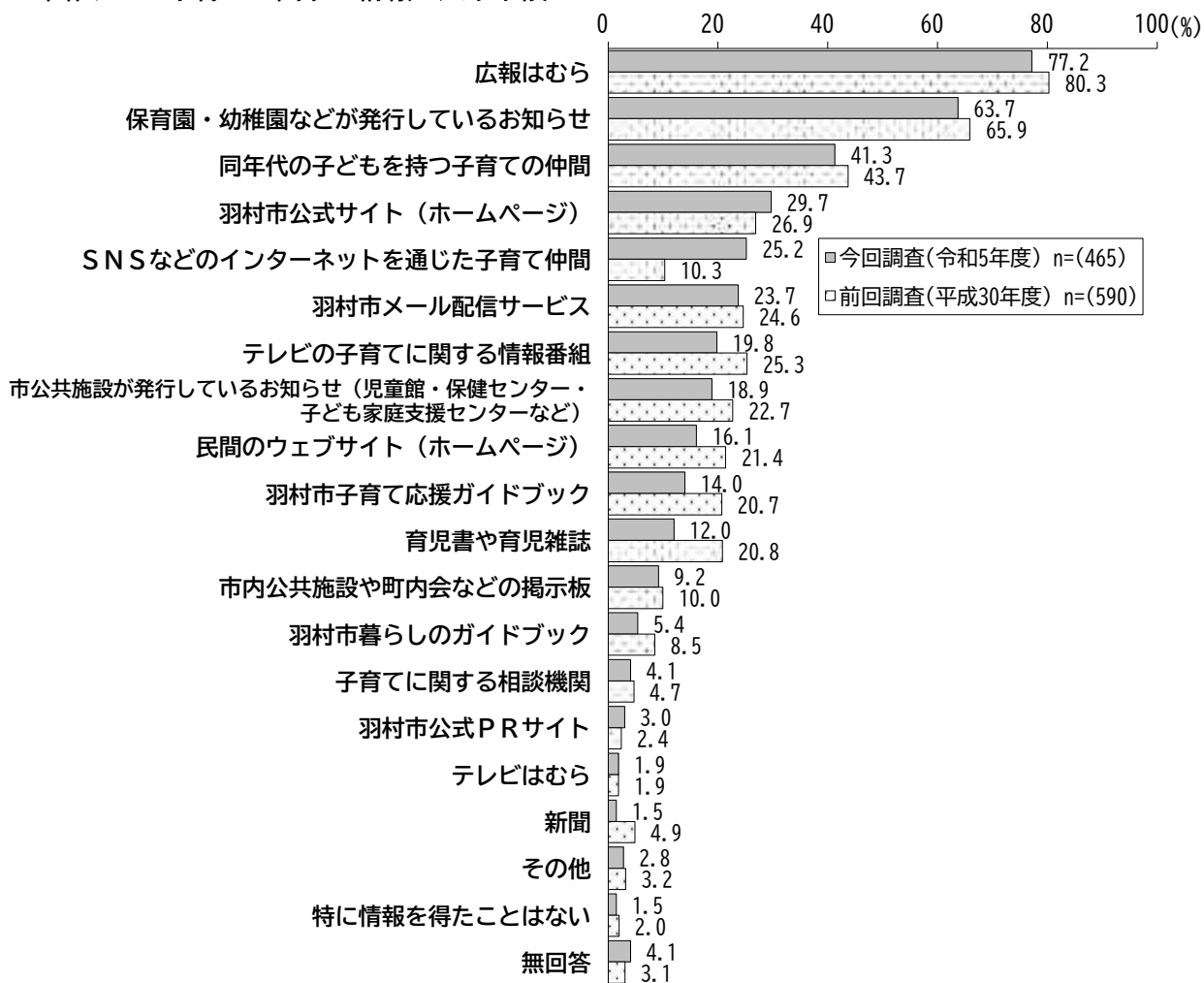
<図表 41> 【参考 前回調査】事業の満足度



（6）子育てに関する情報の入手手段

問16 子育てに関する情報をどのように得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 42> 子育てに関する情報の入手手段



※前回「ブログ・チャット・掲示板などのインターネットを通じた子育て仲間」は、今回「SNSなどのインターネットを通じた子育て仲間」に変更

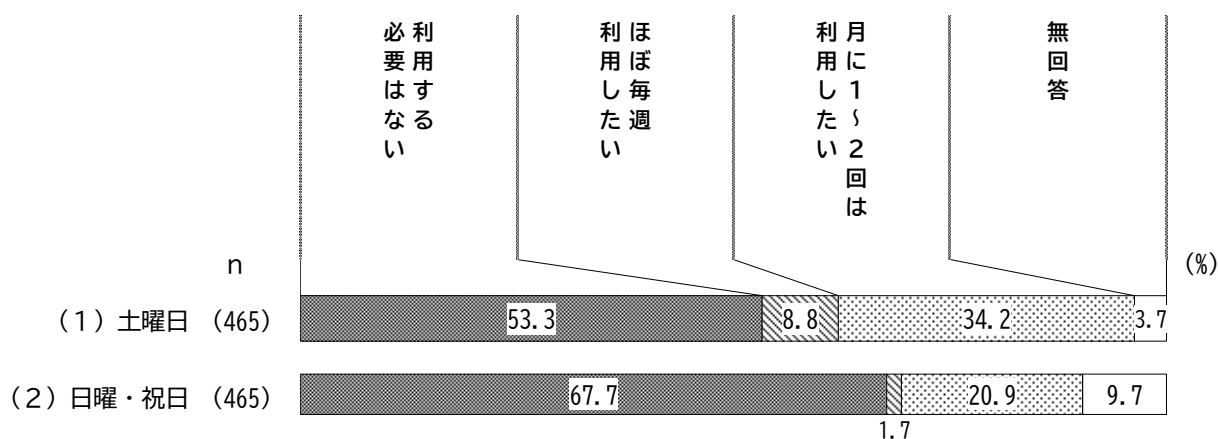
前回調査に比べて、「育児書や育児雑誌」が8.8ポイント、「羽村市子育て応援ガイドブック」が6.7ポイント、「テレビの子育てに関する情報番組」が5.5ポイント、「民間のウェブサイト（ホームページ）」が5.3ポイント減少しています。一方、「SNSなどのインターネットを通じた子育て仲間」が14.9ポイント増加しています。

6 土曜・日曜・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜・日曜・祝日における教育・保育事業の利用希望

問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

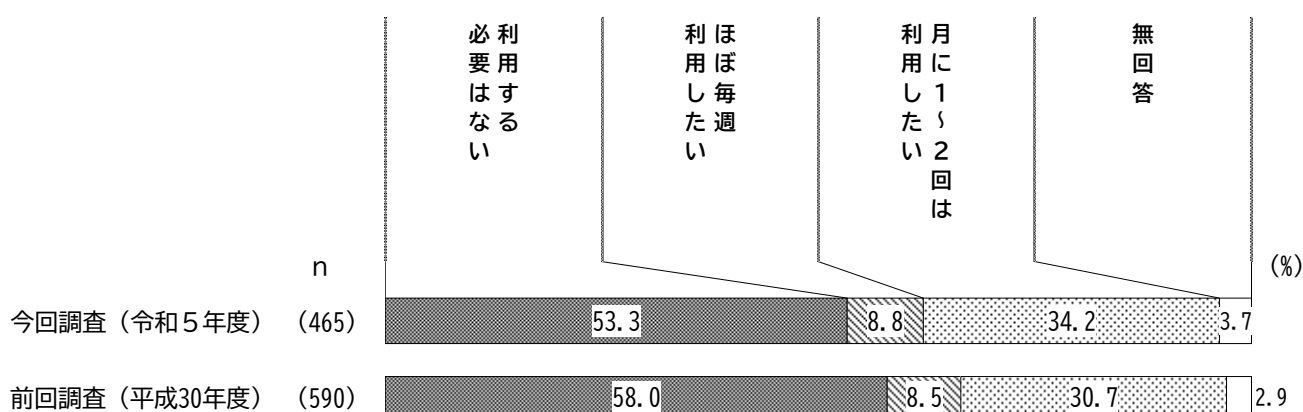
<図表 43>土曜・日曜・祝日における教育・保育事業の利用希望



土曜日の教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が53.3%、「ほぼ毎週利用したい」が8.8%、「月に1～2回は利用したい」が34.2%となっています。

日曜・祝日においては、「利用する必要はない」が67.7%、「ほぼ毎週利用したい」が1.7%、「月に1～2回は利用したい」が20.9%となっています。

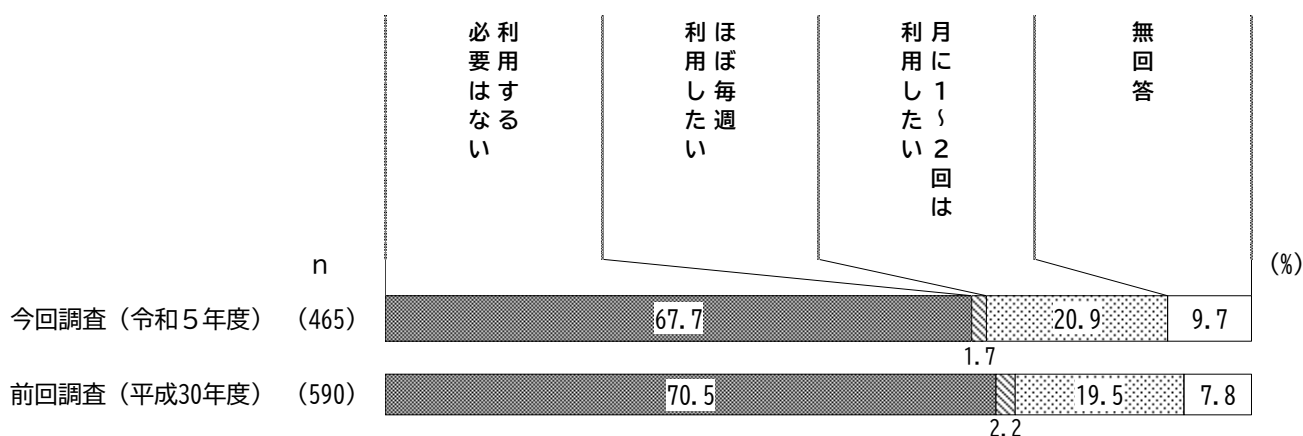
<図表 44>土曜日における教育・保育事業の利用希望(前回調査との比較)



前回調査に比べて、「利用する必要はない」が4.7ポイント減少しています。

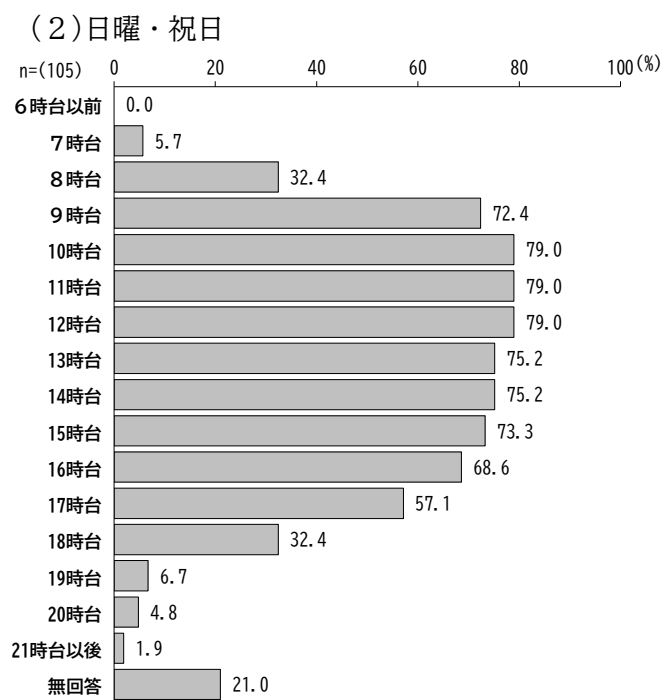
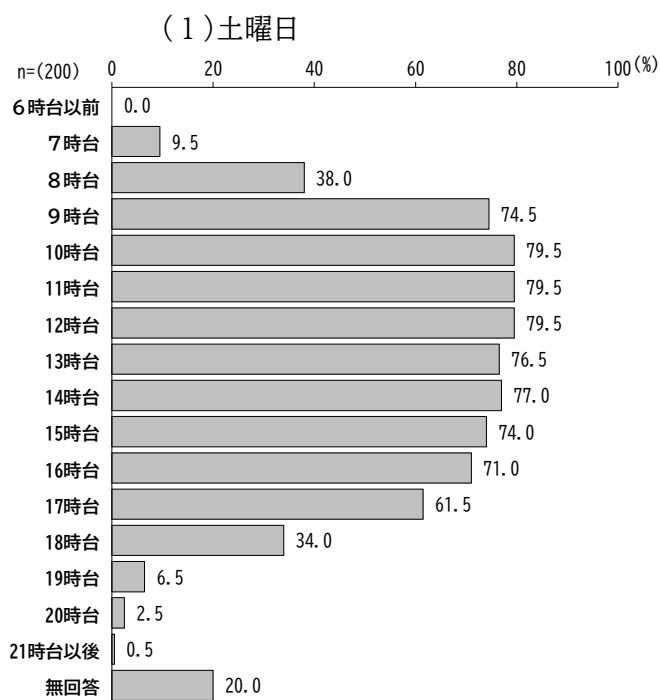
第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

＜図表 45＞日曜・祝日における教育・保育事業の利用希望(前回調査との比較)



前回調査に比べて、大きな差は見られません。

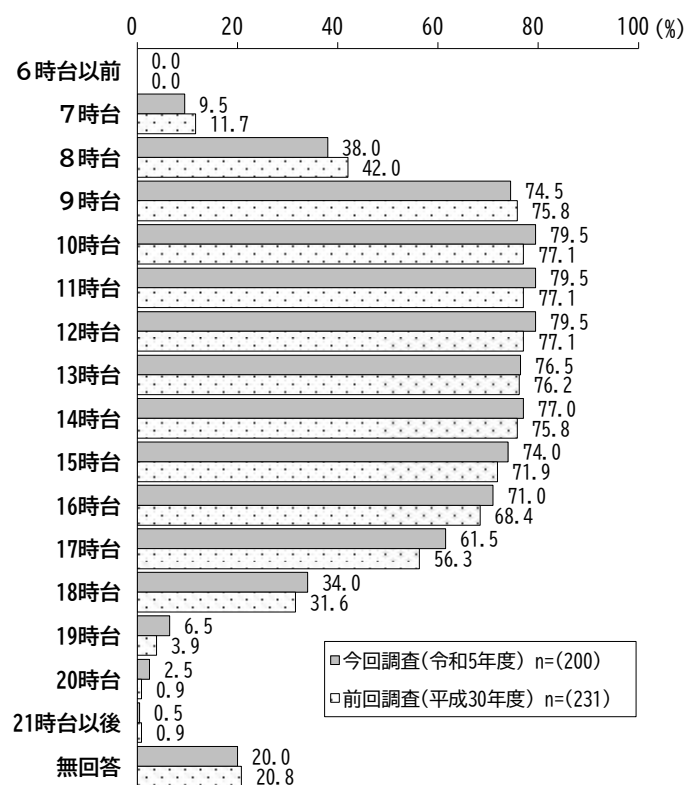
＜図表 46＞利用したい時間帯



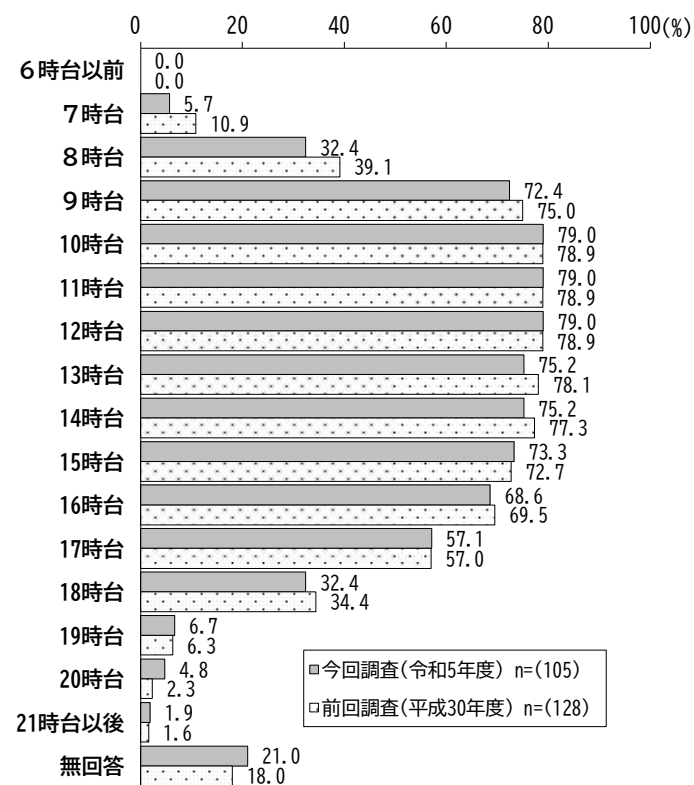
利用したい時間帯については、土曜日においては「9時」から「16時台」、日曜・祝日においては、「9時台」から「15時台」で70%を超えています。

<図表 47>利用したい時間帯（前回調査との比較）

(1)土曜日



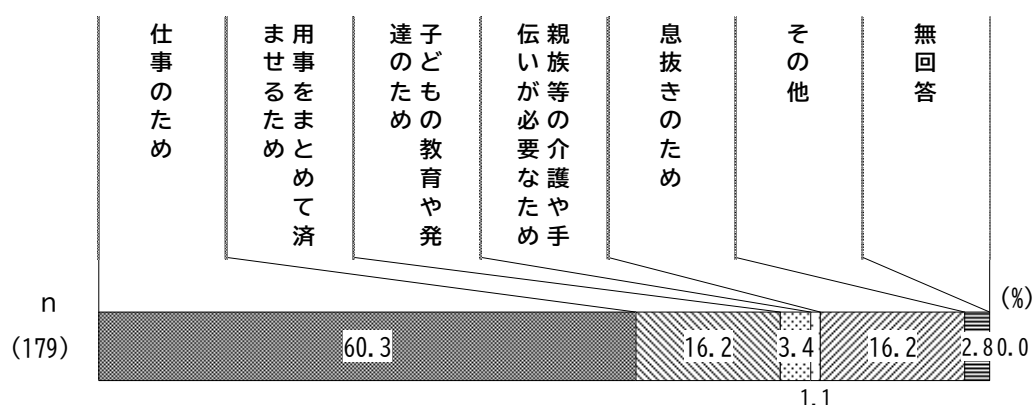
(2)日曜・祝日



（2）土曜・日曜・祝日に月に1～2回教育・保育事業を利用したい理由

問17-1 問17の（1）もしくは（2）で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

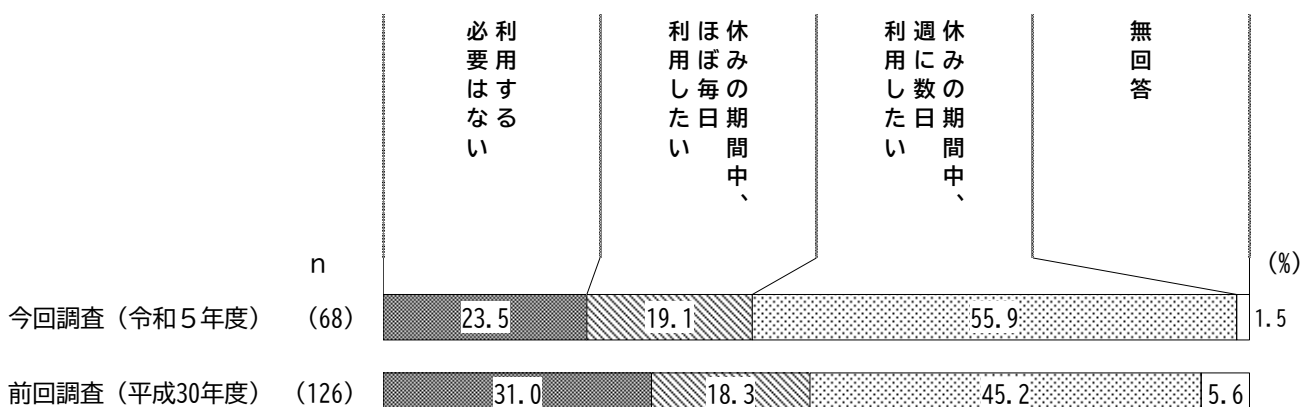
<図表 48>土曜・日曜・祝日に月に1～2回教育・保育事業を利用したい理由



（3）長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

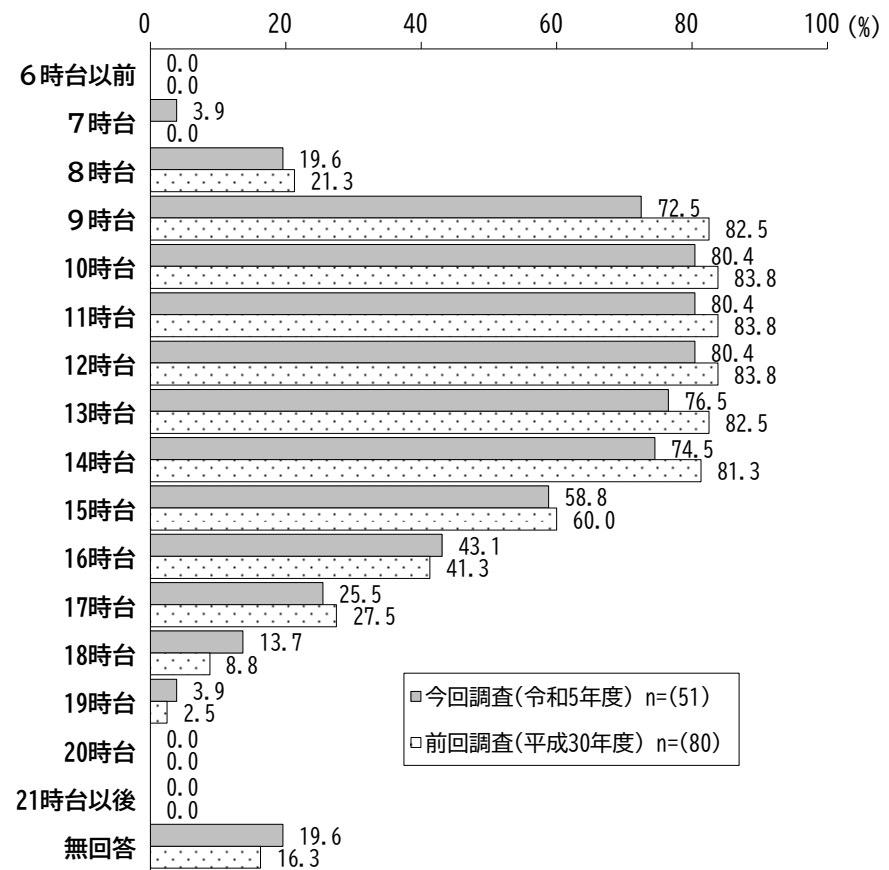
問18 【幼稚園を利用されている方にかがいます】
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

<図表 49>長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望



前回調査に比べて、「利用する必要はない」が7.5ポイント減少し、「休みの期間中、週に数日利用したい」が10.7ポイント増加しています。

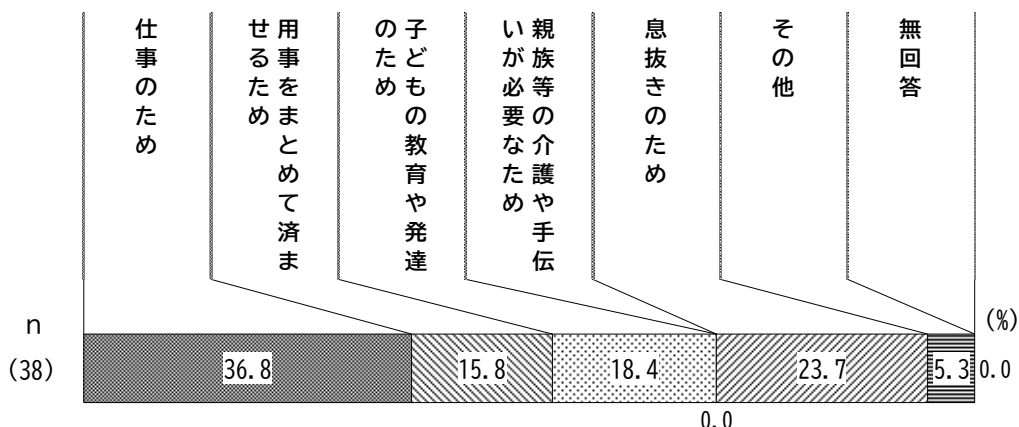
<図表 50> 利用したい時間帯



（４）長期休暇期間中に週に数回教育・保育事業を利用したい理由

問18－１ 問18で「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎日ではなく、週に数回利用したい理由は何ですか。もっとも当てはまる番号１つ
に○をつけてください。

<図表 51>長期休暇期間中に週に数回教育・保育事業を利用したい理由

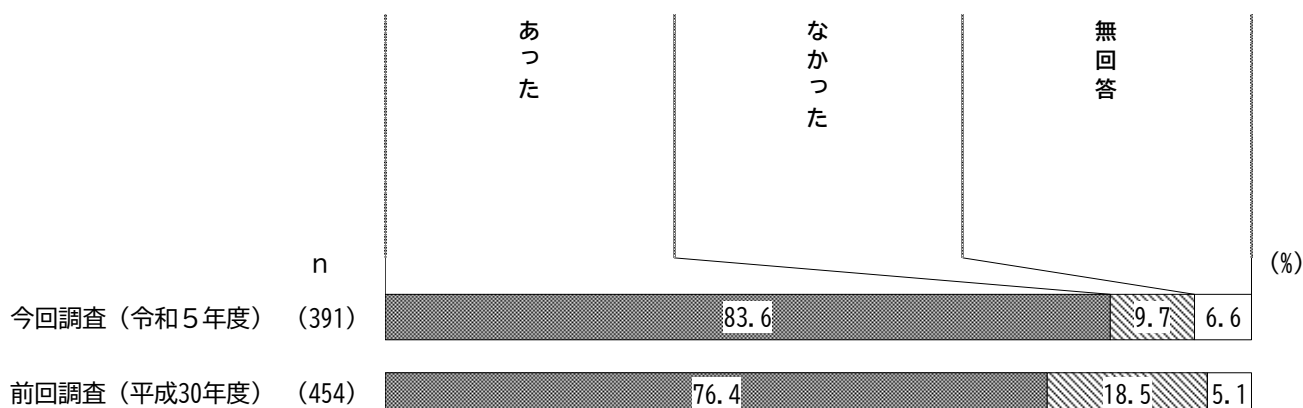


7 病気の際の対応について

（１）平日の教育・保育事業を利用できなかったことの有無

問19 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問11で「利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問20にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

<図表 52>平日の教育・保育事業を利用できなかったことの有無



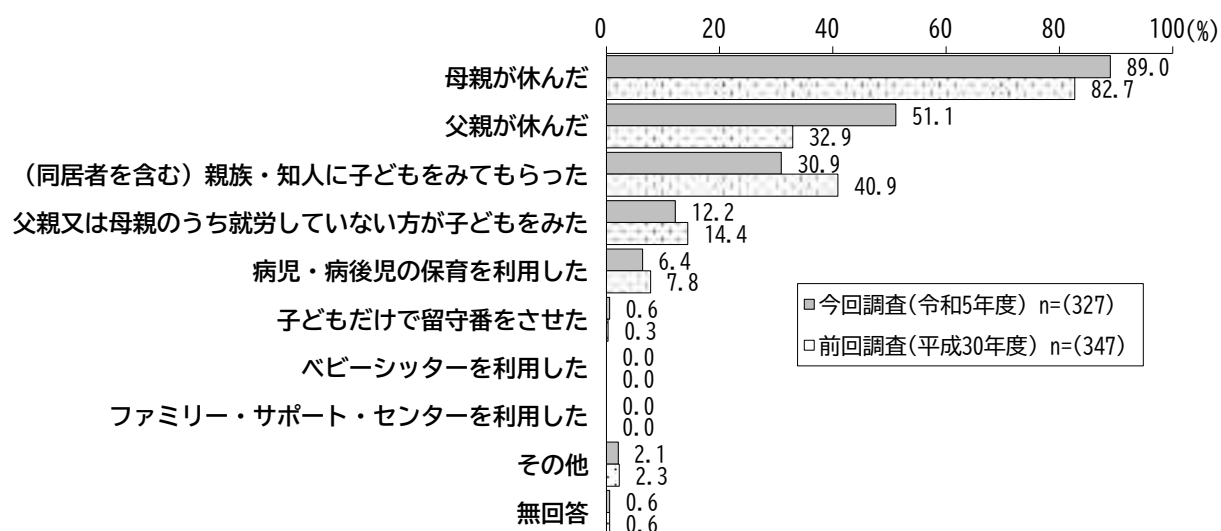
前回調査に比べて、「あった」が7.2ポイント増加しています。

(2) 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

問19-1 問19で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

<図表 53>教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法



前回調査に比べて、「母親が休んだ」が6.3ポイント、「父親が休んだ」が18.2ポイント増加しています。

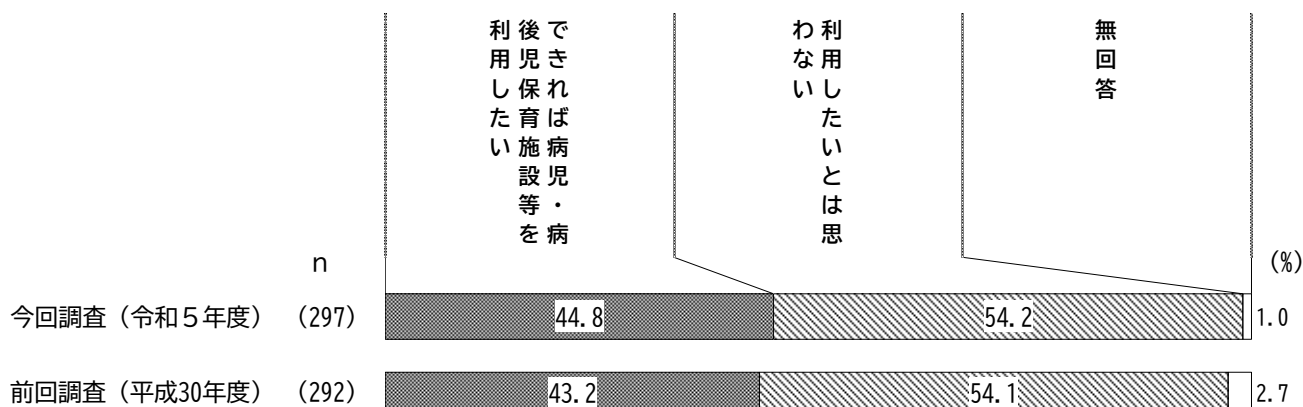
<図表 54>対処内容ごとの1年間の日数

	回答者数 (n)	1 ～ 2 日	3 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 日 以上	(%) 無 回 答
母親が休んだ	291	5.5	9.3	21.3	58.4	5.5
父親が休んだ	167	23.4	18.6	29.9	24.0	4.2
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	101	16.8	16.8	39.6	18.8	7.9
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	40	5.0	5.0	17.5	60.0	12.5
病児・病後児の保育を利用した	21	33.3	14.3	28.6	19.0	4.8
ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもだけで留守番をさせた	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
その他	7	0.0	42.9	28.6	14.3	14.3

（3）病児・病後児保育施設等の利用希望

問19－2 問19－1で「母親が休んだ」「父親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についてもカッコ内に数字でご記入ください。

<図表 55>病児・病後児保育施設等の利用希望



前回調査に比べて、大きな差は見られません。

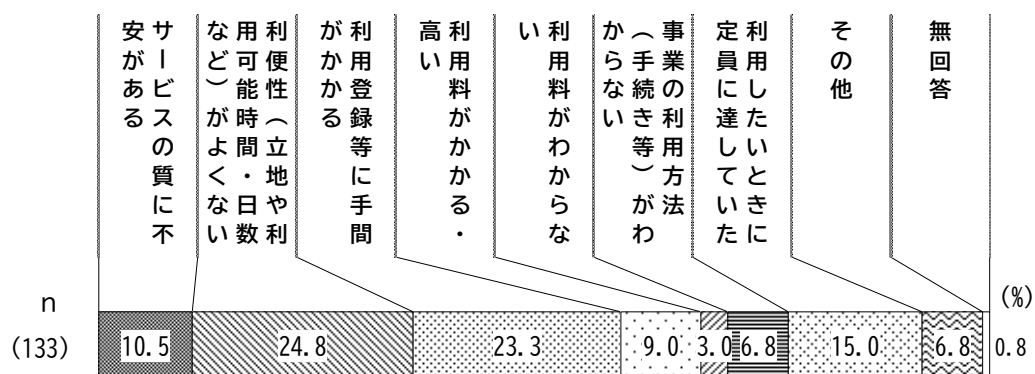
<図表 56>病児・病後児保育施設等の利用希望【1年間の希望利用日数】

	回答者数 (n)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	(%) 無 回 答
今回調査（令和5年度）	133	15.0	29.3	29.3	9.8	3.8	12.8
前回調査（平成30年度）	126	24.6	35.7	16.7	4.0	3.2	15.9

（4）病児・病後児保育施設等を利用していない理由

問19－3 問19－2で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答した方に伺います。
病児・病後児保育施設等を利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 57>病児・病後児保育施設等を利用していない理由

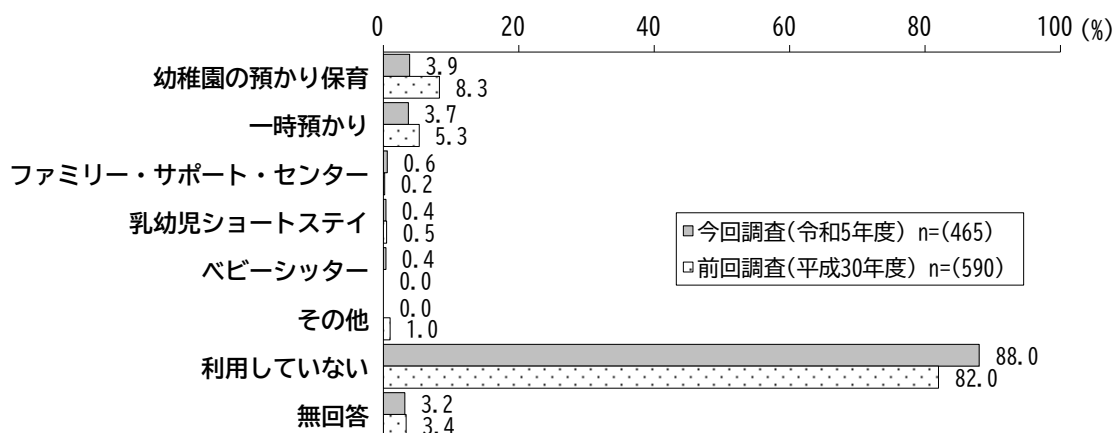


8 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について

（1）私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定のに利用している事業

問20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定のに利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

<図表 58>私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定のに利用している事業



前回調査に比べて、「幼稚園の預かり保育」が4.4ポイント減少しています。

<図表 59>不特定のに利用している事業の1年間の利用日数

	回答者数 (n)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	(%) 無 回 答
一時預かり	17	35.3	11.8	17.6	5.9	23.5	5.9
幼稚園の預かり保育	18	11.1	11.1	27.8	5.6	38.9	5.6
ファミリー・サポート・センター	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
乳幼児ショートステイ	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッター	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

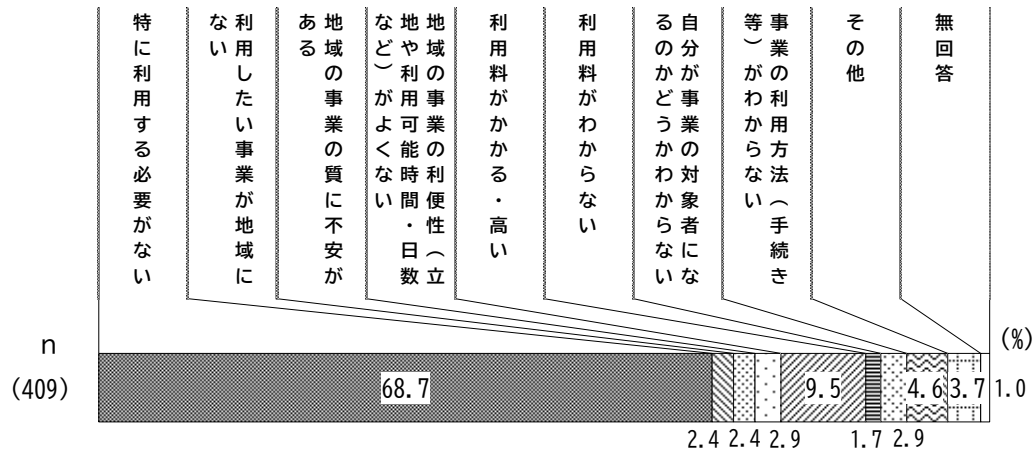
一時預かりにおいては、「1～4日」が35.3%で最も高くなっています。また、幼稚園の預かり保育においては、「30日以上」が38.9%で最も高くなっています。

(2) 利用していない理由

問20-1 問20で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

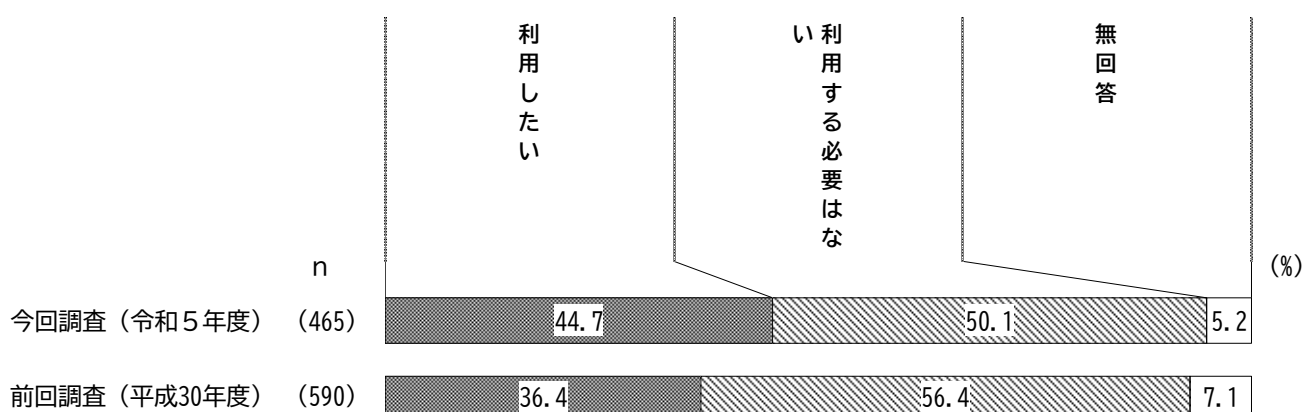
<図表 60> 不定期的に利用していない理由



（3）私用、親の通院、不定期の就労等の目的で必要とする事業の利用希望

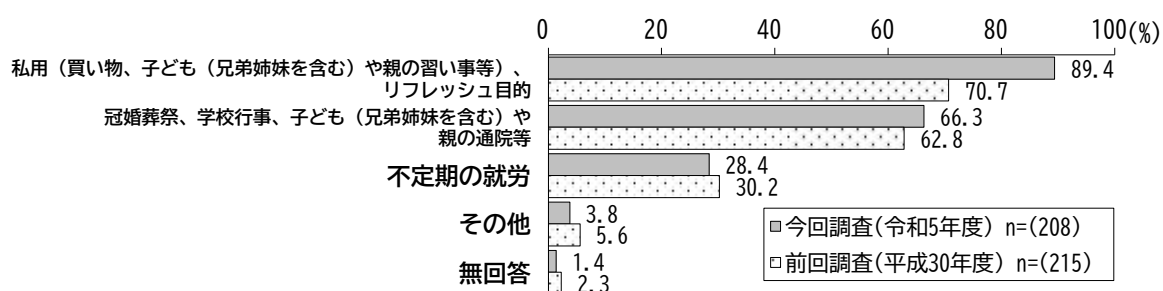
問21 宛名のお子さんに関して、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい、問20の選択肢「一時預かり」～「その他」の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（年間に利用したい日数の合計、その内訳を数字でご記入ください）。

＜図表 61＞私用、親の通院、不定期の就労等の目的で必要とする事業の利用希望



前回調査に比べて、「利用したい」が8.3ポイント増加し、「利用する必要はない」が6.3ポイント減少しています。

＜図表 62＞私用、親の通院、不定期の就労等の目的で必要とする事業の利用希望理由



前回調査に比べて、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が18.7ポイント増加しています。

<図表 63> 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で必要とする事業の1年間の希望利用日数

		(%)					
	回答者数 (n)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	無 回 答
年間の合計	208	5.8	13.9	29.3	14.4	16.8	19.7
私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	186	15.1	25.3	33.3	9.1	10.8	6.5
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	138	26.8	39.9	25.4	2.2	2.2	3.6
不定期の就労	59	22.0	18.6	20.3	16.9	16.9	5.1
その他	8	12.5	0.0	37.5	0.0	37.5	12.5

私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的での希望利用日数は、「10～19日」が33.3%で最も高くなっています。また、冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等においては、「5～9日」が39.9%で最も高くなっています。

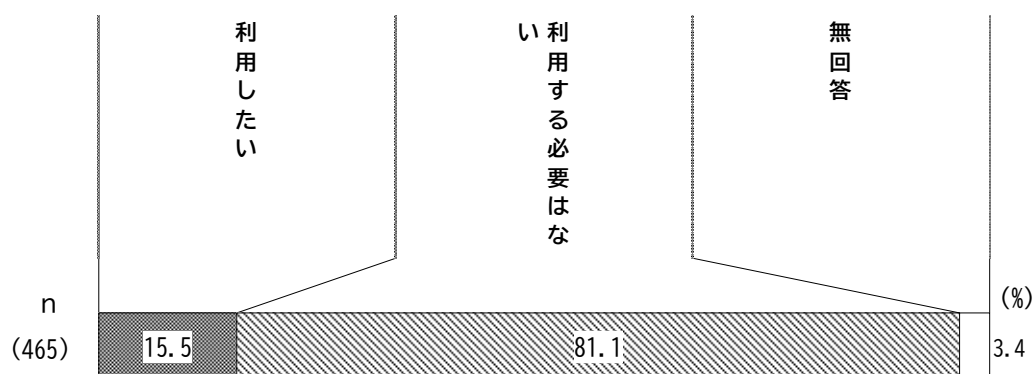
（4）乳幼児ショートステイ事業の利用希望【新規設問】

問22 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

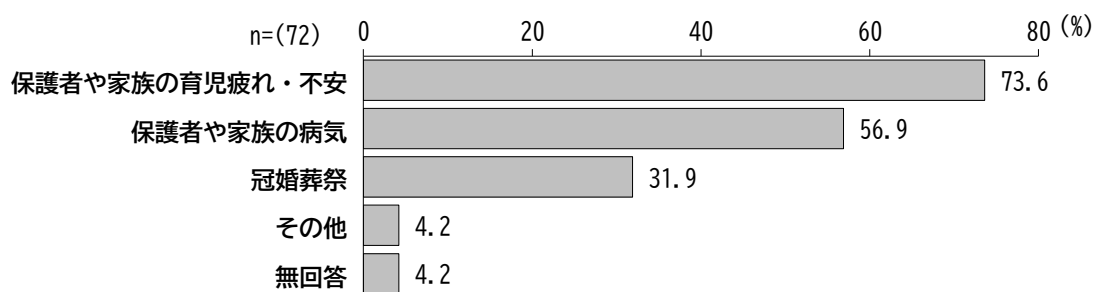
乳幼児ショートステイ事業（児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳を数字でご記入ください。）。

なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかることとなります。

<図表 64>乳幼児ショートステイ事業の利用希望



<図表 65>乳幼児ショートステイ事業の利用を希望する理由



<図表 66>乳幼児ショートステイ事業の1年間の利用希望泊数

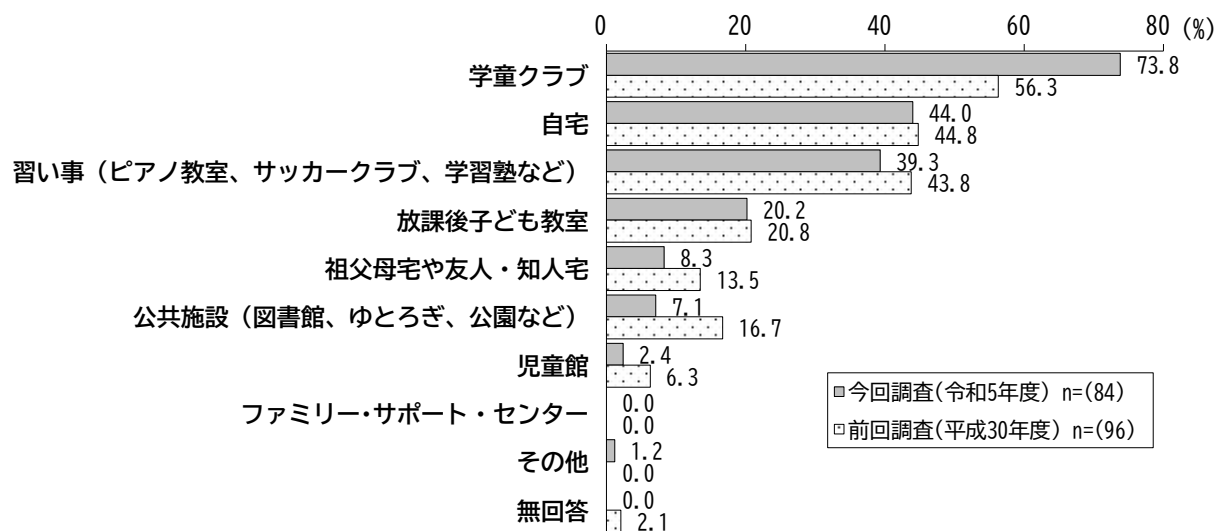
	回答者数 (n)	1泊	2泊	3泊	4泊以上	無回答
年間の合計	72	5.6	11.1	8.3	47.2	27.8
冠婚葬祭	23	34.8	17.4	21.7	17.4	8.7
保護者や家族の育児疲れ・不安	53	18.9	24.5	7.5	35.8	13.2
保護者や家族の病気	41	7.3	22.0	4.9	46.3	19.5
その他	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3

9 小学校就学後の放課後の過ごし方（来年度小学校に就学する方のみ）について

（1）小学校就学後に希望する放課後の過ごし方

問23 宛名のお子さんについて、小学生のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）と小学校高学年（4～6年生）について、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をカッコ内に数字でご記入ください。

<図表 67> 小学校就学後（低学年時）に希望する放課後の過ごし方



前回調査に比べて、「学童クラブ」が17.5ポイント増加し、「祖父母宅や友人・知人宅」が5.2ポイント減少しています。

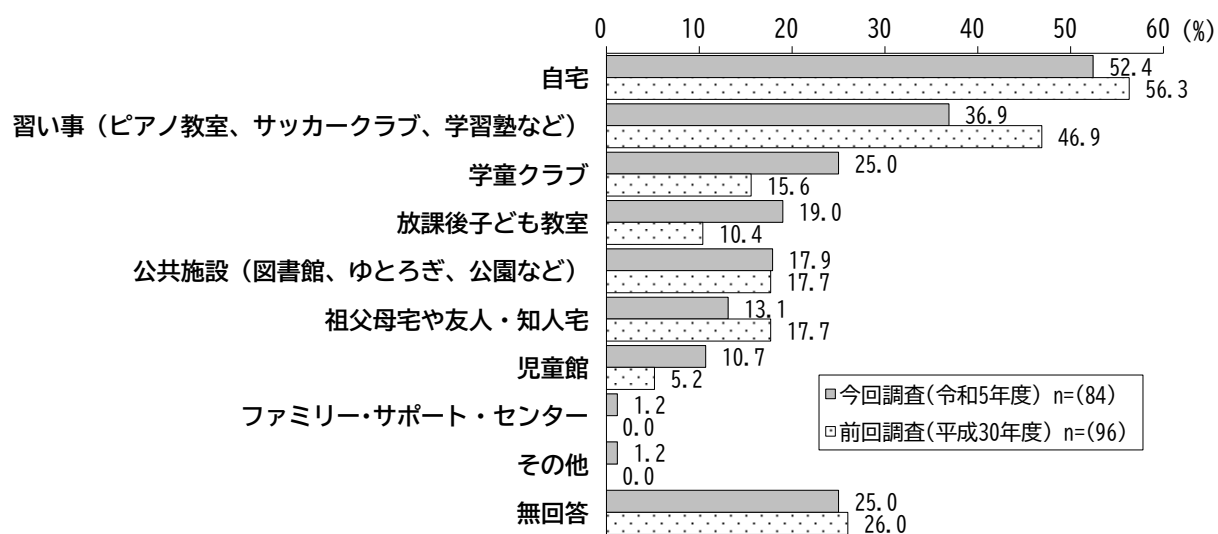
第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

＜図表 68＞小学校就学後（低学年時）に希望する放課後の居場所の1週間当たりの希望利用日数

	回答者数 (n)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	(%) 無 回 答
自宅	37	13.5	18.9	29.7	13.5	16.2	2.7	0.0	5.4
祖父母や友人・知人宅	7	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	33	39.4	42.4	15.2	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童館	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
放課後子ども教室	17	23.5	52.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8
学童クラブ	62	1.6	4.8	17.7	3.2	61.3	3.2	0.0	8.1
ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など）	6	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

小学校就学後（低学年時）に希望する放課後の居場所の1週間当たりの希望利用日数については、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）、放課後子ども教室では「2日」が最も高く、自宅では「3日」が最も高く、学童クラブでは「5日」が最も高くなっています。

<図表 69> 小学校就学後（高学年時）に希望する放課後の過ごし方



前回調査に比べて、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が10.0ポイント減少しています。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

＜図表 70＞小学校就学後（高学年時）に希望する放課後の居場所の1週間当たりの希望利用日数

	回答者数 (n)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	(%) 無 回 答
自宅	44	2.3	31.8	25.0	2.3	27.3	0.0	0.0	11.4
祖父母や友人・知人宅	11	36.4	36.4	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	31	16.1	51.6	25.8	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2
児童館	9	44.4	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
放課後子ども教室	16	25.0	37.5	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5
学童クラブ	21	4.8	4.8	14.3	0.0	23.8	0.0	0.0	52.4
ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など）	15	33.3	33.3	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

小学校就学後（高学年時）に希望する放課後の居場所の1週間当たりの希望利用日数については、自宅、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）、放課後子ども教室では「2日」が最も高く、学童クラブでは「5日」が最も高くなっています。

（2）平日放課後・土曜・日曜・祝日・夏休み・冬休み等の学童クラブの利用希望

問24 問23で「学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、学童クラブを何年生まで利用したいと思いますか。平日の放課後、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等の長期休暇期間中のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯も、（例）9～18時のように24時間制でご記入ください。

<図表 71>学童クラブの利用希望

							(%)
	回答者数 (n)	低学年（1～3年生） 間は利用したい	4年生まで 利用したい	5年生まで 利用したい	6年生まで 利用したい	利用する 必要はない	無回答
平日の放課後	62	69.4	11.3	4.8	14.5	0.0	0.0
土曜日	62	21.0	8.1	4.8	4.8	48.4	12.9
日曜・祝日	62	9.7	3.2	3.2	3.2	62.9	17.7
夏休み・冬休み等	62	50.0	16.1	4.8	17.7	4.8	6.5

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

<図表 72>利用したい時間帯

(1) 平日の放課後

	全体	低学年（1～3年生） 利用したい	4年生まで 利用したい	5年生まで 利用したい	6年生まで 利用したい
					(%)
回答者数（n）	62	43	7	3	9
14時まで	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15時まで	1.6	2.3	0.0	0.0	0.0
16時まで	3.2	2.3	14.3	0.0	0.0
17時まで	27.4	34.9	14.3	0.0	11.1
18時まで	56.5	48.8	71.4	66.7	77.8
19時まで	4.8	4.7	0.0	33.3	0.0
20時まで	1.6	2.3	0.0	0.0	0.0
21時以降	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4.8	4.7	0.0	0.0	11.1

(2) 土曜日

	全体	低学年（1～3年生） 利用したい	4年生まで 利用したい	5年生まで 利用したい	6年生まで 利用したい
					(%)
回答者数（n）	24	13	5	3	3
6時台以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	8.3	0.0	20.0	0.0	33.3
8時台	66.7	61.5	80.0	33.3	100.0
9時台	83.3	76.9	100.0	66.7	100.0
10時台	83.3	76.9	100.0	66.7	100.0
11時台	83.3	76.9	100.0	66.7	100.0
12時台	83.3	76.9	100.0	66.7	100.0
13時台	83.3	76.9	100.0	66.7	100.0
14時台	83.3	76.9	100.0	66.7	100.0
15時台	87.5	84.6	100.0	66.7	100.0
16時台	87.5	84.6	100.0	66.7	100.0
17時台	83.3	76.9	100.0	66.7	100.0
18時台	62.5	46.2	80.0	66.7	100.0
19時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21時台以後	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	12.5	15.4	0.0	33.3	0.0

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

（3）日曜・祝日

	全体	低学年（1～3年生）の間は 利用したい	4年生まで利用したい	5年生まで利用したい	6年生まで利用したい
回答者数（n）	12	6	2	2	2
6時台以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	8.3	0.0	0.0	0.0	50.0
8時台	58.3	50.0	50.0	50.0	100.0
9時台	83.3	83.3	100.0	50.0	100.0
10時台	83.3	83.3	100.0	50.0	100.0
11時台	83.3	83.3	100.0	50.0	100.0
12時台	83.3	83.3	100.0	50.0	100.0
13時台	83.3	83.3	100.0	50.0	100.0
14時台	83.3	83.3	100.0	50.0	100.0
15時台	83.3	83.3	100.0	50.0	100.0
16時台	83.3	83.3	100.0	50.0	100.0
17時台	83.3	83.3	100.0	50.0	100.0
18時台	58.3	33.3	100.0	50.0	100.0
19時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21時台以後	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0

（4）夏休み・冬休み等

	全体	低学年（1～3年生）の間は 利用したい	4年生まで利用したい	5年生まで利用したい	6年生まで利用したい
回答者数（n）	55	31	10	3	11
6時台以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	5.5	3.2	0.0	0.0	18.2
8時台	72.7	77.4	60.0	33.3	81.8
9時台	90.9	96.8	90.0	66.7	81.8
10時台	92.7	96.8	100.0	66.7	81.8
11時台	92.7	96.8	100.0	66.7	81.8
12時台	92.7	96.8	100.0	66.7	81.8
13時台	92.7	96.8	100.0	66.7	81.8
14時台	92.7	96.8	100.0	66.7	81.8
15時台	94.5	96.8	100.0	66.7	90.9
16時台	94.5	96.8	100.0	66.7	90.9
17時台	89.1	90.3	100.0	66.7	81.8
18時台	61.8	58.1	50.0	66.7	81.8
19時台	3.6	6.5	0.0	0.0	0.0
20時台	1.8	3.2	0.0	0.0	0.0
21時台以後	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	5.5	3.2	0.0	33.3	9.1

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

10 保護者の就労状況について

（1）保護者の現在の就労状況

問25 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 73> 保護者の現在の就労状況

	回答者数（n）	フルタイムで就労しており、 介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、 介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
母親	462	37.2	10.2	28.1	3.2	19.0	0.4	1.7
父親	440	93.9	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	4.8

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労／パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

<図表 74> 母親 現在の就労状況（前回調査との比較）

	回答者数（n）	フルタイムで就労しており、 介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、 介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
今回調査（令和5年度）	462	37.2	10.2	28.1	3.2	19.0	0.4	1.7
前回調査（平成30年度）	587	31.3	8.7	26.9	3.2	26.4	2.0	1.4

<図表 75> 父親 現在の就労状況（前回調査との比較）

(%)

	回答者数（n）	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
今回調査（令和5年度）	440	93.9	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	4.8
前回調査（平成30年度）	562	89.9	0.4	1.1	0.0	0.7	0.0	8.0

<図表 76> 保護者の現在の就労状況【1週間当たりの就労日数】

(%)

	回答者数（n）	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
母親	364	0.0	0.5	8.5	14.3	67.3	7.1	0.5	1.6
父親	417	0.0	0.0	1.2	0.7	71.9	23.0	2.2	1.0

<図表 77> 保護者の現在の就労状況【1日当たりの就業時間】

(%)

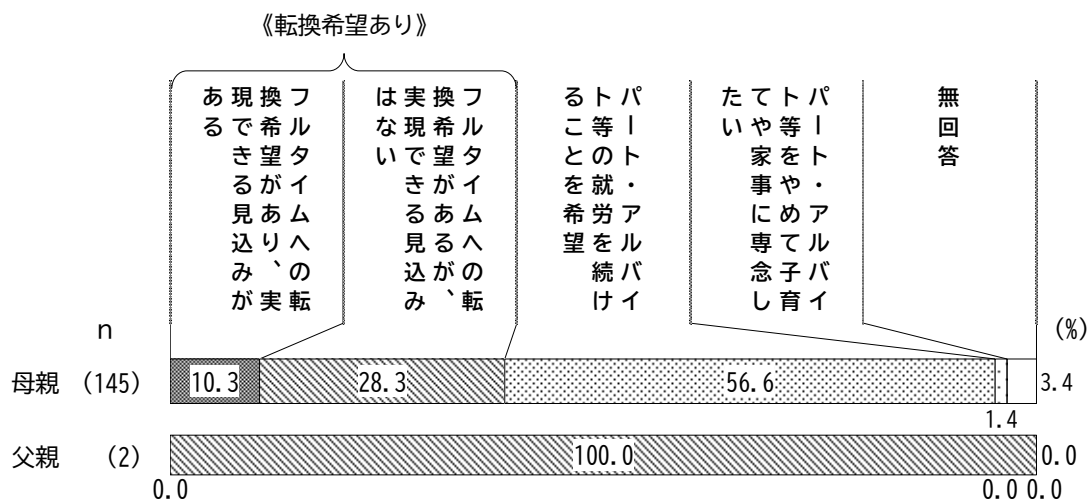
	回答者数（n）	4時間未満	74時間未満以上	170時間未満以上	1120時間未満以上	12時間以上	無回答
母親	364	1.9	25.3	64.0	5.8	0.8	2.2
父親	417	0.2	0.5	57.1	26.9	13.9	1.4

（2）フルタイムへの転換希望

問26 母親又は父親の就労状況（問25）で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問27へお進みください。

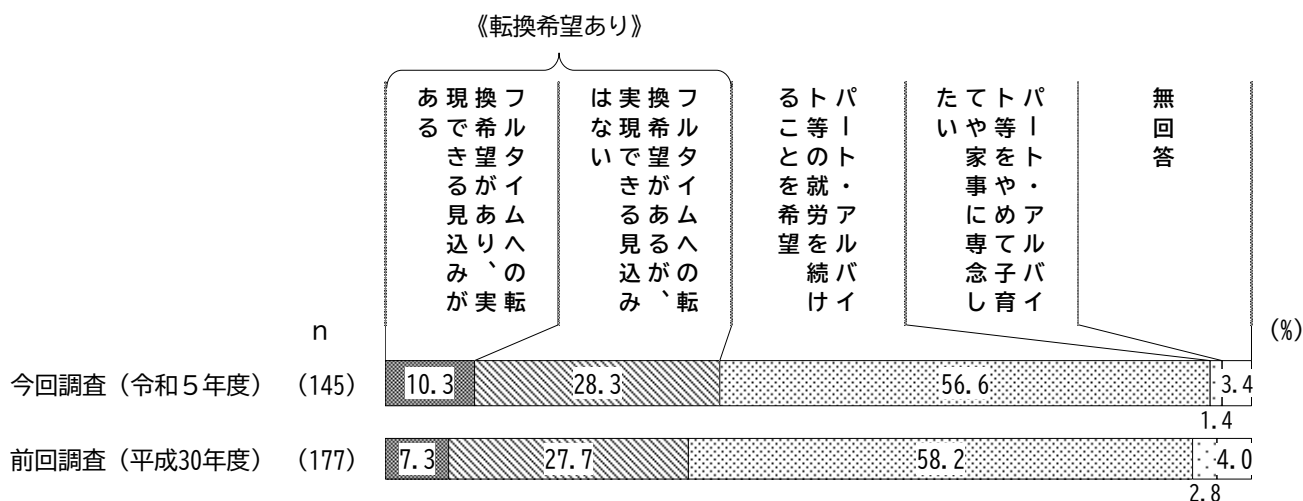
フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 78>フルタイムへの転換希望

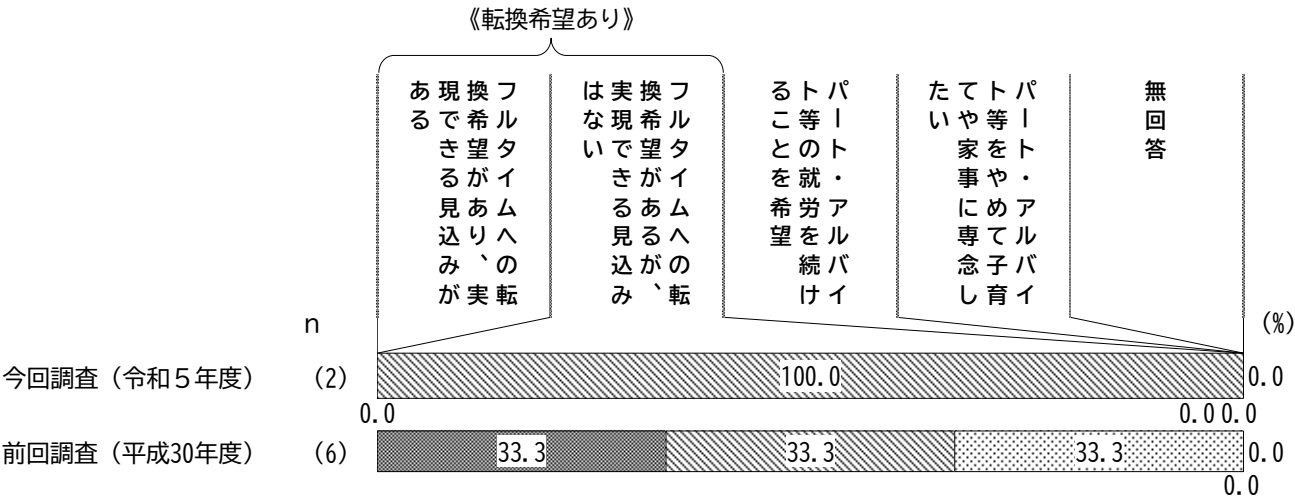


※（2）父親は母数が少ないため、参考として掲載

<図表 79>母親 フルタイムへの転換希望(前回調査との比較)



<図表 80>父親 フルタイムへの転換希望(前回調査との比較)

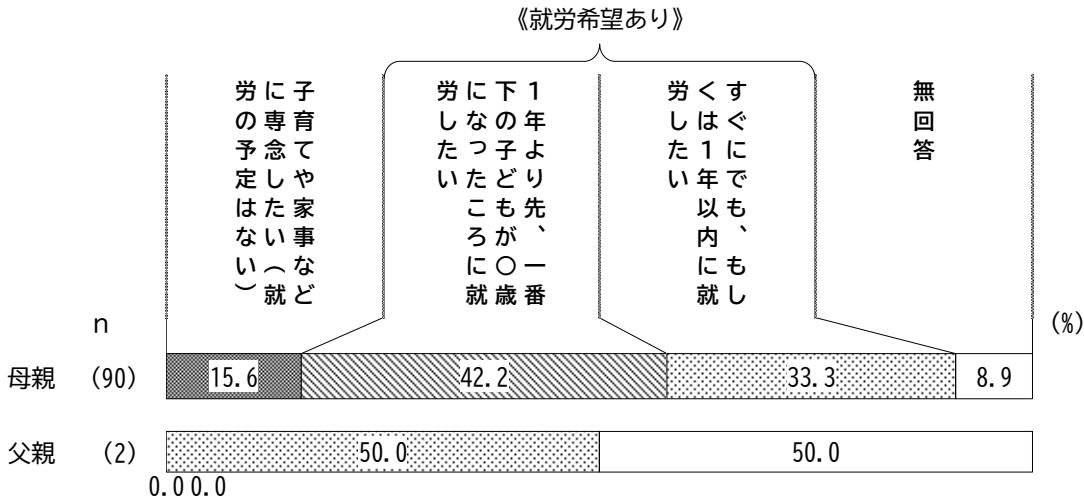


(3) 今後の就労希望

問27 母親又は父親の就労状況（問25）で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は問28へお進みください。

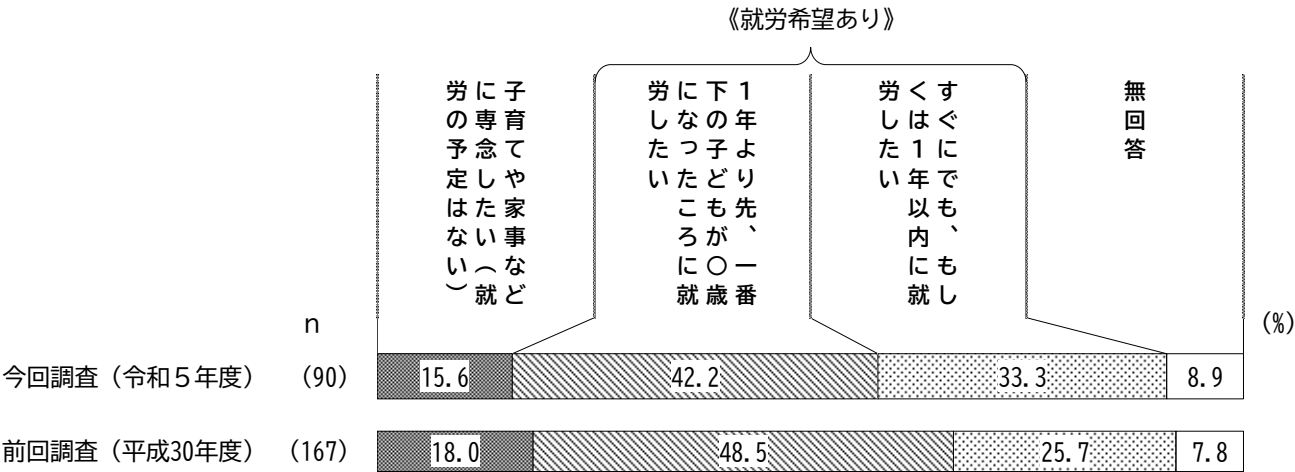
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当するカッコ内には数字をご記入ください。

<図表 81>今後の就労希望

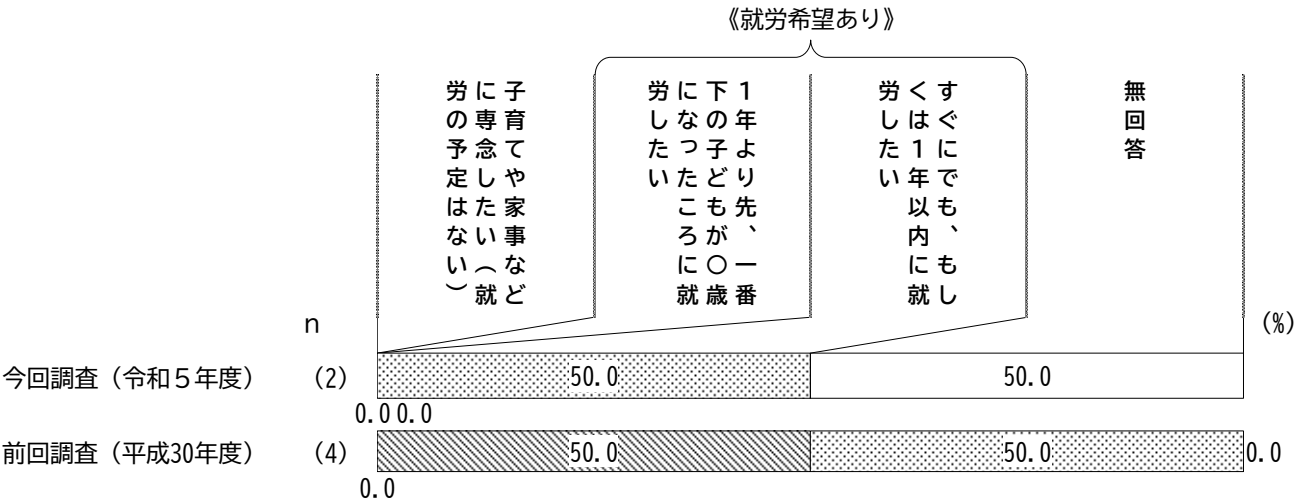


第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

＜図表 82＞母親の今後の就労希望（前回調査との比較）



＜図表 83＞父親の今後の就労希望（前回調査との比較）



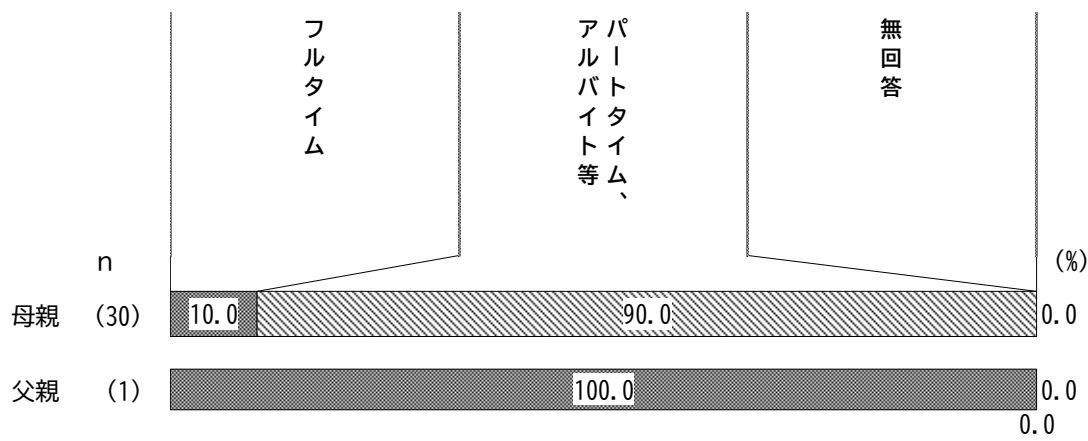
※（2）父親は母数が少ないため、参考として掲載

＜図表 84＞就労希望時の子どもの年齢

	回答者数（n）	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	無回答
母親	38	13.2	5.3	28.9	21.1	5.3	23.7	2.6

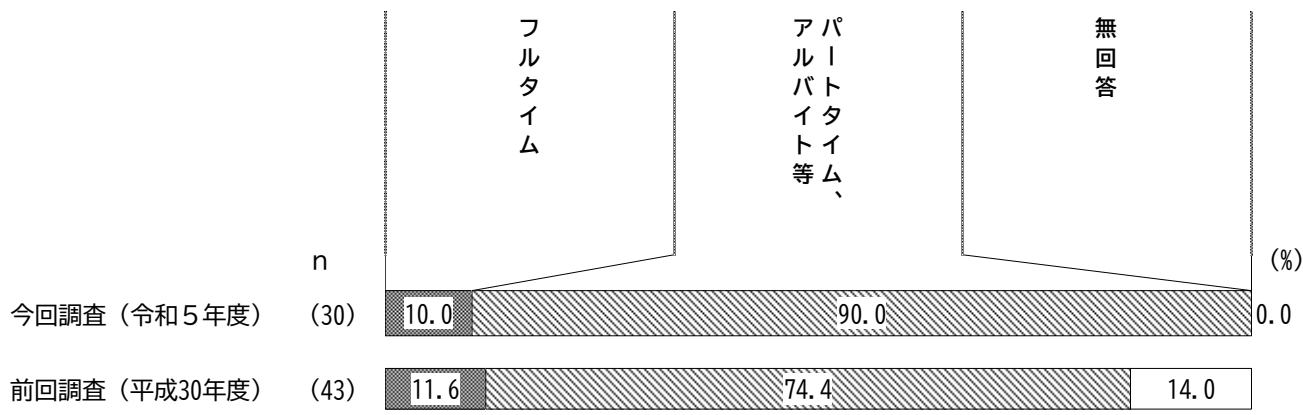
※（2）父親は回答なし

＜図表 85＞希望する就労形態



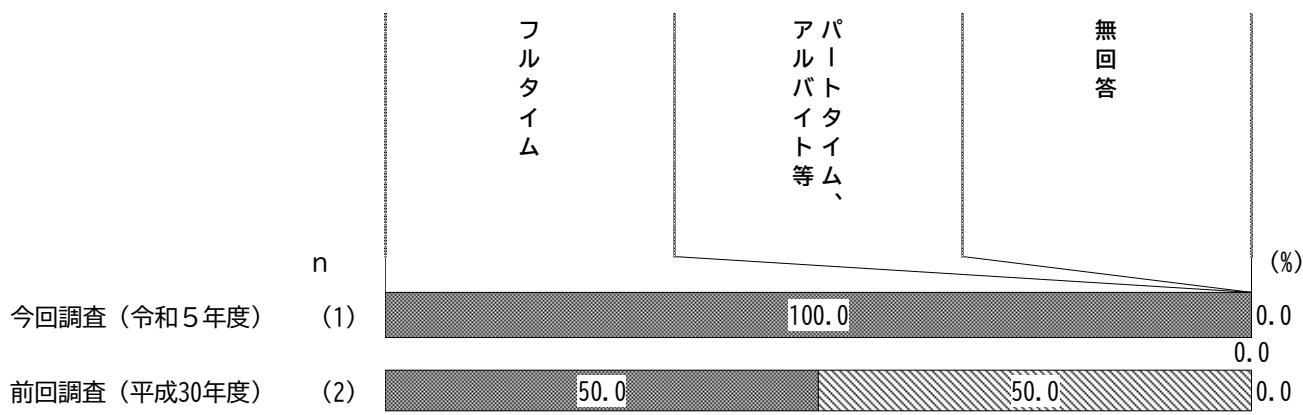
※ 父親は母数が少ないため、参考として掲載

＜図表 86＞母親 希望する就労形態(前回調査との比較)



前回調査に比べて、「パートタイム、アルバイト等」が15.6ポイント増加しています。

＜図表 87＞父親 希望する就労形態(前回調査との比較)



※ 母数が少ないため、参考として掲載

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

<図表 88>希望する1週間当たりの就労日数

	回答者数 (n)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	(%) 無回答
母親	27	0.0	0.0	44.4	44.4	7.4	0.0	0.0	3.7

※（2）父親は回答なし

<図表 89>希望する1日当たりの就労時間

	回答者数 (n)	4時間未満	74時間未満 74時間以上	170時間未満 170時間以上	1時間未満 1時間以上 12時間以上	無回答	(%)
母親	27	14.8	74.1	7.4	0.0	0.0	3.7

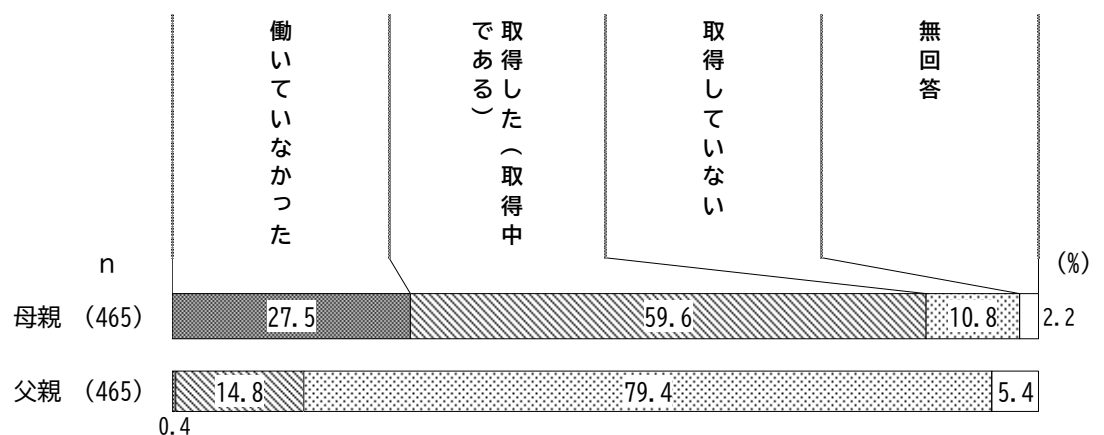
※（2）父親は回答なし

11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

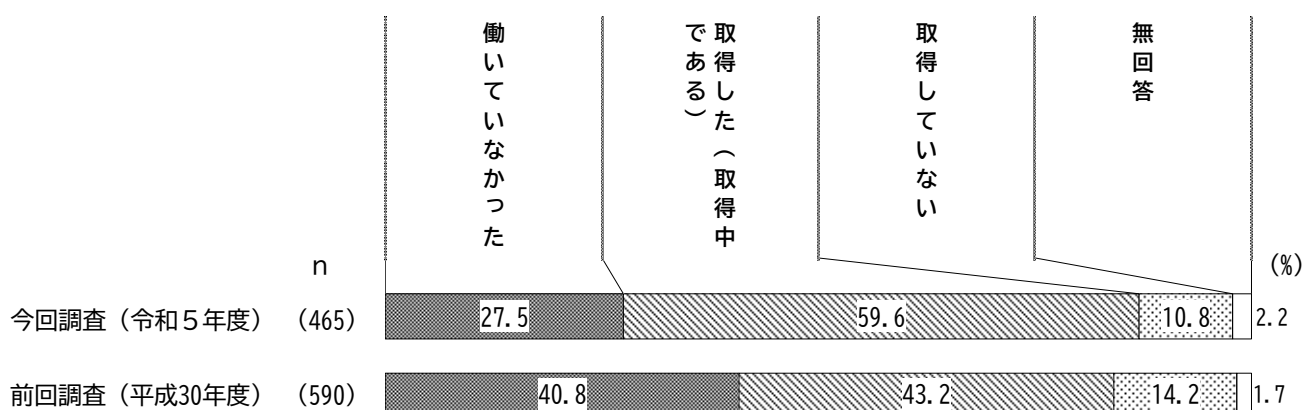
（1）育児休業の取得状況

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由として当てはまる番号すべてを選択肢から選んでご記入ください。

<図表 90>育児休業の取得状況

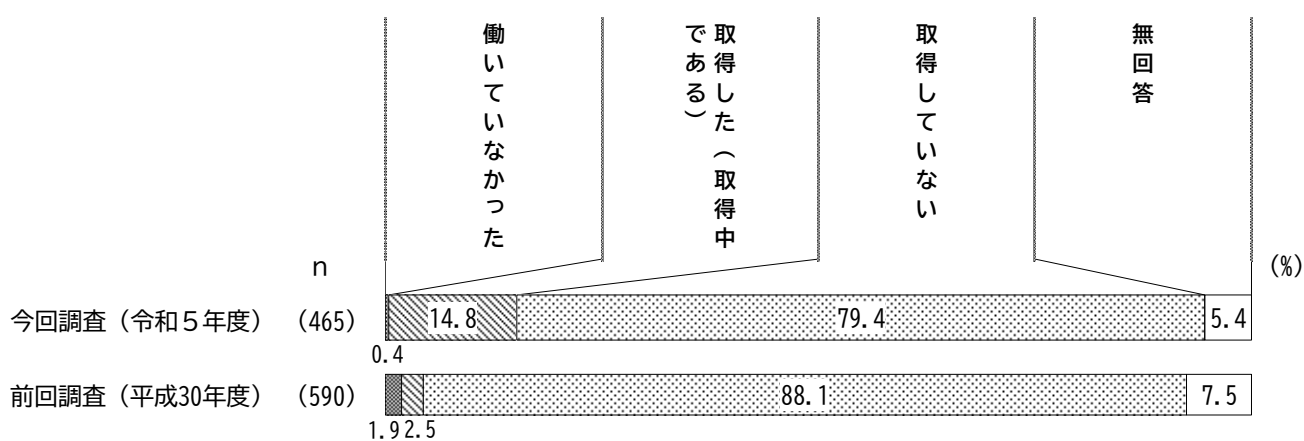


<図表 91> 母親 育児休業の取得状況(前回調査との比較)



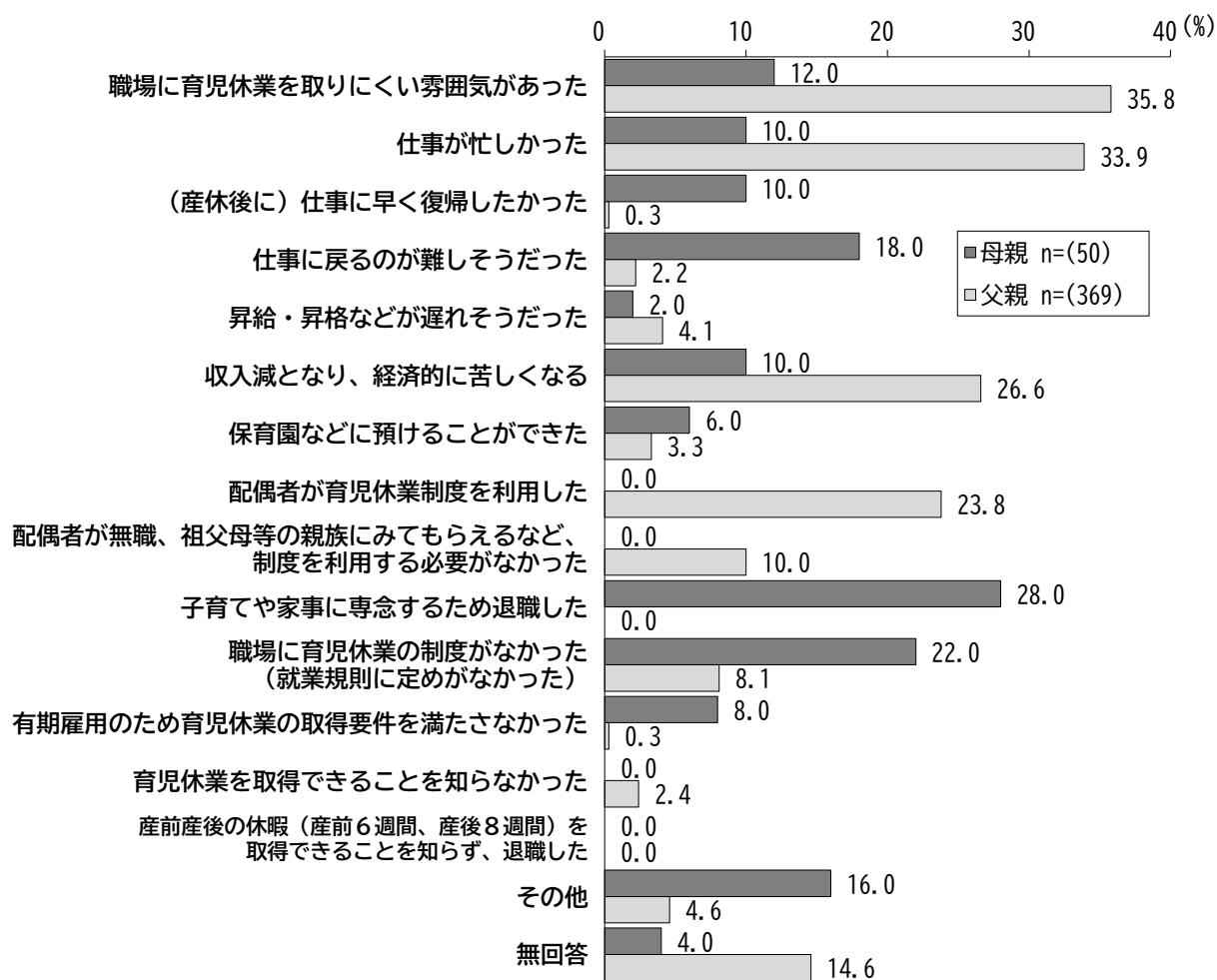
前回調査に比べて、「取得した」が16.4ポイント増加しています。

<図表 92> 父親 育児休業の取得状況(前回調査との比較)



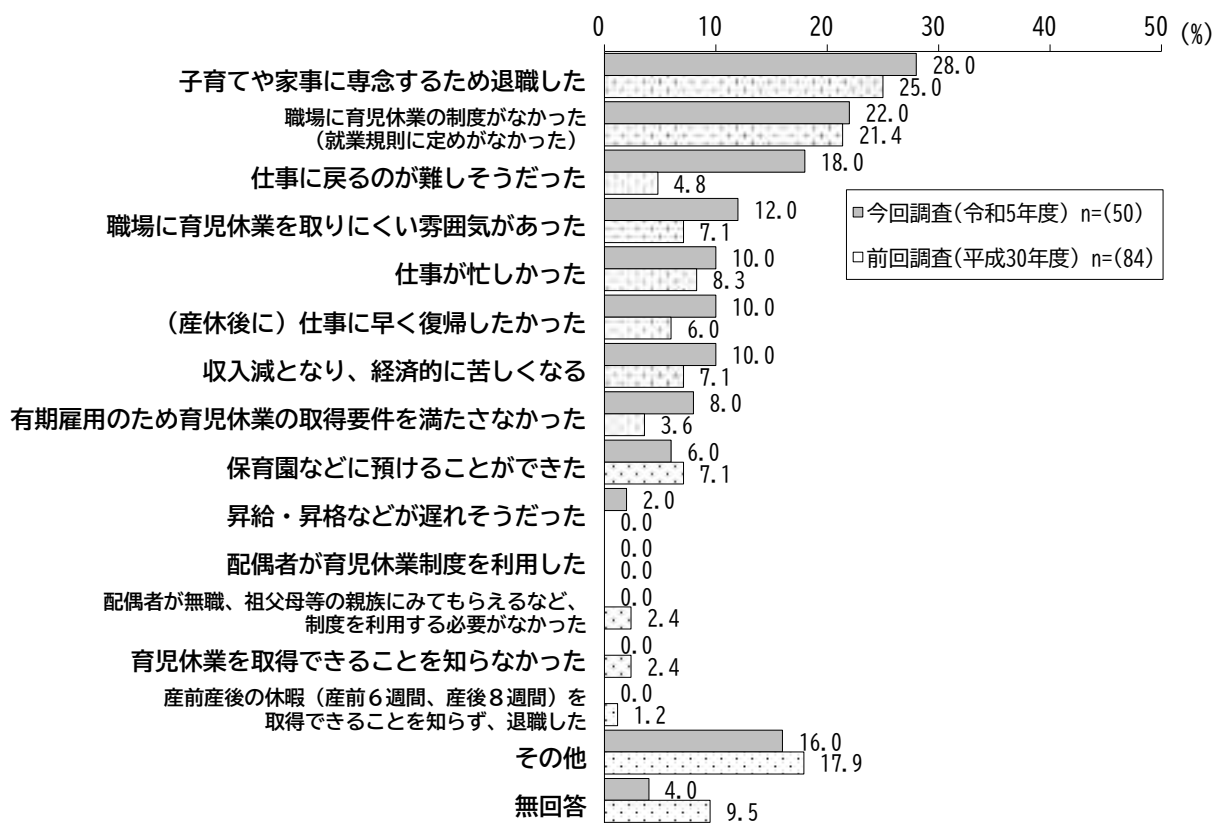
前回調査に比べて、「取得した」が12.3ポイント増加し、「取得していない」が8.7ポイント減少しています。

＜図表 93＞育児休業を取得していない理由



「その他」と回答した方の記入内容は、「自営業のため」、「仕事を辞めた・辞めさせられた」が挙げられています。

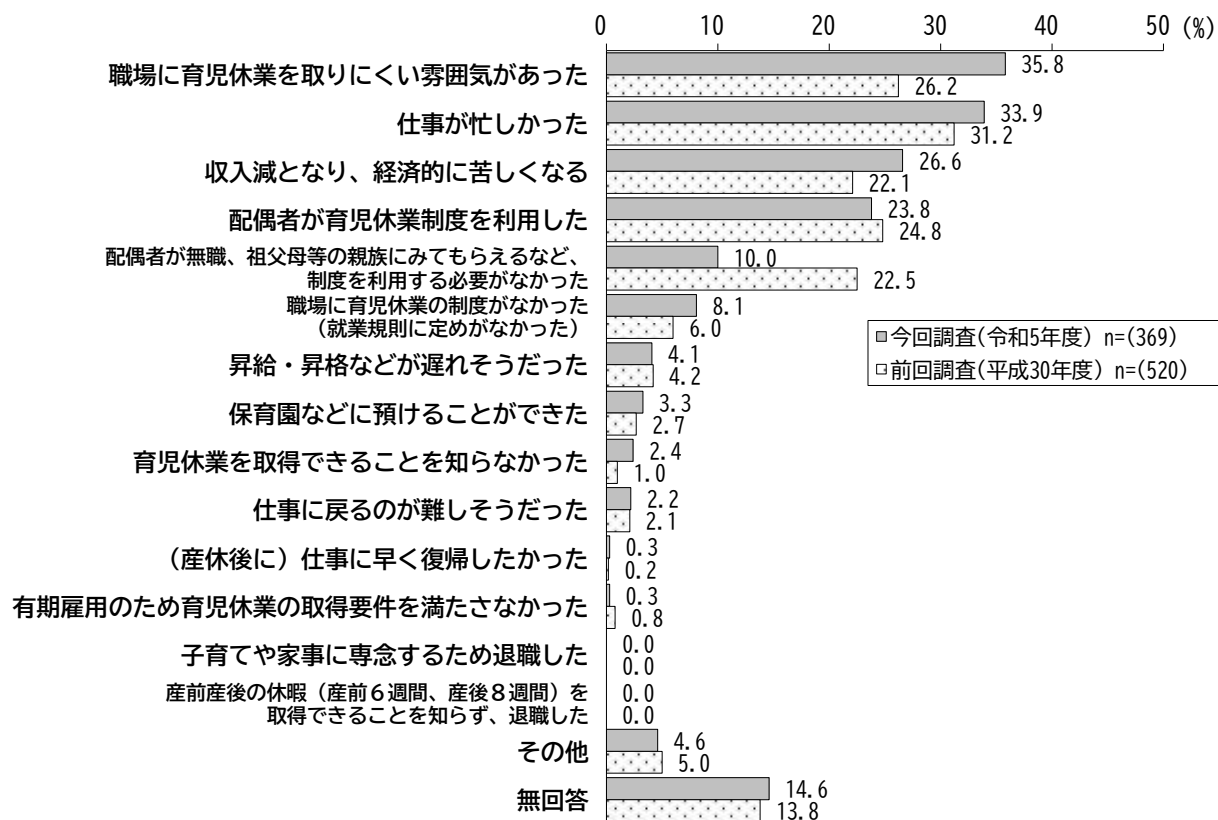
<図表 94> 母親 育児休業を取得していない理由(前回調査との比較)



前回調査に比べて、「仕事に戻るのが難しそうだった」が13.2ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が4.9ポイント増加しています。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

<図表 95> 父親 育児休業を取得していない理由(前回調査との比較)

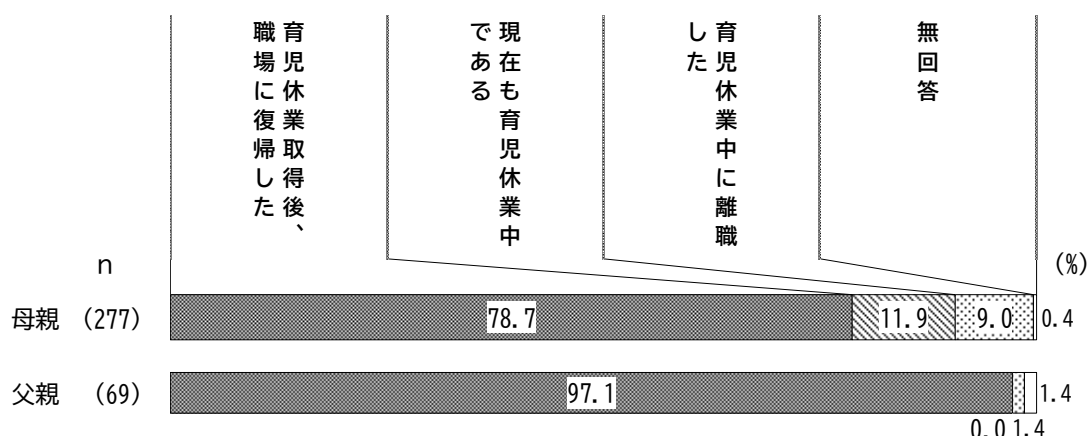


前回調査に比べて、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が9.6ポイント増加しています。一方で、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が12.5ポイント減少しています。

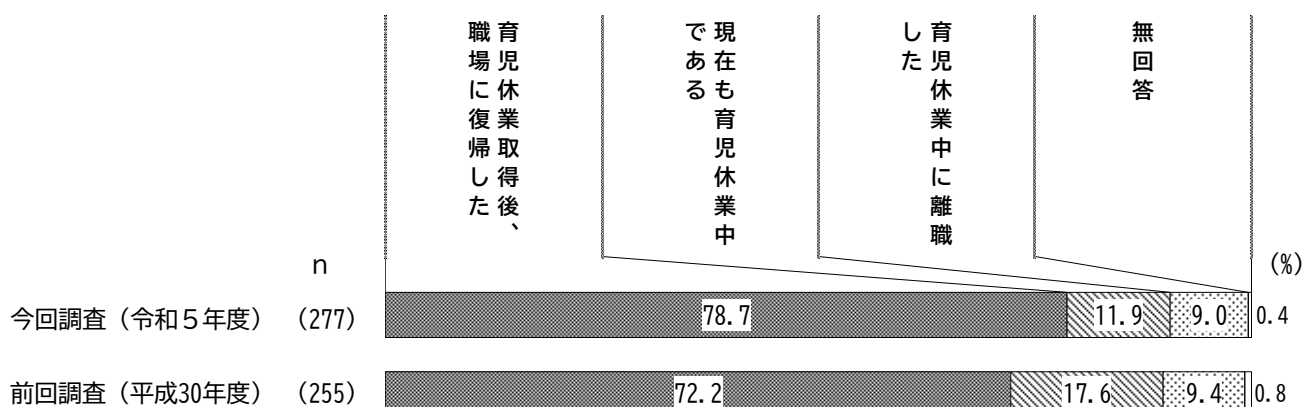
(2) 育児休業後の職場復帰の状況

問28-1 問28で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問29へお進みください。
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 96> 育児休業後の職場復帰の状況

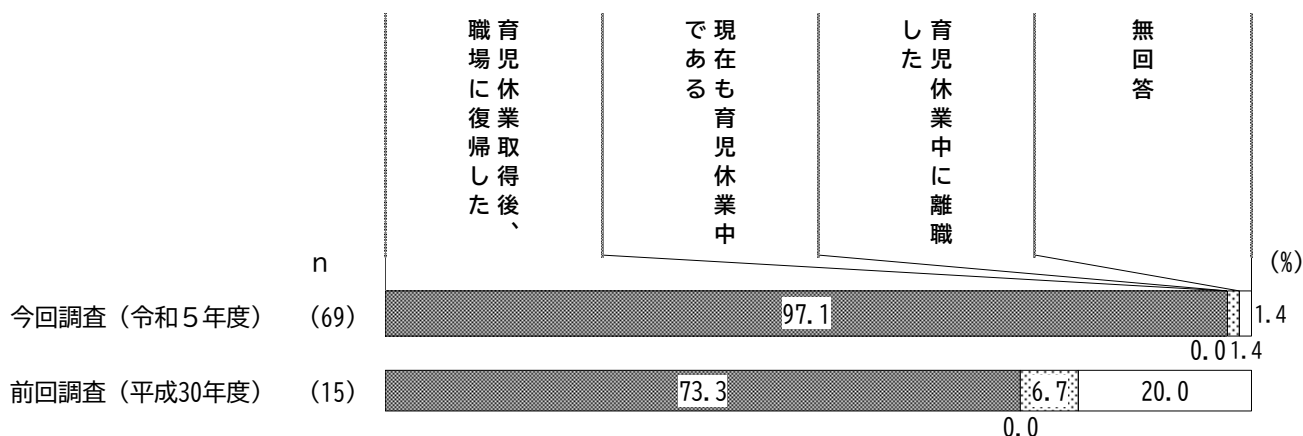


<図表 97> 母親 育児休業後の職場復帰の状況(前回調査との比較)



前回調査に比べて、「育児休業取得後、職場に復帰した」が6.5ポイント増加し、「現在も育児休業中である」が5.7ポイント減少しています。

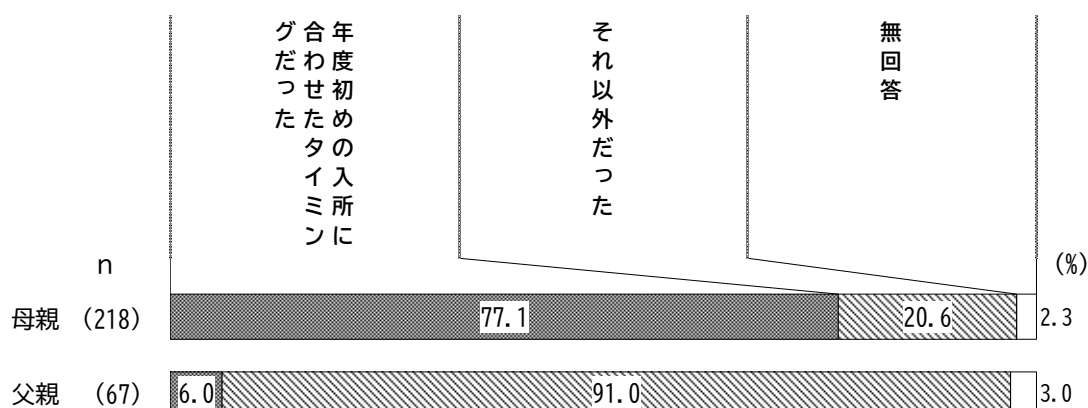
<図表 98> 父親 育児休業後の職場復帰の状況(前回調査との比較)



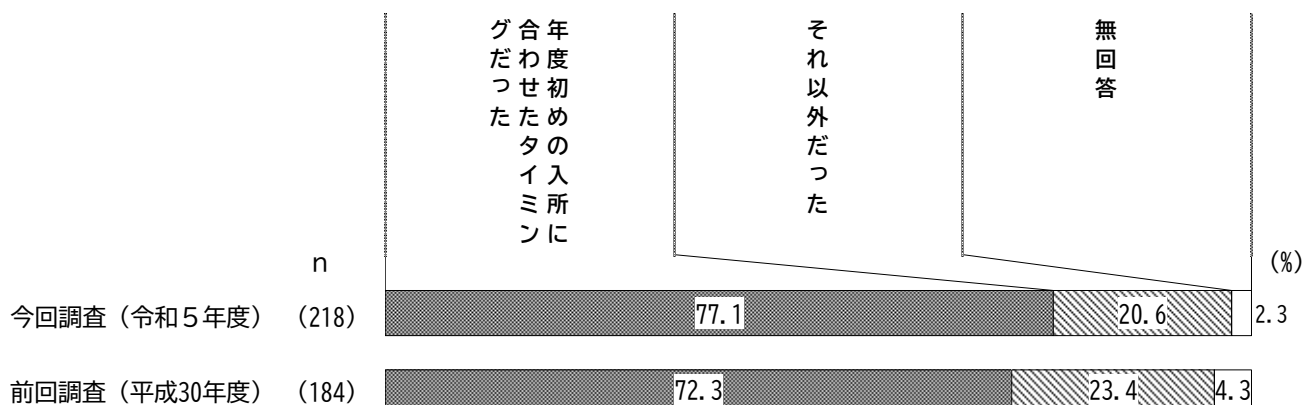
（3）職場復帰のタイミング

問28－2 問28－1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

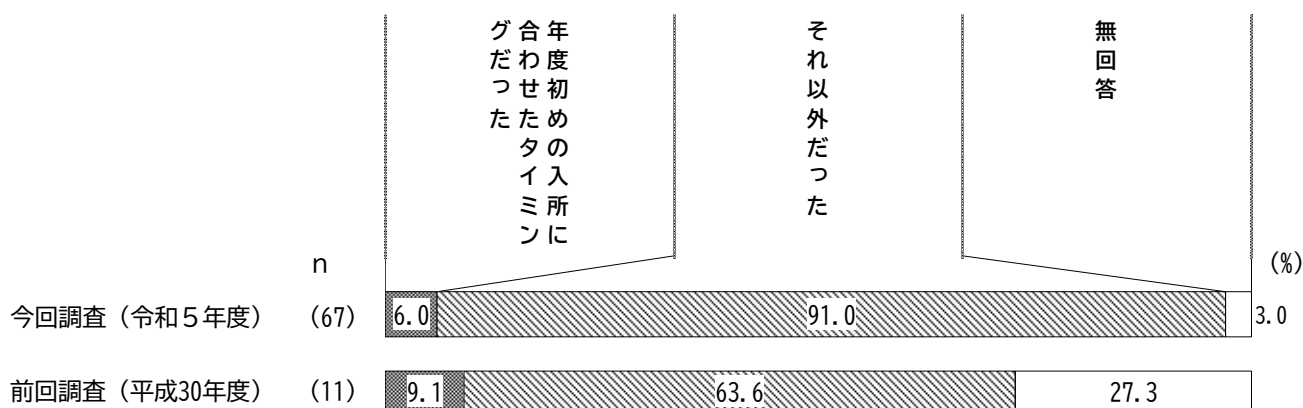
<図表 99> 職場復帰のタイミング



<図表 100> 母親 職場復帰のタイミング(前回調査との比較)



<図表 101>父親 職場復帰のタイミング(前回調査との比較)



(4) 育児休業の取得期間と希望

問28－3 問28－1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときまで取得しましたか。また、
「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取得したかったですか。カッコ内に数字でご記入ください。

<図表 102>育児休業の取得期間

	回答者数 (n)	0歳6ヶ月未満	1歳6ヶ月未満	1歳6ヶ月未満	2歳6ヶ月未満	2歳6ヶ月未満	3歳6ヶ月未満	3歳以上	無回答
母親	218	8.3	35.3	31.7	14.7	3.2	1.4	0.5	5.0
父親	67	52.2	11.9	10.4	0.0	0.0	1.5	0.0	23.9

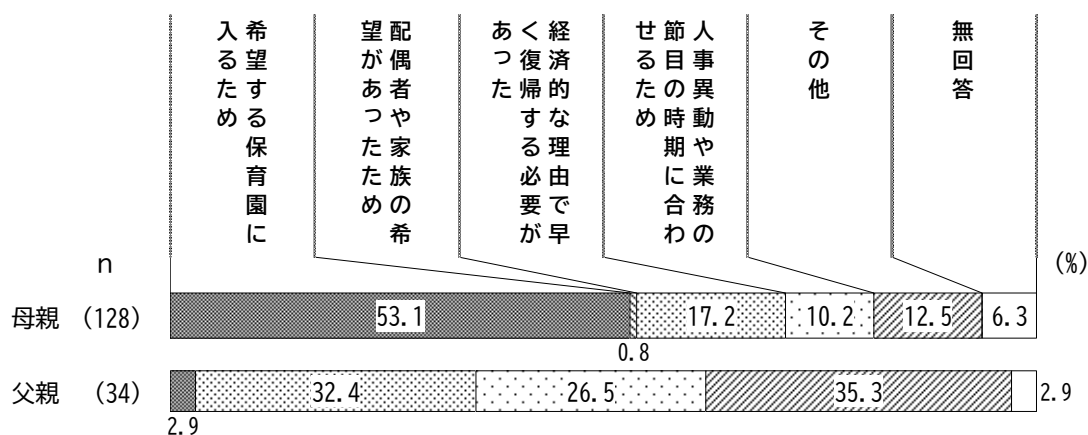
<図表 103>育児休業の取得期間の希望

	回答者数 (n)	0歳6ヶ月未満	1歳6ヶ月未満	1歳6ヶ月未満	2歳6ヶ月未満	2歳6ヶ月未満	3歳6ヶ月未満	3歳以上	無回答
母親	218	3.2	8.3	34.4	14.2	18.3	2.3	11.0	8.3
父親	67	25.4	13.4	25.4	3.0	0.0	0.0	3.0	29.9

（5）希望の時期に職場復帰をしなかった理由

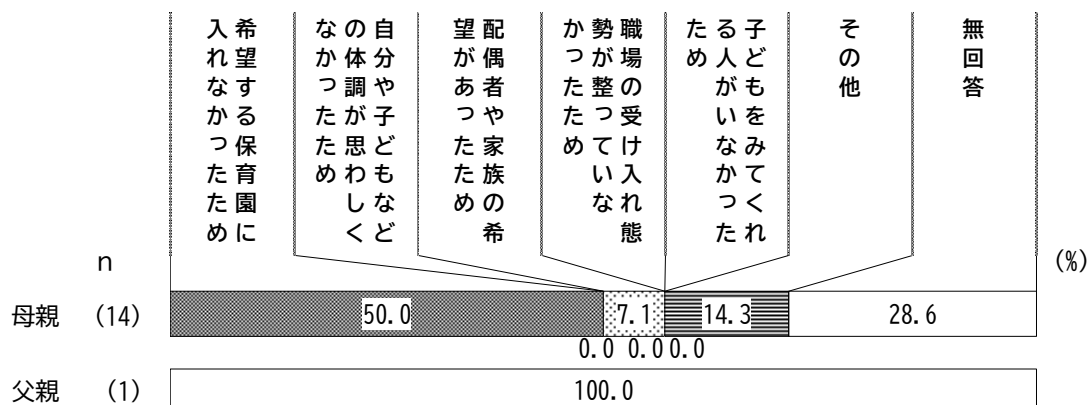
問28－3－1 問28－3 で実際の復帰とは希望が異なる方にうかがいます。それ以外の方は問29へお進みください。希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

<図表 104>希望の時期より早く復帰した理由



「その他」と回答した方の記入内容は、「職場の人員不足」「職場都合」などが挙げられています。

<図表 105>希望の時期より遅く復帰した理由



※ 母数が少ないため、参考として掲載

(6) 育児休業の取得予定と希望

問28-4 問28-1で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。
 育児休業は、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取得する予定ですか。また、希望
 としてはお子さんが何歳何ヶ月の時まで取得したいですか。カッコ内に数字でご
 記入ください。

<図表 106> 母親の育児休業の取得予定期間

	回 答 者 数 (n)	6 ヶ 月 未 満	1 歳 未 満	1 歳 6 ヶ 月 未 満	2 歳 未 満	2 歳 6 ヶ 月 未 満	3 歳 未 満	3 歳 以 上	(%) 無 回 答
母親	33	0.0	6.1	39.4	24.2	12.1	6.1	12.1	0.0

※数値は母親のみ。父親は回答者なし

<図表 107> 母親の育児休業の取得期間の希望

	回 答 者 数 (n)	6 ヶ 月 未 満	1 歳 未 満	1 歳 6 ヶ 月 未 満	2 歳 未 満	2 歳 6 ヶ 月 未 満	3 歳 未 満	3 歳 以 上	(%) 無 回 答
母親	33	0.0	6.1	15.2	15.2	30.3	0.0	33.3	0.0

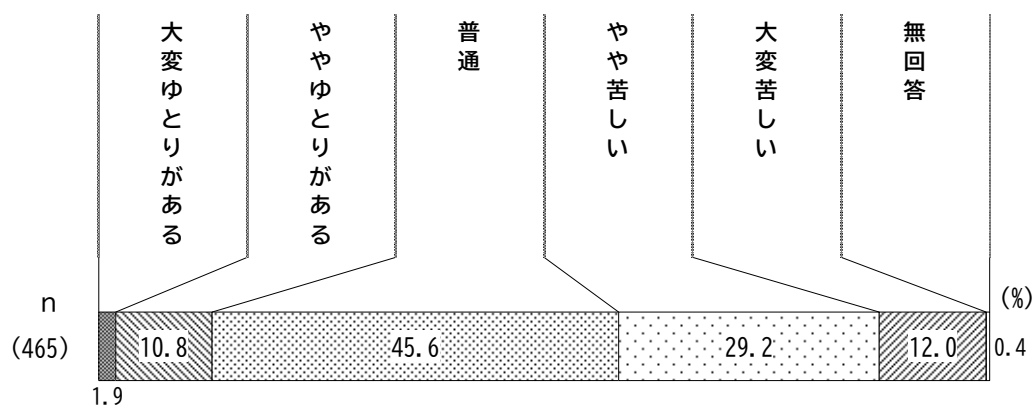
※数値は母親のみ。父親は回答者なし

12 子育て環境や生活状況について

（1）現在の暮らし向き

問29 あなたの世帯の現在の暮らし向きについてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

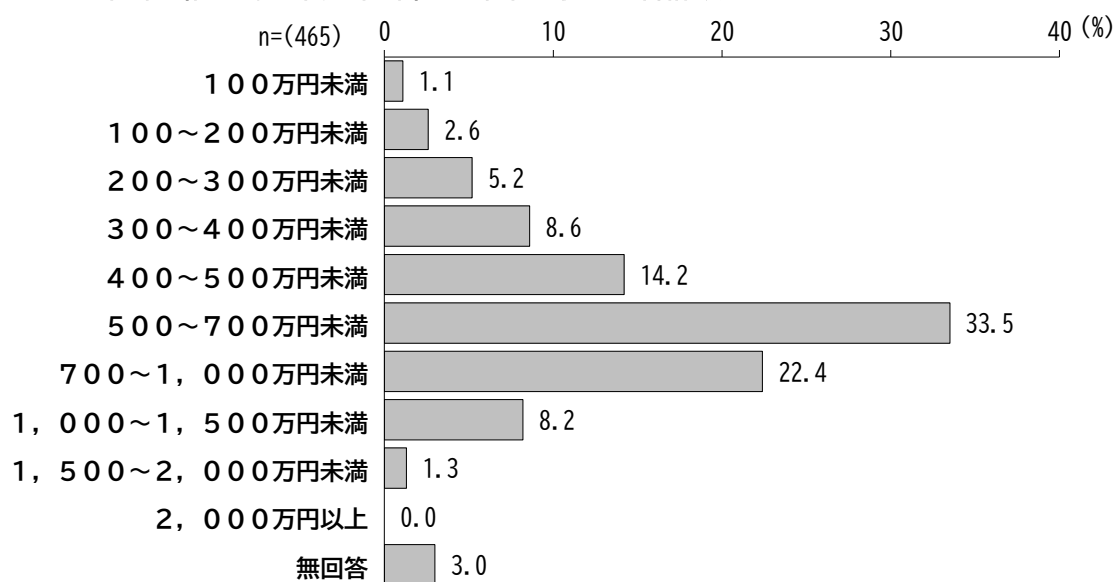
<図表 108>現在の暮らし向き



（2）全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額【新規設問】

問30 全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額はおよそいくらでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

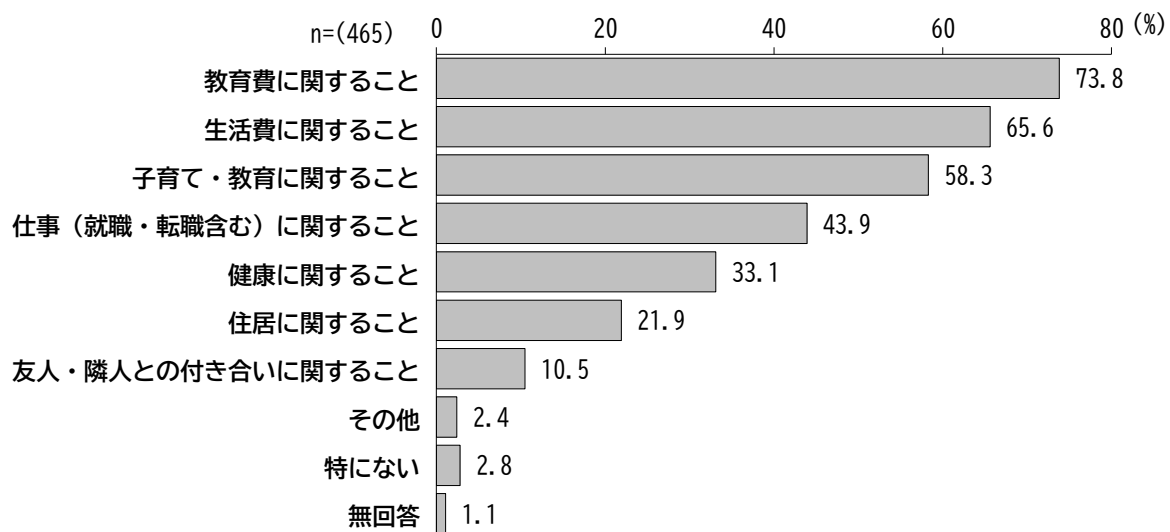
<図表 109>全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額



（3）生活するうえでの不安や悩み

問31 生活するうえで、どのような不安や悩みをもっていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

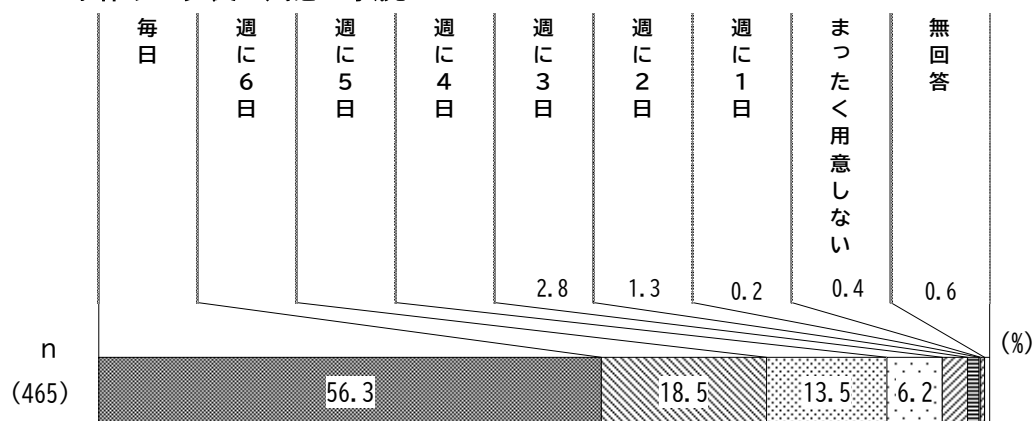
<図表 110>生活するうえでの不安や悩み



（4）手作りの夕食の用意の状況

問32 あなたの家庭では、1週間にどれくらい、お子さんに手作りの夕食を用意しますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 111>手作りの夕食の用意の状況



<図表 112>手作りの夕食の用意の状況（現在の暮らし向き別）

	回答者数 (n)	毎日	週に6日	週に5日	週に4日	週に3日	週に2日	週に1日	まったく用意しない	無回答
全体	465	56.3	18.5	13.5	6.2	2.8	1.3	0.2	0.4	0.6
大変ゆとりがある	9	55.6	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
ややゆとりがある	50	56.0	16.0	14.0	8.0	4.0	0.0	0.0	2.0	0.0
普通	212	56.1	20.3	13.7	5.7	3.3	0.9	0.0	0.0	0.0
やや苦しい	136	57.4	19.9	14.0	5.9	0.7	1.5	0.7	0.0	0.0
大変苦しい	56	57.1	8.9	14.3	8.9	3.6	3.6	0.0	1.8	1.8

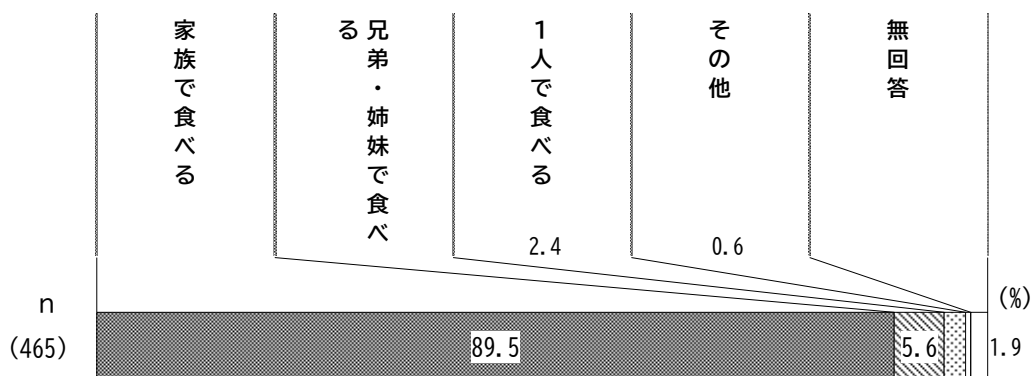
※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

現在の暮らし向き別に見ると、「毎日」はやや苦しいにおいて57.4%、大変苦しいにおいて57.1%と高くなっています。

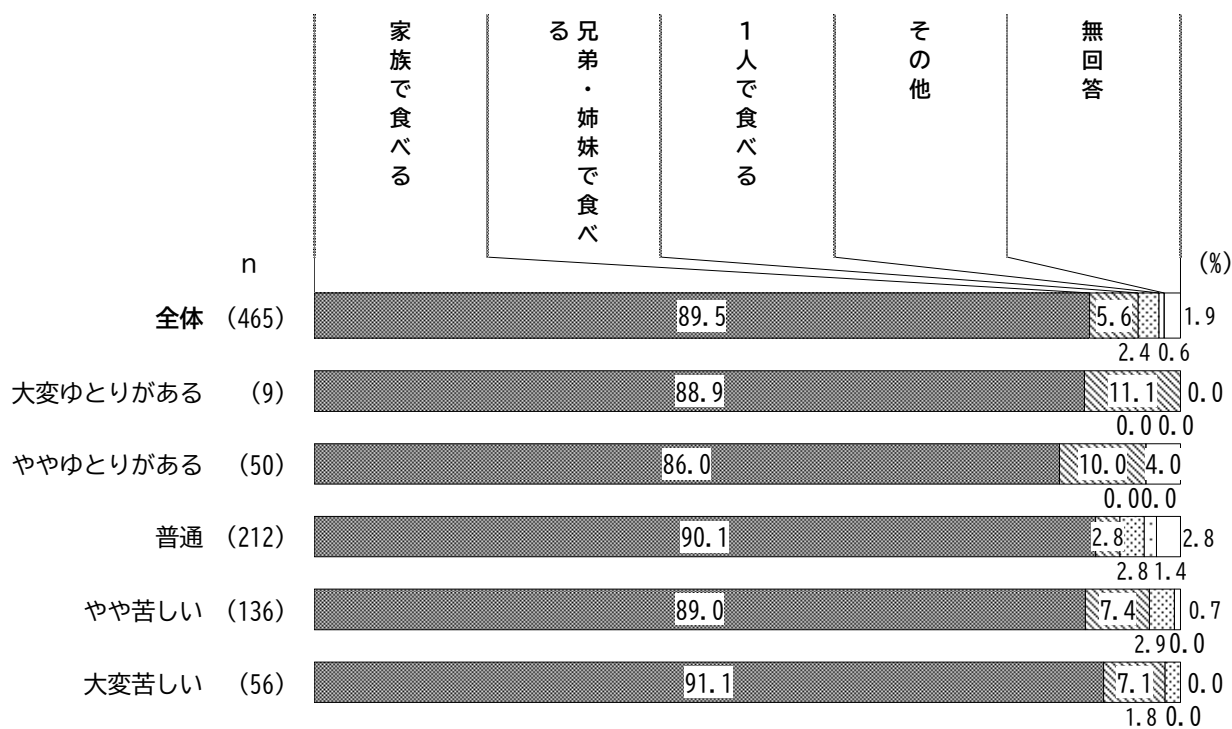
(5) 夕食の状況

問33 お子さんは普段どのように夕食をとっていますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 113>夕食の状況



<図表 114>夕食の状況（現在の暮らし向き別）

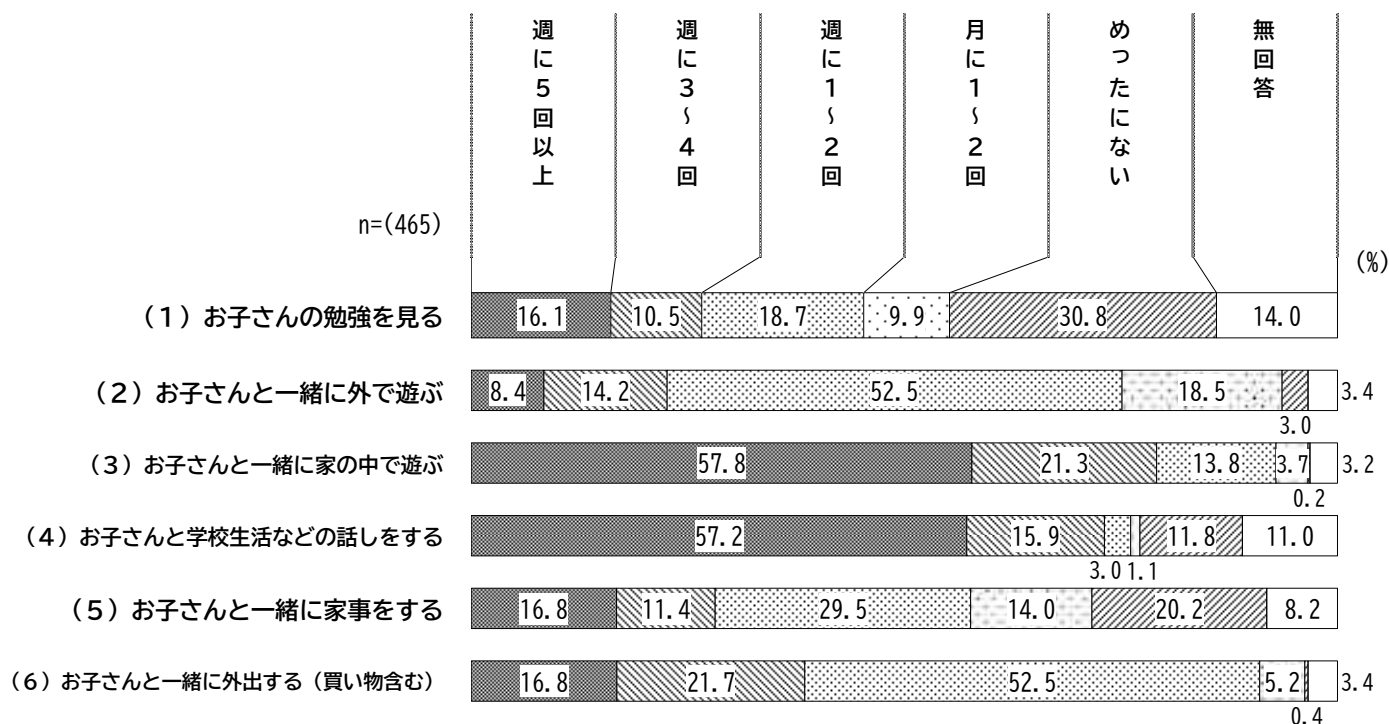


※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

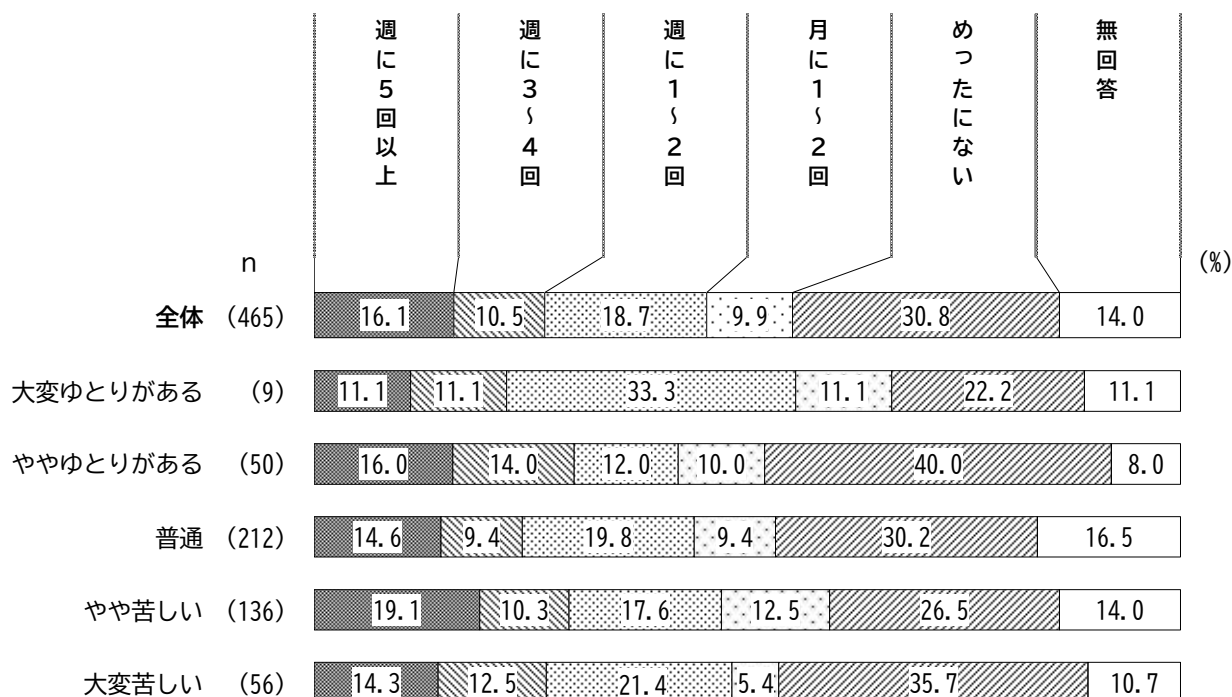
（6）子どもとの関係

問34 あなたを含めた、ご家族との関係についてうかがいます。あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 115>子どもとの関係

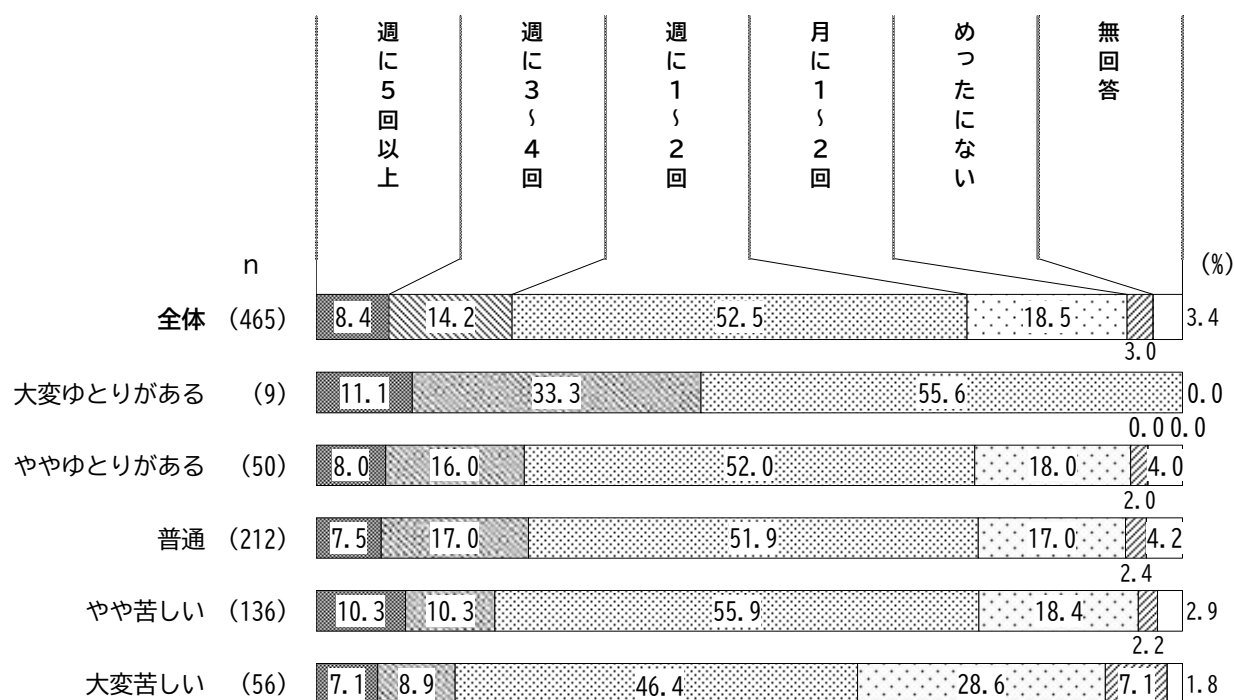


<図表 116>子どもとの関係（1）お子さんの勉強を見る（現在の暮らし向き別）



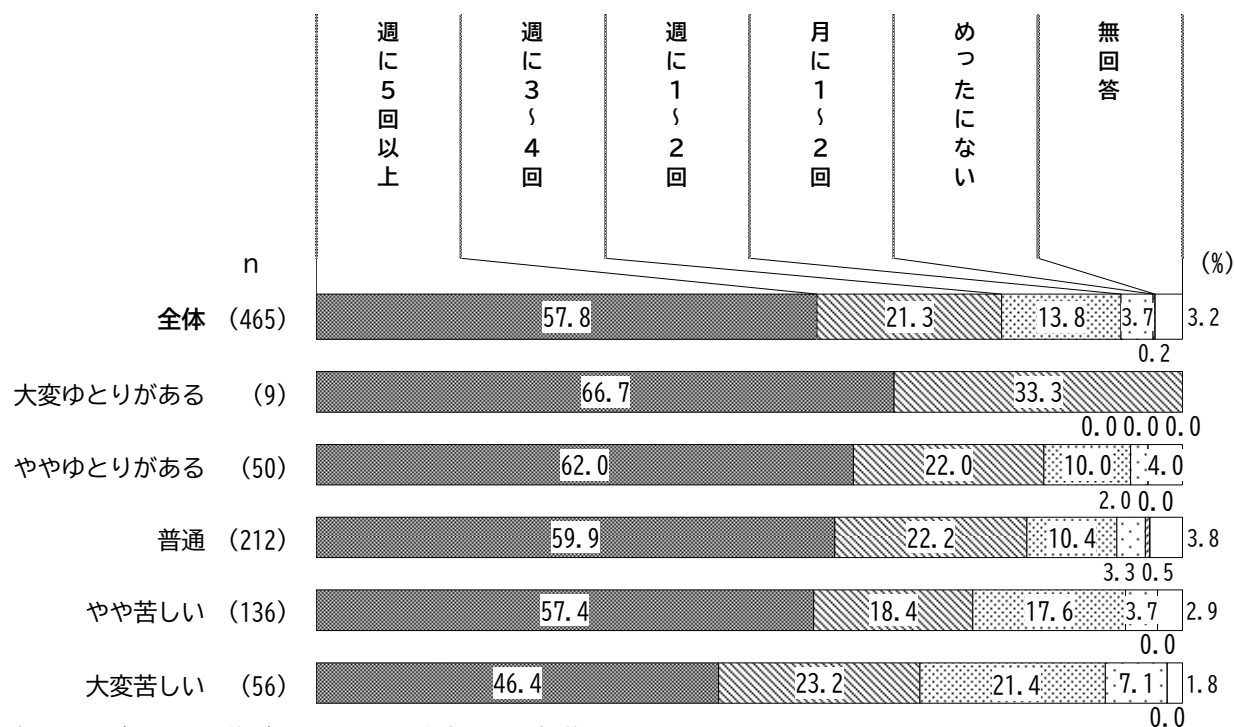
※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

<図表 117>子どもとの関係（2）お子さんと一緒に外で遊ぶ（現在の暮らし向き別）



※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

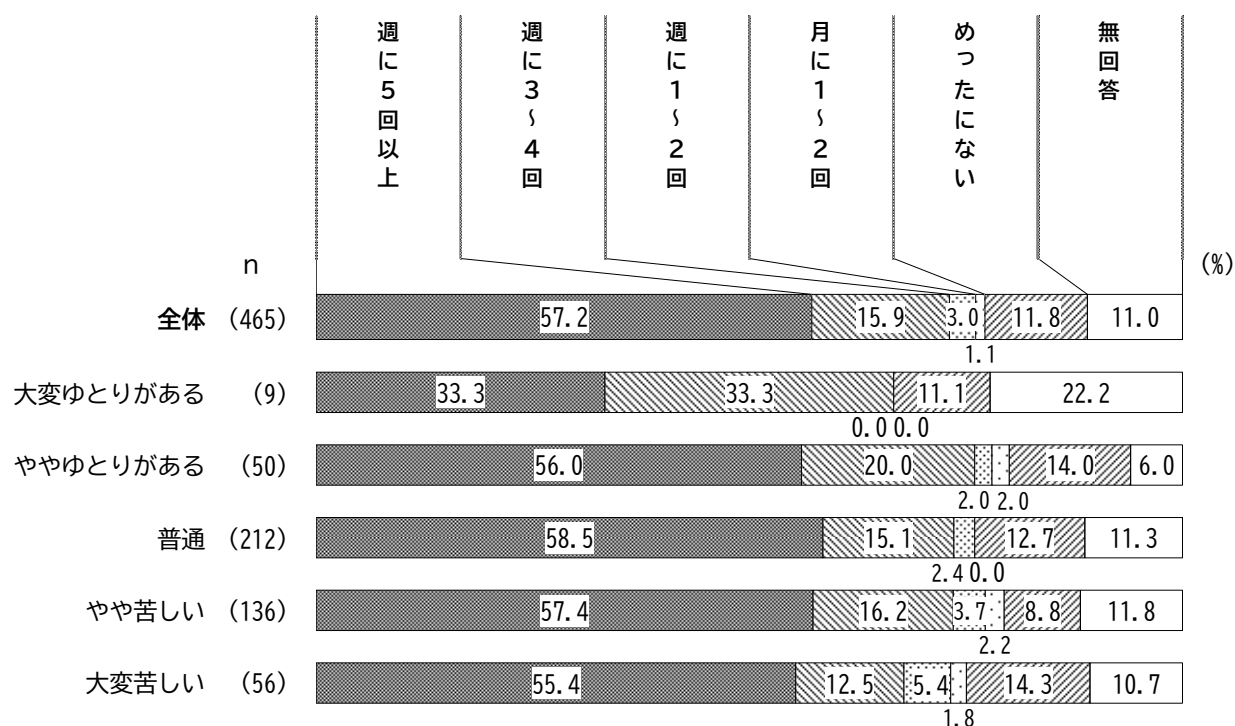
<図表 118>子どもとの関係（3）お子さんと一緒に家の中で遊ぶ（現在の暮らし向き別）



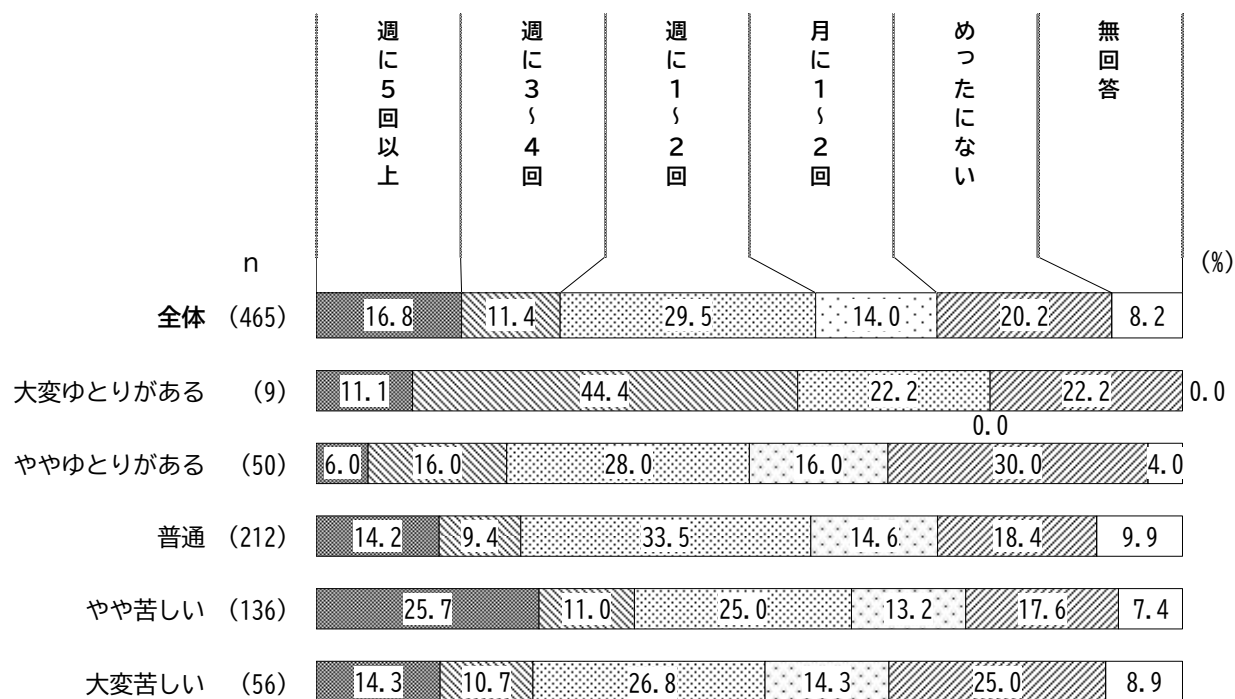
※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

<図表 119>子どもとの関係（４）お子さんと学校生活などの話しをする（現在の暮らし向き別）

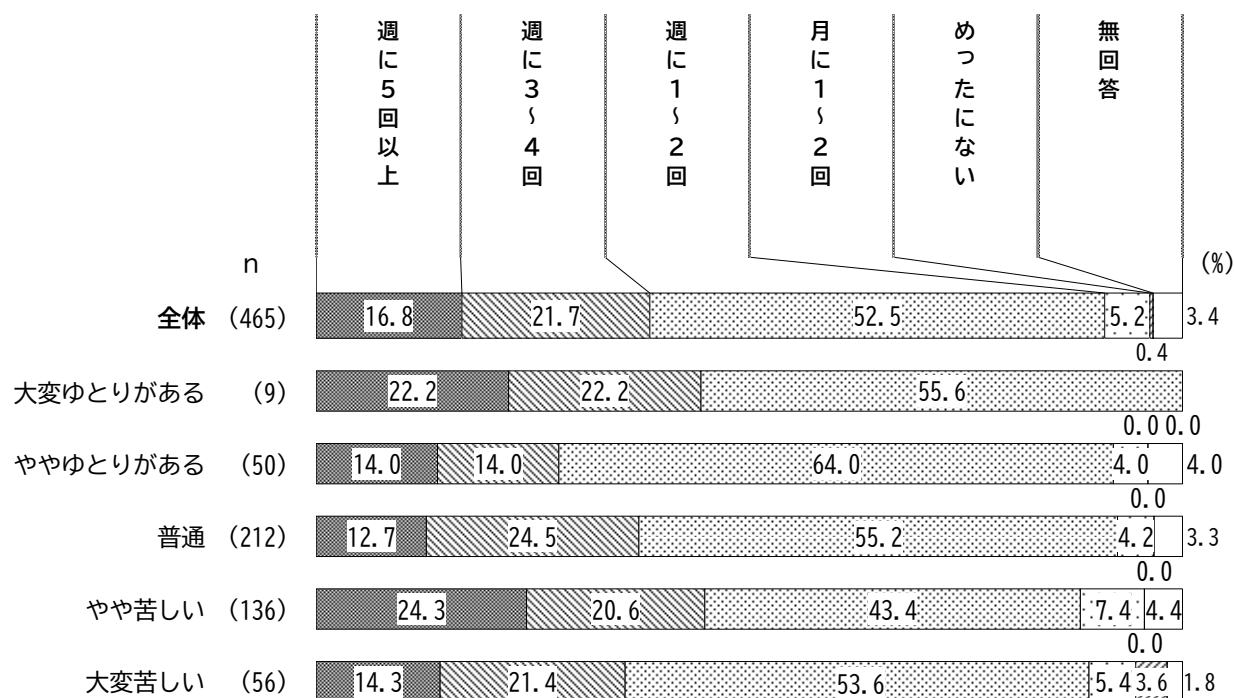


<図表 120>子どもとの関係（５）お子さんと一緒に家事をする（現在の暮らし向き別）



<図表 121>子どもとの関係（6）お子さんと一緒に外出する（買い物含む）

（現在の暮らし向き別）

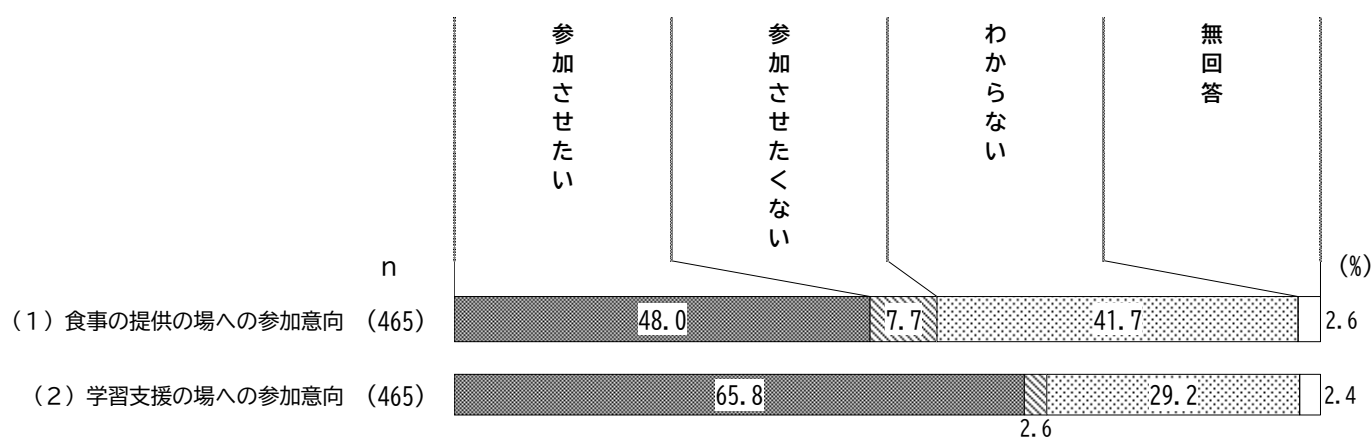


※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

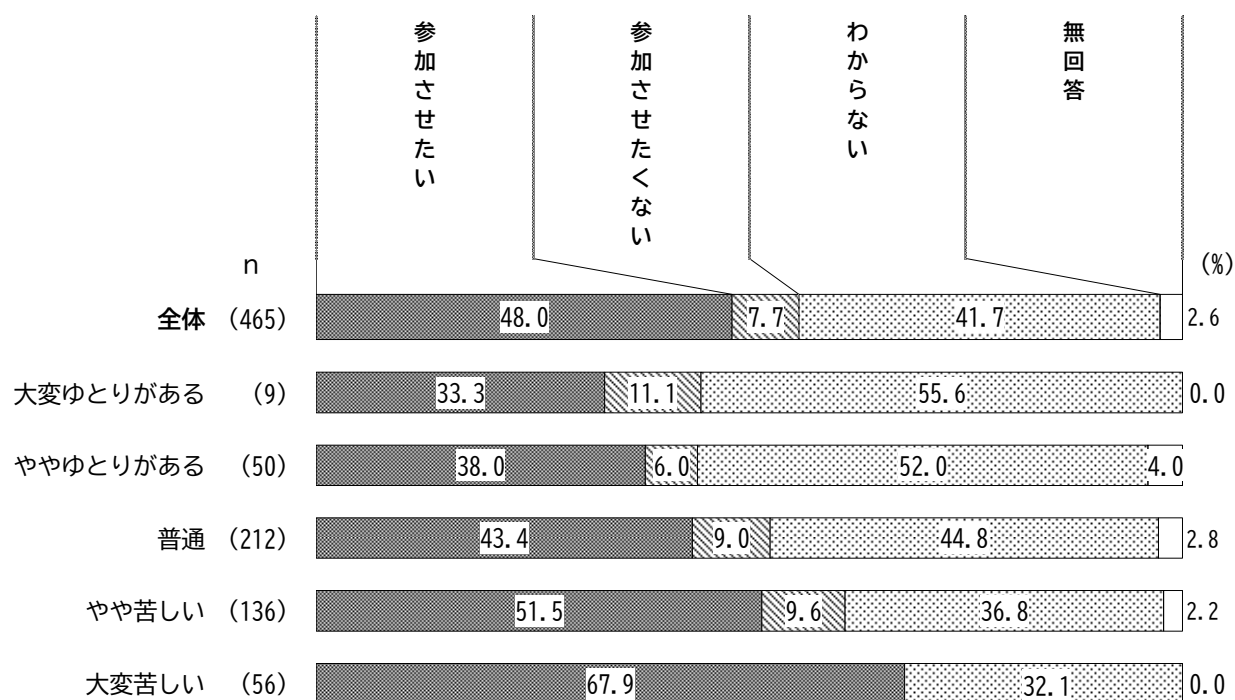
（7）食事の提供や学習支援を行う場所への参加意向

問35 地域に子どもへの食事の提供や学習支援を行う場所があったら、お子さんを参加させたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 122>食事の提供や学習支援を行う場所への参加意向

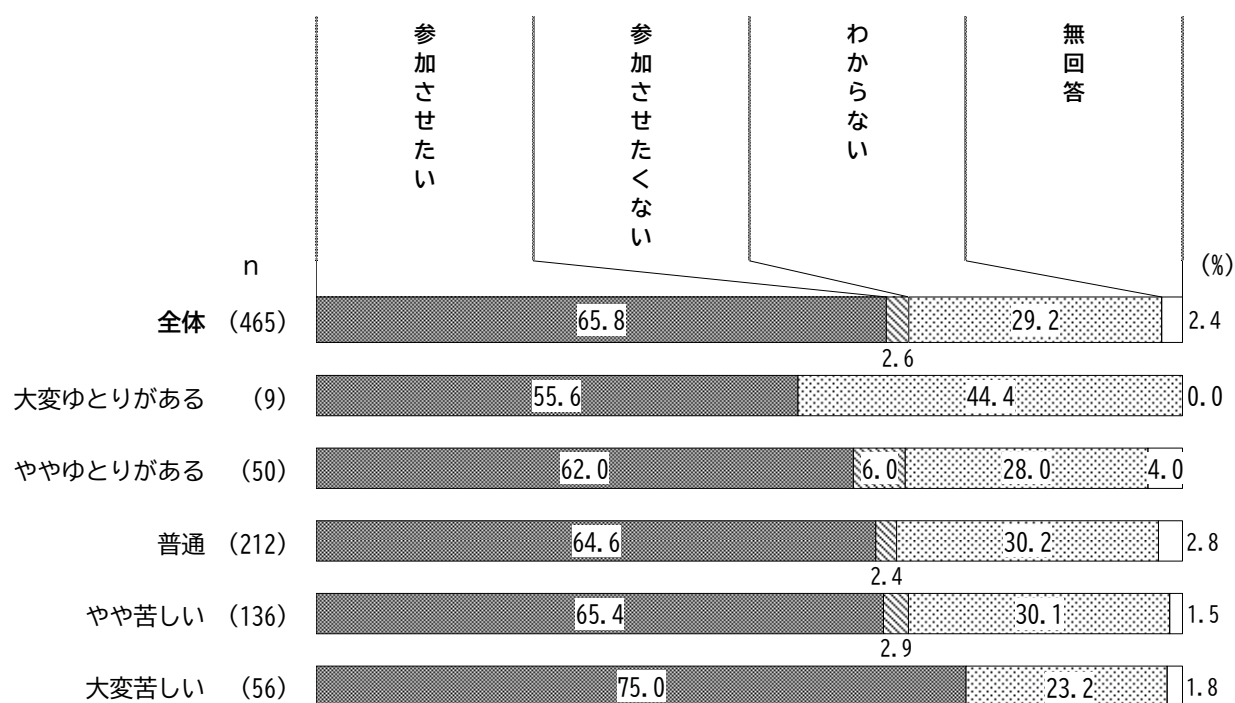


<図表 123>（1）食事の提供の場所への参加意向（現在の暮らし向き別）



※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

<図表 124>（2）学習支援を行う場所への参加意向（現在の暮らし向き別）



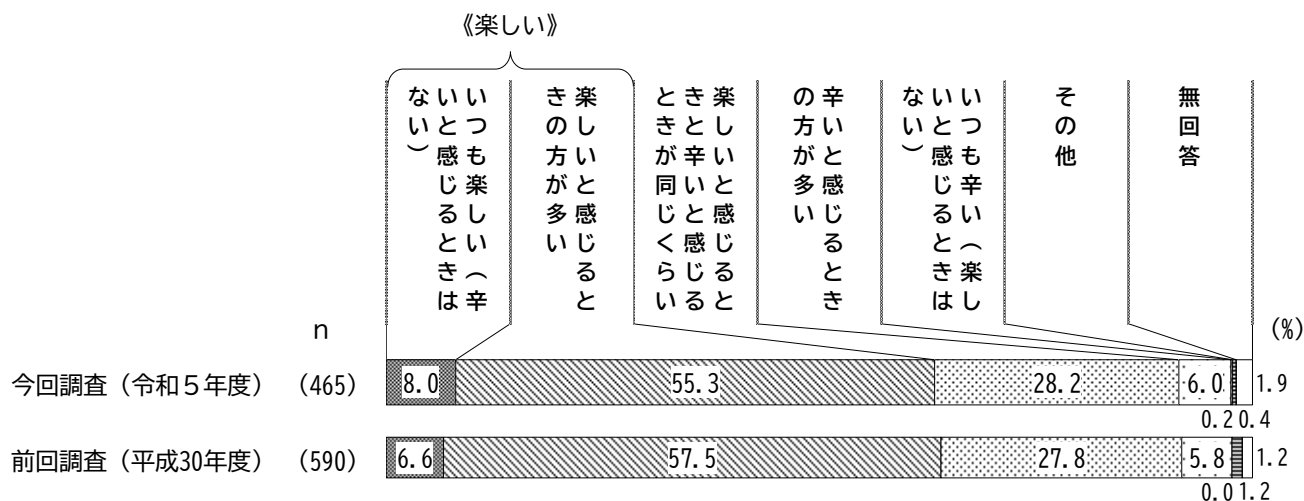
※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

13 子育てに対する意識について

(1) 子育てを楽しんでいるとき、辛いと感じるとき

問36 自分にとって子育てを楽しいと感じるときが多いと思いますか。それとも辛いと感じるときが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

＜図表 125＞子育てを楽しいと感じるとき、辛いと感じるとき



前回調査に比べて、大きな差は見られません。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

<図表 126>子育てを楽しんでいるとき、辛いと感じるとき（子どもの年齢別）

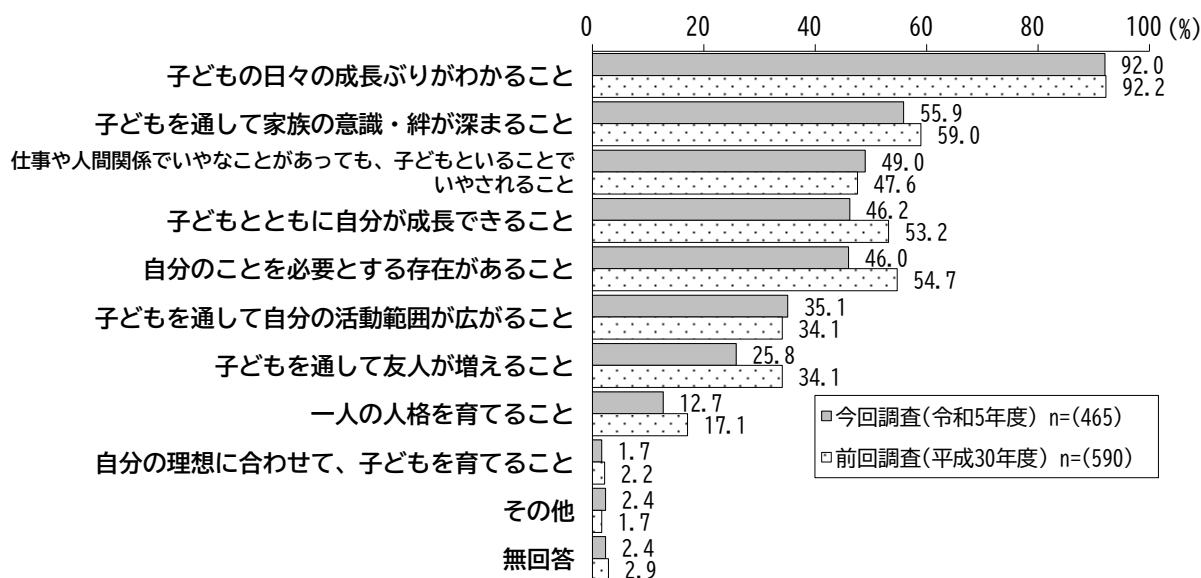
	回答者数（n）	いつも楽しい （辛いと感じるときはない）	楽しいと感じるときの方が多い	楽しいと感じるときと同じくらい 辛いと感じるときの方が多い	辛いと感じるときの方が多い	いつも辛い （楽しいと感じるときはない）	その他	無回答	(%) 《楽しい》計
全体	465	8.0	55.3	28.2	6.0	0.2	0.4	1.9	63.3
0歳	62	6.5	62.9	24.2	3.2	0.0	0.0	3.2	69.4
1歳	75	10.7	54.7	29.3	2.7	0.0	0.0	2.7	65.4
2歳	84	9.5	52.4	32.1	6.0	0.0	0.0	0.0	61.9
3歳	84	7.1	59.5	25.0	6.0	0.0	0.0	2.4	66.6
4歳	76	7.9	57.9	21.1	9.2	1.3	1.3	1.3	65.8
5歳以上	84	6.0	46.4	35.7	8.3	0.0	1.2	2.4	52.4

子どもの年齢別で見ると、「いつも楽しい（辛いと感じるときはない）」と「楽しいと感じるときの方が多い」を合わせた《楽しい》は、5歳以上において、52.4%と他に比べて低くなっています。

（2）子育ての楽しさ、やりがい

問37 自分にとって子育ての楽しさ、やりがいはどんなことだと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 127>子育ての楽しさ、やりがい

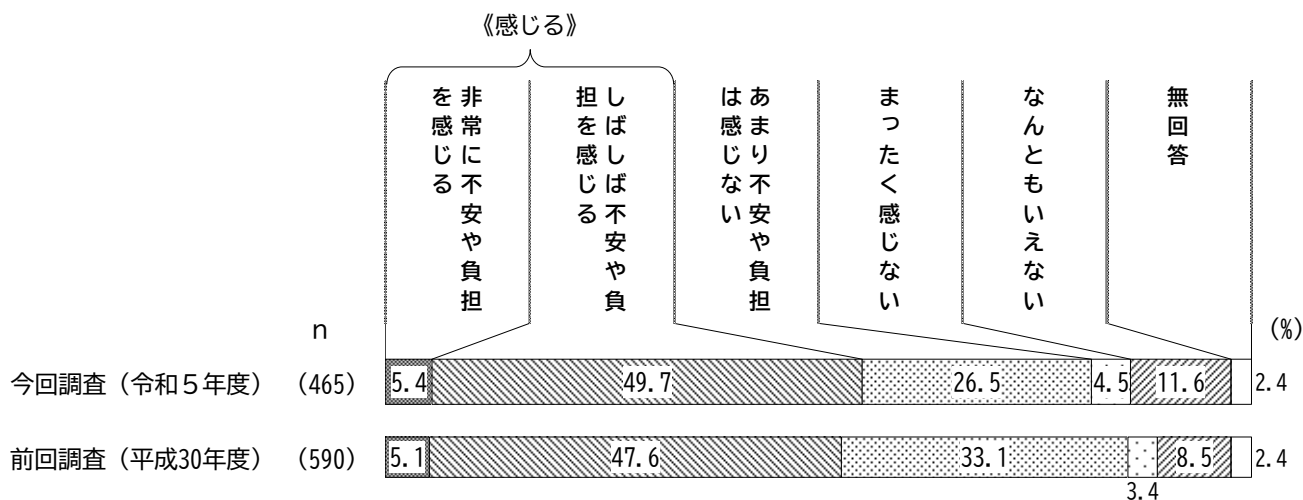


前回調査に比べて、「自分のことを必要とする存在があること」が8.7ポイント、「子どもを通して友人が増えること」が8.3ポイント、「子どもとともに自分が成長できること」が7.0ポイント減少しています。

（3）子育てに関する不安感や負担感

問38 子育てに関して、不安や負担を感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 128>子育てに関する不安感や負担感



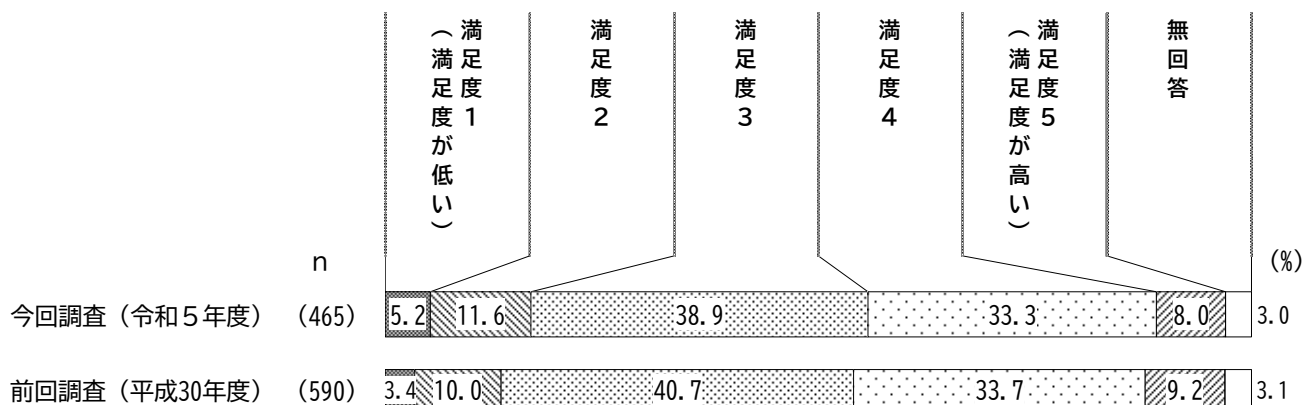
前回調査に比べて、「あまり不安や負担は感じない」が6.6ポイント減少しています。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

（4）子育ての環境や支援への満足度

問39 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 129>子育ての環境や支援への満足度

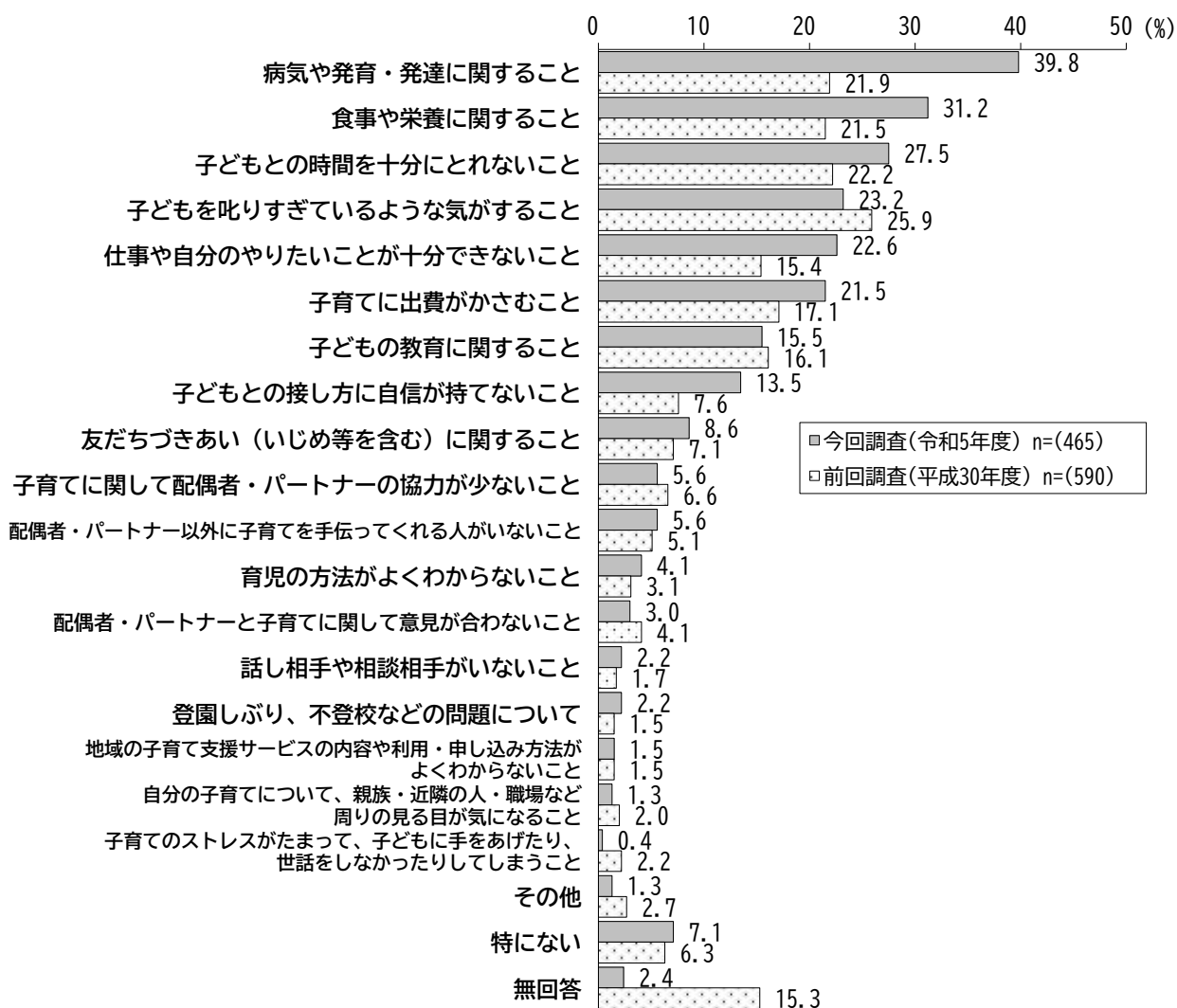


前回調査に比べて、大きな差は見られません。

(5) 子育てに関する悩み、気になること

問40 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号3つ以内に○をつけてください。

<図表 130>子育てに関する悩み、気になること



前回調査に比べて、「病気や発育・発達に関すること」が17.9ポイント、「食事や栄養に関すること」が9.7ポイント、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が7.2ポイント増加しています。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

<図表 131>子育てに関する悩み、気になること（子どもの年齢別）

		回答者数（n）	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもとの時間を十分にとれないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	子育てに出費がかさむこと	子どもの教育に関すること	子どもとの接し方に自信が持てないこと	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
	全体	465	39.8	31.2	27.5	23.2	22.6	21.5	15.5	13.5	8.6	5.6	5.6
子どもの年齢別	0歳	62	62.9	43.5	16.1	4.8	24.2	22.6	11.3	16.1	4.8	9.7	3.2
	1歳	75	36.0	38.7	22.7	21.3	24.0	24.0	18.7	8.0	6.7	6.7	6.7
	2歳	84	38.1	27.4	32.1	23.8	23.8	16.7	17.9	21.4	8.3	1.2	8.3
	3歳	84	36.9	41.7	25.0	28.6	20.2	21.4	14.3	14.3	7.1	4.8	6.0
	4歳	76	38.2	22.4	31.6	31.6	23.7	22.4	11.8	11.8	10.5	2.6	2.6
	5歳以上	84	32.1	16.7	34.5	25.0	20.2	22.6	17.9	9.5	13.1	9.5	6.0
(%)													
		回答者数（n）	育児の方法がよくわからないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	話し相手や相談相手がないこと	登園しがり、不登校などの問題について	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	隣の人・職場など周りの見る目が気になること	自分の子育てについて、親族・近	子育てのストレスがたまったり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	その他	特にな	無回答
	全体	465	4.1	3.0	2.2	2.2	1.5	1.3	0.4	1.3	7.1	2.4	
子どもの年齢別	0歳	62	9.7	1.6	3.2	1.6	3.2	0.0	0.0	1.6	9.7	1.6	
	1歳	75	5.3	5.3	2.7	1.3	4.0	2.7	0.0	0.0	10.7	0.0	
	2歳	84	2.4	3.6	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	6.0	2.4	
	3歳	84	4.8	0.0	1.2	3.6	0.0	0.0	0.0	1.2	4.8	1.2	
	4歳	76	2.6	2.6	2.6	2.6	1.3	1.3	1.3	1.3	5.3	6.6	
	5歳以上	84	1.2	4.8	2.4	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	7.1	2.4	

<図表 132>子育てに関する悩み、気になること（現在の暮らし向き別）

		回答者数（n）	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもとの時間を十分にとれないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	子育てに出費がかさむこと	子どもの教育に関すること	子どもとの接し方に自信が持てないこと	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	子育てに関して配偶者・パートナールの協力が少ないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
	全体	465	39.8	31.2	27.5	23.2	22.6	21.5	15.5	13.5	8.6	5.6	5.6
現在の暮らし向き別	大変ゆとりがある	9	66.7	44.4	33.3	22.2	22.2	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0
	ややゆとりがある	50	38.0	36.0	22.0	34.0	24.0	10.0	14.0	16.0	8.0	6.0	0.0
	普通	212	37.7	33.5	26.4	22.6	19.3	16.0	15.1	11.8	7.1	6.1	5.2
	やや苦しい	136	42.6	30.9	29.4	18.4	25.0	30.9	16.2	14.0	11.8	2.2	9.6
	大変苦しい	56	37.5	17.9	30.4	28.6	26.8	32.1	14.3	19.6	7.1	10.7	3.6

(%)

		回答者数（n）	育児の方法がよくわからないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	話し相手や相談相手がいないこと	登園しづり、不登校などの問題について	地域の子ども支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	自分や子どもの生活環境、親族・近隣の状況などについて、親戚・近所の人・職場など周りの見聞が気になること	子育てのストレスがたまったり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	その他	特にな	無回答
	全体	465	4.1	3.0	2.2	2.2	1.5	1.3	0.4	1.3	7.1	2.4
現在の暮らし向き別	大変ゆとりがある	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	ややゆとりがある	50	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	12.0	2.0
	普通	212	4.7	2.4	2.8	2.4	1.4	1.9	0.0	0.9	9.4	2.4
	やや苦しい	136	4.4	2.9	1.5	1.5	0.7	0.0	0.0	2.9	4.4	2.2
	大変苦しい	56	3.6	8.9	3.6	5.4	3.6	3.6	1.8	0.0	0.0	3.6

※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

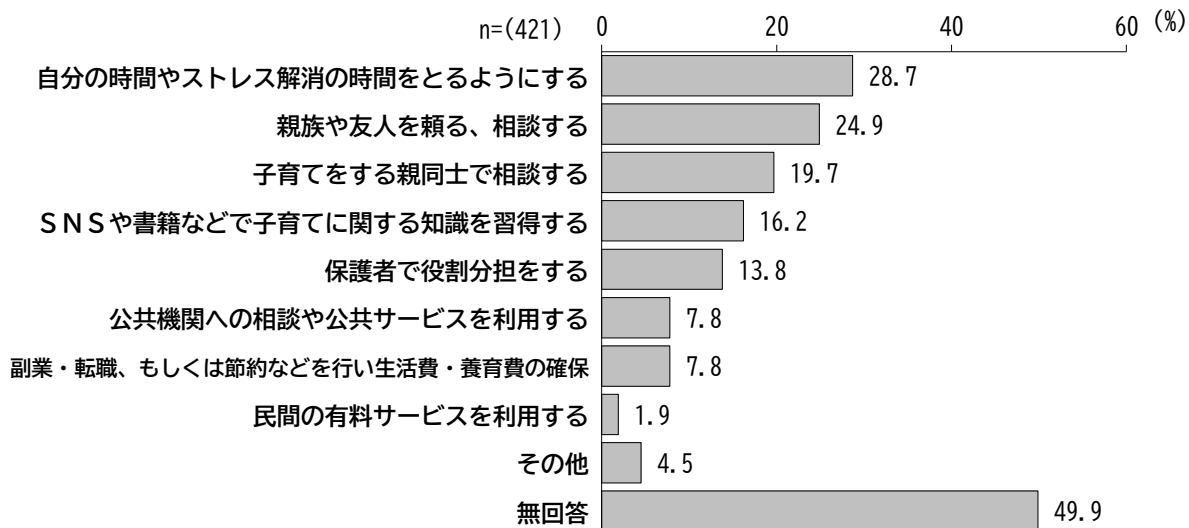
現在の暮らし向き別に見ると、「食事や栄養に関すること」はややゆとりがあるにおいて36.0%、「子育てに出費がかさむこと」はやや苦しいにおいて30.9%、大変苦しいにおいて32.1%と高くなっています。

（6）子育てに関する日頃悩んでいること、気になることの解決方法【新規設問】

問40－1 問40で「特になし」以外に○をつけた方に伺います。

日頃悩んでいること、気になることをどのように解決しようと思いますか。もしくは、解決しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

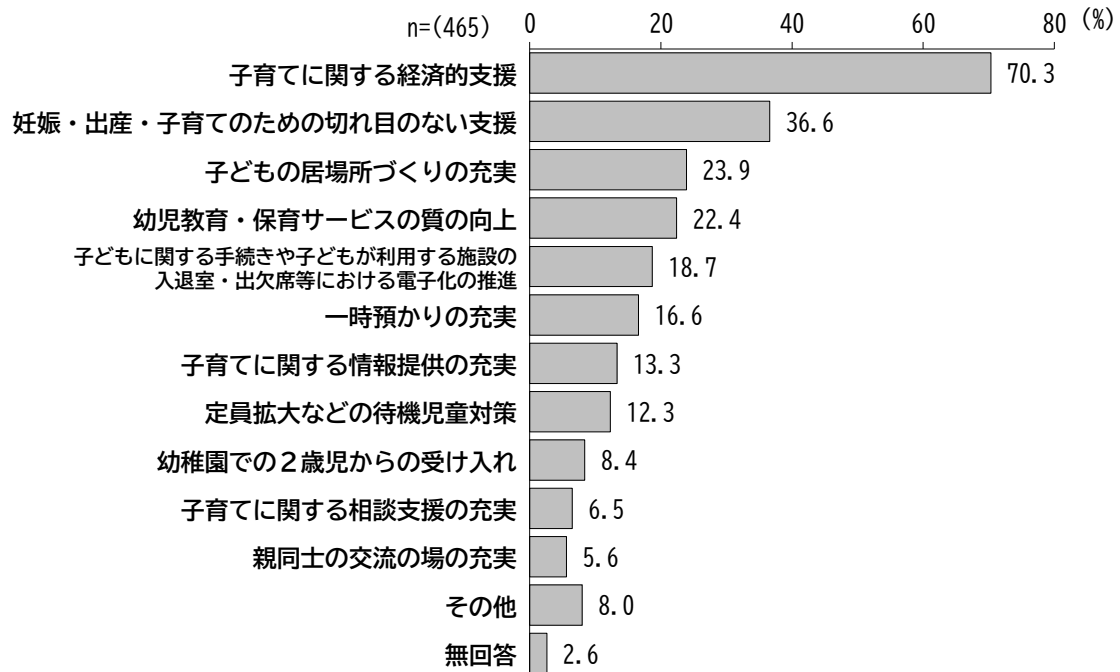
<図表 133>子育てに関して、日頃悩んでいること、気になることの解決方法



(7) 市に期待する子育て支援策

問41 あなたは、市にどのような子育て支援策を期待しますか。当てはまる番号3つ以内に○をつけてください。

<図表 134> 市に期待する子育て支援策



<図表 135> 市に期待する子育て支援策（現在の暮らし向き別）

		回答者数 (n)	子育てに関する経済的支援	妊娠・出産・子育てのための切れ目のない支援	子どもの居場所づくりの充実	上幼稚園教育・保育サービスの質の向上	子どもに関する手続きや子どもが利用する施設の入退室・出欠席等における電子化の推進	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供の充実	定員拡大などの待機児童対策	幼稚園での2歳児からの受け入れ	子育てに関する相談支援の充実	親同士の交流の場の充実	その他	無回答 (%)
	全体	465	70.3	36.6	23.9	22.4	18.7	16.6	13.3	12.3	8.4	6.5	5.6	8.0	2.6
現在の暮らし向き別	大変ゆとりがある	9	44.4	77.8	33.3	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1
	ややゆとりがある	50	64.0	40.0	26.0	22.0	26.0	14.0	10.0	18.0	6.0	0.0	8.0	10.0	2.0
	普通	212	63.7	34.0	21.7	25.9	18.9	17.5	16.0	13.7	8.0	7.1	6.1	6.1	2.8
	やや苦しい	136	80.1	36.8	25.0	17.6	19.9	16.9	13.2	5.9	7.4	8.1	2.9	8.1	1.5
	大変苦しい	56	80.4	37.5	26.8	19.6	8.9	16.1	8.9	16.1	14.3	5.4	8.9	14.3	3.6

※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

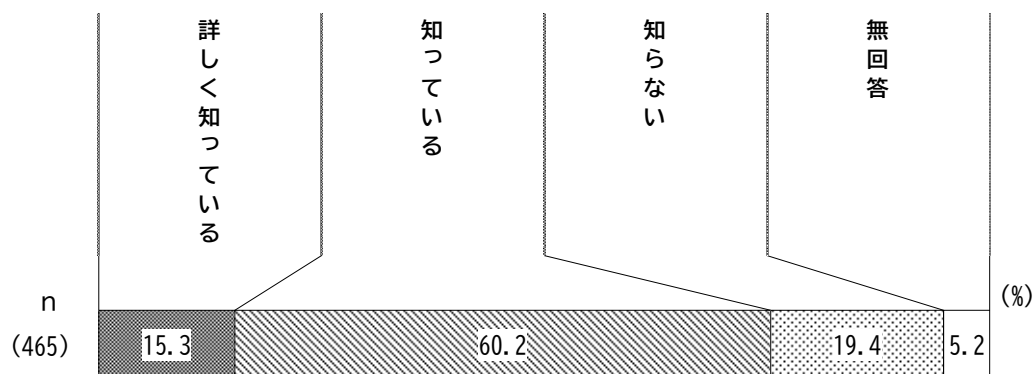
現在の暮らし向き別に見ると、「子育てに関する経済的支援」はやや苦しいにおいて80.1%、大変苦しいにおいて80.4%と高くなっています。

14 ヤングケアラーについて

（1）ヤングケアラーの認知状況【新規設問】

問42 ヤングケアラーとは以下のとおりとされています。ヤングケアラーを知っていましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 136> ヤングケアラーの認知状況



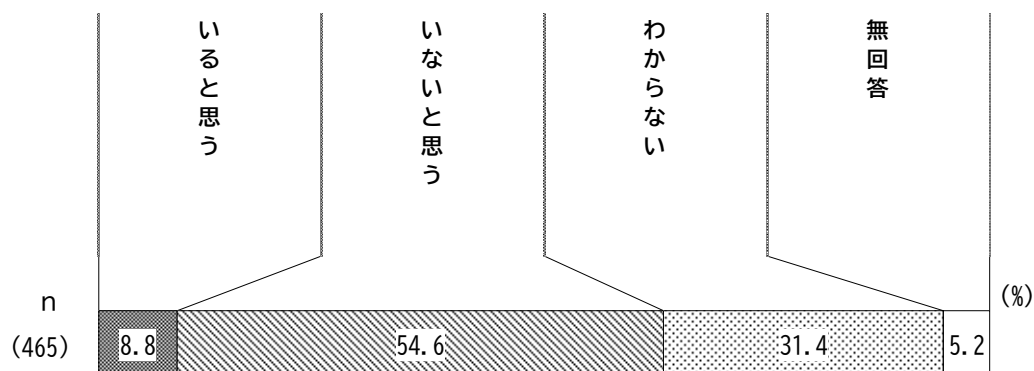
「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。例えば以下のような状態のこどもたちです。

- ・障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。
 - ・家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。
 - ・障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。
 - ・目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている 他
- （厚生労働省・こども家庭庁ホームページ）

（2）ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにいるか【新規設問】

問43 ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにはいると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

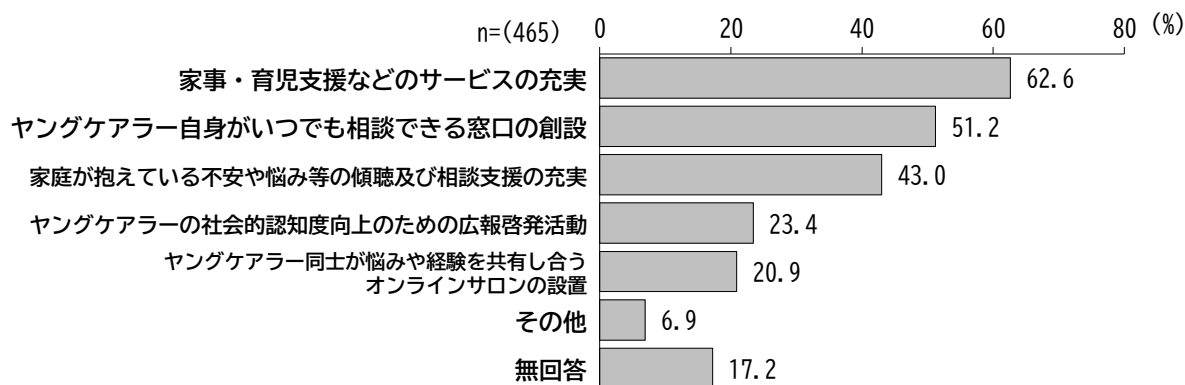
<図表 137> ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにはいるか



（3）ヤングケアラーに対する必要な支援【新規設問】

問44 ヤングケアラーに対してどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 138> ヤングケアラーに対する必要な支援

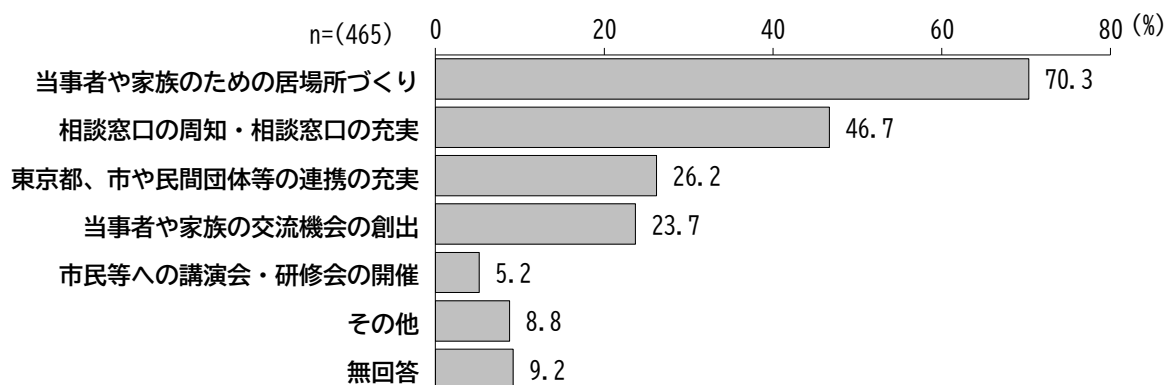


15 登校について

（1）あなたのまわりの学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していないお子さんに対する必要な支援【新規設問】

問45 あなたのまわりに学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していない（家などで過ごしている）お子さん（おおむね小学生～大学生）がいた場合、対象のお子さんに対してどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 139> あなたのまわりの学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していないお子さんに対する必要な支援

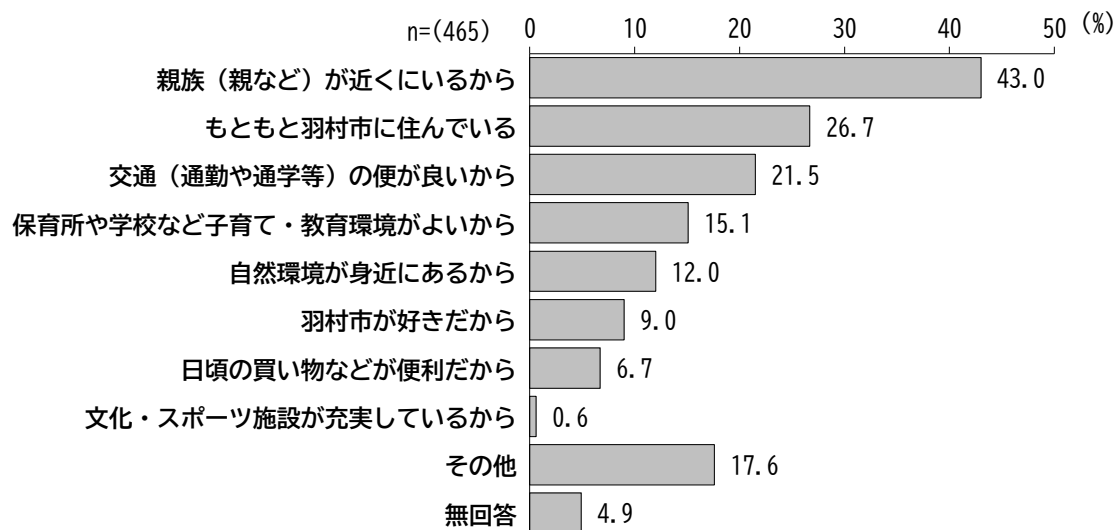


16 羽村市について

（1）羽村市に住むことになったきっかけ【新規設問】

問46 羽村市に住むことになったきっかけについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

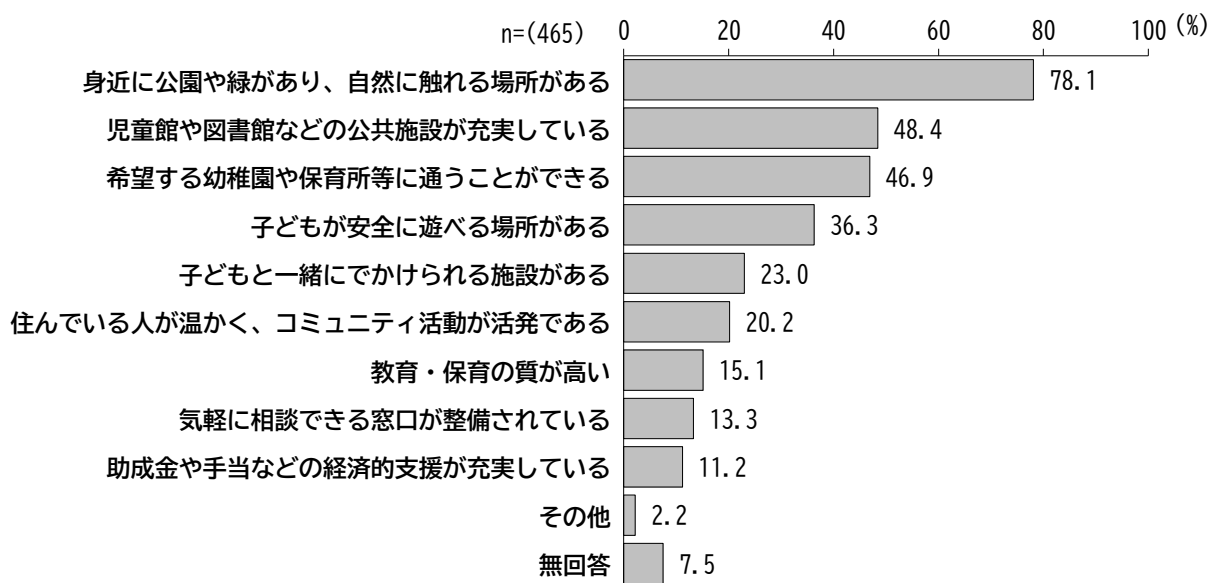
<図表 140>羽村市に住むことになったきっかけ



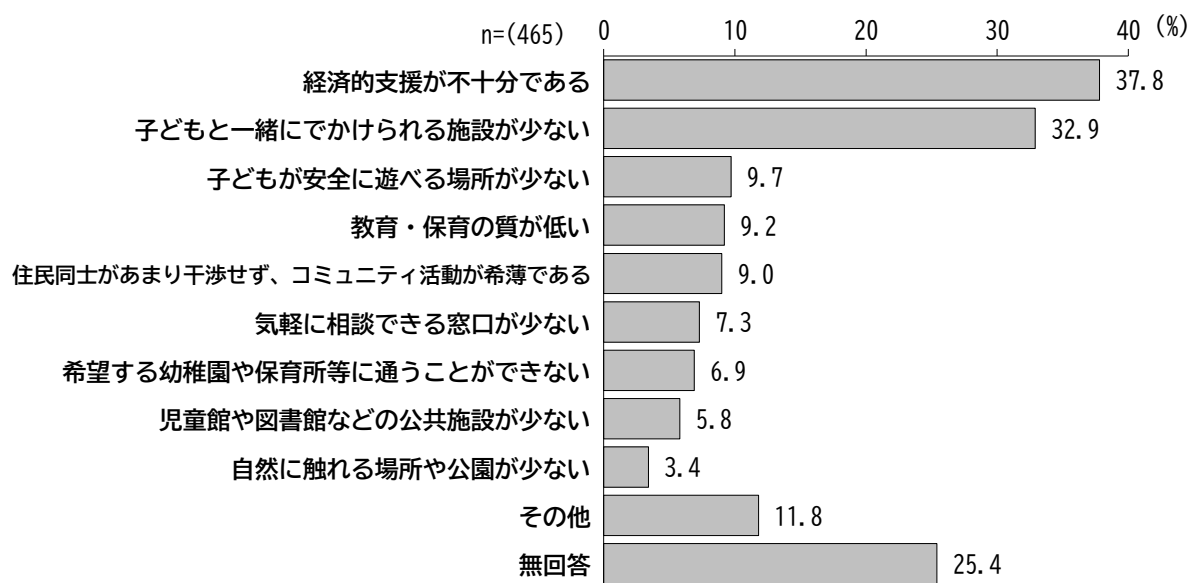
（2）羽村市における子育て環境の強みと弱み【新規設問】

問47 羽村市における、子育て環境の強みと弱みはどのようなものだと思いますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 141>羽村市における子育て環境の強み



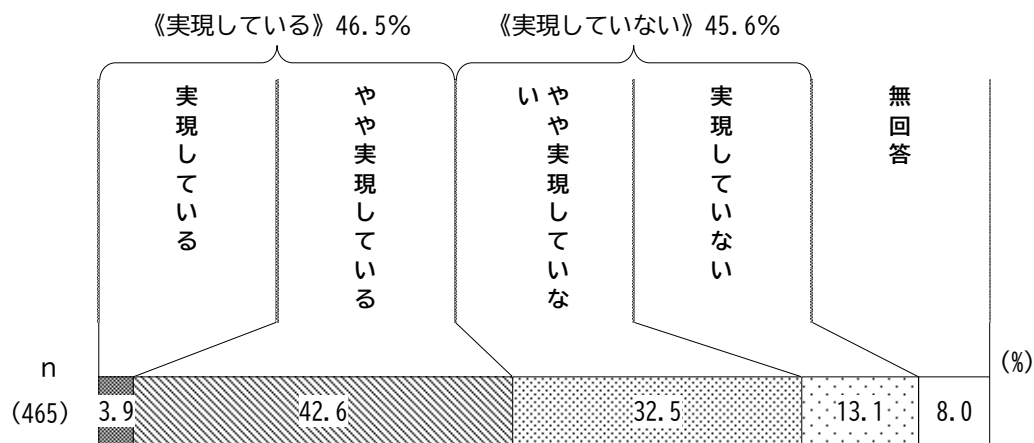
<図表 142>羽村市における子育て環境の弱み



(3) 羽村市のこどもまんなか社会の実現状況【新規設問】

問48 「こどもまんなか社会」とは以下のとおりとされています。以下の文を読んで、羽村市は、現時点でこどもまんなか社会を実現していると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 143>羽村市のこどもまんなか社会の実現状況



「こどもまんなか社会」とは・・・

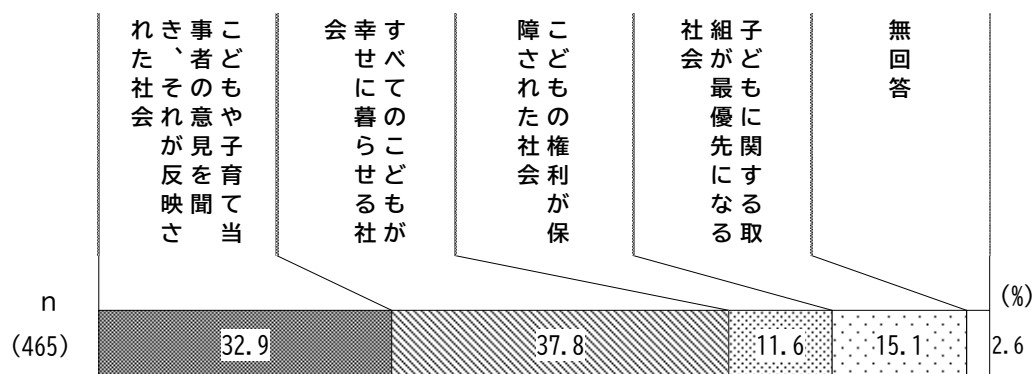
全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的（バイオサイコソーシャル）に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。

出典：こども大綱

（4）こどもまんなか社会のイメージ【新規設問】

問49 「こどもまんなか社会」と聞いて、どのような社会をイメージしますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 144> こどもまんなか社会のイメージ



（5）子育ての環境や支援に関するご意見

問50 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見をご記入ください。

教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見を求めたところ、240人からの回答がありました。分野別に分けて、主な記載内容を紹介いたします。

■事業・サービスについて （68件）

- ・定期利用保育事業、一時預かりをしている保育園を増やしてほしいです。特に駅近くの園でしてほしいという意見が多く出ていました。
- ・もっと保育園を選べ、選んだ所に行けるといいと思います。
- ・ファミリーサポートの協力会員が子どもの送迎の際、自転車を使えるようにしてほしいです。
- ・子どもを預けるサービスを充実させて欲しい反面、保育士の負担は大きいので現状では厳しいと感じます。
- ・子育てに関する支援やサービスについてあまり詳しく知らなかったし、自分が使っているのかもわからなくて利用できませんでした。使いたいという場面は何度もありました。もっと詳しく知れて、気軽に使えるようになったらいいと思いました。

■保健・医療について （35件）

- ・羽村市は小児科が少なすぎると思います。福生、あきる野まで行っています。
- ・小児科が少なく困ります。医療サービスの質の向上を強く希望します。
- ・子どもが生まれてから保健師さんが家庭訪問に来てくれたり、定期的に乳幼児健診などもしてもらえて相談できますし、友だちもできますし、ほぼ不満はありません。
- ・病院が少ないです。（小児系、内科、歯科など）いつも混んでいます。利用したい時に拒否されたりします。（予約でいっぱい、熱ある人は不可、外で何時間も待たされる、質が悪いなど）本当にどうにかしてほしいです。とても不便です。この先不安があります。
- ・子どもの体調不良時に安心して診てくれる小児科を強く希望します。熱が出たら「ダメ」では困ります。早急に検討頂きたいです。

■経済的な支援・手当について （83件）

- ・私立幼稚園の利用者への補助金が、近隣の市と比べて羽村市は安いので、もっと金額を増やしてほしいと思います。
- ・ひとり親で子育てをしています。パートで働いていますが経済的にゆとりがあるわけでもなく…金銭的な支援などがあると気持ちにも余裕がでて、子育てに良い影響が出るのではと思います。
- ・多子世帯には手当を厚くする等、給付金をもらうにしても難しい手続きをしなければならないのではなく、児童手当の口座でスムーズに入金するなり分かりやすくしてもらいたい。今と昔では違う（物価や教育費など）というのをいまいちど理解してもらいたい。今、子育てをしている人が（子どもたちも含め）悩まず楽しくくらすようになってほしいです。よろしくお願いします。
- ・子どもが（一世帯に）増えれば増えるほど、その家庭は経済的、日常の子育てに悩まされています。羽村市としても多子世帯への援助を積極的にしていただきたいです。少子化は国でも課題としてい

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

ますが、支援は未だにない状態であります。まずは、地方自治体が即時対応していただくことで、国へアピールしていただきたいと思います。3人の子どもの子育てをしている親として切なる思いです。

- ・ 高校までの医療費無償や、小中学校の給食費無償化など、収入に関わらず子ども平等に受けられる経済的支援を希望したいです。
- ・ 子どもたちのために、市としてどんな実績・取組があったか、改善されたかを子ども向けの新聞的に年1くらいでお知らせしてくれると、行政の取組や税金の使われ方について子ども自身が知る機会になるのではと思います。
- ・ 子ども達が安心、安全に生活できる環境は、家庭だけでなく、社会の支援があり成り立つと痛感している。就労でこども園を利用しているが、親もリフレッシュ、子どもがいない時に用事を済ませるなどが必要だと思う。親の心のゆとりが子ども達にも伝わり、子ども達にとって良い環境へとつながっていくと思う。国や市が、経済的な支援をしてくれている事にもとても感謝している。気持ちも経済も安定する事が子どもを育てていくうえで必要だと思う。難しい取組みではあるが、このように声をすくいあげてもらえて心強い。ありがとうございます。

■情報提供・手続き等について（16件）

- ・ 育児相談は毎月あってとても助かっています。小さな事でも聞きやすいので、これからも利用させて下さい。保育園のイベント（子育てひろば）については、ハッピーカレンダーにあるもの以外は知らなかったのもう少し分かりやすく周知してほしいと思いました。
- ・ 情報を集めようとしなくても各家庭でしっかり周知できる環境がまだまだ足りていないと思います。もっと見える化してほしいです（広報のように）。小学生（低学年）を持つ親が臨時で子どもを気軽に預けられる所がありません。学童に入れる程働けず、見てくれる家族がいないので困ります。
- ・ オンラインで申請できるものは窓口からオンライン申請に移行してほしいです。（産後の手続き、けっこう時間がかかります）
- ・ 働きながら子育てする世帯への支援の一環として、すべての行政手続がオンラインでできるようになるのが望ましいです。このアンケートについてもWEBから回答可能とすれば回答は上がると思います。
- ・ 市の税金使用用途を開示していただいています。老人福祉と子ども福祉が同一会計になっています。別々会計にして子ども福祉にいくら使っているかわかるよう開示していただきたいです。

■場（遊び場・居場所等）づくりについて（78件）

- ・ こどもまんなか社会というのなら、もう少し子どもにやさしい羽村市になってほしいです。私達子育て世代から見ると20歳くらいの子たちが公園を占拠して遊べなかったり、老人会のゲートボールで遊べなかったりというのがあまりに多く子どもが遊ぶ場所も確保できません。
- ・ 特別不満はないのですが、公園の清掃がもっといきとどいたらうれしいです。砂場にガラスの破片などがよく落ちているのを見たことがあるので、きれいになったらうれしいです。

- ・公園がほしいです。市民プールもやってほしいです。親水公園の水遊び場は汚く、遊ばせたくないです。キレイにしてほしいです。
- ・交通公園や芝生広場等広くて大きな羽村市民が集まれるような場所があればいいなと思います。
- ・公園の遊具が故障している期間が長いのももう少し早く修理していただけると助かります。児童館の冬季の閉館時間を、夏季と同じ17時にして欲しいです。図書館と同じく、保護者のいない小学生（以下）の子は16時30分までというように、区切りを設けるのもいいなと思いました。
- ・未就学児の子どもがいる父親（男親）同士で子どもの育児、教育を話し合え、交流できるイベント等を開催してほしいです。（平日、土日の日時を設ければ参加しやすいと思います）

■安全・安心について （33件）

- ・保育園に通っている間は共働きでも安心して過ごせます。
- ・保育園や保健センター、児童館など親身に相談にのってもらえてとても安心します。
- ・市外に仕事で出ている保護者が利用しやすい、子どもを保育園に迎えに行きやすい環境づくりを希望します。公園まわりがまだ暗いと感じるので、明かりの加減をもう少し検討頂けると嬉しいです。
- ・不審者など防止のために地域の見守りパトロールのようなボランティアが散歩もかねて子どもたちの通学路付近や公園付近などにいてくれるのが時々あれば子どもたちも安心しそうです。歩道がせまい場所も多いので、安全に歩ける歩道（広め）がどんどん出来ていくと良いなと思います。
- ・子どもがけがした時、探しまわるようなことがないよう見やすい指示がほしいです。子どもが迷子になってもすぐ見つかるよう、全員がGPSを常時携帯できるようになってほしいです。

■就労・仕事・育児休業について （38件）

- ・子どもが保育園に入園してから、本当にありがたさを感じています。仕事の間にみていてくれるだけでもありがたいのに、様々な経験をさせてくれ、様々な教育をしてくれています。それを担っている保育士さんの待遇が少しでも良くなっていくことを願います。人の命を預かる大変責任のある仕事だと思います。私の友人にも資格を持つ方がいますが、収入と責任の割が合わない職を離れてしまいました。能力や意識の高い保育士さんが働きたい場所を作ってくれば、子どもを預ける側としてはぜひそういった所を選びたいと思います。子どもや家庭に直接かかわる支援もありがたいですが、“保育園職員の環境が良い市”であれば子どもを持つ家庭にとって選びたい市になると思います。
- ・子育て、仕事、家庭のことをやりながら自分のリフレッシュや用事を済ませることがとても大変な日々です。
- ・この度は意見募集の機会を頂きありがとうございます。共働きで平日は保育園を利用していますが、夫が土日も出勤することがありワンオペで子どもと過ごすことに若干つらさを感じています。
- ・保育施設利用時に必要な継続の手続きが今回から提出方法が変わったこと、とても良く働いている人に優しい配慮だと思いました。働いていると市役所で行う手続きが出来なく、仕事・会社を休んで行わなければいけない状況です。市役所で行う手続きが今後インターネット上のみで完結できるようなシステムになったらいいなと夢におもいます。ぜひご検討宜しくお願いします。
- ・共働きで平日は仕事のため、検診や相談をするには休みをとらなければならないです。子どもの体調不良で面倒を見るにも有休を使うため、とても負担が大きいです。土日祝にも対応可としてほしいです。また、保育士や先生等、教育に関わる人々の待遇の向上をお願いしたいです。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

■相談・悩みについて 33件

- ・保健センターで発達相談を行い、早めに集団に慣れた方がよいとのことで保育園を勧められることがあると聞きます。市内の保育園でも支援が必要な子は多くいると思いますが、それに伴う職員の充実ができていないかは疑問に思うことがあります。たくさん子どもたちを少ない保育士で見るということも大変の中、個別支援が必要な子も含め、国の基準に満たしているというのは無理があると思います。保育士の収入、業務内容などが問題視されている中、このような状況は改善に値すると思います。子どもたちにとってもより良い環境になる為にもご検討願います。
- ・子育てで不安なことは色々ありますが、羽村に来てよかったなと思っています。今後の成長過程で不安や悩みは変わるとは思いますが、その際には頼れる支援があつたらいいなと思います。
- ・子の接し方に悩むことがあり、講座や講演会があれば参加したいと思いますが、なかなか忙しく機会に恵まれません。そういった事業があれば、今後も動画配信など時間を問わず参加できるようにして下さると嬉しいです。
- ・小学校の入学に向けて、不安を抱えている親は多いと思うので、手厚い支援をお願いしたいです。
- ・子育てしている家庭だけに言えることではありませんが物価高騰をはじめ、介護や住宅問題、将来の教育費の不安等、金銭の不安はやはり悩みの種です。
- ・1才10ヶ月の息子を育てています。私は現在育休中なので毎日子どもと過ごしています。子育て相談の日によく児童館を利用していますが、相談日でない日に行くとあまりお友達に会えず、ポツーンと過ごす事があります。できれば毎日同年代の子と遊ばせたいのですが、公園へ行っても誰もいない日があるので、どこへ行けばお友達に会えるだろうと悩んでいます。知り合いのママも相談日以外はどこに行こう…と同じように悩んでいました。最近ではそうした知り合いのママ達と連絡をとって、[確実に誰かと遊べる日]というのを確保しています。連絡を取り合うようになるまでが孤独だったと感じています。子育て相談の午後の実施や相談員の先生の常勤化がされると、たくさんの人と出会える機会が増えるのではないかと思います。お友達に会えなくても先生がいれば一緒に遊んでもらえたり、母の悩みを聞いてもらえたりするので、それだけでもすごくありがたいです。

■教育・学校について 45件

- ・私達の家族にとっては、保育園の環境や先生方に支えられ、とても助かっております。昔とは違い、小学校や中学校の教育の質が落ちているように感じます。羽村市の幼・保・小・中の先生方が交流し、子どもをまんやかに置いた社会について話し合っただけなら嬉しく思います。
- ・まだまだ、教育、環境の充実が満足ではないのは大半だと思います。
- ・幼・保育園、学校等の先生方の負担が年々増えていっています。電子化できるものは実施して負担を減らして欲しいです。教育・教育施設への予算を増やして、質・サービスを良くして欲しいです。
- ・保育園の年長から英語の遊びなど少しでもふれあえる様に市のネイティブな先生を派遣させるなどして欲しいです。
- ・小学校は少人数制か先生を増やし、しっかり児童を見ていく環境をつくると良いと思います。小学校へ入り、放課後が心配です。

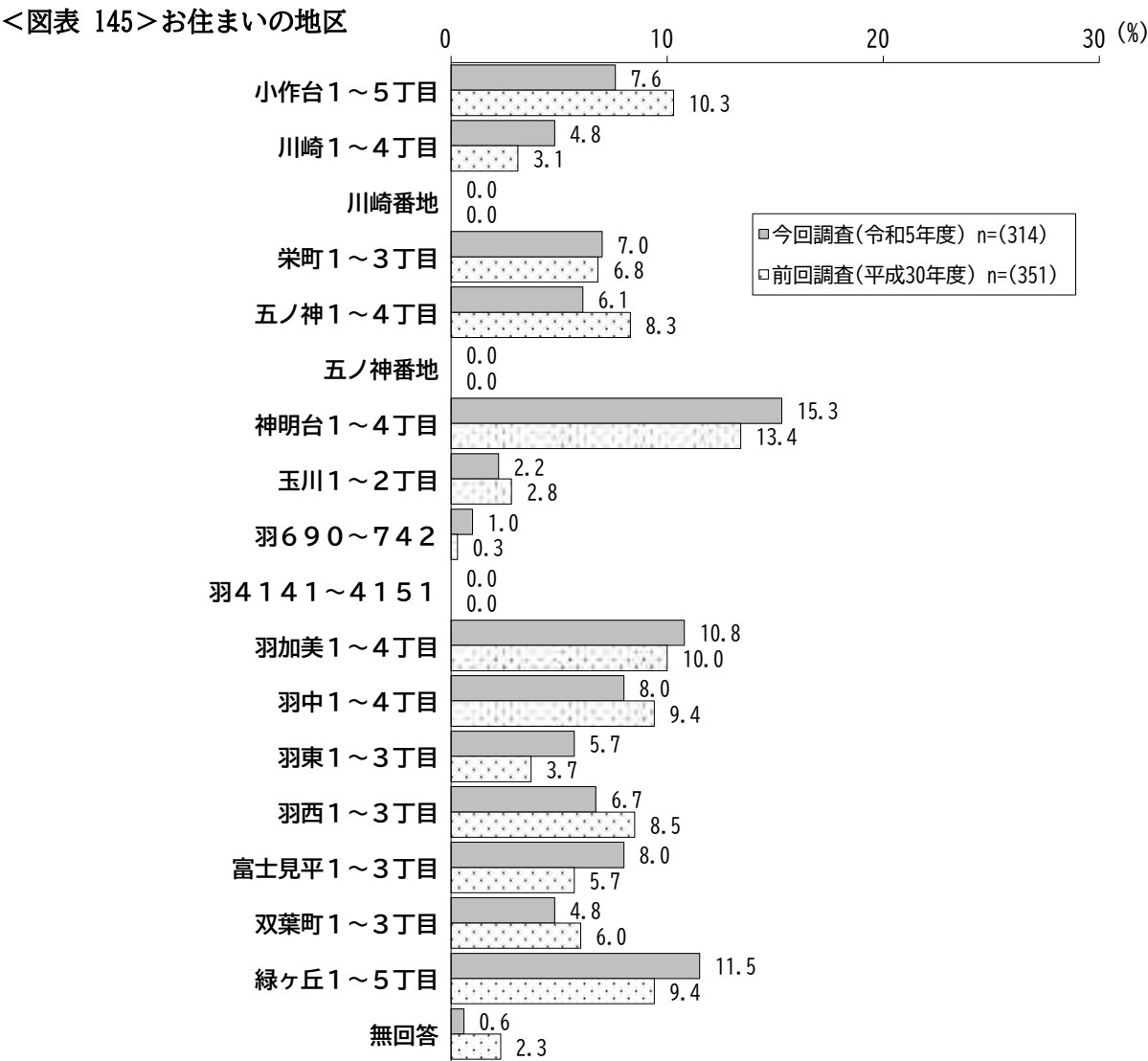
- ・近隣の市町村に比べ、羽村市の教育・保育環境・子育ての支援に関すること等、満足度も高く充実していると感じています。ですが、“こどもまんなか社会”の実現は、なかなか厳しく、国の政策に納得できない部分（国の影響）が多くあると実感しています。子育て当事者への政策に力を入れているように主張しながらも、別の側面をみた時に結局、税金を徴収されるような動きがあったりすることで、あまり意味がない政策に感じてしまいます。そんな中でも市の取り組みにより、子どもや子育て当事者のことを考えてくれていると感じると救われたような気持ちになり、大変ありがたいです。市の出来る事や規模はどうしても限られる部分もあると思いますが、明石市や大分県豊後高田市等、手厚いサポートを目にするとうらやましく感じてしまいます。このようなアンケート調査にも“子育て”に力を入れようと取り組む動きが見られて嬉しいです。是非、子どもたちの未来の為に、市の繁栄の為に頑張ってください。期待しています。よろしくお願い致します。

第3部 アンケート調査の結果（就学前児童調査）

第4部 アンケート調査の結果 (就学児童調査)

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。



2 お子さんご家族の状況について

(1) 宛名の子どもの学年

問2 宛名のお子さんの学年として当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 146>子どもの学年

		(%)						
	回答者数 (n)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答
今回調査 (令和5年度)	314	17.2	16.6	15.0	18.8	15.6	16.9	0.0
前回調査 (平成30年度)	351	16.5	14.5	15.1	18.2	16.5	17.9	1.1

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

（2）きょうだいの数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をカッコ内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

<図表 147>きょうだいの数

		(%)					
	回答者数 (n)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
今回調査（令和5年度）	314	19.4	50.0	23.6	3.2	2.5	1.3
前回調査（平成30年度）	351	21.4	46.2	24.5	4.8	1.4	1.7

<図表 148>末子の年齢（前回調査との比較）

	回答者数 (n)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	(%) 無回答
今回調査（令和5年度）	249	3.6	4.0	4.0	4.4	10.0	63.9	10.0
前回調査（平成30年度）	270	4.1	2.6	3.7	4.8	6.3	68.9	9.6

(3) 世帯構成【新規設問】

問4 宛名のお子さんの世帯（住民票上同じ世帯）は次のうちどれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※祖父母については、どちらか一方だけの場合でも、祖父母としてカウントしてください。

※お子さんには、きょうだいも含んでいます。

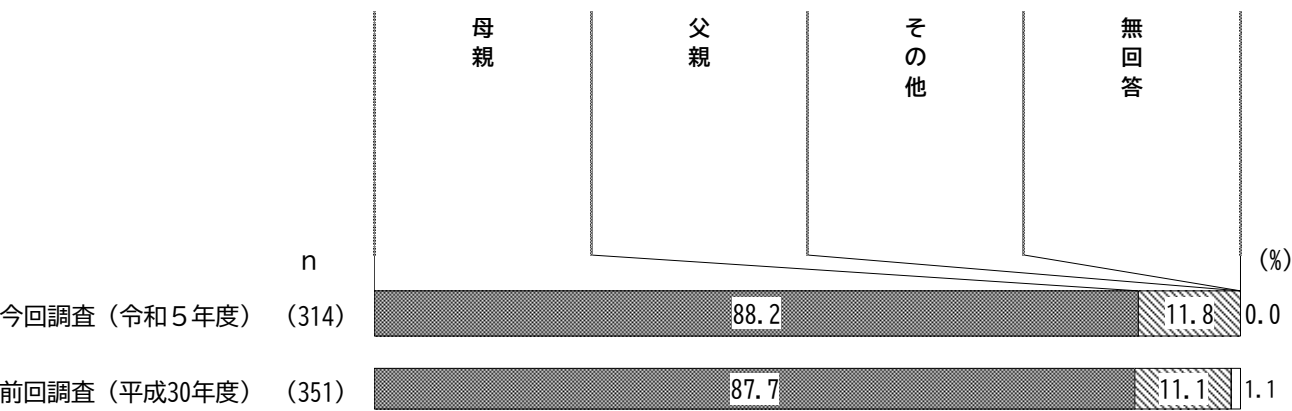
<図表 149> 世帯構成

	回答者数（n）	お子さん＋ご両親	お子さん＋ご両親＋祖父母	お子さん＋母親（ひとり親）	お子さん＋父親（ひとり親）	お子さん＋母親＋祖父母	お子さん＋父親＋祖父母	お子さん＋祖父母	その他	（％） 無回答
世帯構成	314	85.7	4.8	8.3	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 回答者

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

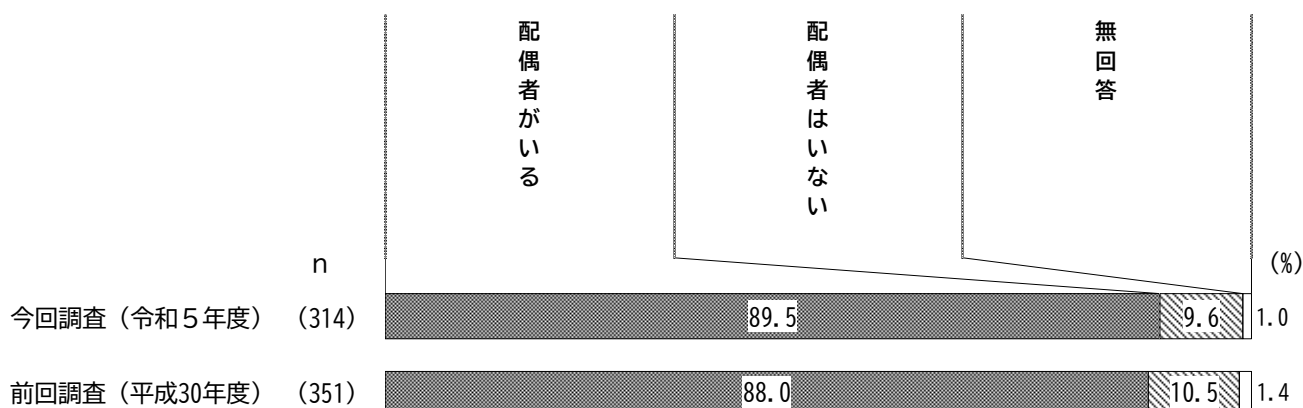
<図表 150> 回答者



（5）回答者の配偶関係

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

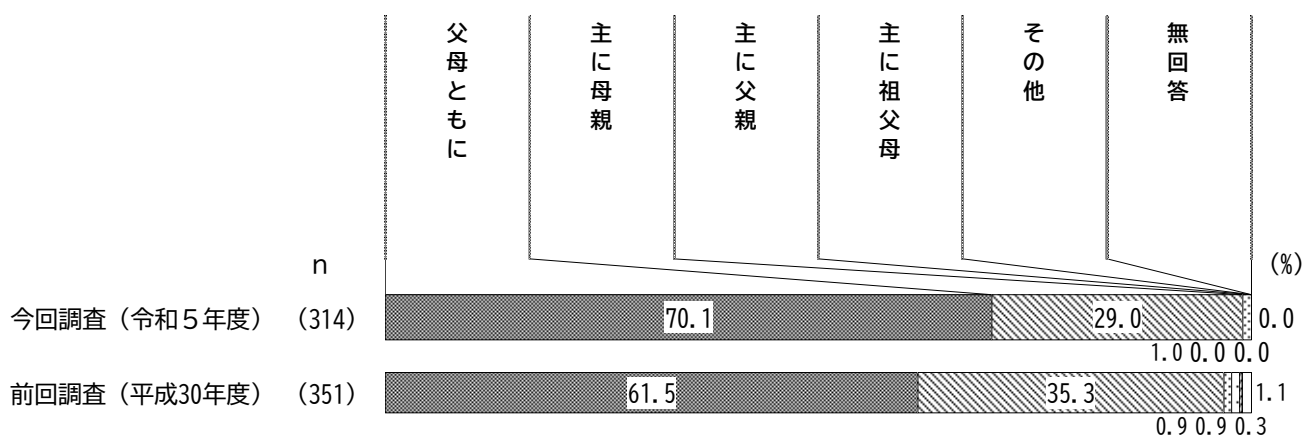
<図表 151>回答者の配偶関係



（6）子育て(教育を含む)を主に行っている方

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 152>子育てを主に行っている方

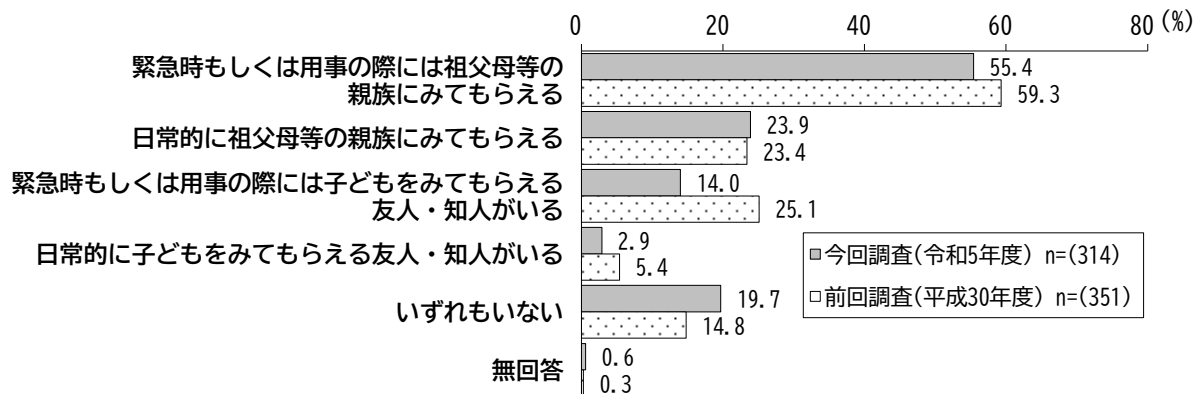


3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

＜図表 153＞お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

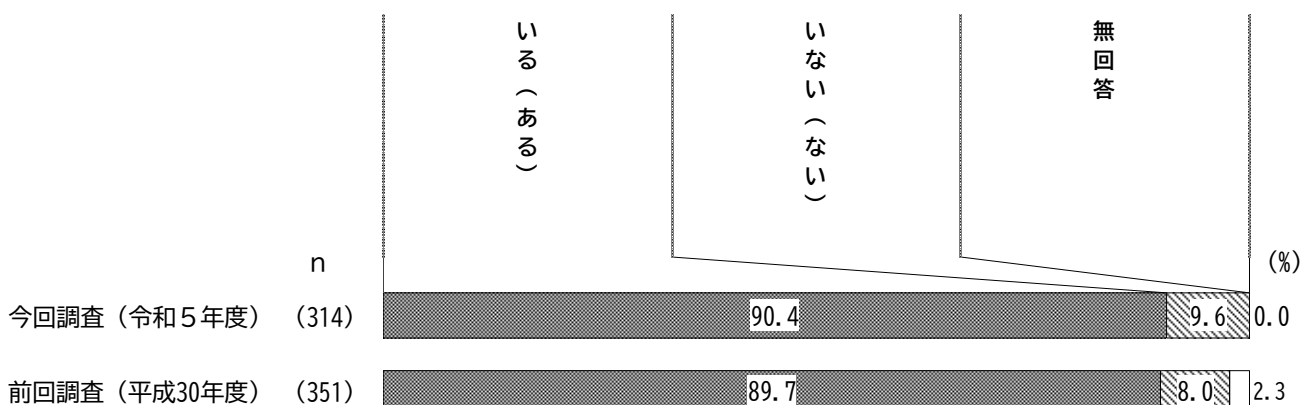


前回調査に比べて、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が11.1ポイント減少しています。

(2) 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

＜図表 154＞子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無



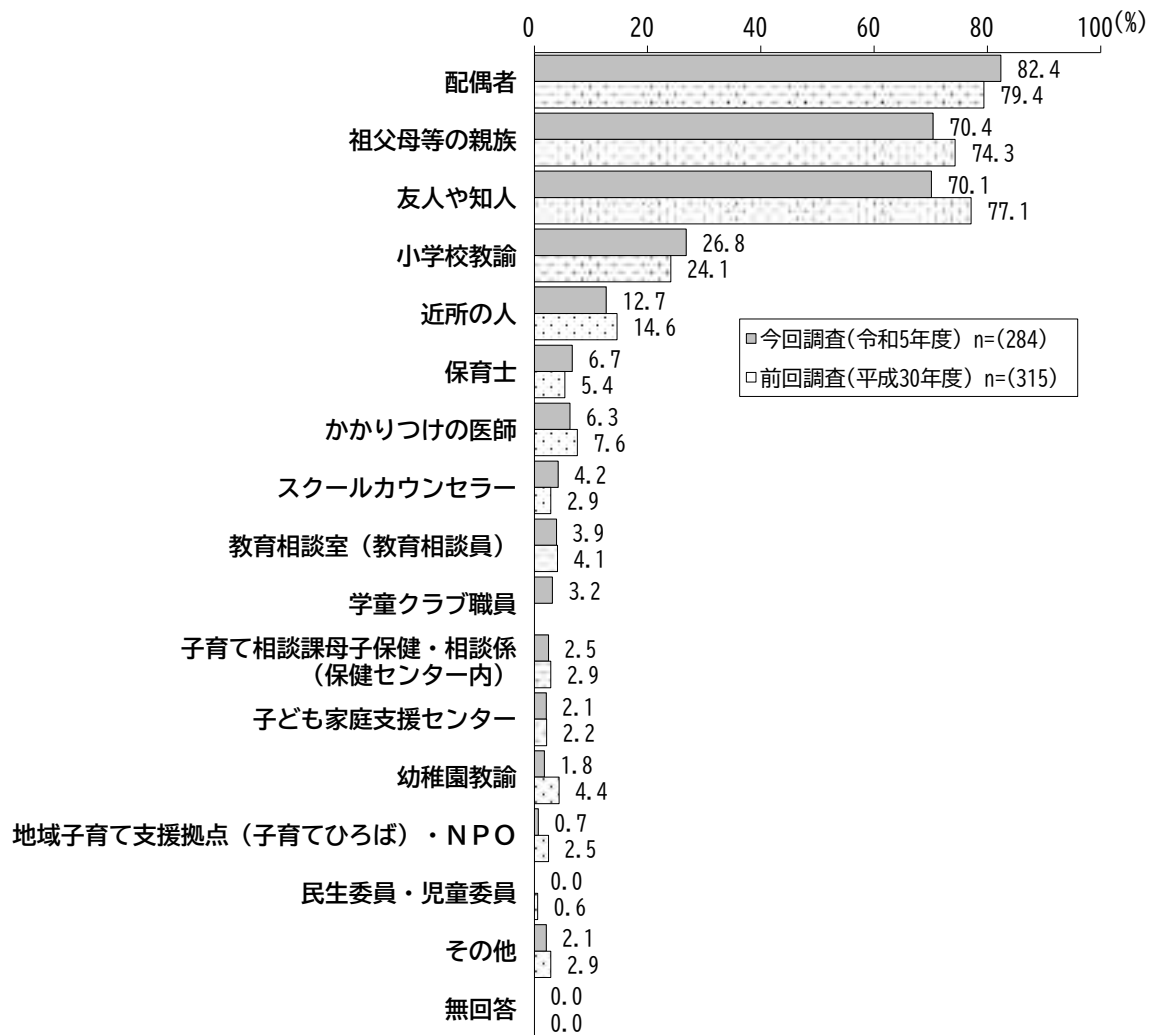
前回調査に比べて、大きな差は見られません。

（3）相談できる人・場所の内訳

問9－1 問9で「いる(ある)」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 155>相談できる人・場所の内訳



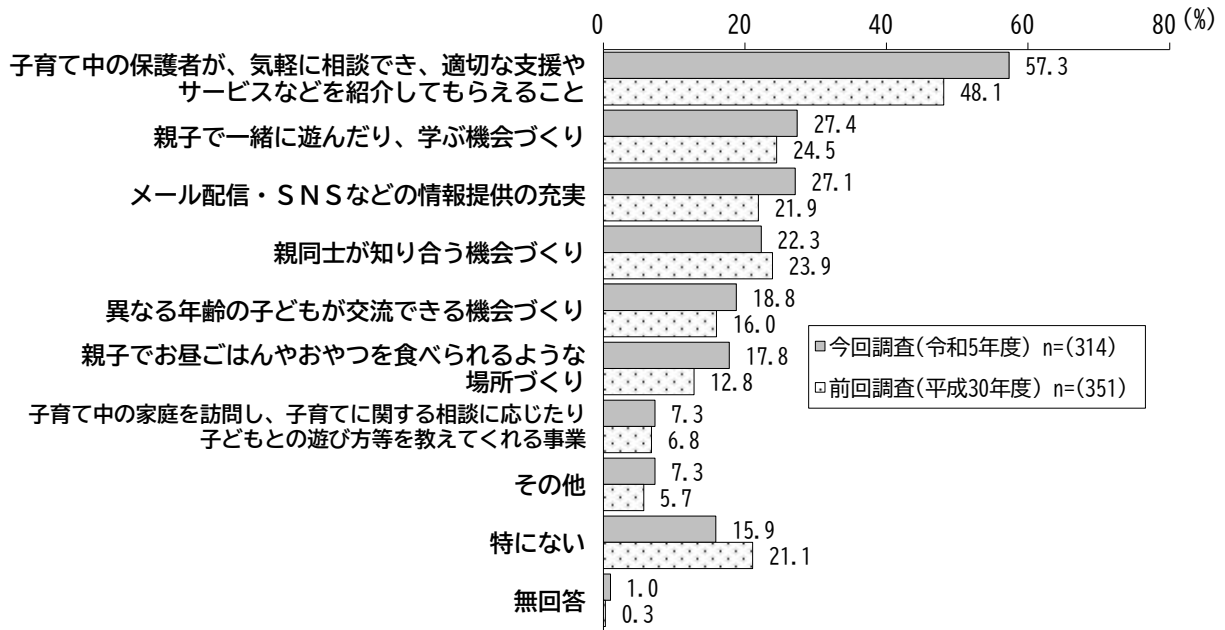
※「学童クラブ職員」は今回から新設

前回調査に比べて、「友人や知人」が7.0ポイント、「祖父母等の親族」が3.9ポイント減少しています。

（4）子育てをする上で希望するサポート

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 156>子育てをする上で希望するサポート



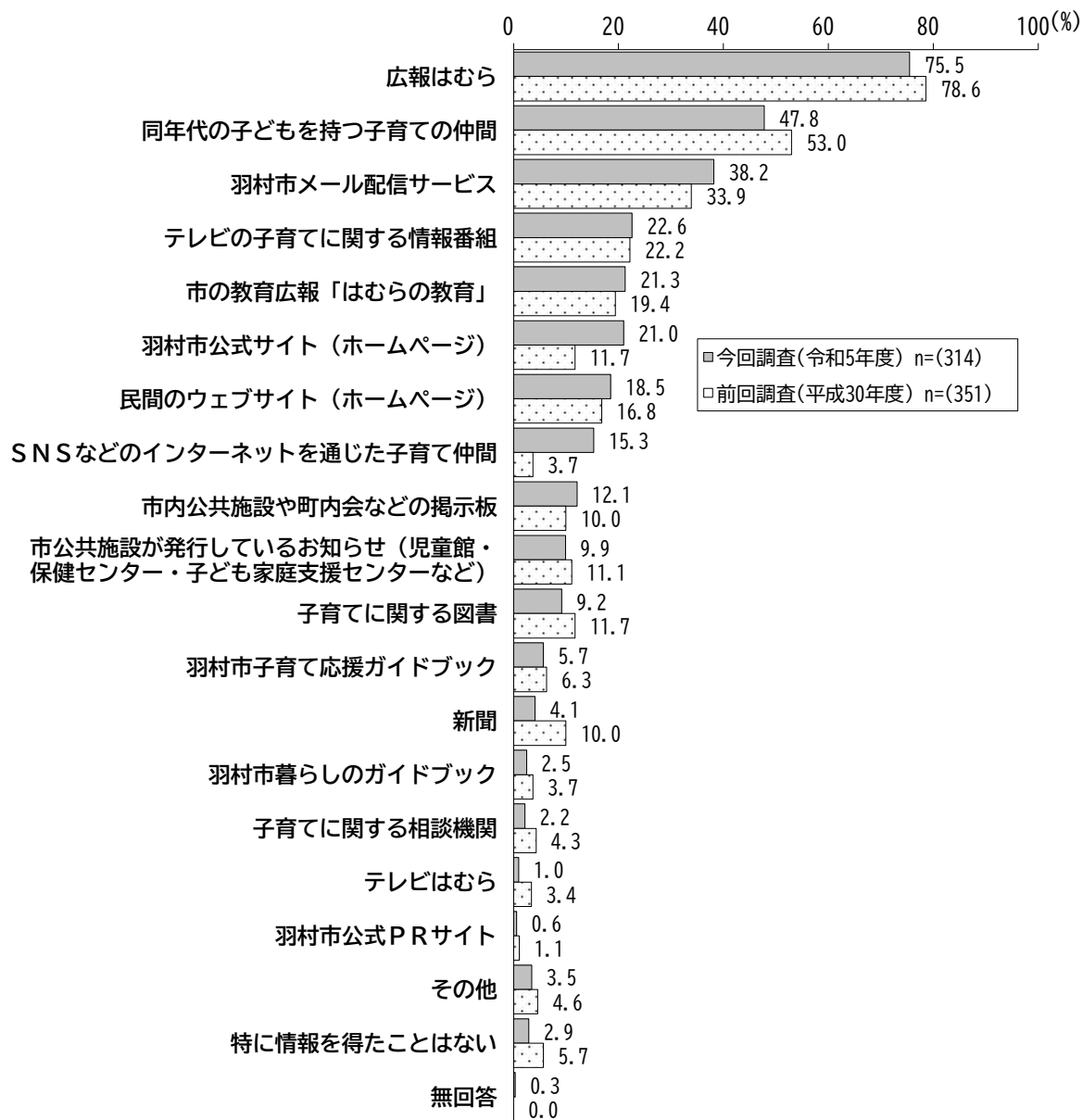
前回調査に比べて、「子育て中の保護者が、気軽に相談でき、適切な支援やサービスなどを紹介してもらえること」が9.2ポイント、「メール配信・SNSなどの情報提供の充実」が5.2ポイント、「親子でお昼ごはんやおやつを食べられるような場所づくり」が5.0ポイント増加しています。

4 子育てに関する情報の収集について

（1）子育てに関する情報の入手手段

問11 子育てに関する情報をどのように得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 157>子育てに関する情報の入手手段



※前回「ブログ・チャット・掲示板などのインターネットを通じた子育て仲間」は、今回「SNSなどのインターネットを通じた子育て仲間」に変更

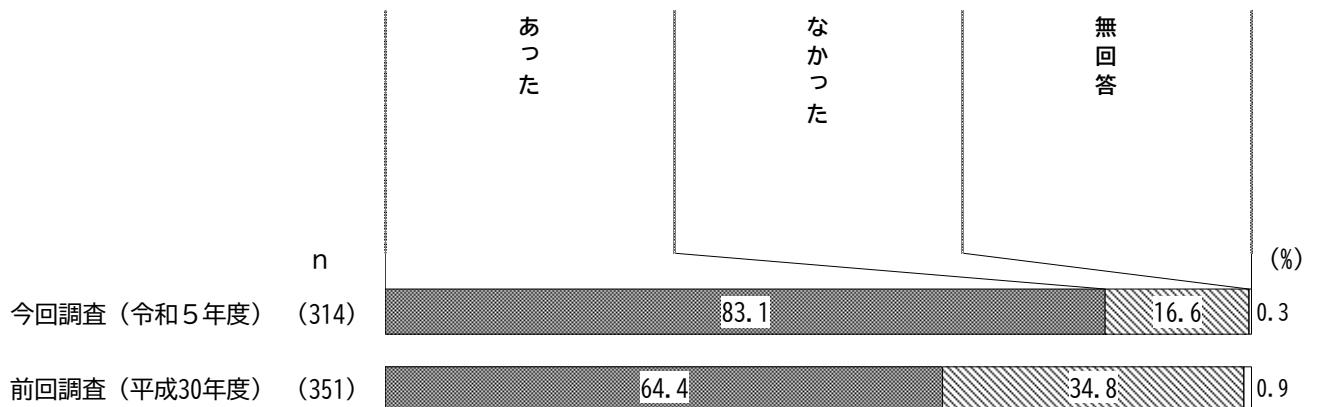
前回調査に比べて、「SNSなどのインターネットを通じた子育て仲間」が11.6ポイント、「羽村市公式サイト（ホームページ）」が9.3ポイント増加し、「新聞」が5.9ポイント減少しています。

5 病気の際の対応について

（1）病気やけがで学校を休まなければならなかったことの有無

問12 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

<図表 158>お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことの有無



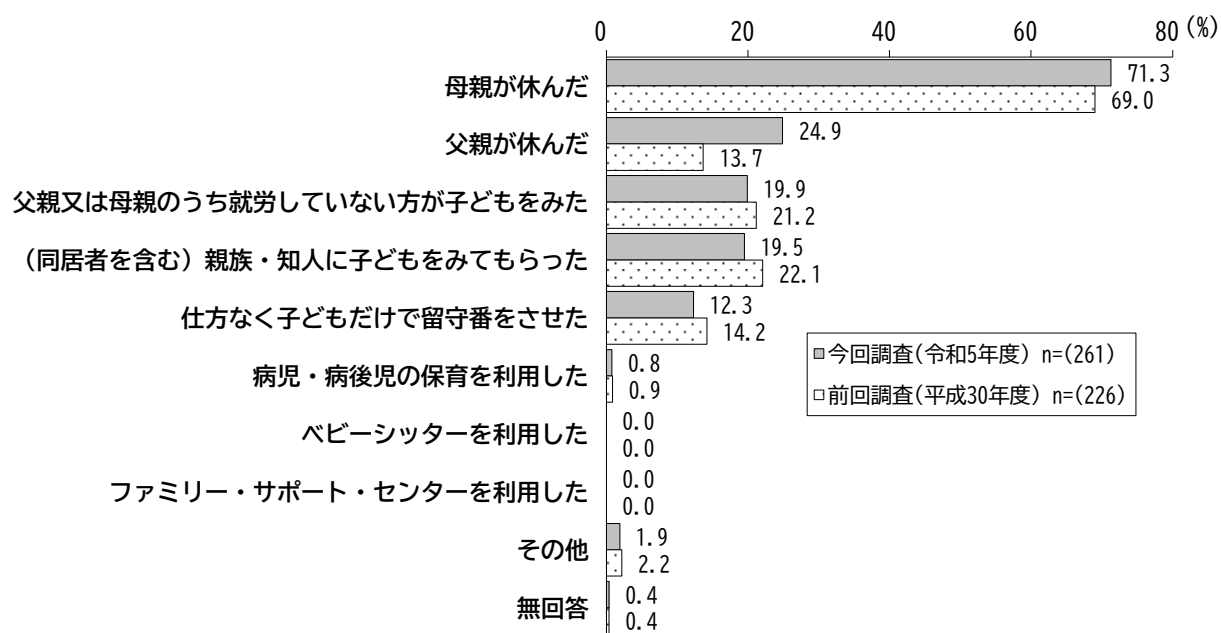
前回調査に比べて、「あった」が18.7ポイント増加し、「なかった」が18.2ポイント減少しています。

（2）病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法

問12－1 問12で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

<図表 159> お子さんが病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法



前回調査に比べて、「父親が休んだ」が11.2ポイント増加しています。

<図表 160> 対処内容ごとの1年間の日数

	回答者数 (n)	1 ～ 2 日	3 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 日 以上	(%) 無 回 答
母親が休んだ	186	28.5	17.7	24.7	24.2	4.8
父親が休んだ	65	55.4	21.5	12.3	4.6	6.2
（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	51	49.0	13.7	17.6	11.8	7.8
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	52	17.3	19.2	32.7	23.1	7.7
病児・病後児の保育を利用した	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもだけで留守番をさせた	32	56.3	21.9	6.3	12.5	3.1
その他	5	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0

※ 病児・病後児の保育を利用したは母数が少ないため、参考として掲載

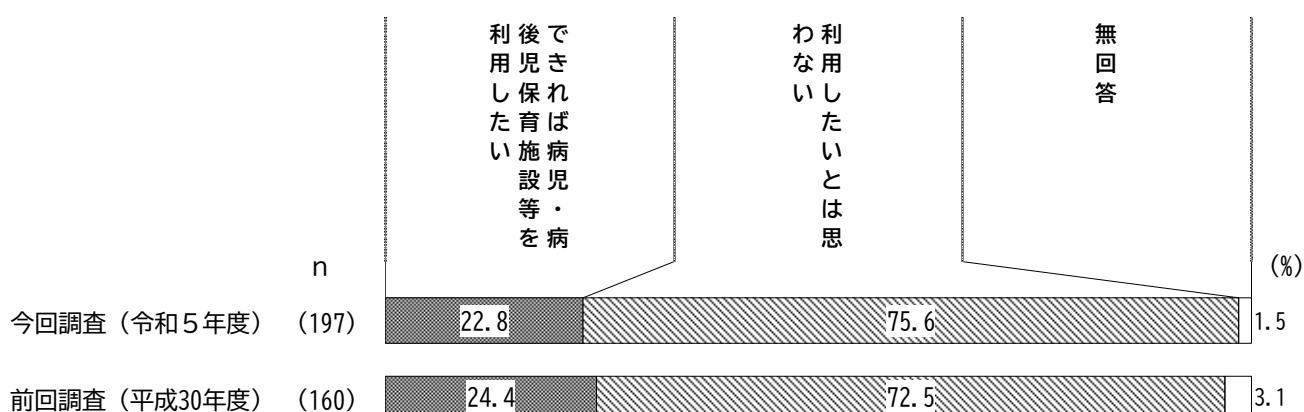
1年間の日数については、母親が休んだ、父親が休んだ、（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった、仕方なく子どもだけで留守番をさせたにおいて、「1～2日」が最も高くなっています。

（3）病児・病後児保育施設等の利用希望

問12-2 問12-1で「母親が休んだ」「父親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についてもカッコ内に数字でご記入ください。

<図表 161>病児・病後児保育施設等の利用希望



前回調査に比べて、大きな差は見られません。

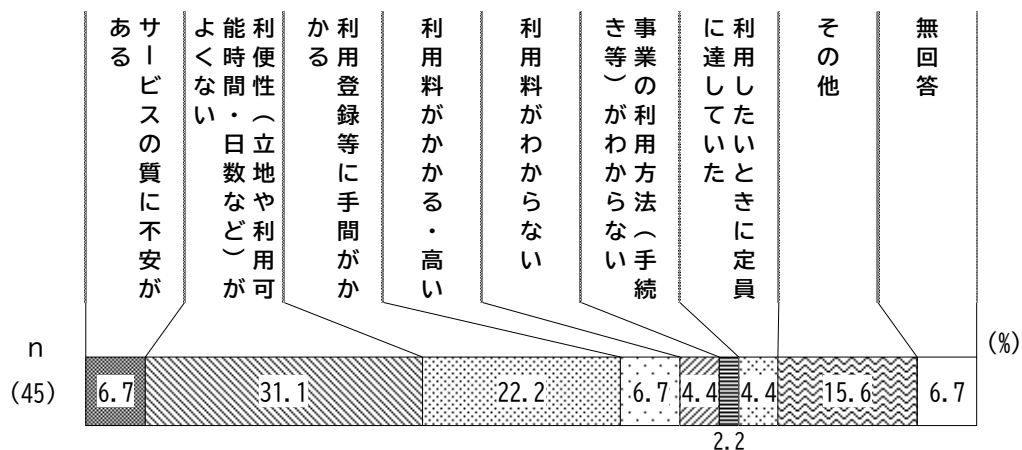
<図表 162>病児・病後児保育施設等の利用希望【1年間の希望利用日数】

	回答者数 (n)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	無 回 答
今回調査（令和5年度）	45	28.9	28.9	13.3	0.0	0.0	28.9
前回調査（平成30年度）	39	41.0	28.2	2.6	0.0	0.0	28.2

（4）病児・病後児保育施設等を利用していない理由

問12-3 問12-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方にうかがいます。
 病児・病後児保育施設等を利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 163>病児・病後児保育施設等を利用していない理由



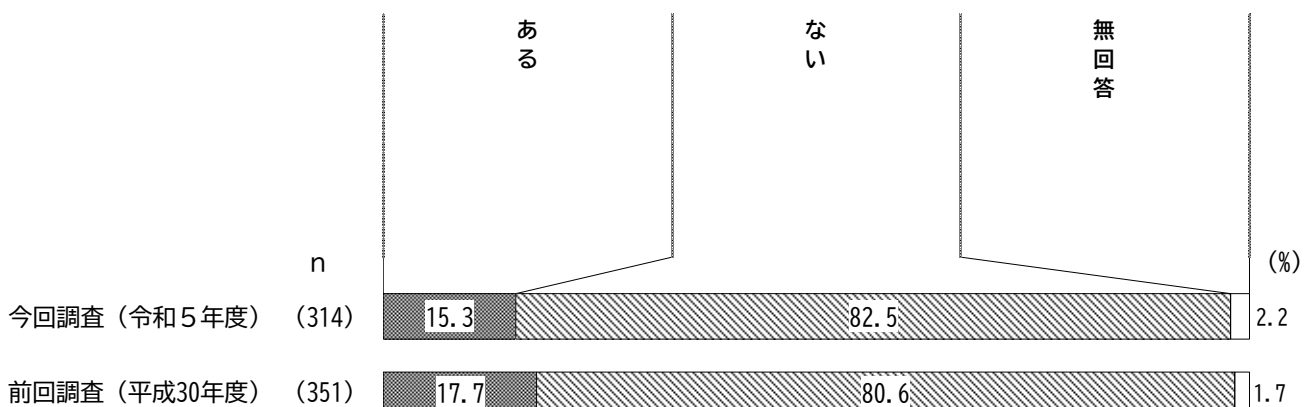
「その他」と回答した方の記入内容は、「そばにいてあげたい」などが挙げられています。

6 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について

（1）お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無

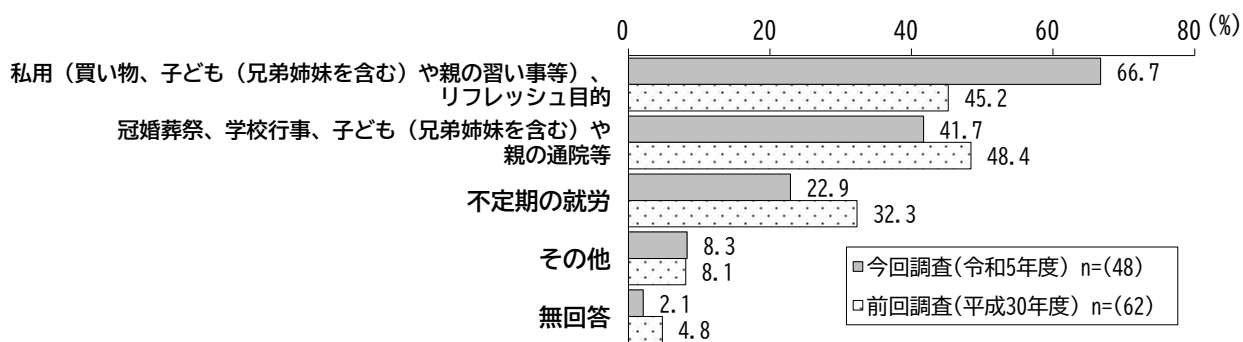
問13 宛名のお子さんに関して、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、1年間に預けたおおよその日数をご記入ください。

<図表 164>お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無



第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

＜図表 165＞お子さんを一時的に預けた理由



前回調査に比べて、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が21.5ポイント増加し、「不定期の就労」が9.4ポイント、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が6.7ポイント減少しています。

＜図表 166＞お子さんを一時的に預けた年間の日数

	回答者数（n）	1～4日	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
年間の合計	48	45.8	16.7	12.5	6.3	12.5	6.3
私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	32	46.9	21.9	12.5	6.3	6.3	6.3
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	20	60.0	15.0	15.0	0.0	0.0	10.0
不定期の就労	11	45.5	0.0	18.2	18.2	9.1	9.1
その他	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0

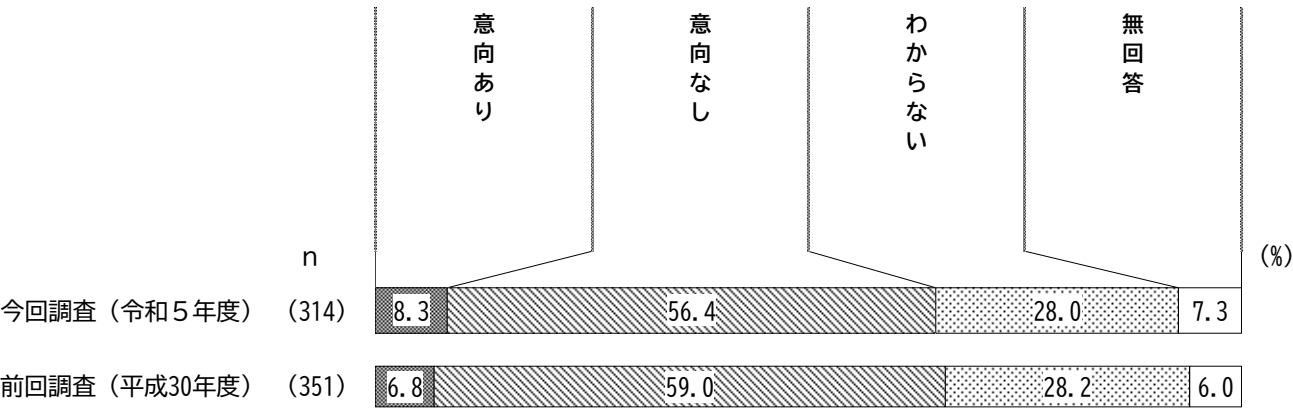
内訳別の1年間の利用日数については、私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的において、「1～4日」が46.9%で最も高く、以下、「5～9日」（21.9%）、「10～19日」（12.5%）の順となっています。

冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等において、「1～4日」が60.0%で最も多く、以下、「5～9日」、「10～19日」（それぞれ15.0%）の順となっています。

(2) 一時預かりの利用意向

問14 一時預かりについて、どの程度の利用意向がありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、意向ありの場合には、1年間に希望するおおよその日数もカッコ内に数字でご記入ください。

<図表 167>一時預かりの利用意向



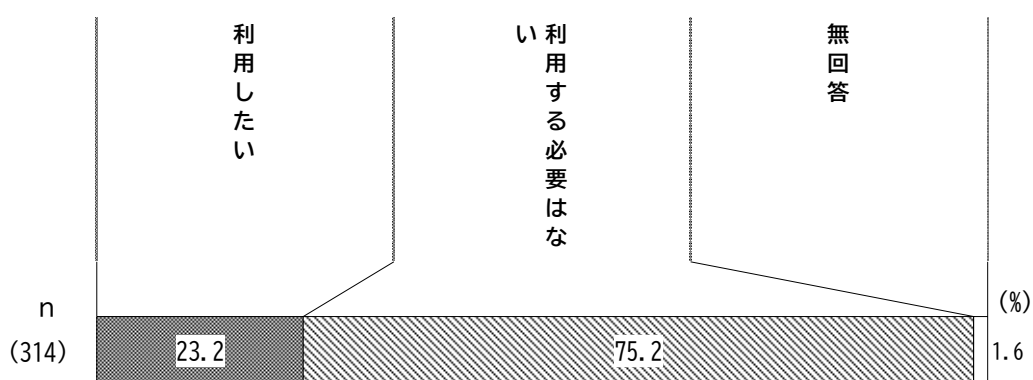
<図表 168>一時預かりの1年間の希望日数

		希望日数 (%)					
	回答者数 (n)	1〜4日	5〜9日	10〜19日	20〜29日	30日以上	無回答
今回調査（令和5年度）	26	34.6	11.5	34.6	7.7	3.8	7.7
前回調査（平成30年度）	24	25.0	33.3	12.5	0.0	20.8	8.3

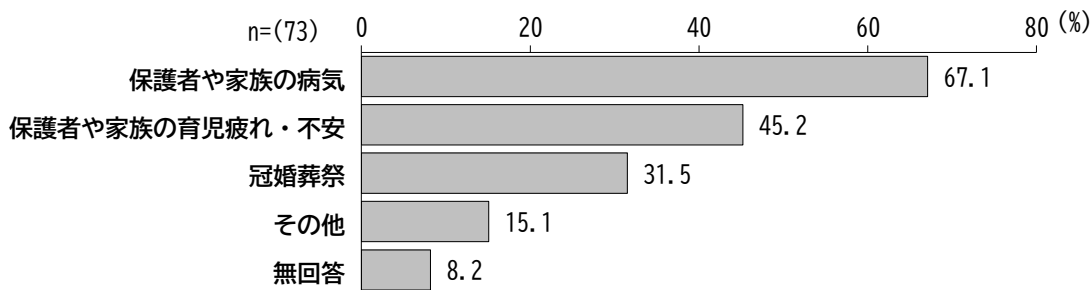
（3）乳幼児向けのショートステイ事業の利用希望【新規設問】

問15 羽村市では乳幼児向けのショートステイ事業（児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）を実施しています。就学児童向けのショートステイ事業があった場合、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）における利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけてください。

<図表 169>乳幼児向けのショートステイ事業の利用希望



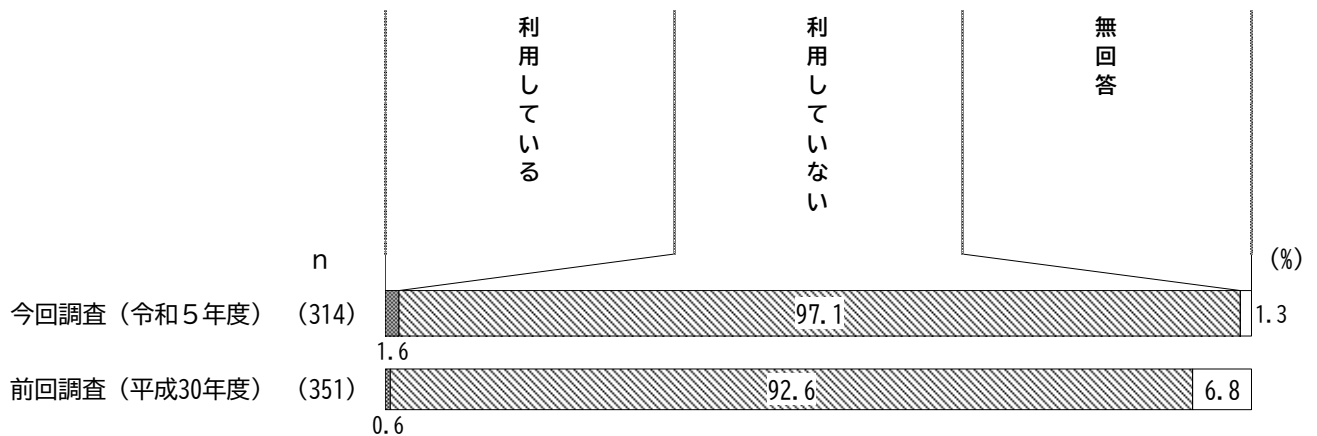
<図表 170>乳幼児向けのショートステイ事業の利用希望の理由



（4）ファミリー・サポート・センターの利用の有無

問16 現在、ファミリー・サポート・センターを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 171>ファミリー・サポート・センターの利用の有無

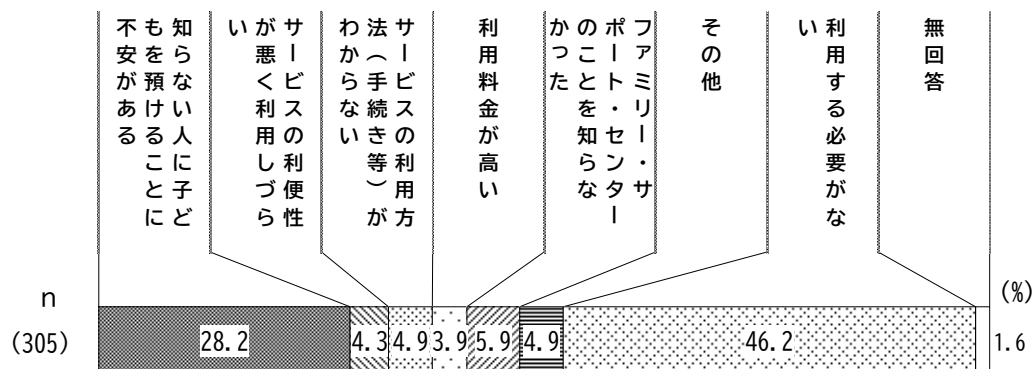


前回調査に比べて、「利用していない」が4.5ポイント増加しています。

（5）ファミリー・サポート・センターを利用していない理由

問16-1 問16で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 172>ファミリー・サポート・センターを利用していない理由

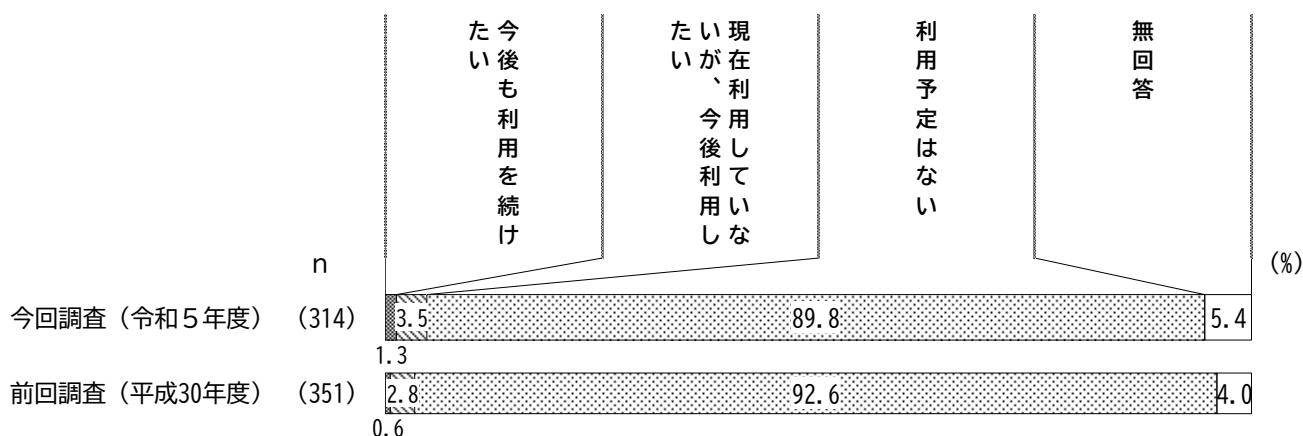


第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

（6）ファミリー・サポート・センターの今後の利用希望

問17 ファミリー・サポート・センターの今後の利用希望についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 173>ファミリー・サポート・センターの今後の利用希望



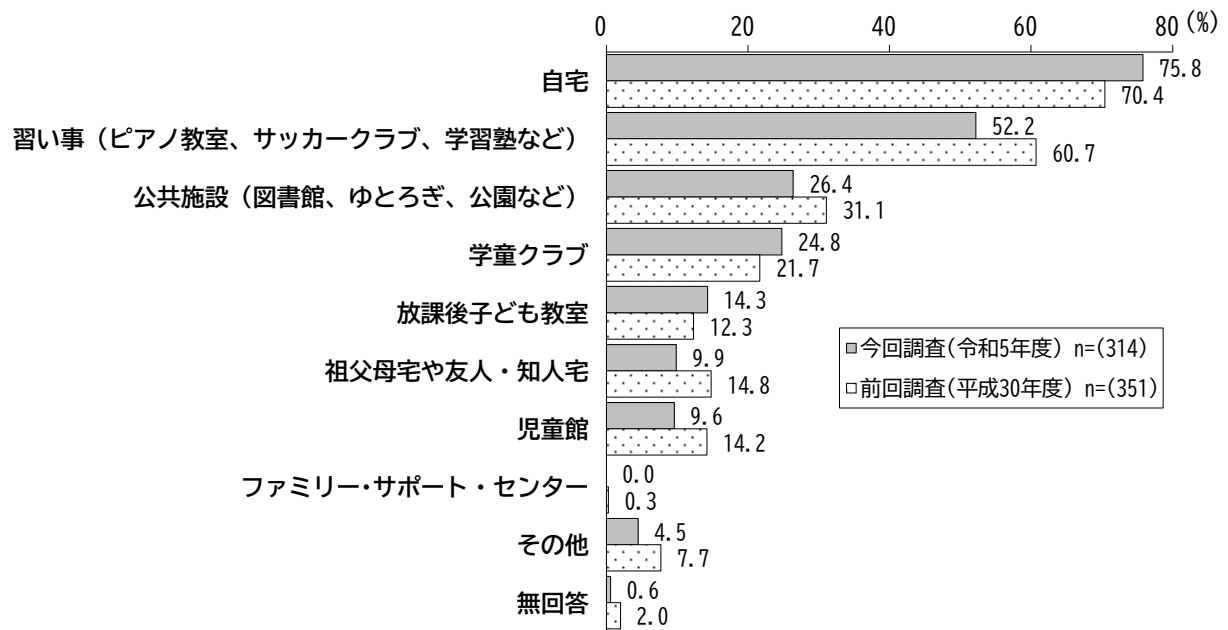
月の希望日数と1日の希望利用時間については、「今後も利用を続けたい」は回答数1人、希望利用日数は2日、希望利用時間は3時間、「現在利用していないが、今後利用したい」は回答数5人、希望利用日数は平均7日、希望利用時間は平均4.2時間となっています。

7 放課後の過ごし方について

（1）お子さんの放課後の過ごし方について

問18 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけ、週当たり日数を数字でご記入ください。

<図表 174> お子さんの放課後の過ごし方



前回調査に比べて、「自宅」が5.4ポイント増加し、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が8.5ポイント減少しています。

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

<図表 175>放課後の居場所別の1週間当たりの利用日数

	回答者数 (n)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	(%) 無回答
自宅	238	14.3	23.1	17.6	13.4	24.8	0.4	2.5	3.8
祖父母や友人・知人宅	31	51.6	32.3	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2	6.5
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	164	29.9	37.8	21.3	6.7	3.0	0.6	0.0	0.6
児童館	30	46.7	33.3	6.7	0.0	3.3	0.0	0.0	10.0
放課後子ども教室	45	35.6	62.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学童クラブ	78	3.8	6.4	23.1	23.1	38.5	1.3	0.0	3.8
ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など）	83	37.3	37.3	13.3	3.6	4.8	0.0	0.0	3.6
その他	14	7.1	57.1	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0

1週間当たりの利用日数については、祖父母宅や友人・知人宅、児童館では「1日」が最も高く、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）、放課後子ども教室では「2日」が最も高く、自宅、学童クラブは「5日」が最も高くなっています。

<図表 176> お子さんの放課後の過ごし方（子どもの学年別／母親の就労状況別）

		(%)										
		回答者数（n）	自宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など）	学童クラブ	放課後子ども教室	祖父母宅や友人・知人宅	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
子どもの学年別	全体	314	75.8	52.2	26.4	24.8	14.3	9.9	9.6	0.0	4.5	0.6
	低学年（1～3年生）	153	60.8	45.8	14.4	49.0	26.1	9.8	5.2	0.0	3.9	0.0
	高学年（4～6年生）	161	90.1	58.4	37.9	1.9	3.1	9.9	13.7	0.0	5.0	1.2
母親の就労状況別	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	126	60.3	46.0	19.8	41.3	17.5	10.3	7.1	0.0	4.0	0.8
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	50.0	83.3	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	118	84.7	54.2	31.4	18.6	11.0	12.7	11.0	0.0	5.9	0.0
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	54	92.6	63.0	31.5	1.9	13.0	1.9	11.1	0.0	3.7	1.9
	これまで就労したことがない	3	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

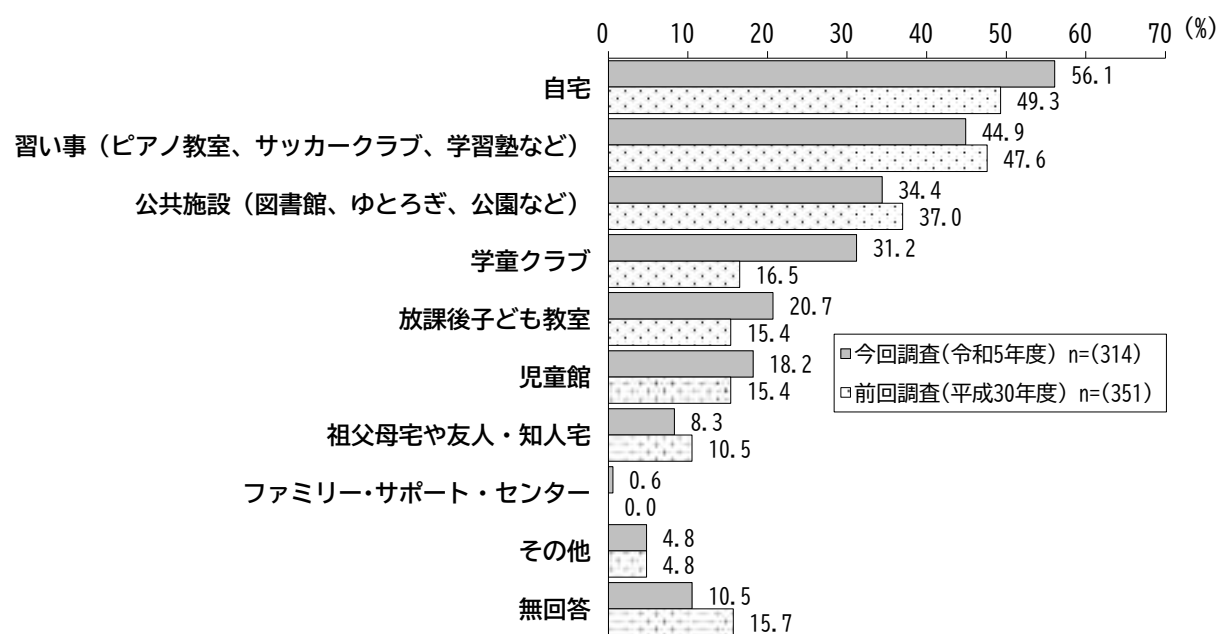
※ フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中）、パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中）、これまで就労したことがないは母数が少ないため、参考として掲載

子どもの学年別で見ると、高学年（4～6年生）になると、「学童クラブ」や「放課後子ども教室」が減り、「自宅」や「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が増えています。

母親の就労状況別で見ると、フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中ではない）において、「自宅」（60.3%）、や「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（46.0%）、「学童クラブ」（41.3%）が多くなっています。また、パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中ではない）、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがないにおいては、「自宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

＜図表 177＞希望する放課後の過ごし方



前回調査に比べて、「学童クラブ」が14.7ポイント、「自宅」が6.8ポイント、「放課後子ども教室」が5.3ポイント増加しています。

<図表 178> 1週間当たりの希望利用日数

		(%)							
	回答者数 (n)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	176	21.6	22.7	22.7	5.7	17.0	0.6	1.7	8
祖父母や友人・知人宅	26	53.8	42.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	141	26.2	39.0	19.1	5.7	2.1	0.0	0.0	7.8
児童館	57	38.6	33.3	5.3	3.5	1.8	0.0	0.0	17.5
放課後子ども教室	65	23.1	36.9	21.5	1.5	6.2	0.0	0.0	10.8
学童クラブ	98	1.0	10.2	14.3	9.2	21.4	0.0	0.0	43.9
ファミリー・サポート・センター	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など）	108	36.1	30.6	17.6	3.7	4.6	0.0	0.0	7.4
その他	15	6.7	46.7	33.3	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0

1週間当たりの希望利用日数については、祖父母宅や友人・知人宅、児童館、公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など）では、「1日」が最も高く、自宅、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）、放課後子ども教室では、「2日」が最も高くなっています。

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

<図表 179>希望する放課後の過ごし方（子どもの学年別／母親の就労状況別）

		(%)										
		回答者数（n）	自宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など）	学童クラブ	放課後子ども教室	祖父母宅や友人・知人宅	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
	全体	314	56.1	44.9	34.4	31.2	20.7	18.2	8.3	0.6	4.8	10.5
子どもの学年別	低学年（1～3年生）	153	47.1	37.9	25.5	56.2	32.7	13.1	7.2	1.3	5.2	7.8
	高学年（4～6年生）	161	64.6	51.6	42.9	7.5	9.3	23.0	9.3	0.0	4.3	13.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	126	45.2	40.5	23.8	45.2	18.3	14.3	11.9	0.8	3.2	14.3
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	50.0	66.7	33.3	50.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	118	59.3	42.4	44.1	27.1	20.3	24.6	5.1	0.0	5.9	8.5
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	54	74.1	64.8	38.9	5.6	24.1	13.0	5.6	1.9	7.4	7.4
	これまで就労したことがない	3	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

※ フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中）、パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中）、これまで就労したことがないは母数が少ないため、参考として掲載

子どもの学年別で見ると、高学年（4～6年生）になると、「学童クラブ」や「放課後子ども教室」が減少し、「自宅」や「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など）」が増加しています。

母親の就労状況別で見ると、フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中ではない）において、「自宅」（45.2%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（40.5%）が高くなっています。また、以前は就労していたが、現在は就労していないにおいては、「自宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

(2) 平日放課後・土曜・日曜・祝日・夏休み・冬休み等の学童クラブの利用希望

問19 問18で「学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、学童クラブを何年生まで利用したいと思いますか。平日の放課後、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等の長期休暇期間中のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯も、(例) 9～18時のように24時間制でご記入ください。

<図表 180>学童クラブの利用希望

							(%)
	回答者数 (n)	低学年(1～3年生)の間は利用したい	4年生まで利用したい	5年生まで利用したい	6年生まで利用したい	利用する必要はない	無回答
平日の放課後	99	35.4	28.3	4.0	29.3	0.0	3.0
土曜日	99	11.1	8.1	0.0	12.1	52.5	16.2
日曜・祝日	99	1.0	2.0	1.0	9.1	68.7	18.2
夏休み・冬休み等	99	22.2	18.2	4.0	46.5	0.0	9.1

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

<図表 181>利用したい時間帯

（１）平日の放課後

	全体	低学年（１～３年生） 利用したい	４年生まで 利用したい	５年生まで 利用したい	６年生まで 利用したい
回答者数（ｎ）	96	35	28	4	29
14時まで	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15時まで	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16時まで	3.1	8.6	0.0	0.0	0.0
17時まで	20.8	20.0	21.4	25.0	20.7
18時まで	53.1	37.1	64.3	75.0	58.6
19時まで	13.5	25.7	7.1	0.0	6.9
20時まで	3.1	0.0	0.0	0.0	10.3
21時以降	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6.3	8.6	7.1	0.0	3.4

（２）土曜日

	全体	低学年（１～３年生） 利用したい	４年生まで 利用したい	５年生まで 利用したい	６年生まで 利用したい
回答者数（ｎ）	31	11	8	0	12
6時台以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	9.7	9.1	0.0	0.0	16.7
8時台	74.2	72.7	62.5	0.0	83.3
9時台	80.6	81.8	62.5	0.0	91.7
10時台	80.6	81.8	62.5	0.0	91.7
11時台	80.6	81.8	62.5	0.0	91.7
12時台	80.6	81.8	62.5	0.0	91.7
13時台	80.6	81.8	62.5	0.0	91.7
14時台	77.4	72.7	62.5	0.0	91.7
15時台	74.2	72.7	62.5	0.0	83.3
16時台	71.0	72.7	50.0	0.0	83.3
17時台	71.0	72.7	50.0	0.0	83.3
18時台	58.1	72.7	37.5	0.0	58.3
19時台	19.4	27.3	0.0	0.0	25.0
20時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21時台以後	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	19.4	18.2	37.5	0.0	8.3

※ （２）土曜日は母数が少ないため、参考として掲載

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

(3) 日曜・祝日

	全体	低学年（1～3年生） 利用したい	4年生まで 利用したい	5年生まで 利用したい	6年生まで 利用したい
回答者数（n）	13	1	2	1	9
6時台以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	15.4	0.0	0.0	100.0	11.1
8時台	76.9	0.0	50.0	100.0	88.9
9時台	92.3	100.0	50.0	100.0	100.0
10時台	92.3	100.0	50.0	100.0	100.0
11時台	92.3	100.0	50.0	100.0	100.0
12時台	92.3	100.0	50.0	100.0	100.0
13時台	92.3	100.0	50.0	100.0	100.0
14時台	92.3	100.0	50.0	100.0	100.0
15時台	92.3	100.0	50.0	100.0	100.0
16時台	92.3	100.0	50.0	100.0	100.0
17時台	92.3	100.0	50.0	100.0	100.0
18時台	76.9	100.0	50.0	100.0	77.8
19時台	23.1	0.0	0.0	0.0	33.3
20時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21時台以後	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.7	0.0	50.0	0.0	0.0

(4) 夏休み・冬休み等

	全体	低学年（1～3年生） 利用したい	4年生まで 利用したい	5年生まで 利用したい	6年生まで 利用したい
回答者数（n）	90	22	18	4	46
6時台以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	10.0	9.1	5.6	0.0	13.0
8時台	78.9	72.7	88.9	100.0	76.1
9時台	90.0	86.4	88.9	100.0	91.3
10時台	90.0	86.4	88.9	100.0	91.3
11時台	90.0	86.4	88.9	100.0	91.3
12時台	90.0	86.4	88.9	100.0	91.3
13時台	90.0	86.4	88.9	100.0	91.3
14時台	90.0	86.4	88.9	100.0	91.3
15時台	90.0	86.4	88.9	100.0	91.3
16時台	90.0	86.4	88.9	100.0	91.3
17時台	86.7	77.3	88.9	100.0	89.1
18時台	62.2	63.6	55.6	75.0	63.0
19時台	16.7	31.8	5.6	0.0	15.2
20時台	3.3	0.0	0.0	0.0	6.5
21時台以後	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	10.0	13.6	11.1	0.0	8.7

※（3）日曜、祝日は母数が少ないため、参考として掲載

8 保護者の就労状況について

（1）保護者の現在の就労状況

問20 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 182>保護者の現在の就労状況

	回答者数（n）	フルタイムで就労しており、 介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、 産休・育休・ 介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	(%) 無回答
母親	311	40.5	1.9	37.9	0.6	17.4	1.0	0.6
父親	287	92.0	0.0	0.7	0.0	1.4	0.0	5.9

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労／パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

<図表 183>母親 現在の就労状況（前回調査との比較）

	回答者数（n）	フルタイムで就労しており、 介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、 産休・育休・ 介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	(%) 無回答
今回調査（令和5年度）	311	40.5	1.9	37.9	0.6	17.4	1.0	0.6
前回調査（平成30年度）	349	31.8	1.4	44.1	0.6	18.6	3.2	0.3

<図表 184>父親 現在の就労状況（前回調査との比較）

	回答者数（n）	フルタイムで就労しており、 介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、 産休・育休・ 介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
今回調査（令和5年度）	287	92.0	0.0	0.7	0.0	1.4	0.0	5.9
前回調査（平成30年度）	316	92.7	0.0	0.3	0.0	0.6	0.3	6.0

<図表 185>保護者の現在の就労状況【1週間当たりの就労日数】

	回答者数（n）	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
母親	252	1.6	2.0	13.5	22.6	51.2	6.7	0.4	2.0
父親	266	0.8	0.0	0.4	1.1	66.9	25.9	1.5	3.4

<図表 186>保護者の現在の就労状況【1日当たりの就業時間】

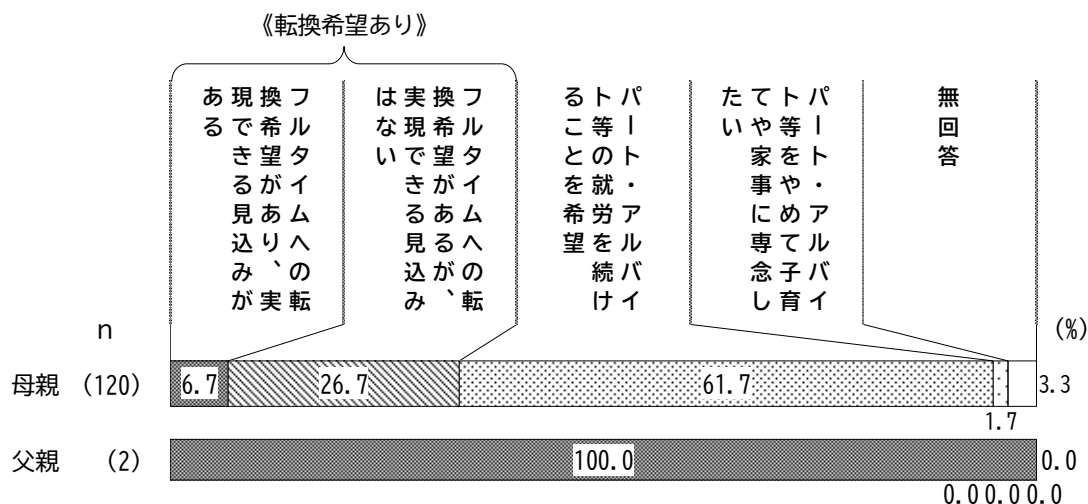
	回答者数（n）	4時間未満	74時間未満以上	170時間未満以上	1120時間未満以上	12時間以上	無回答
母親	252	2.0	34.1	58.3	3.6	0.0	2.0
父親	266	0.4	0.8	54.9	25.6	12.8	5.6

（2）フルタイムへの転換希望

問21 母親又は父親の就労状況（問20）で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

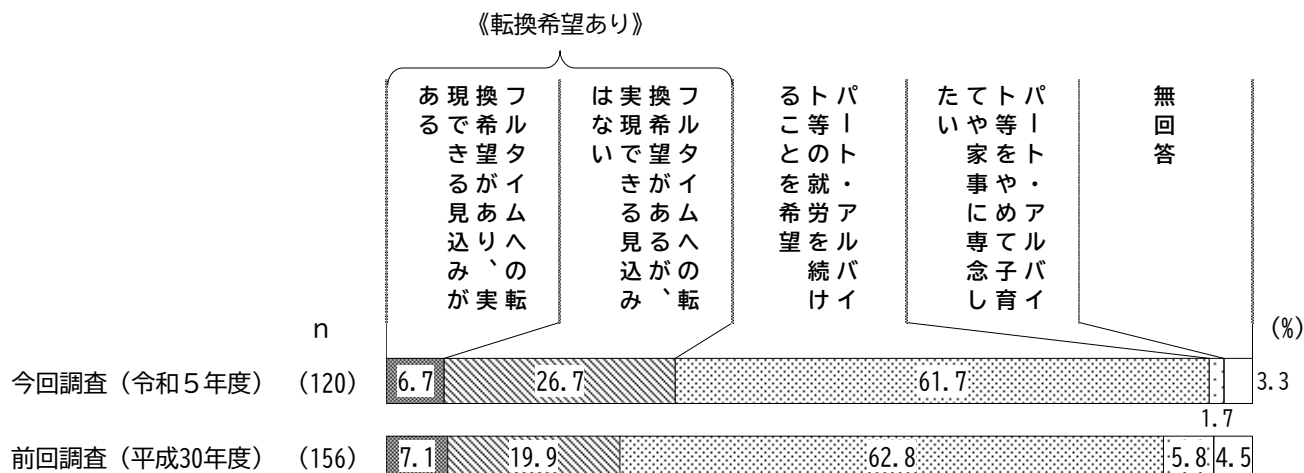
<図表 187>フルタイムへの転換希望



※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労／パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

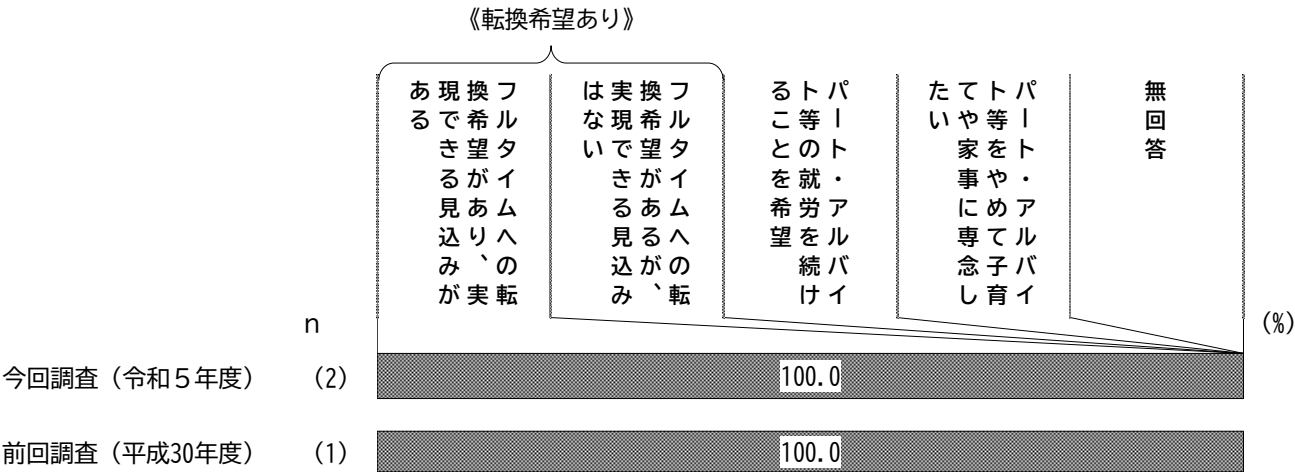
※（2）父親は母数が少ないため、参考として掲載

<図表 188>母親 フルタイムへの転換希望（前回調査との比較）



前回調査に比べて、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない」を合わせた《転換希望あり》は6.4ポイント増加しています。

<図表 189>父親 フルタイムへの転換希望(前回調査との比較)



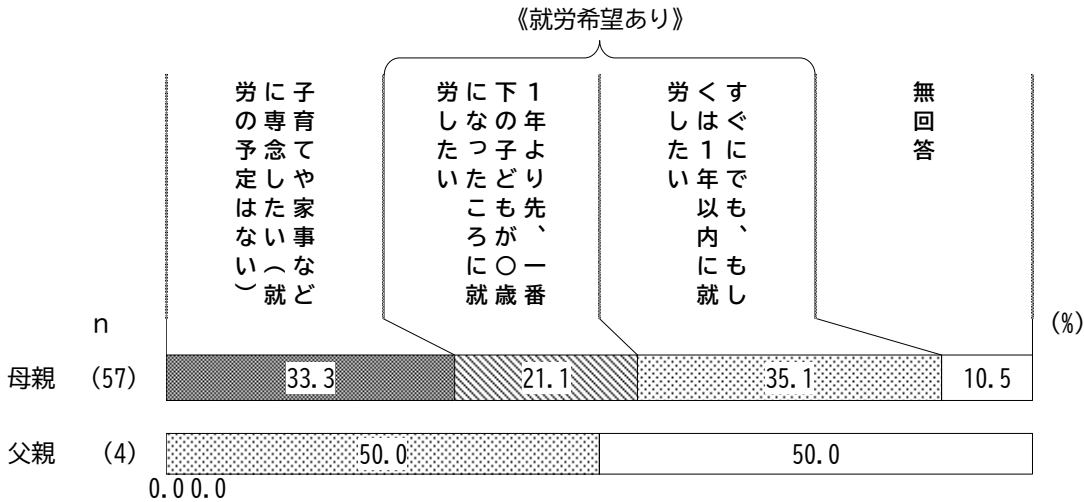
※ 母数が少ないため、参考として掲載

(3) 今後の就労希望

問22 母親又は父親の就労状況（問20）で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は問23へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当するカッコ内には数字をご記入ください。

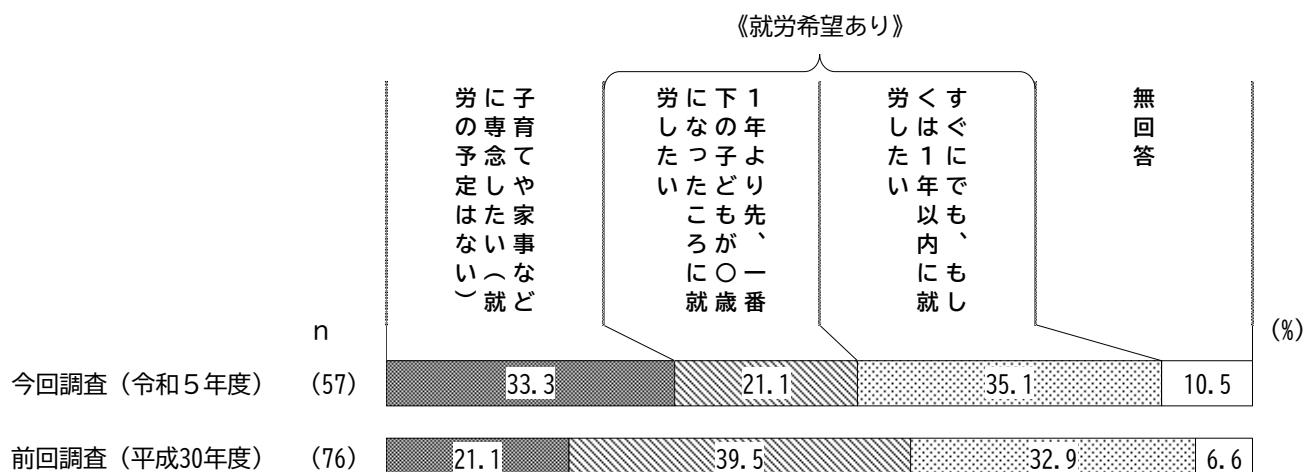
<図表 190>今後の就労希望



※ （2）父親は母数が少ないため、参考として掲載

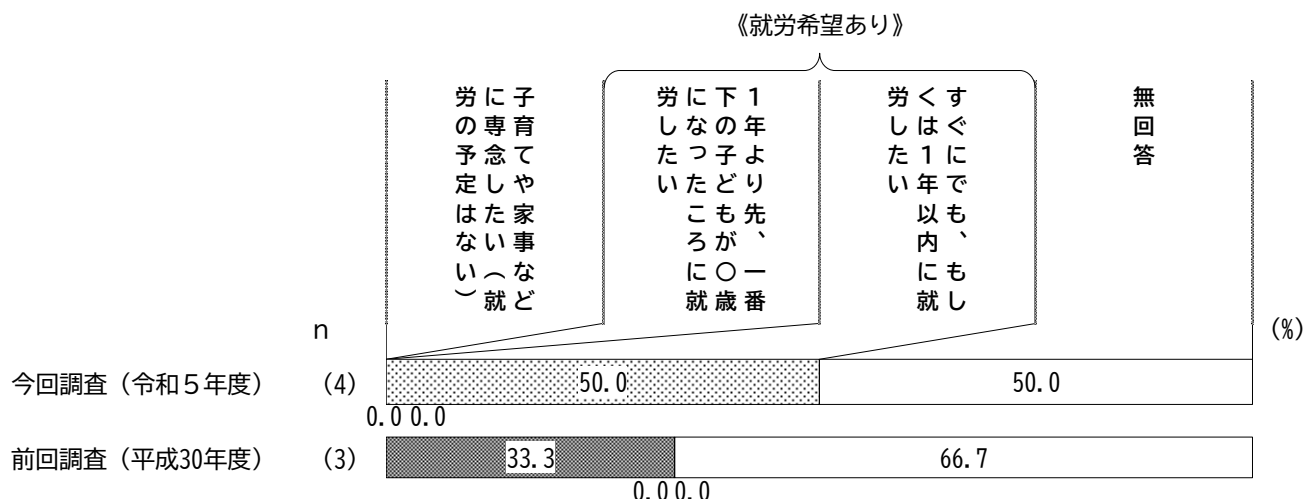
第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

<図表 191> 母親の今後の就労希望（前回調査との比較）



前回調査に比べて、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」《就労希望あり》は16.2ポイント減少しています。

<図表 192> 父親の今後の就労希望（前回調査との比較）



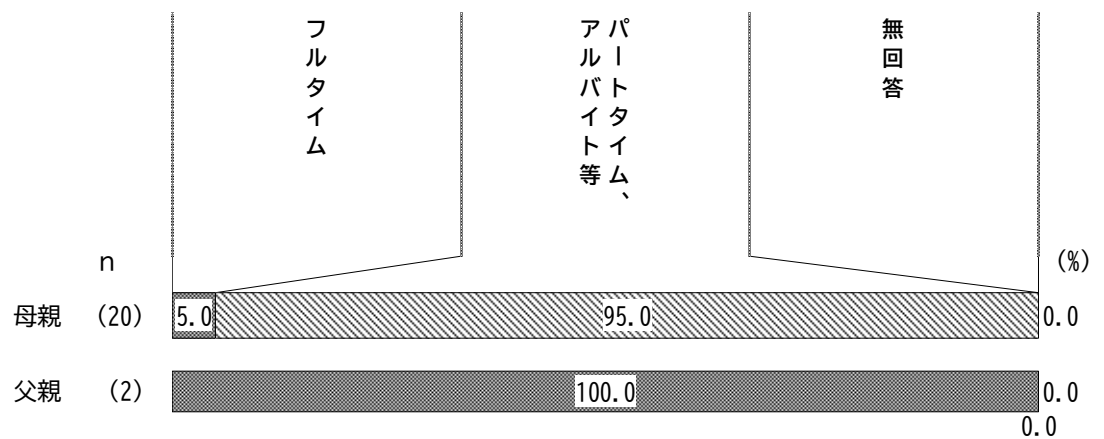
※ 母数が少ないため、参考として掲載

<図表 193> 母親の就労希望時の子どもの年齢

	回答者数 (n)	5歳以下	6歳	7～8歳	9～10歳	11～12歳	13歳以上	無回答
母親	12	8.3	0.0	33.3	16.7	16.7	25.0	0.0

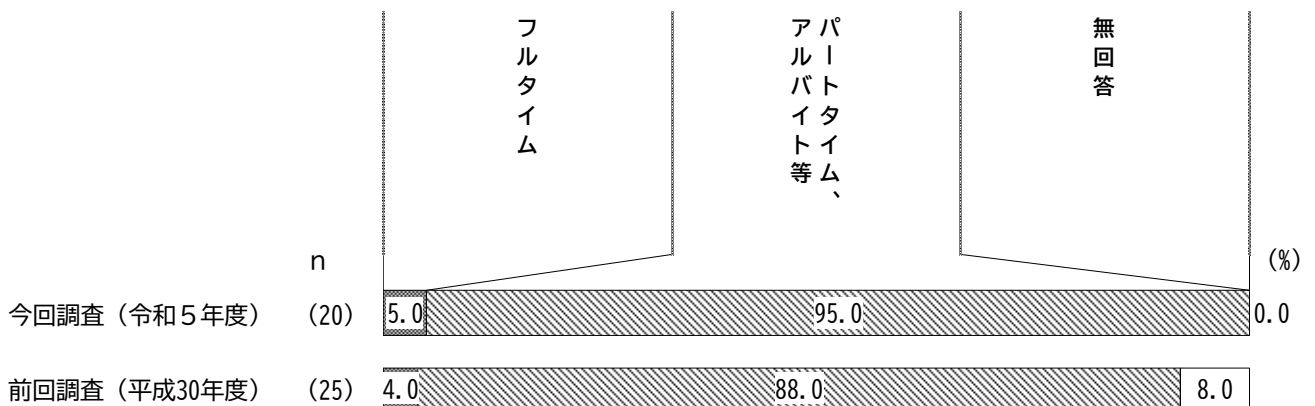
※父親は回答なし

<図表 194>希望する就労形態



※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労／パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

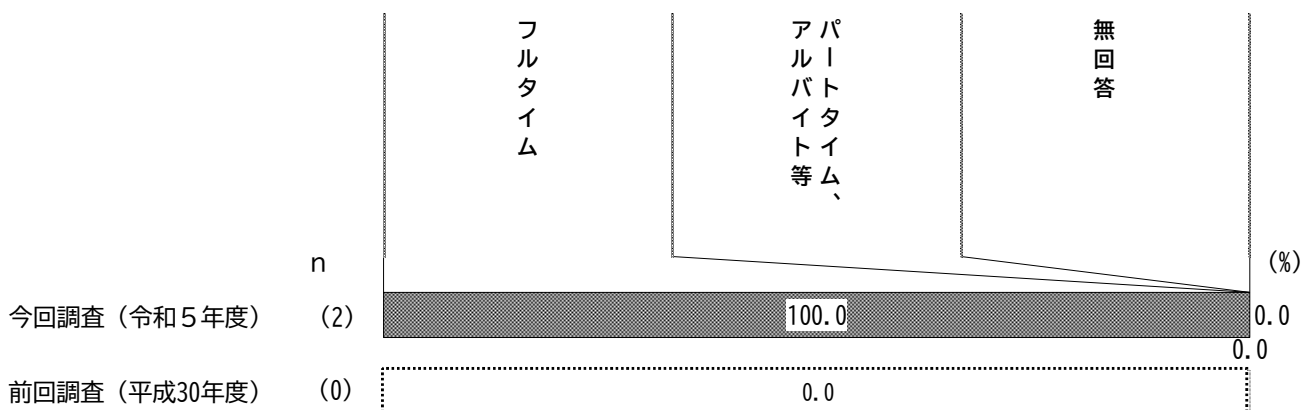
<図表 195>母親の希望する就労形態（前回調査との比較）



※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労／パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

前回調査に比べて、「パートタイム、アルバイト等」が7.0ポイント増加しています。

<図表 196>父親の希望する就労形態（前回調査との比較）



※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労／パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

※（2）父親は前回調査（平成30年度）は回答なし

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

＜図表 197＞希望する1週間当たりの就労日数

	回答者数 (n)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	(%) 無 回 答
母親	19	0.0	15.8	57.9	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0

※（2）父親は回答なし

＜図表 198＞希望する1日当たりの就労時間

	回答者数 (n)	4 時 間 未 満	7 4 時 間 未 満 以 上	1 7 0 時 間 未 満 以 上	1 0 時 間 未 満 以 上 1 2	1 2 時 間 以 上	(%) 無 回 答
母親	19	10.5	78.9	10.5	0.0	0.0	0.0

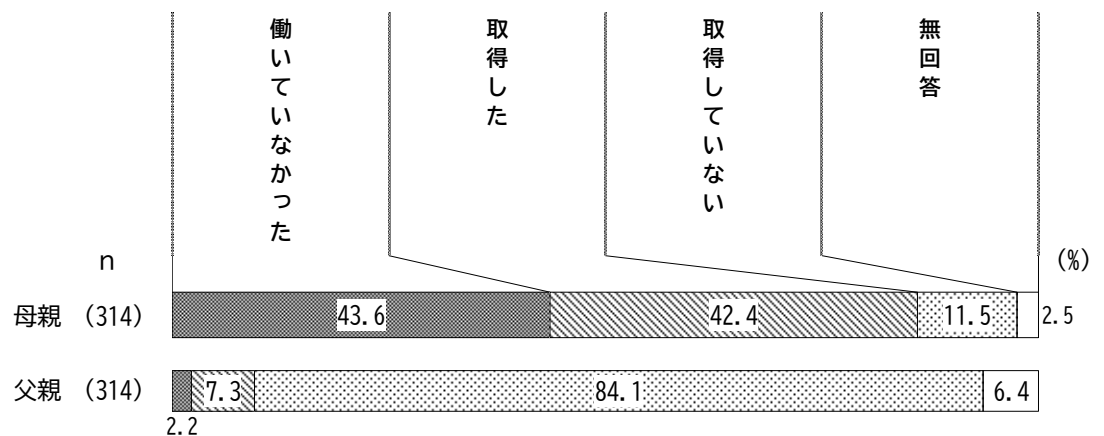
※（2）父親は回答なし

9 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

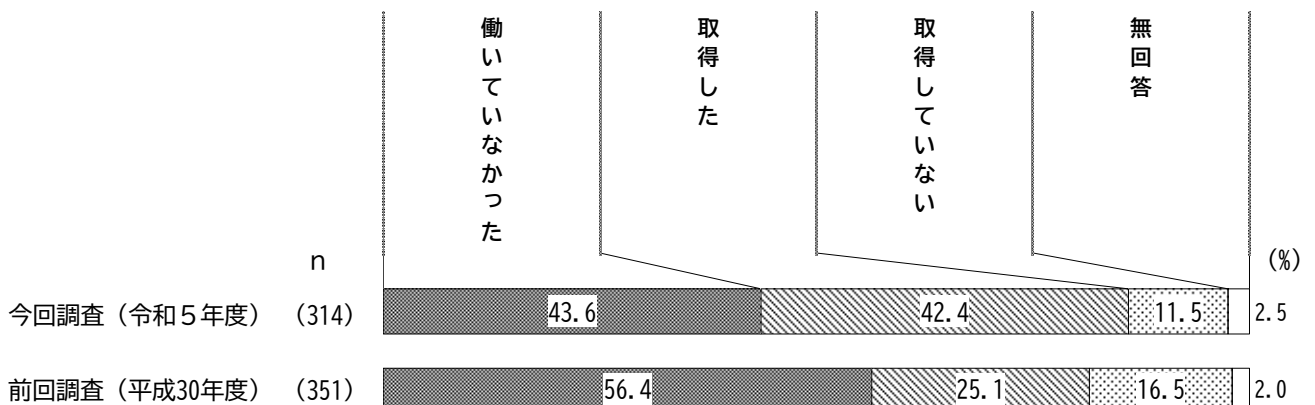
（1）育児休業の取得状況

問23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由として当てはまる番号すべてを選択肢から選んでご記入ください。

<図表 199> 育児休業の取得状況



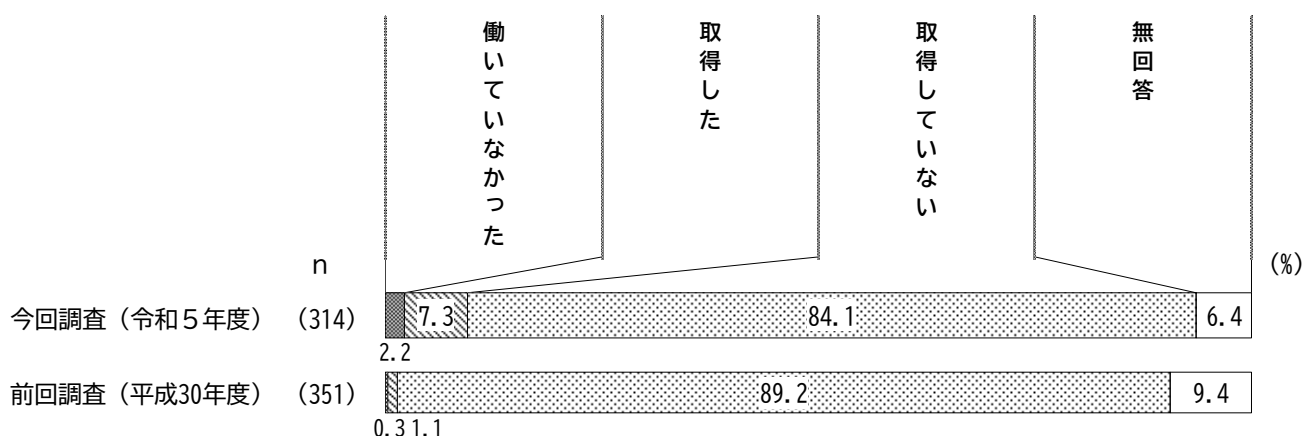
<図表 200> 母親 育児休業の取得状況(前回調査との比較)



前回調査に比べて、「取得した」が17.3ポイント増加しています。

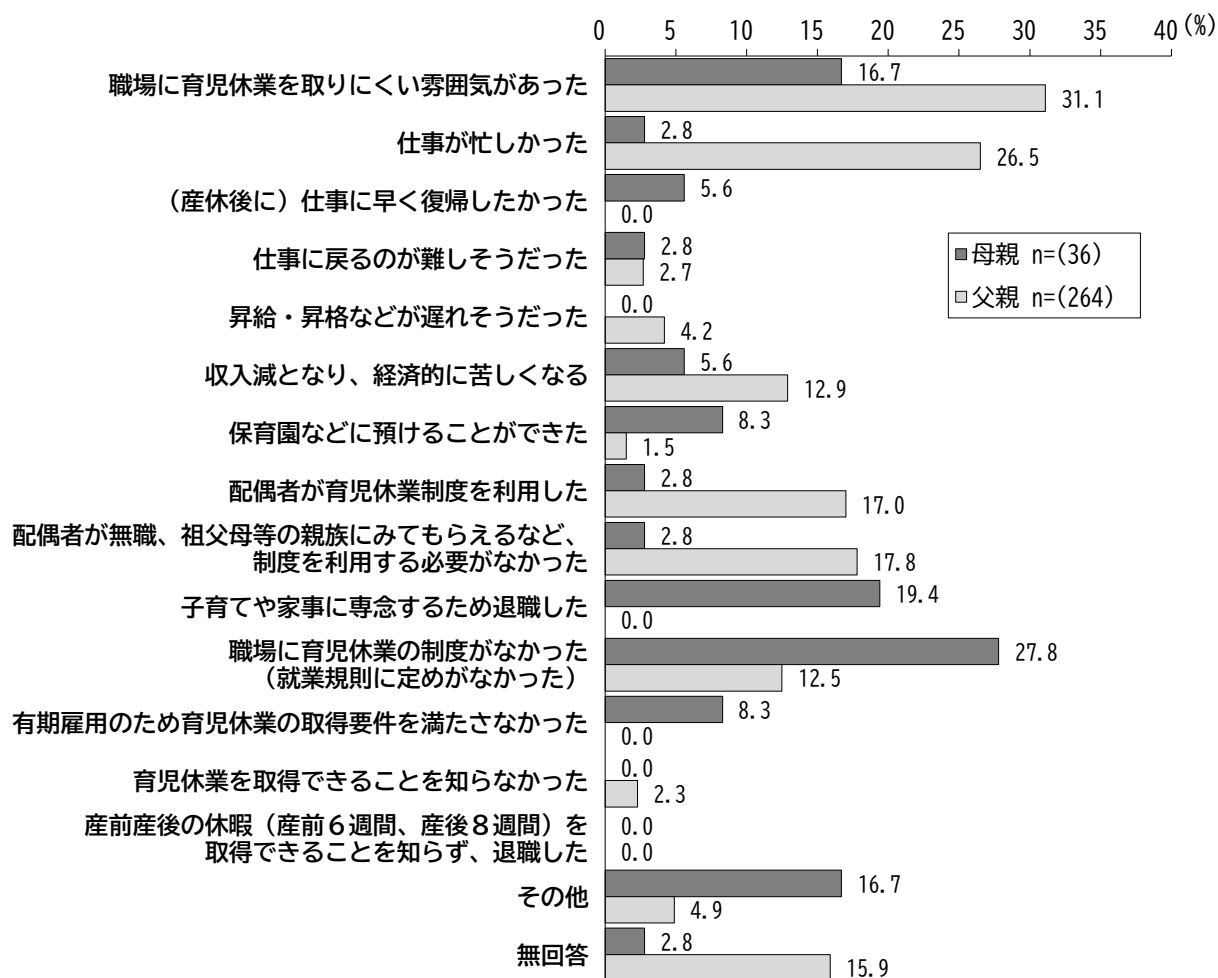
第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

＜図表 201＞父親 育児休業の取得状況(前回調査との比較)



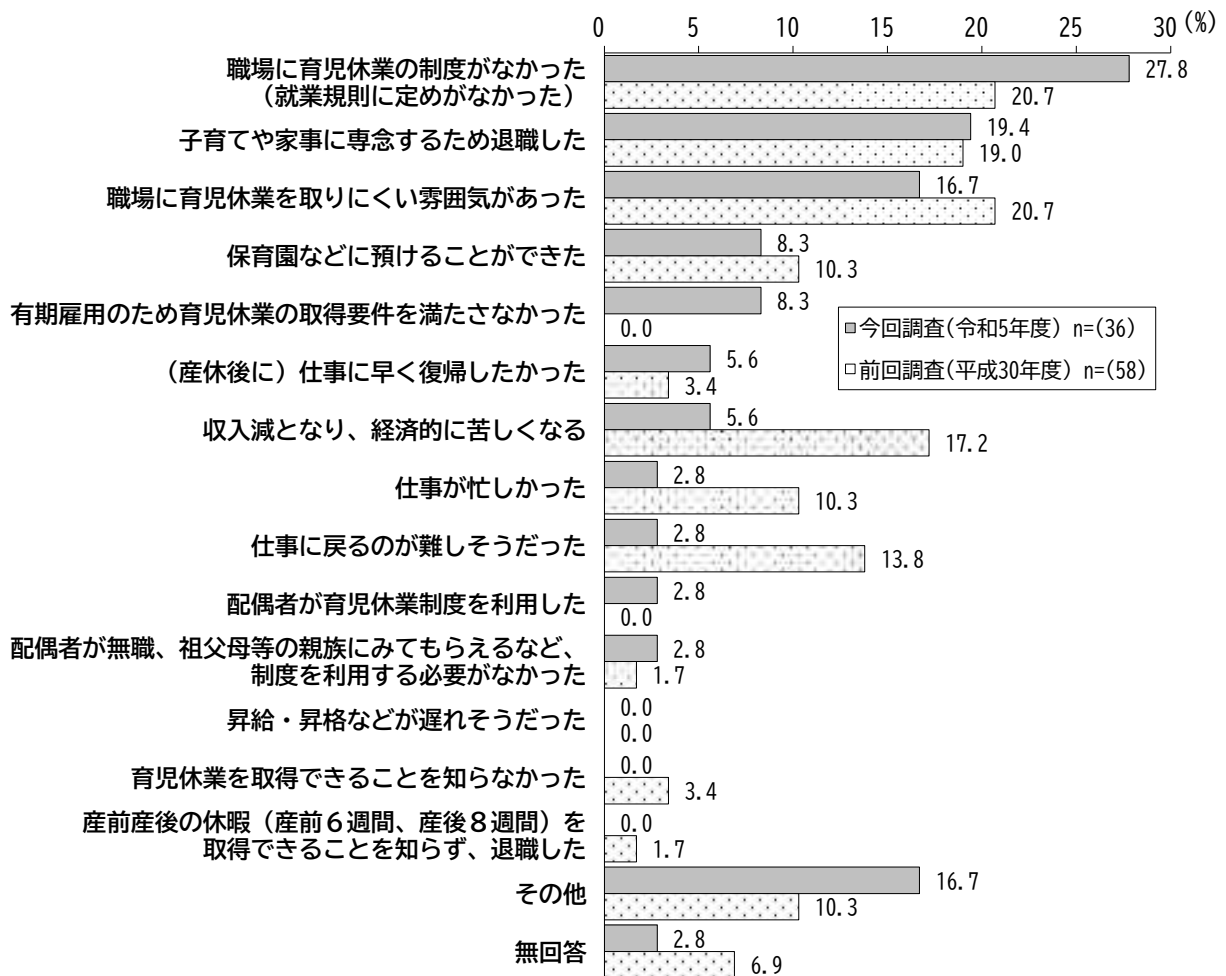
前回調査に比べて、「取得した」が6.2ポイント増加し、「取得していない」が5.1ポイント減少しています。

＜図表 202＞育児休業を取得していない理由



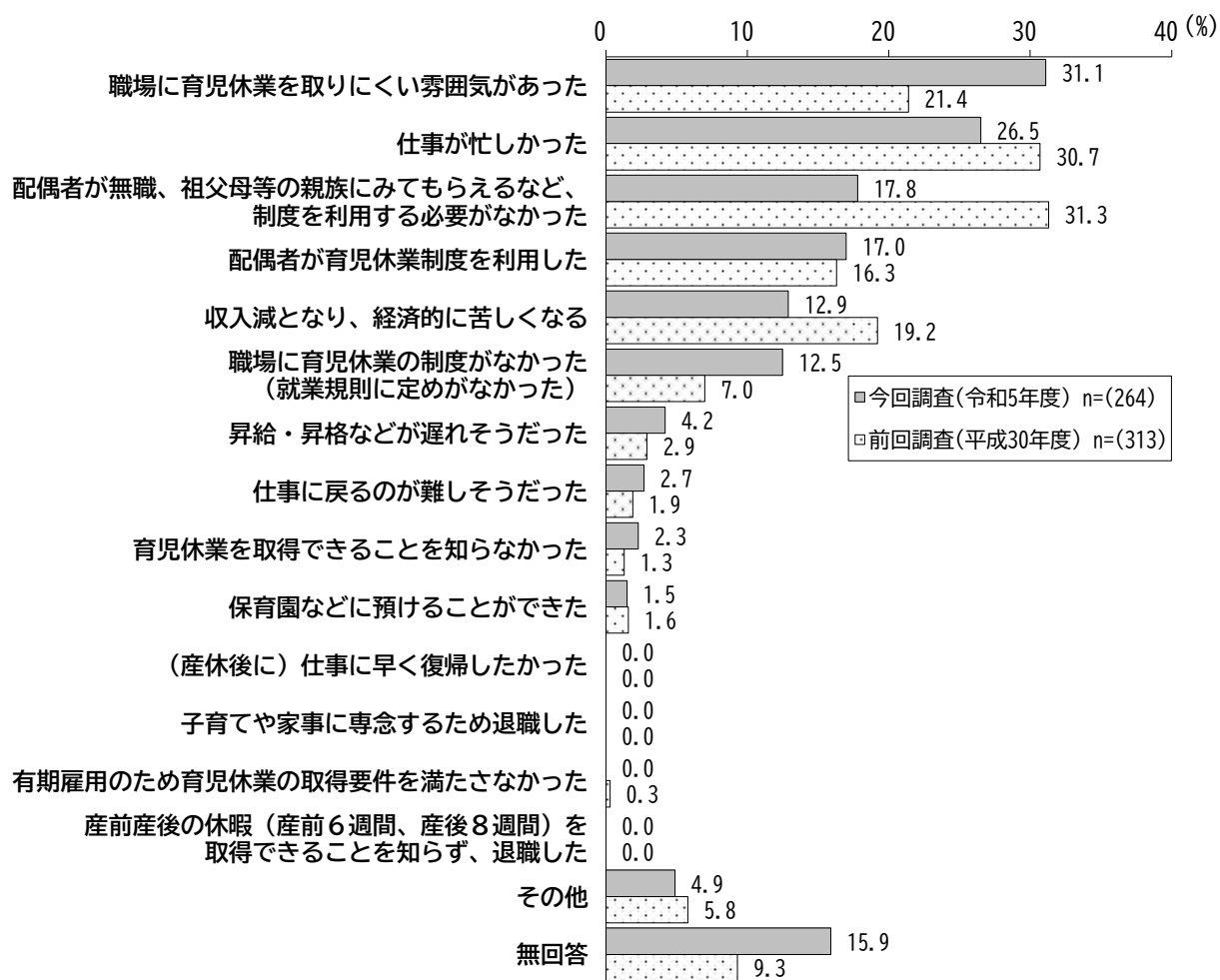
「その他」と回答した方の記入内容は、「自営のため」、「取得する気がないため」などが挙げられています。

<図表 203>母親 育児休業を取得していない理由(前回調査との比較)



前回調査に比べて、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が11.6ポイント、「仕事に戻るのが難しそうだった」が11.0ポイント、「仕事が忙しかった」が7.5ポイント減少し、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が7.1ポイント増加しています。

<図表 204> 父親 育児休業を取得していない理由（前回調査との比較）



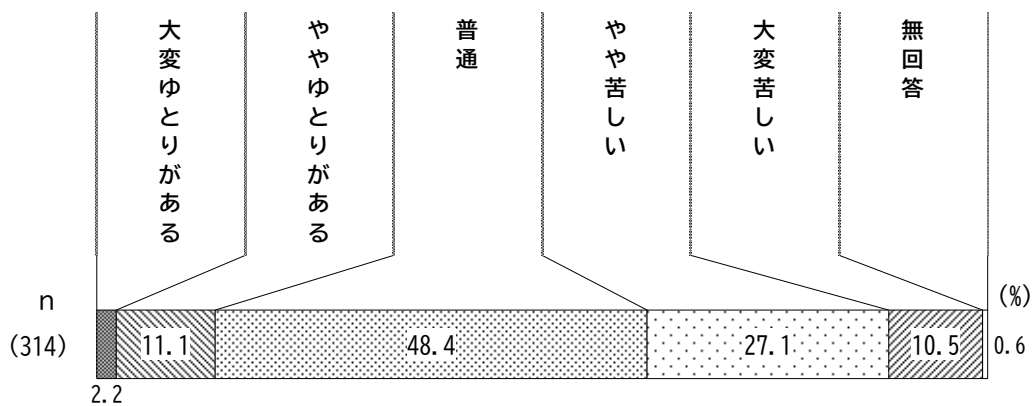
前回調査に比べて、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が13.5ポイント、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が6.3ポイント減少し、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が9.7ポイント、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が5.5ポイント増加しています。

10 子育て環境や生活状況について

（1）現在の暮らし向き

問24 あなたの世帯の現在の暮らし向きについてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

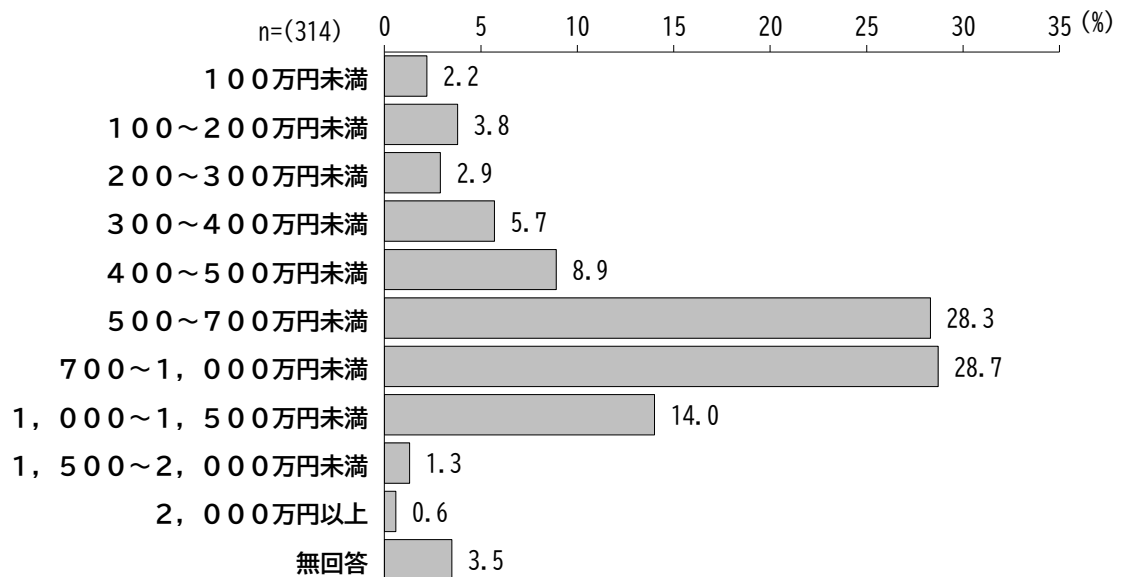
<図表 205>現在の暮らし向き



（2）全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額【新規設問】

問25 世帯全体（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額はおよそいくらでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

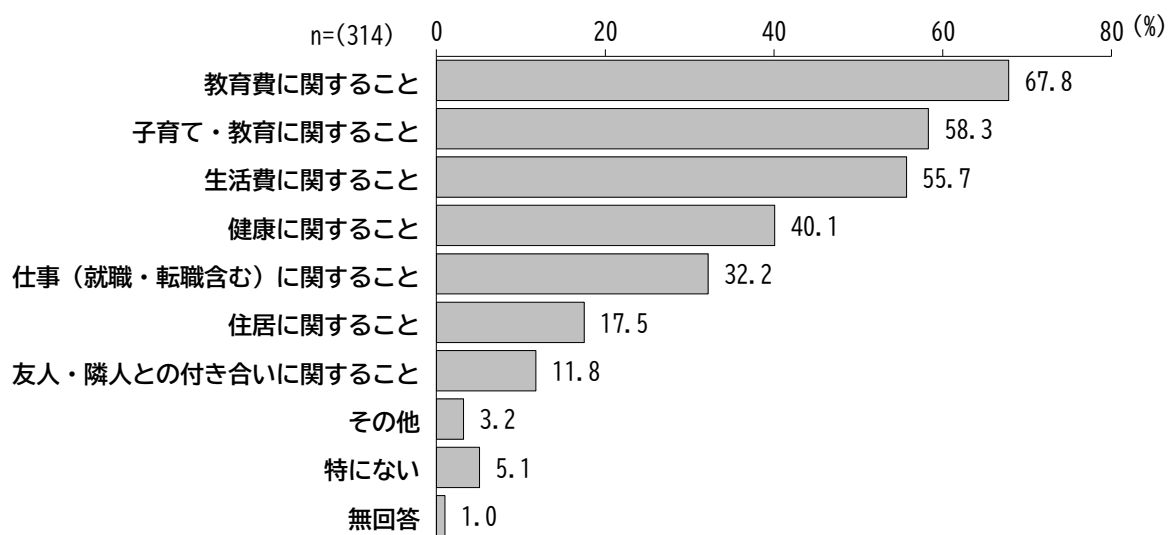
<図表 206>全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額



（3）生活するうえでの不安や悩み

問26 生活するうえで、どのような不安や悩みをもっていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

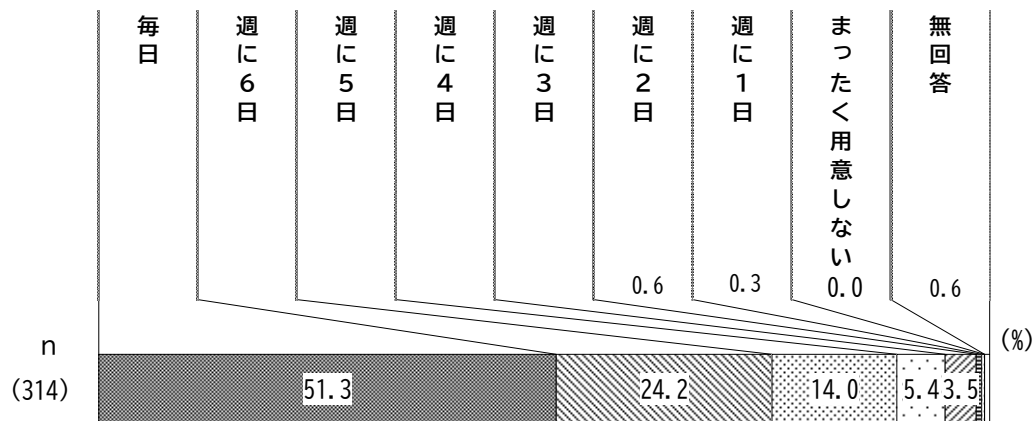
<図表 207>生活するうえでの不安や悩み



(4) 手作りの夕食の用意の状況

問27 あなたの家庭では、1週間にどれくらい、お子さんに手作りの夕食を用意しますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 208>手作りの夕食の用意の状況



<図表 209>手作りの夕食の用意の状況（現在の暮らし向き別）

	回答者数 (n)	毎日	週に6日	週に5日	週に4日	週に3日	週に2日	週に1日	まったく用意しない	無回答
全体	314	51.3	24.2	14.0	5.4	3.5	0.6	0.3	0.0	0.6
大変ゆとりがある	7	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ややゆとりがある	35	34.3	25.7	22.9	8.6	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0
普通	152	52.6	24.3	13.8	4.6	2.6	0.0	0.7	0.0	1.3
やや苦しい	85	54.1	27.1	8.2	7.1	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0
大変苦しい	33	57.6	15.2	18.2	0.0	6.1	3.0	0.0	0.0	0.0

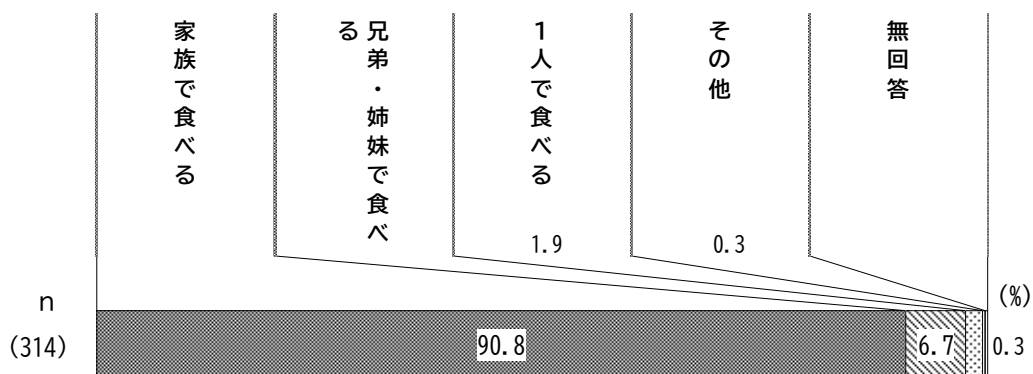
※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

現在の暮らし向き別に見ると、「毎日」はやや苦しいにおいて54.1%、大変苦しいにおいて57.6%で高くなっています。

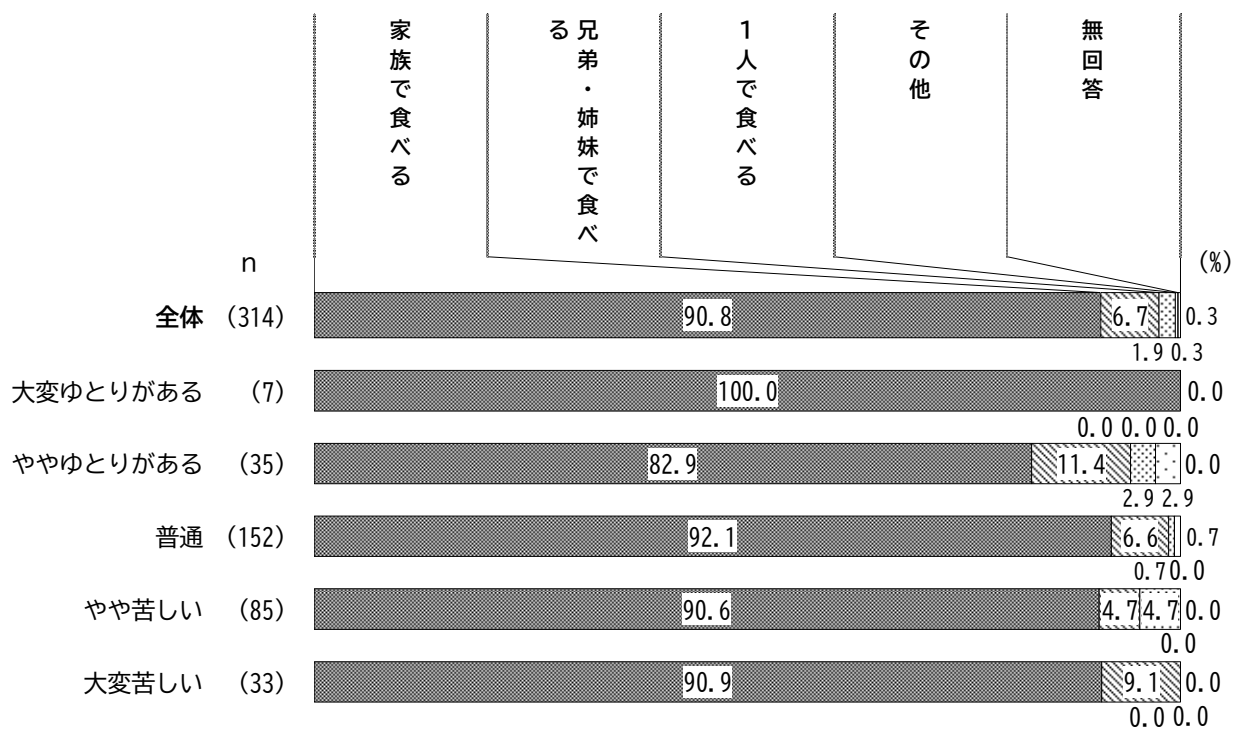
（5）夕食の状況

問28 お子さんは普段どのように夕食をとっていますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 210>夕食の状況



<図表 211>夕食の状況（現在の暮らし向き別）

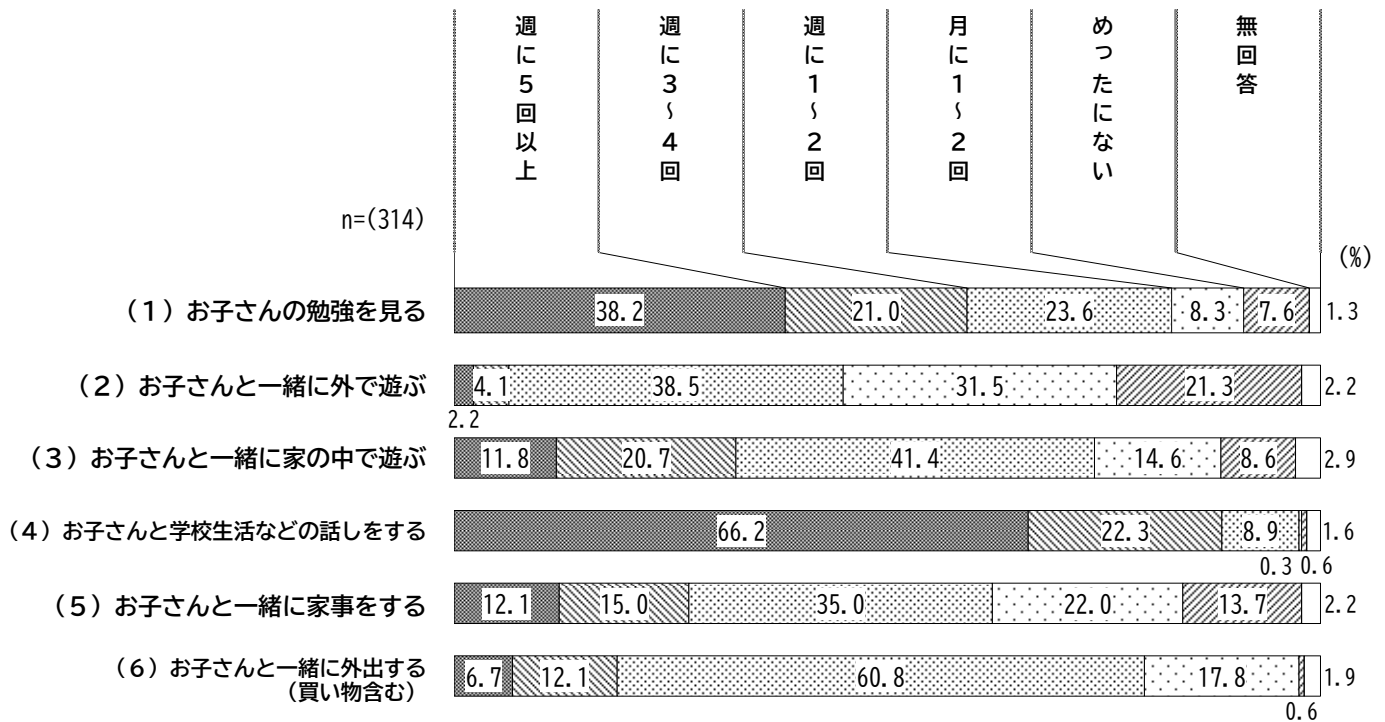


※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

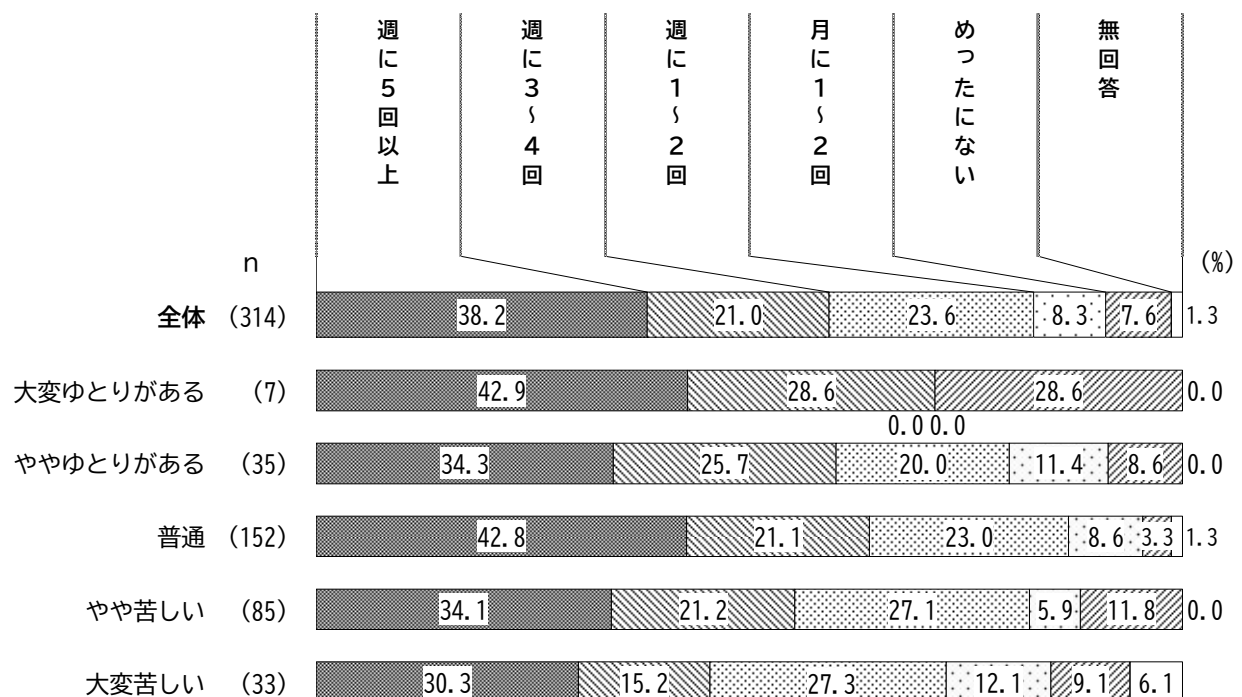
（6）子どもとの関係

問29 あなたを含めた、ご家族との関係についてうかがいます。あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 212>子どもとの関係



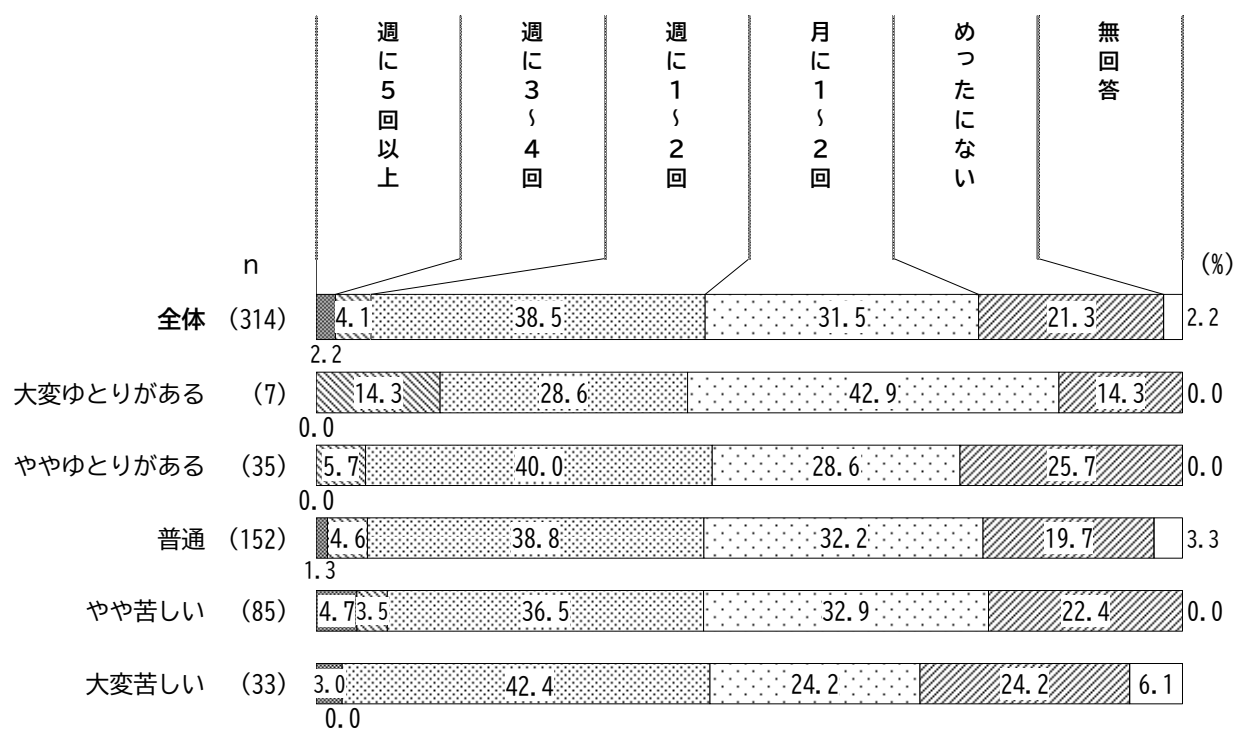
<図表 213>子どもとの関係（1）お子さんの勉強を見る（現在の暮らし向き別）



※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

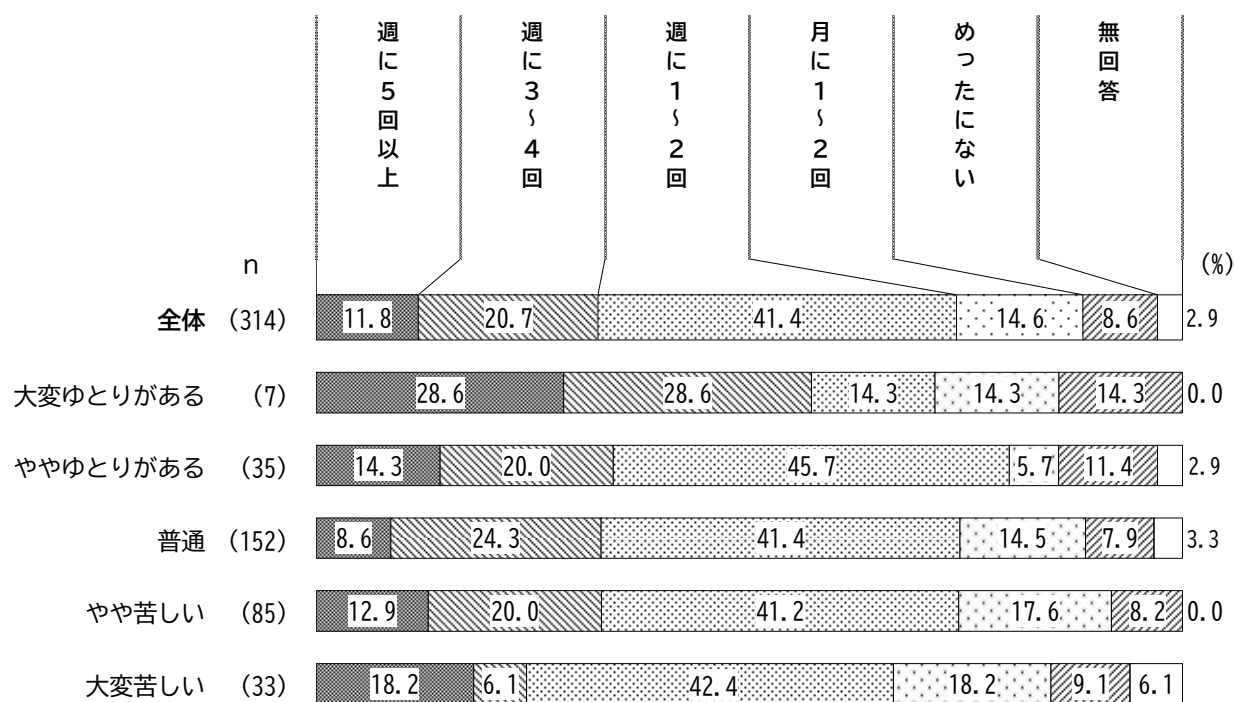
第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

<図表 214>子どもとの関係（2）お子さんと一緒に外で遊ぶ（現在の暮らし向き別）



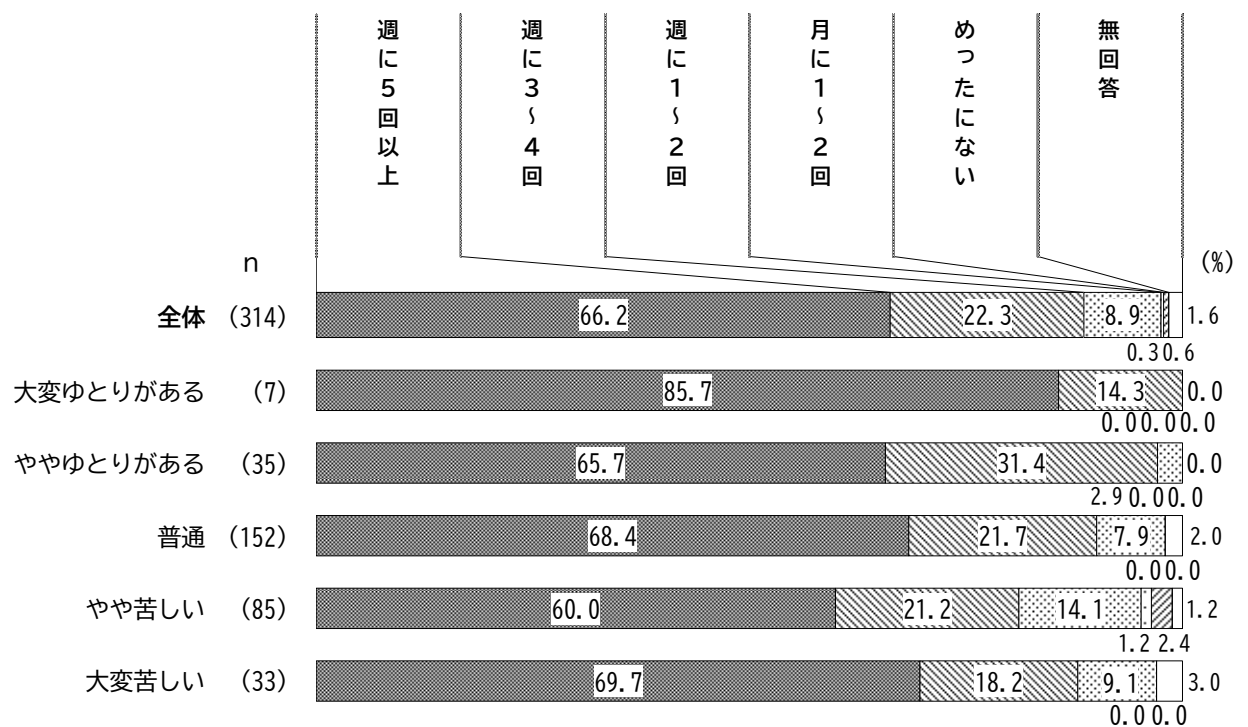
※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

<図表 215>子どもとの関係（3）お子さんと一緒に家の中で遊ぶ（現在の暮らし向き別）



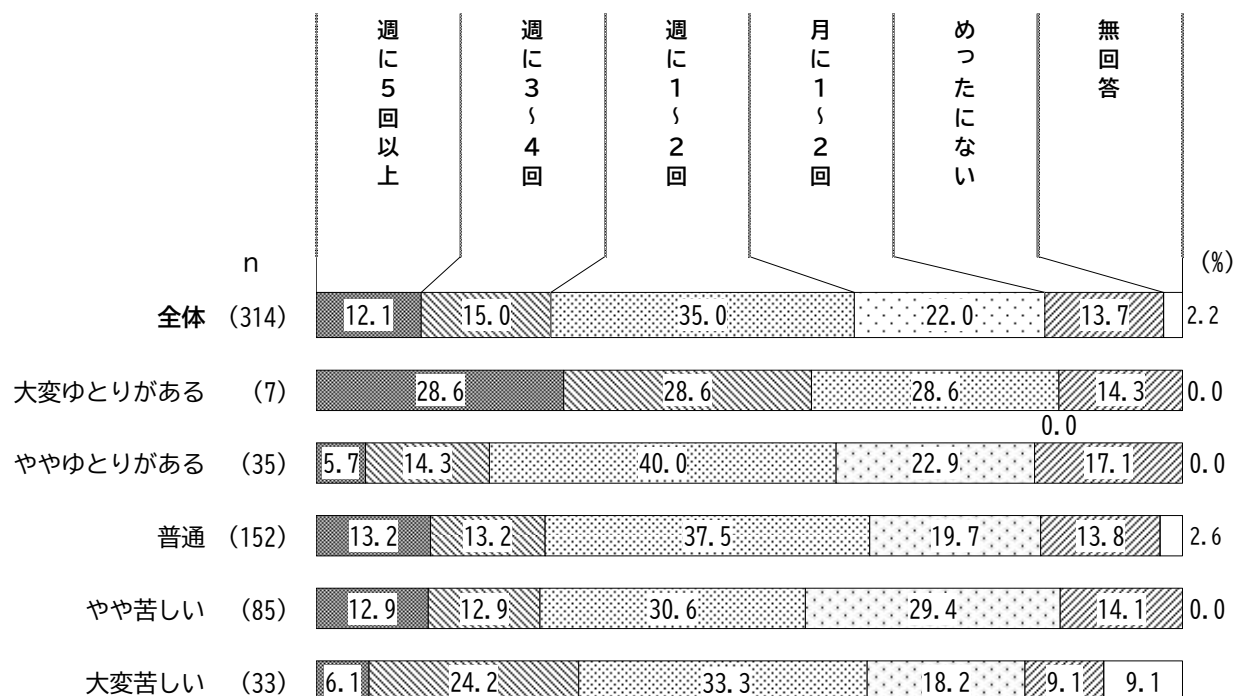
※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

<図表 216>子どもとの関係（４）お子さんと学校生活などの話しをする（現在の暮らし向き別）



※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

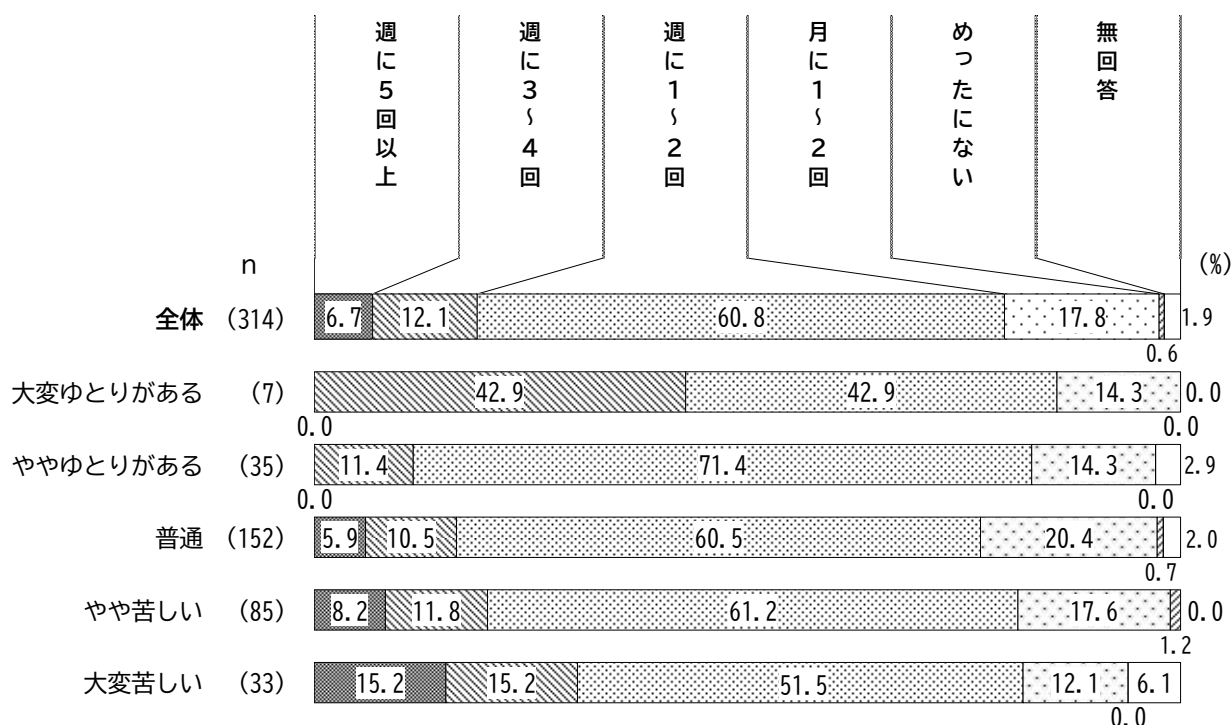
<図表 217>子どもとの関係（５）お子さんと一緒に家事をする（現在の暮らし向き別）



※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

<図表 218>子どもとの関係（6）お子さんと一緒に外出する（買い物含む）

（現在の暮らし向き別）

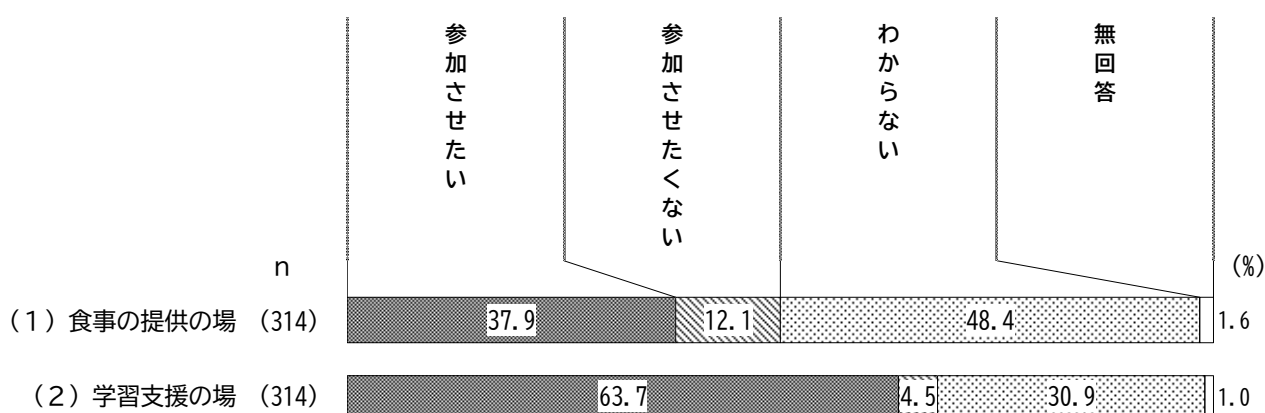


※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

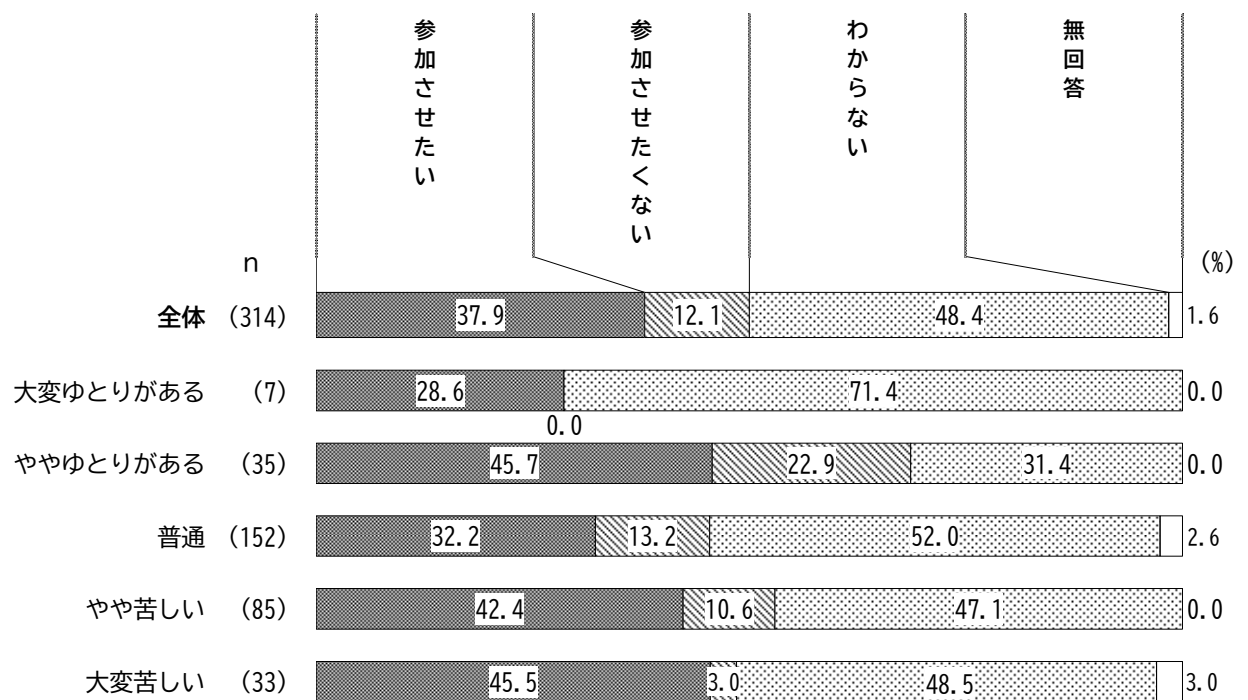
（7）食事の提供や学習支援を行う場所への参加意向

問30 地域に子どもへの食事の提供や学習支援を行う場所があったら、お子さんを参加させたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 219>食事の提供や学習支援を行う場所への参加意向



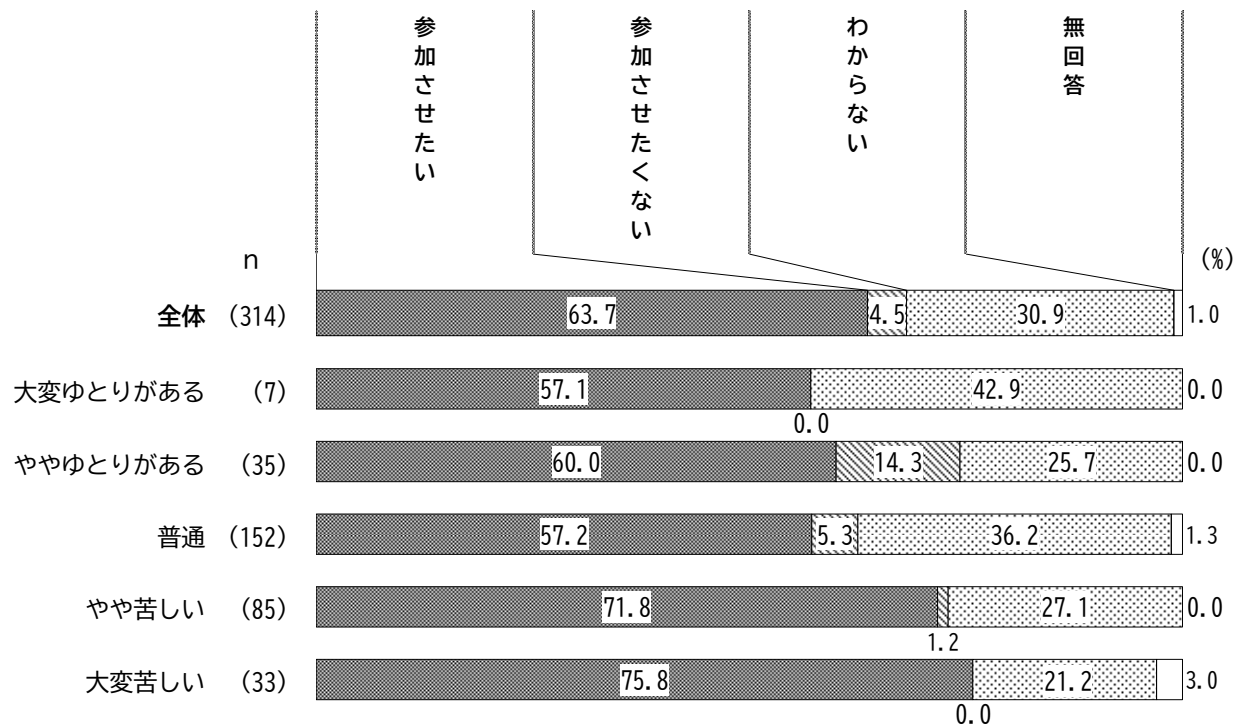
<図表 220>（１）食事の提供の場所への参加意向（現在の暮らし向き別）



※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

現在の暮らし向き別に見ると、「参加させたい」はややゆとりがあるにおいて45.7%、大変苦しいにおいて45.5%で高くなっています。

<図表 221>（２）学習支援を行う場所への参加意向（現在の暮らし向き別）



※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

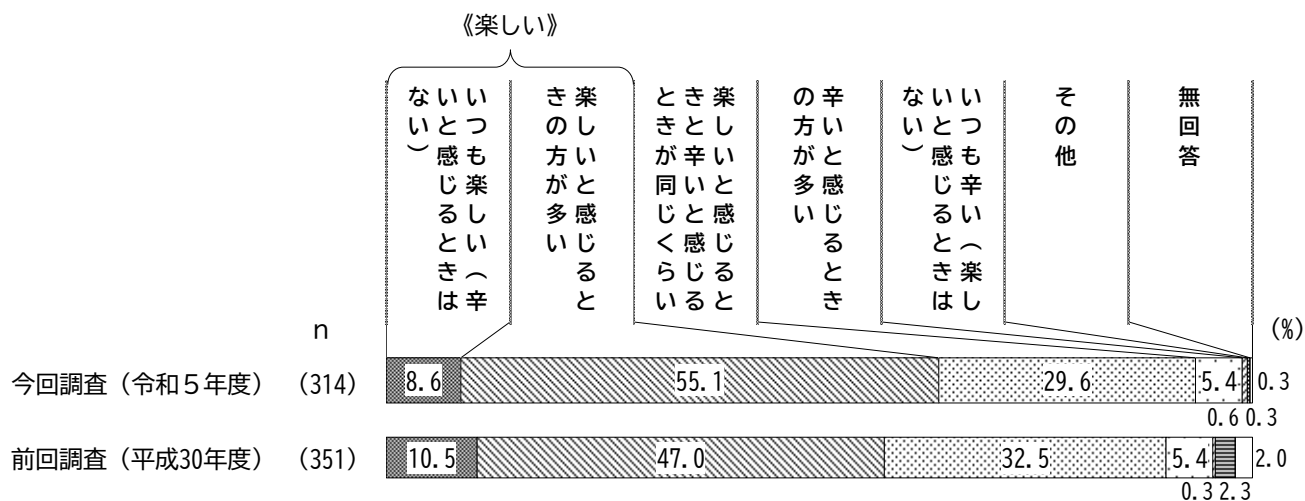
現在の暮らし向き別に見ると、「参加させたい」は大変苦しいにおいて75.8%で高くなっています。

11 子育てに対する意識について

（1）子育てを楽しんでいるとき、辛いと感じるとき

問31 自分にとって子育てを楽しんでいると感じるときが多いと思いますか。それとも辛いと感じるときが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 222>子育てを楽しんでいると感じるとき、辛いと感じるとき

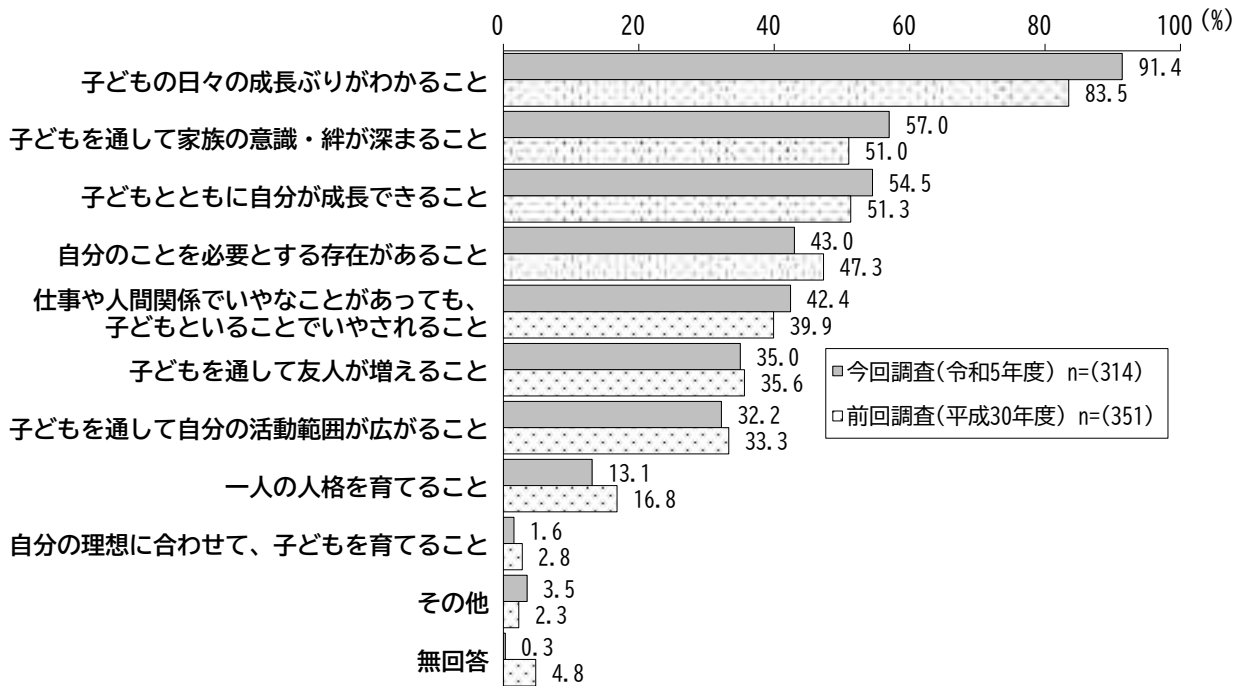


前回調査に比べて、「いつも楽しい（辛いと感じるときは少ない）」と「楽しいと感じるときの方が多」を合わせた《楽しい》は6.2ポイント増加しています。

（2）子育ての楽しさ、やりがい

問32 自分にとって子育ての楽しさ、やりがいはどんなことだと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 223>子育ての楽しさ、やりがい

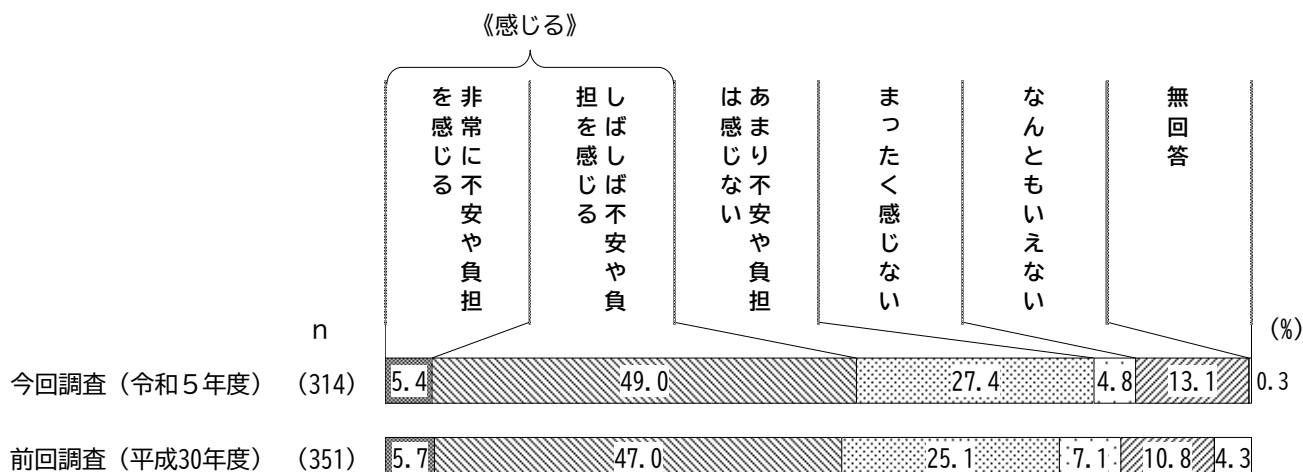


前回調査に比べて、「子どもの日々の成長ぶりがわかること」が7.9ポイント、「子どもを通して家族の意識・絆が深まること」が6.0ポイント増加しています。

（3）子育てに関する不安感や負担感

問33 子育てに関して、不安や負担を感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 224>子育てに関する不安感や負担感

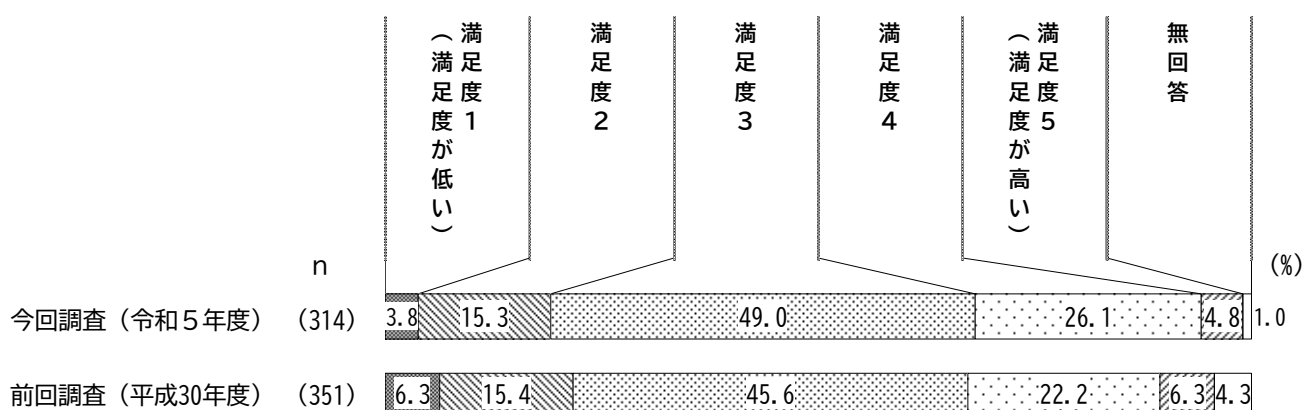


前回調査に比べて、大きな差は見られません。

（4）子育ての環境や支援への満足度

問34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 225>子育ての環境や支援への満足度

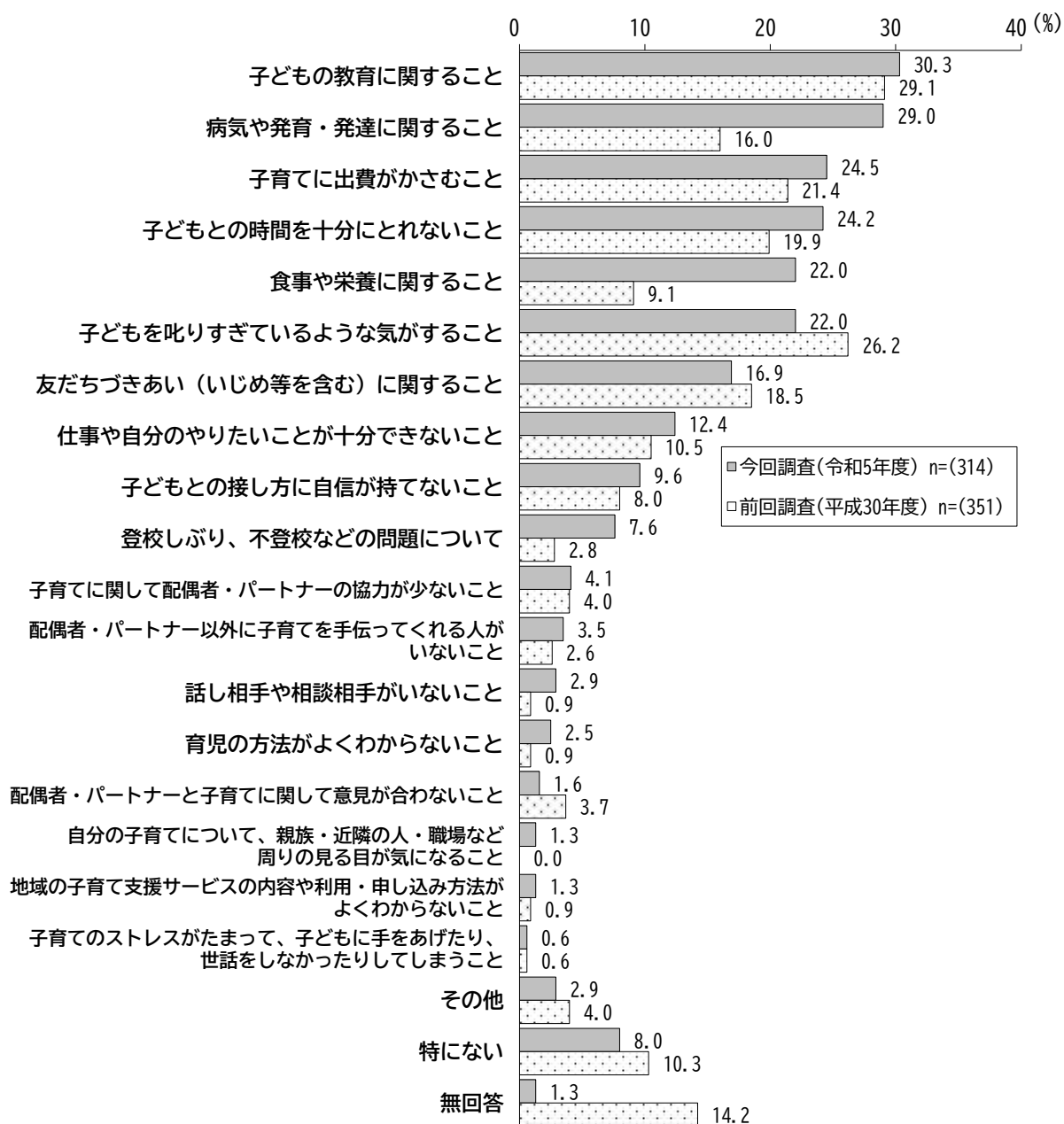


前回調査に比べて、「満足度4」が3.9ポイント増加しています。

(5) 子育てに関する悩み、気になること

問35 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号3つ以内に○をつけてください。

<図表 226>子育てに関する悩み、気になること



前回調査に比べて、「病気や発育・発達に関すること」が13.0ポイント、「食事や栄養に関すること」が12.9ポイント増加し、「子どもを叱りすぎているような気がする」が4.2ポイント減少しています。

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

<図表 227>子育てに関する悩み、気になること（子どもの学年別）

		回答者数（n）	子どもの教育に関すること	病気や発育・発達に関すること	子育てに費用がかさむこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	食事や栄養に関すること	子どもを叱りすぎているような気がする	友達と遊びあい（いじめ等を含む）に関すること	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	登校しがり、不登校などの問題について	子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
	全体	314	30.3	29.0	24.5	24.2	22.0	22.0	16.9	12.4	9.6	7.6	4.1
子どもの学年別	低学年（1～3年生）	153	26.1	30.7	20.9	28.8	23.5	25.5	13.1	14.4	10.5	7.2	3.9
	高学年（4～6年生）	161	34.2	27.3	28.0	19.9	20.5	18.6	20.5	10.6	8.7	8.1	4.3

		回答者数（n）	を配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	話し相手や相談相手がないこと	育児の方法がよくわからないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周りの見目が気になること	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てのストレスがたまったり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	その他	特にない	無回答
	全体	314	3.5	2.9	2.5	1.6	1.3	1.3	0.6	2.9	8.0	1.3
子どもの学年別	低学年（1～3年生）	153	3.9	2.6	3.9	2.0	0.7	1.3	0.7	3.3	8.5	0.0
	高学年（4～6年生）	161	3.1	3.1	1.2	1.2	1.9	1.2	0.6	2.5	7.5	2.5

<図表 228>子育てに関する悩み、気になること（現在の暮らし向き別）

		回答者数（n）	子どもの教育に関すること	病気や発育・発達に関すること	子育てに出費がかさむこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	食事や栄養に関すること	子どもを叱りすぎているような気がする	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	登校しぶり、不登校などの問題について	子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
	全体	314	30.3	29.0	24.5	24.2	22.0	22.0	16.9	12.4	9.6	7.6	4.1
現在の暮らし向き別	大変ゆとりがある	7	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
	ややゆとりがある	35	40.0	17.1	8.6	37.1	14.3	37.1	22.9	8.6	11.4	8.6	2.9
	普通	152	28.9	31.6	22.4	19.7	24.3	21.7	17.8	8.6	11.2	6.6	4.6
	やや苦しい	85	25.9	34.1	31.8	29.4	23.5	18.8	9.4	18.8	9.4	10.6	4.7
	大変苦しい	33	39.4	21.2	39.4	21.2	21.2	15.2	27.3	18.2	3.0	6.1	3.0

（%）

		回答者数（n）	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	話し相手や相談相手がいないこと	育児の方法がよくわからないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	自分・職場など周りの親族・近隣の人・子育てについて、親族・近気になること	地域の子ども支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てのストレスがたまったり、子どもに手をつけたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	その他	特にな	無回答
	全体	314	3.5	2.9	2.5	1.6	1.3	1.3	0.6	2.9	8.0	1.3
現在の暮らし向き別	大変ゆとりがある	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
	ややゆとりがある	35	5.7	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	5.7	0.0
	普通	152	4.6	2.0	2.0	2.0	1.3	1.3	0.0	2.6	9.2	1.3
	やや苦しい	85	1.2	5.9	3.5	2.4	0.0	0.0	1.2	1.2	4.7	1.2
	大変苦しい	33	3.0	0.0	3.0	0.0	6.1	6.1	3.0	9.1	6.1	0.0

※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

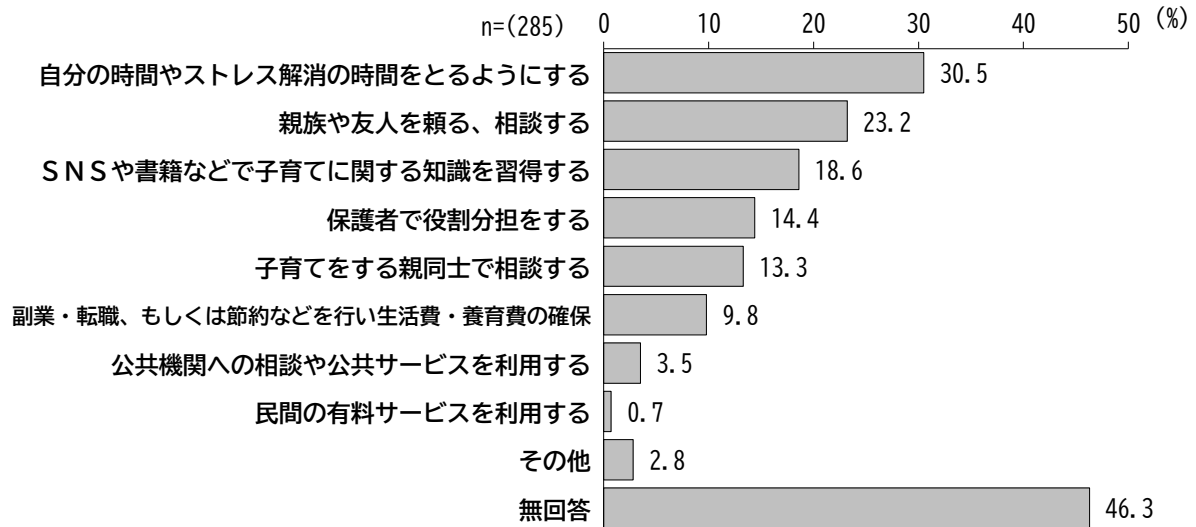
現在の暮らし向き別に見ると、「子どもの教育に関すること」はややゆとりがあるにおいて40.0%、「病気や発育・発達に関すること」はやや苦しいにおいて34.1%、「子育てに出費がかさむこと」は大変苦しいにおいて39.4%と高くなっています。

（6）子育てに関する日頃悩んでいること、気になることの解決方法【新規設問】

問35－1 問35で「特になし」以外に○をつけた方に伺います。

日頃悩んでいること、気になることをどのように解決しようと思いますか。もしくは、解決しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

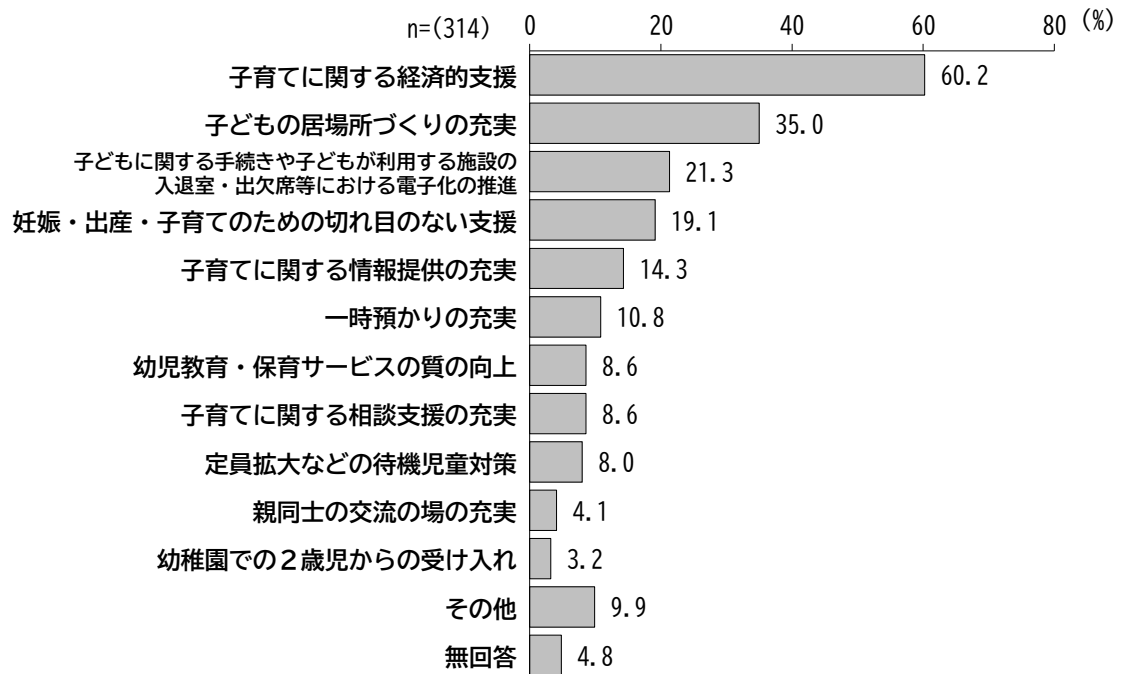
<図表 229>子育てに関して、日頃悩んでいること、気になることの解決方法



(7) 市に期待する子育て支援策

問36 あなたは、市にどのような子育て支援策を期待しますか。当てはまる番号3つ以内に○をつけてください。

<図表 230>市に期待する子育て支援策



<図表 231>市に期待する子育て支援策（現在の暮らし向き別）

		回答者数 (n)	子育てに関する経済的支援	子どもの居場所づくりの充実	子どもに関する手続きや子どもが利用する施設の入退室・出欠席等における電子化の推進	妊娠・出産・子育てのための切れ目のない支援	子育てに関する情報提供の充実	一時預かりの充実	幼児教育・保育サービスの質の向上	子育てに関する相談支援の充実	定員拡大などの待機児童対策	親同士の交流の場の充実	幼稚園での2歳児からの受け入れ	その他	無回答 (%)
	全体	314	60.2	35.0	21.3	19.1	14.3	10.8	8.6	8.6	8.0	4.1	3.2	9.9	4.8
現在の暮らし向き別	大変ゆとりがある	7	42.9	28.6	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
	ややゆとりがある	35	42.9	25.7	25.7	22.9	14.3	20.0	25.7	5.7	8.6	5.7	5.7	8.6	0.0
	普通	152	55.9	40.1	21.1	17.8	15.1	11.8	5.9	9.9	5.9	3.9	2.6	8.6	6.6
	やや苦しい	85	71.8	28.2	21.2	21.2	15.3	8.2	8.2	8.2	12.9	5.9	3.5	9.4	2.4
	大変苦しい	33	75.8	39.4	12.1	21.2	9.1	6.1	6.1	9.1	3.0	0.0	3.0	21.2	3.0

※ 大変ゆとりがあるは母数が少ないため、参考として掲載

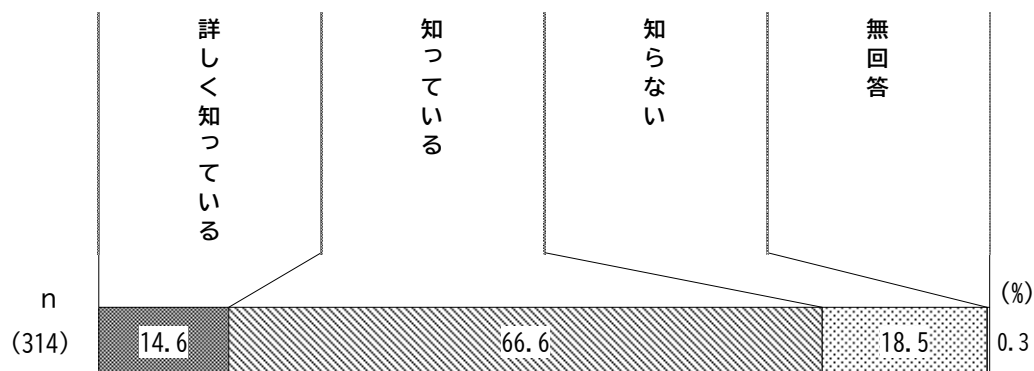
現在の暮らし向き別に見ると、「子育てに関する経済的支援」はやや苦しいにおいて71.8%、大変苦しいにおいて75.8%と高くなっています。

12 ヤングケアラーについて

（1）ヤングケアラーの認知状況【新規設問】

問37 ヤングケアラーとは以下のとおりとされています。ヤングケアラーを知っていましたか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

<図表 232> ヤングケアラーの認知状況



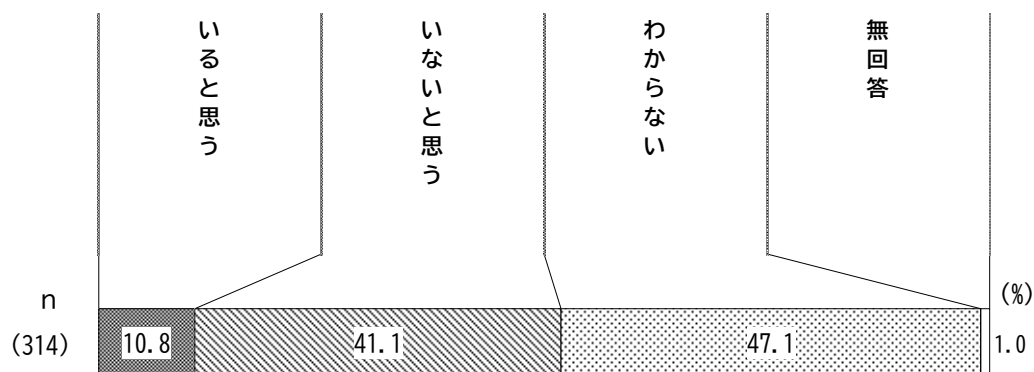
「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。例えば以下のような状態のこどもたちです。

- ・障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。
 - ・家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。
 - ・障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。
 - ・目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている 他
- （厚生労働省・こども家庭庁ホームページ）

（2）ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにいるか【新規設問】

問38 ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにはいると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

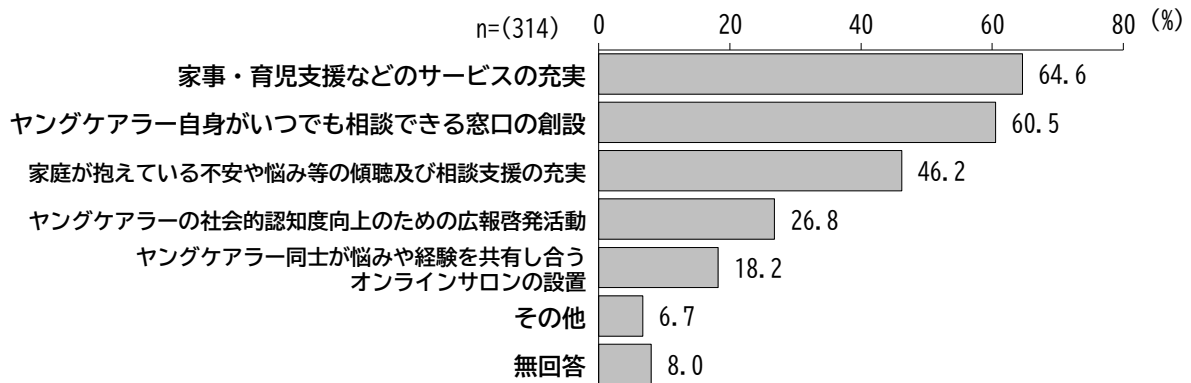
<図表 233> ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにはいるか



（3）ヤングケアラーに対する必要な支援【新規設問】

問39 ヤングケアラーに対してどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 234> ヤングケアラーに対する必要な支援

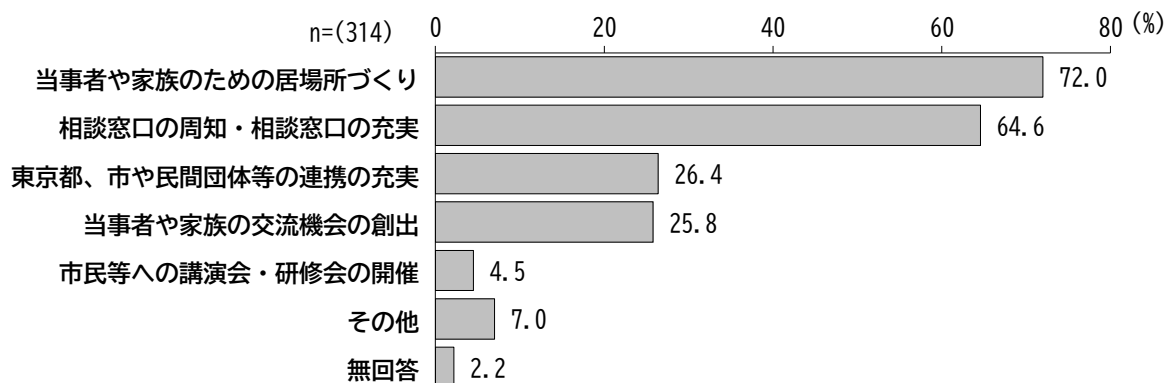


13 登校について

（1）あなたのまわりの学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していないお子さんに対する必要な支援【新規設問】

問40 あなたのまわりに学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していない（家などで過ごしている）お子さん（おおむね小学生～大学生）がいた場合、対象のお子さんに対して、どのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 235> あなたのまわりの学校の在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していないお子さんに対する必要な支援

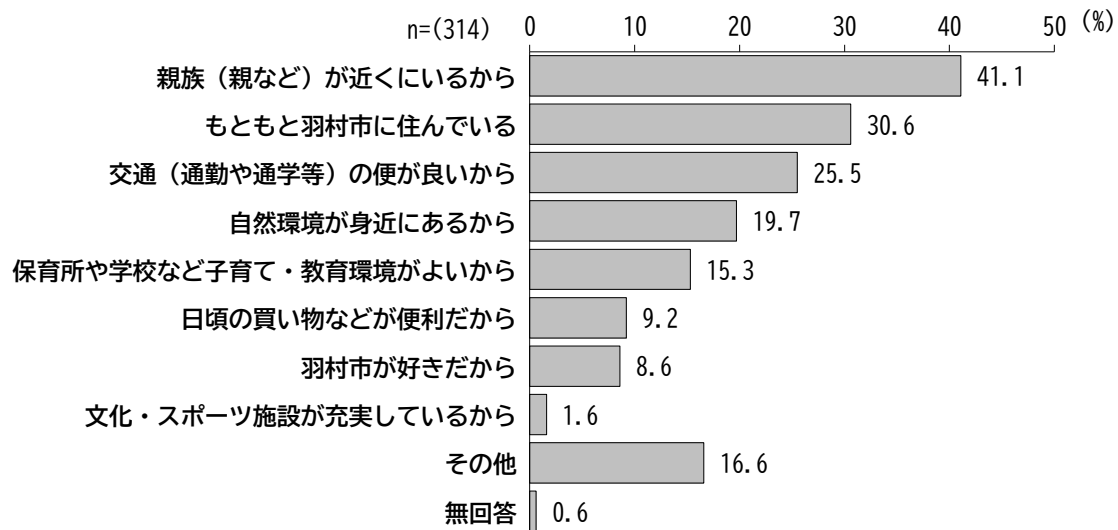


14 羽村市について

（1）羽村市に住むことになったきっかけ【新規設問】

問41 羽村市に住むことになったきっかけについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

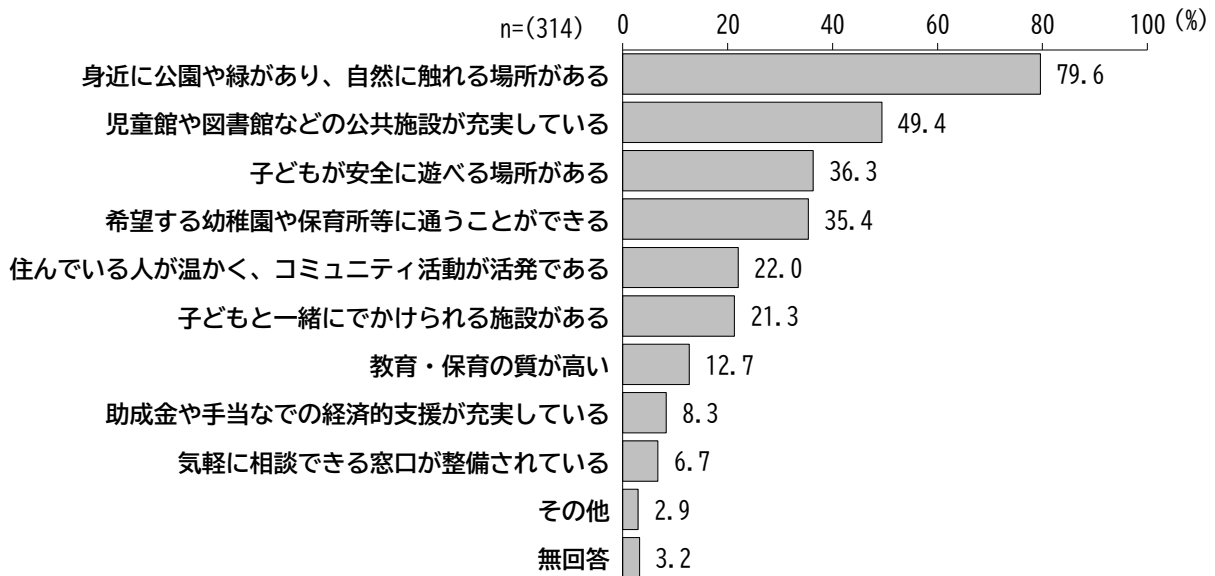
<図表 236>羽村市に住むことになったきっかけ



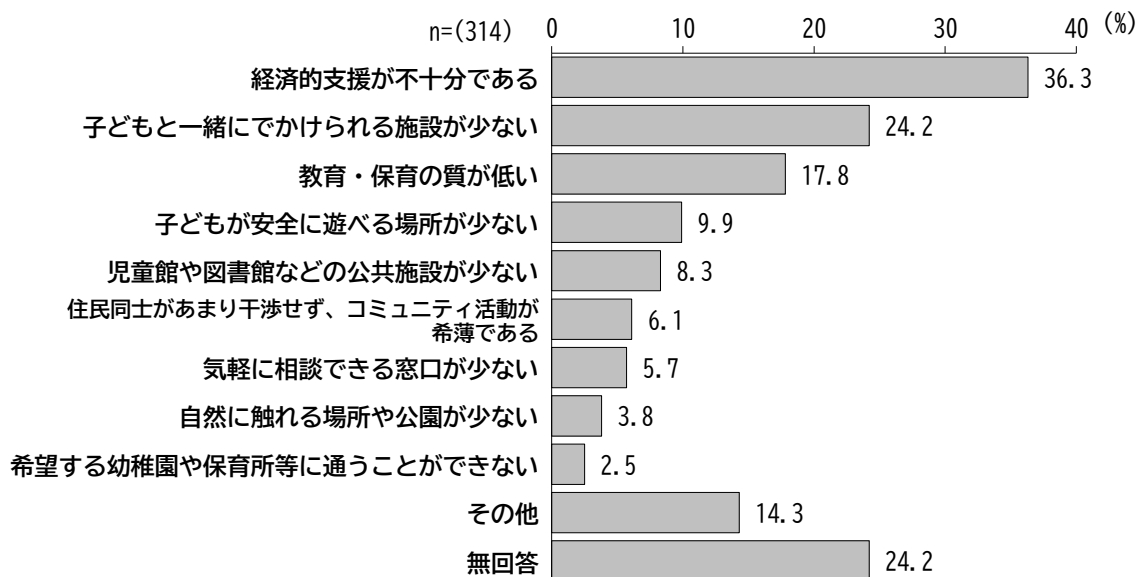
（2）羽村市における子育て環境の強みと弱み【新規設問】

問42 羽村市における、子育て環境の強みと弱みはどのようなものだと思いますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<図表 237>羽村市における子育て環境の強み



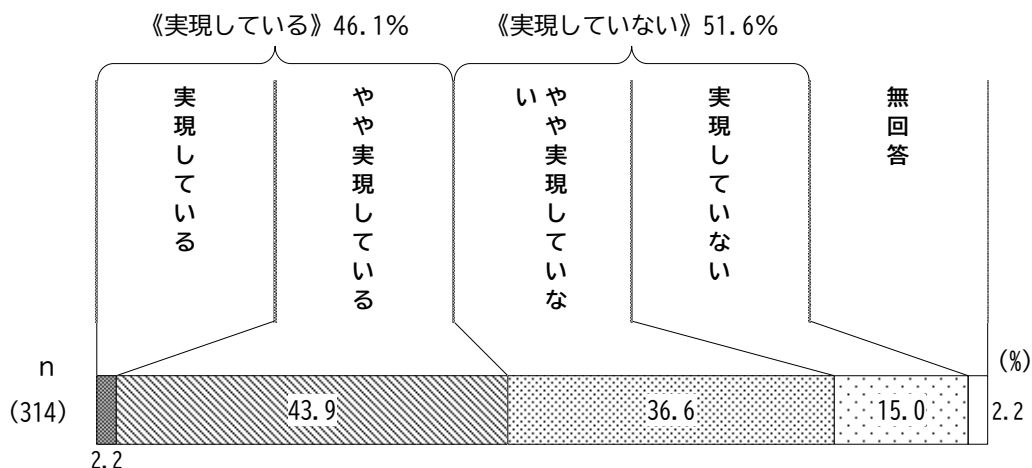
<図表 238>羽村市における子育て環境の弱み



（3）羽村市のこどもまんなか社会の実現状況【新規設問】

問43 「こどもまんなか社会」とは以下のとおりとされています。以下の文を読んで、羽村市は、現時点でこどもまんなか社会を実現していると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 239>羽村市のこどもまんなか社会の実現状況

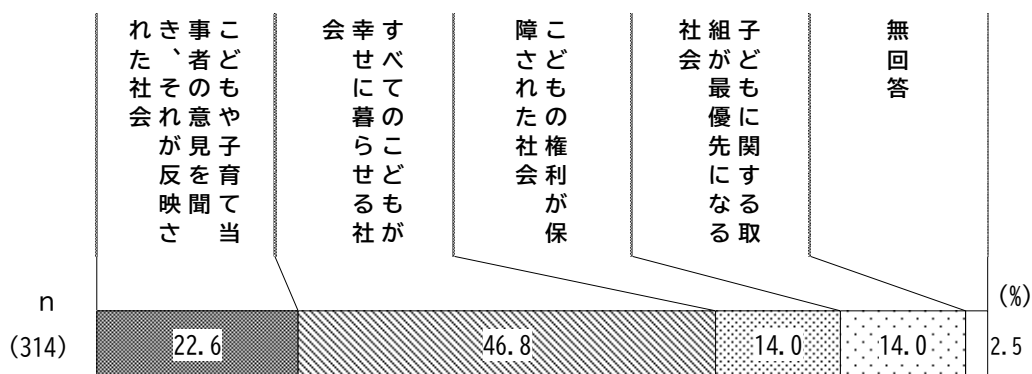


「こどもまんなか社会」とは・・・
 全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的（バイオサイコソーシャル）に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。
 出典：こども大綱

（4）こどもまんなか社会のイメージ【新規設問】

問44 「こどもまんなか社会」と聞いて、どのような社会をイメージしますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表 240>こどもまんなか社会のイメージ



（5）子育ての環境や支援に関するご意見

問45 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見をご記入ください。

教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見を求めたところ、153人からの回答がありました。分野別に分けて、主な記載内容を紹介いたします。

■事業・サービスについて （30件）

- ・学童クラブを学校の近くにして欲しいです。開所時間が午前8時からだと間に合わないので、保育所と同じ午前7時開所にして欲しいです。
- ・はむらっこが週2回なので、もう1日増やしていただけたら嬉しいです。子どもが楽しく行かせていただいているのですが、物足りなさそうで、もっと行きたいと言っています。
- ・仕事が休みの日でも月1～2回は通常通り保育園に預かりをしてほしいです。小学校は先生のことでも理解できますが、少し大人の都合による行事の進め方が多いと思います。

■保健・医療について （6件）

- ・子どもは良く熱を出したりしますが、羽村市は小児科が不十分であると思います。ママ友の中では羽村市って子育てしづらいよねという言葉しか聞きません。是非、まともな小児科の誘致をお願い致します。
- ・休日当番医に小児科があればいいと思います。以前住んでいた市では内科、外科、耳鼻科、産婦人科、歯科、小児科の休日当番医があったので利用しやすかったです。
- ・子どもたちを安心して育てられるように、医療体制の充実を希望します。夜間救急は曜日が限られていますが、以前のように毎日（平日）に戻すことは難しいのでしょうか？ご検討いただけると幸いです。
- ・地域性もあるかもしれませんが、小児科、耳鼻科が少なく困っています。

■経済的な支援・手当について （29件）

- ・給食費を無料にして欲しいです。
- ・教育費に不安が尽きないので、何か良い補助があればいいなあと思っています。
- ・経済支援ですが、子育てをしている上で、お金のかかる時期に支給してほしいです。冬休み（12月、1月）、夏休み（8月）、春休み（2月）、卒入期（3月）、クリスマス、正月（12月、1月）など例えば、1月、2月、3月支給（いずれか）7月、8月支給（いずれか）12月支給（いずれか）などはいかがでしょうか？
- ・我が家にはもう必要ないのですが、小さなお子さんがある家庭に電動アシスト自転車購入の補助金があればいいのと思います。ヘルメットの補助金はありがたかったです。
- ・学校の修学旅行など、貧困で参加ができないような事がないように、世帯収入による市からの援助（助成金など）を充実してもらいたいです。

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

■情報提供について（11件）

- ・学校の配布物等の電子化を希望します。子どもからの手紙だけだと、出し忘れたりで把握しきれないです。目を通す時間もない日があるので、時間がある時にいつでも確認できるようアップロードしてもらえたら大変助かります。
- ・子どもの習い事、親の息抜き、教室等の検索システムがあると助かります。
- ・知らない事業、サービスがたくさんあると思いました。広報やメール等でもっと発信して認知してもらう事で困っている事や悩んでいる事の助けになるのかなと思いました。
- ・教育・保育環境の情報など自分から集めないと分からないことが多いです。もっと身近に情報が手に入ることができる環境になるとより良い社会作りになるのではないかと考えます。
- ・学童の欠席連絡をwebでもできるようにしてほしいです。（小学校がwebにより、かなり楽になりました）学童継続手続きがwebで出来、市役所まで行く時間が取れなかったのでもとても助かりました。

■場（遊び場・居場所等）づくりについて（50件）

- ・スポーツセンターの中の子どもが遊べる部屋をまた使えるようにしてほしいです。雨の日に思いきり身体を動かせる場所があると嬉しいです。児童館の設備の劣化が気になります。
- ・水上公園（市民プール）を再開してほしいです。
- ・不登校の子、日本人や外国籍の子でもが学校以外で気軽に行けて勉強を教えてくれる場所があればいいと思います。
- ・子どもが小学生の間は長期休みの期間だけ預ってくれるような場所があるといいです。
- ・未就学児対象のイベントが平日昼間の開催ばかりで、ワーキングママは参加できず残念でした。
- ・小学校4年生になってから学童を出されてしまい居場所が無いことがとても不安です。平日は学校の後の数時間を一人で過ごさなければならなくなり、お金をかけ習い事等でなんとか時間をつぶせるか考えるしかなく…夏休み等は朝から夕までを毎日…仕事での働き方を変えるしか無い状況です。しかし、会社側がそれを受け入れてくれる様子も無く、辞めさせられてしまうかもしれないところまで追い込まれています。しかし、辞めてしまっただけで生活が苦しくとても辛い状況です。大変だし難しいことだとはわかっていますが、学校での見守り（はむらっこ広場）を毎日して頂けると多くの働く親の助けになると思います。また、学童に行っていない子で一人で留守番をしている子をたくさん知っていますが、家には居られず、他人の自転車を勝手に使用してしまったり、いたずらをしてしまう子も中には居ます。そういった子の助けになると思います。どうか、子育てしやすいと聞いて引っ越して来た羽村市が住みやすい環境になることを心から願っています。他の市では6年生まで学童に居ることも出来るようです。もちろん成長と共に一人で居られるようになるとは思いますが、全員が出来るとは限りません。子どもが安心して過ごせる場が増えることを考えて頂けたら嬉しいです。

■安全・安心について（32件）

- ・羽村市は、自然を身近に感じ、子育てしやすい場所で良いと思いました。また、交通の便も良いし住みやすい所です。今後より一層、市内が成長できる（人々）様にといいました。大人も子どもも住みやすい町で良いと思います。

- ・ 公共施設、児童館とかにカメラとかあると安心です（不審者用に外に向けたカメラ）。中は大人のスタッフがいます。
- ・ 旧道（奥多摩街道）の道幅が狭すぎて大変危険です。事故が起こる前に対策して頂きたいです。
- ・ 歩道を広くして、すれ違いがしやすいようにしてもらいたいです。学童建屋をリニューアルしてもらいたいです。
- ・ とにかく安全に過ごせることが第一です。安全なまちづくりが子育ての環境をよくすると思います。

■相談・悩みについて （16件）

- ・ 羽村市は、子育て等で相談できる窓口はありますが、その悩みを解決する事が出来ていないとずっとと思っています。解決に向けて動ける人材の問題では？とずっとと思っています。もっと専門的な人材が必要だと思います。今の羽村市のままだと子ども達とその親は生きづらいです。
- ・ ヤングケアラー家庭内の悩みを周りの大人、行政（小学校など）の連携が解決する上で重要だと思います。日頃から子どもの変化を感じとり話を聞く、相談に乗り当事者の心身を軽くさせて行ける体制整備が必要だと思います。
- ・ 羽村市は子どもに関するサービス等が充実している方だと思いますが、児童虐待のニュースなどを見ると、とても悲しい気持ちになり、もしかしたら身近に起こっていることなのではないかと考えてしまいます。子ども（家庭）が抱える問題は様々あり、すべての子どもが平等に幸せに生活することは困難なこととは思いますが、少しでも多くの子どもたちが救われる社会になることを願っていますし、羽村市のこども計画がその一助となるような良きものになることを期待しています。
- ・ 小さい子への子育て支援も重要だけど高学年、中学生になってから不登校になり相談せず悩む人も多くいます。学校の先生以外の専門家に相談できる場が必要だと思います。（スクールカウンセラーは週一なので、仕事していると相談できない）子どもが安心、安全、楽しく過ごす場が少ないです。図書館、プール、児童館が少ないです。遠いです。住んでいる地域に公園が少なく道路で遊ぶしかない子が目立ちます。
- ・ コロナ禍以降、いくつかの申請や申し込みがオンラインで完結できるようになった事は大変ありがたく、便利に利用させていただいています。窓口へ行く時間・電話でのやりとりの都合をつけることなく空いた時間に手続きができるサービス・相談などもっともっと増えていくと良いと感じます。

■教育・学校について （52件）

- ・ 青梅市や福生市は小学校でのタブレット個人配布が早くされ、コロナ禍でもタブレットでの授業参観があったが、羽村市はだいぶ遅い配布となった為、タブレットの使い方が青梅市や福生市の同学年の子よりできていません。
- ・ 子どもに笑顔をと考える前に、子どもにたずさわる教育、保育現場の先生方がブラックでない働き方が出来ることで一歩前へ進む気がします。
- ・ 保育所は充実していますが、小学校に入ると親との交わりが薄れ、実態がつかみづらいです。
- ・ PTAは本当に必要なのでしょうか？役員をやりたくない、できないという親ばかりなのに強制的にやらせる、入会させる、退会できない（退会の仕方が分かりません。）のは今の時代に合っていない。

第4部 アンケート調査の結果（就学児童調査）

- ・幼稚園、保育園と小学校との連携を強化してほしいです。園児の小学校見学だけでなく、小学校教諭の園見学や、学校のイベントへの園児の参加（全員参加でなくても、例えば、通学予定校からイベントのお知らせが来て、個別で自由参加できるなど）学校について知りたい保護者や園児が学校や児童の様子を直接見ることができる機会を増やしてほしいです。

【調査票】

- 羽村市子ども・子育てに関する調査（就学前児童）
- 羽村市子ども・子育てに関する調査（就学児童）

1 羽村市子ども・子育て支援事業計画に関する調査票（就学前児童）

＼みなさまのお声をおきかせください／

羽村市子ども・子育てに関する調査

アンケート調査へのご協力についてのお願い

日頃より市政にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和5年4月に子ども基本法が施行され、今後、子どもに関する取組や政策が、我が国の真ん中に据えられ、強力に進んでいくことが想定されます。羽村市においても、子どもを真ん中に据え、子ども・子育て施策を包括的に推進するため「子ども計画」を策定することとしております。計画を策定するにあたり、より良い子ども・子育て施策を展開するため、アンケート調査を実施させていただきます。この調査は就学前のお子さんを無作為に1,000人抽出し、その保護者の方にご協力をお願いするものです。

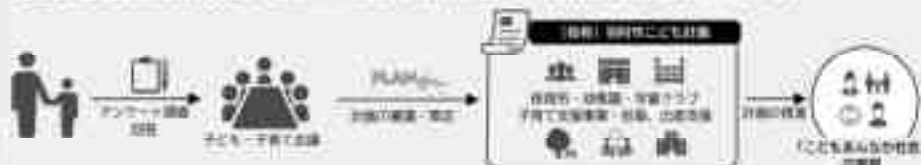
お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2023（令和5）年11月
羽村市長 橋本 弘山



みなさまの意見が計画に反映されます

子育て家庭のニーズを把握し、利用希望等を考慮して今後の計画を決定します。計画に基づいて制度整備や各種事業を実施することで、「こどもまんなか社会」の実現に取り組んでいきます。



「こどもまんなか社会」って？

全ての子どもや若者が、保護者や社会に支えられながら、以下のことなどが実現できる社会とされています。



「令和5年計画を策定したこども未来の基本的な方針と重要施策等（4月版）」（第1）「こども未来政策部」

https://www.city.yonohara.lg.jp/child/2023/04/01/20230401_01.html
こども未来「政策」のページに調査が掲載されておりますので、ご確認ください。



回答方法

同封の返信用封筒に入れて、お近くのポストにご投函ください。

回答期日：令和5年12月8日（金）

回答の内容はすべて秘密に処理しますので、個人が特定されるようなことはありません。

～記入上の注意～

- 特にことわり書きのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。
- アンケートには、お子さんの保護者の方ご記入ください。
- 当てはまるものを選択肢では、選択肢の番号に○印をつけてください。該当によっては、1つだけを選択もの、当てはまるものすべてを選択するものがあります。
- 選択肢「その他」に当てはまる場合は、その番号に○印をつけ、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 年齢や時間など、具体的な数値をご記入いただく場合、枠内にご記入ください。時間は24時間制（例：正午は12時、午後3時は17時）でご記入ください。

お問い合わせ： 子ども家庭部子育て支援課係・幼稚園係 TEL042-555-1111 内線233

お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------------|---------------|
| 1. 小作台1～5丁目 | 7. 神明台1～4丁目 | 13. 羽東1～3丁目 |
| 2. 川崎1～4丁目 | 8. 玉川1～2丁目 | 14. 羽西1～3丁目 |
| 3. 川崎番地 | 9. 羽690～742 | 15. 富士見平1～3丁目 |
| 4. 栄町1～3丁目 | 10. 羽4141～4151 | 16. 双葉町1～3丁目 |
| 5. 五ノ神1～4丁目 | 11. 羽加美1～4丁目 | 17. 緑ヶ丘1～5丁目 |
| 6. 五ノ神番地 | 12. 羽中1～4丁目 | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(カッコ内に数字でご記入ください。)

平成・令和(いずれかに○) ()年 ()月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をカッコ内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 ()人 末子の生年月 平成・令和 ()年 ()月生まれ

問4 宛名のお子さんの世帯(住民票上同じ世帯)は次のうちどれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。【新規】

※祖父母については、どちらか一方だけの場合でも、祖父母としてカウントしてください。
※お子さんには、きょうだいも含んでいます。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. お子さん+ご両親 | 5. お子さん+母親+祖父母 |
| 2. お子さん+ご両親+祖父母 | 6. お子さん+父親+祖父母 |
| 3. お子さん+母親(ひとり親) | 7. お子さん+祖父母 |
| 4. お子さん+父親(ひとり親) | 8. その他() |

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 4. 主に祖父母 |
| 2. 主に母親 | 5. その他() |
| 3. 主に父親 | |

就学前児童【調査票】

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる(ある)

2. いない(ない)

→問9-1 問9で「1. いる(ある)」と回答した方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 配偶者 | 8. 小学校教諭 |
| 2. 祖父母等の親族 | 9. スクールカウンセラー |
| 3. 友人や知人 | 10. 教育相談室（教育相談員） |
| 4. 近所の人 | 11. 保育士 |
| 5. 地域子育て支援拠点（子育てひろば）・NPO | 12. 幼稚園教諭 |
| 6. 子育て相談課母子保健・相談係（保健センター内） | 13. 学童クラブ職員 |
| 7. 子ども家庭支援センター | 14. 民生委員・児童委員 |
| | 15. かかりつけの医師 |
| | 16. その他（ ） |

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て中の保護者が、気軽に相談でき、適切な支援やサービスなどを紹介してもらえること
2. 親同士が知り合う機会づくり
3. 異なる年齢の子どもが交流できる機会づくり
4. 親子で一緒に遊んだり、学ぶ機会づくり
5. 親子でお昼ごはんやおやつを食べられるような場所づくり
6. メール配信・SNSなどの情報提供の充実
7. 子育て中の家庭を訪問し、子育てに関する相談に応じたり子どもとの遊び方等を教えてくれる事業
8. その他（ ）
9. 特にない

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について うかがいます

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。

具体的には、幼稚園や保育園など、問11-1に示した事業が含まれます。

問11 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している

2. 利用していない →次ページ問12へ

→【問11で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます】

問11-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、平日にどのくらい利用していますか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かをカッコ内に数字でご記入ください。

（時間は、必ず（例）9～18時のように24時間制でご記入ください）

※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

利用している事業	現在の利用状況
1. 幼稚園	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
2. 幼稚園の預かり保育	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
3. 認可保育園	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
4. 認定こども園	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
5. 認証保育所	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
6. 家庭的保育事業	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
7. 小規模保育事業	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
8. 居宅訪問型保育（ベビーシッター等）	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
9. 事業所内保育施設	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
10. その他の認可外の保育施設	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
11. 定期利用保育事業	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
12. ファミリー・サポート・センター	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
13. その他 ()	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時

就学前児童【調査票】

問12 令和5年10月から既存の3～5歳に加え、第2子以降の0～2歳も幼児教育・保育の無償化の対象となりました。それを踏まえ、現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かをカッコ内に数字でご記入ください。

（時間は、必ず（例）9～18時のように24時間制でご記入ください）

また、利用を開始したい時期はいつですか。カッコ内に数字でご記入ください。

※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

利用したい事業	希望する利用時間
1. 幼稚園	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
2. 幼稚園の預かり保育	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
3. 認可保育園	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
4. 認定こども園	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
5. 認定保育所	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
6. 家庭的保育事業	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
7. 小規模保育事業	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
8. 居宅訪問型保育（ベビーシッター等）	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
9. 事業所内保育施設	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
10. その他の認可外の保育施設	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
11. 定期利用保育事業	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
12. ファミリー・サポート・センター	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
13. 保育要件等を問わない [※] 幼稚園・保育園等での預かり事業	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時
14. その他 ()	1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時～()時

※保育要件等を問わない…就労・疾病・障害・看護・介護などの保育園を利用するための要件が必要ないこと

(利用希望時期)
() 歳 () ヶ月

【問12-1は、問12で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～13にも○をつけた方にうかがいます】

問12-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問13 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）を利用していますか。次の中から利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をカッコ内に数字でご記入ください。

※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

1. 太閤の子保育園、羽村たつの子保育園での地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）
（⇒1週当たり（ ）回、もしくは1ヶ月当たり（ ）回程度）
2. 羽村市で実施している類似の事業
（児童館でのおしゃべり場や子育て相談、わんわんひろば・こぐまひろば・キラキラポケット）
（⇒1週当たり（ ）回、もしくは1ヶ月当たり（ ）回程度）
3. 利用していない

問13-1 問13で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用したいが近くにない
2. サービスの質に不安がある
3. サービスの利便性（開催時間・日数等）が悪く利用しづらい
4. サービスの利用方法（手続き等）がわからない
5. 時間がない
6. 行きたいと思っているが不安がある
7. 地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）のことを知らなかった
8. その他（ ）
9. 利用する必要がない

問14 地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）の今後の利用についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）をカッコ内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
（⇒1週当たり（ ）回、もしくは1ヶ月当たり（ ）回程度）
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
（⇒1週当たり 更に（ ）回、もしくは1ヶ月当たり 更に（ ）回程度）
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

就学前児童【調査票】

問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑬の事業ごとに、周知度、利用経験、利用意向について「1」（はい）、「2」（いいえ）のいずれかに○をつけてください。

※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

	【周知度】 知っている		【利用経験】 これまでに利用 したことがある		【利用意向】 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①母親学級・両親学級・離乳食講習会	1	2	1	2	1	2
②子育て相談課母子保健・相談係（保健センター内）の相談事業	1	2	1	2	1	2
③家庭教育に関する講座	1	2	1	2	1	2
④教育相談室	1	2	1	2	1	2
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2
⑥子育て世代包括支援センター （子育て相談課母子保健・相談係・子ども家庭支援センター）	1	2	1	2	1	2
⑦市発行の子育て支援情報誌・子育て応援ガイドブック・子育てサークルガイド・羽っぴーだより・羽っぴーカレンダー	1	2	1	2	1	2
⑧赤ちゃんふらっと・あかちゃん休憩室	1	2	1	2	1	2
⑨ファミリー・サポート・センター事業	1	2	1	2	1	2
⑩児童館で実施しているサークル活動（おしゃべり場・わんわんひろば・こぐまひろば・キラキラポケット）	1	2	1	2	1	2
⑪児童館で実施している相談事業（子育て相談）	1	2	1	2	1	2
⑫シルバー人材センターの育児支援サービス	1	2	1	2	1	2

就学前児童【調査票】

問15-1 問15で利用経験があると回答した事業について、うかがいます。問15で利用経験があると回答した①～⑫の事業ごとの満足度について「1」（満足）、「2」（どちらでもない）、「3」（不満）のいずれかに○をつけ、その理由をご記入ください。

	【満足度】			【理 由】
	満足	どちらでもない	不満	
①母親学級・両親学級・離乳食講習会	1	2	3	
②子育て相談課母子保健・相談係（保健センター内）の相談事業	1	2	3	
③家庭教育に関する講座	1	2	3	
④教育相談室	1	2	3	
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放	1	2	3	
⑥子育て世代包括支援センター（子育て相談課母子保健・相談係・子ども家庭支援センター）	1	2	3	
⑦市発行の子育て支援情報誌・子育て応援ガイドブック・子育てサークルガイド・羽っぴーだより・羽っぴーカレンダー	1	2	3	
⑧赤ちゃんふらっと・あかちゃん休憩室	1	2	3	
⑨ファミリー・サポート・センター事業	1	2	3	
⑩児童館で実施しているサークル活動（おしゃべり場・わんわんひろば・こぐまひろば・キラキラポケット）	1	2	3	
⑪児童館で実施している相談事業（子育て相談）	1	2	3	
⑫シルバー人材センターの育児支援サービス	1	2	3	

問16 子育てに関する情報をどのように得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 広報はむら
2. 羽村市公式サイト（ホームページ）
3. 羽村市公式PRサイト
4. テレビはむら
5. 羽村市暮らしのガイドブック
6. 羽村市子育て応援ガイドブック
7. 羽村市メール配信サービス
8. 市公共施設が発行しているお知らせ（児童館・保健センター・子ども家庭支援センターなど）
9. 保育園・幼稚園などが発行しているお知らせ
10. 市内公共施設や町内会などの掲示板
11. 同年代の子どもを持つ子育ての仲間
12. SNSなどのインターネットを通じた子育て仲間
13. 民間のウェブサイト（ホームページ）
14. 新聞
15. テレビの子育てに関する情報番組
16. 育児書や育児雑誌
17. 子育てに関する相談機関
18. その他（ ）
19. 特に情報を得たことはない

就学前児童【調査票】

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

（1）土曜日

- | | | |
|-----------------|---|----------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | ⇒ | 利用したい時間帯
() 時～ () 時 (24時間制) |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

（2）日曜・祝日

- | | | |
|-----------------|---|----------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | ⇒ | 利用したい時間帯
() 時～ () 時 (24時間制) |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

問17-1 問17の（1）もしくは（2）で「3. 月に1～2回は利用したい」と回答した方にうかがいます。毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 仕事のため | 4. 親族等の介護や手伝いが必要なため |
| 2. 用事をまとめて済ませるため | 5. 息抜きのため |
| 3. 子どもの教育や発達のため | 6. その他 () |

問18 【幼稚園を利用されている方にうかがいます】宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

- | | | |
|---------------------|---|----------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | ⇒ | 利用したい時間帯
() 時～ () 時 (24時間制) |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | |

問18-1 問18で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方にうかがいます。毎日ではなく、週に数回利用したい理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 仕事のため | 4. 親族等の介護や手伝いが必要なため |
| 2. 用事をまとめて済ませるため | 5. 息抜きのため |
| 3. 子どもの教育や発達のため | 6. その他 () |

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問19 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方〔問11で1に○をつけた方〕にうかがいます。利用していらない方は、問20にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった

2. なかった → 次ページ問20へ

問19-1 問19で「1. あった」と回答した方にうかがいます

宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

※各施設・事業の内容やについては、表紙裏をご覧ください。

1年間の対処方法	日数/年	
1. 母親が休んだ	日	問19-2へ
2. 父親が休んだ	日	
3. (両親者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日	次ページの 問20へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日	
5. 病児・病後児の保育を利用した	日	
6. ベビーシッターを利用した	日	
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日	
8. 子どもだけで留守番をさせた	日	
9. その他 ()	日	

問19-1で「1. 母親が休んだ」「2. 父親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、日数についてもカッコ内に数字でご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → () 日/年
2. 利用したいとは思わない

問19-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方に伺います。

問19-3 病児・病後児保育施設等を利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. サービスの質に不安がある
2. 利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
3. 利用登録等に手間がかかる
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
7. 利用したいときに定員に達していた
8. その他 ()

就学前児童【調査票】

宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。
※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり		日
2. 幼稚園の預かり保育		日
3. ファミリー・サポート・センター		日
4. 乳幼児ショートステイ		日
5. ベビーシッター		日
6. その他（ ）		日
7. 利用していない		

問20で「7・利用していない」と回答した方にうかがいます。

問20-1 現在利用していない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がわからない
2. 利用したい事業が地域にない	7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
3. 地域の事業の質に不安がある	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	9. その他（ ）
5. 利用料がかかる・高い	

就学前児童【調査票】

問21 宛名のお子さんに関して、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい、問20の選択肢1～6の事業を利用する必要があると思いますが、利用希望の有無について当てはまる番号

・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（年間に利用したい日数の合計、その内訳を数字でご記入ください）。

1. 利用したい		年間の合計		日
内 訳	ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の買い物等）、リレハ目的			日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等			日
	ウ. 不定期の就労			日
	エ. その他（ ）			日
2. 利用する必要はない				

問22 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

乳幼児ショートステイ事業（児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳を数字でご記入ください）。

なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかることとなります。

1. 利用したい		年間の合計		泊
内 訳	ア. 冠婚葬祭			泊
	イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安			泊
	ウ. 保護者や家族の病気			泊
	エ. その他（ ）			泊
2. 利用する必要はない				

就学前児童【調査票】

宛名のお子さんが来年度小学校に就学する方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

※上記に該当しない方は13ページの問25へ

問23 宛名のお子さんについて、小学生のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）と小学校高学年（4～6年生）について、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をカッコ内に数字でご記入ください。

※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

小学校低学年 (1～3年生)	小学校高学年 (4～6年生)
1. 自宅 週()日くらい	1. 自宅 週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 週()日くらい	2. 祖父母宅や友人・知人宅 週()日くらい
3. 習い事 (ピアノ/教室、水泳クラブ、学習塾など) 週()日くらい	3. 習い事 (ピアノ/教室、水泳クラブ、学習塾など) 週()日くらい
4. 児童館 週()日くらい	4. 児童館 週()日くらい
5. 放課後子ども教室 週()日くらい	5. 放課後子ども教室 週()日くらい
6. 学童クラブ 週()日くらい	6. 学童クラブ 週()日くらい
7. ファミリーサポートセンター 週()日くらい	7. ファミリーサポートセンター 週()日くらい
8. 公共施設 (図書館、ゆとりぎ、公園など) 週()日くらい	8. 公共施設等 (図書館、ゆとりぎ、公園など) 週()日くらい
9. その他 () 週()日くらい	9. その他 () 週()日くらい

問24 問23で「6. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、学童クラブを何年生まで利用したいと思いますか。平日の放課後、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等の長期休暇期間中のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯も、(例) 9～18時のように24時間制でご記入ください。

平日の放課後	土曜日	日曜日・祝日	夏休み・冬休み等
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生まで利用したい	2. 4年生まで利用したい	2. 4年生まで利用したい	2. 4年生まで利用したい
3. 5年生まで利用したい	3. 5年生まで利用したい	3. 5年生まで利用したい	3. 5年生まで利用したい
4. 6年生まで利用したい	4. 6年生まで利用したい	4. 6年生まで利用したい	4. 6年生まで利用したい
5. 利用する必要はない	5. 利用する必要はない	5. 利用する必要はない	5. 利用する必要はない
利用したい時間帯 ()時～()時まで	利用したい時間帯 ()時～()時まで	利用したい時間帯 ()時～()時まで	利用したい時間帯 ()時～()時まで

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問25 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→（1）-1 （1）で「1」～「4」（就労している）と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（カッコ内に数字でご記入ください。）

1週当たり （ ）日

1日当たり （ ）時間

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→（2）-1 （2）で「1」～「4」（就労している）と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（カッコ内に数字でご記入ください。）

1週当たり （ ）日

1日当たり （ ）時間

就学前児童【調査票】

問26 母親又は父親の就労状況（問25）で「3」「4」のいずれか（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問27へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい

問27 母親又は父親の就労状況（問25）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は問28へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当するカッコ内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	}
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）	
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間	

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	}
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）	
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間	

就学前児童【調査票】

問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問28-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども、「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
(2) 父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった

問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問28-3 育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときまで取得しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取得したかったですか。それぞれカッコ内に数字でご記入ください。

(1) 母親	実際の取得期間()歳 ()ヶ月	希望()歳 ()ヶ月
(2) 父親	実際の取得期間()歳 ()ヶ月	希望()歳 ()ヶ月

問28-3-1 問28-3で実際の復帰とは希望が異なる方にうかがいます。それ以外の方は問29へお進みください。希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入るため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
2. 配偶者や家族の希望があったため	5. その他()
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	

②父親

1. 希望する保育園に入るため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
2. 配偶者や家族の希望があったため	5. その他()
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入れなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	6. その他()

②父親

1. 希望する保育園に入れなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	6. その他()

就学前児童【調査票】

問28-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問28-4 育児休業は、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取得する予定ですか。また、希望としてはお子さんが何歳何ヶ月の時まで取得したいですか。カッコ内に数字で記入ください。

(1) 母親	取得予定期間()歳 ()ヶ月	希望()歳 ()ヶ月
(2) 父親	取得予定期間()歳 ()ヶ月	希望()歳 ()ヶ月

子育て環境や生活状況についてうかがいます

問29 あなたの世帯の現在の暮らし向きについてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 大変ゆとりがある | 4. やや苦しい |
| 2. ややゆとりがある | 5. 大変苦しい |
| 3. 普通 | |

問30 全世帯（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額はおよそいくらでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 100万円未満 | 6. 500～700万円未満 |
| 2. 100～200万円未満 | 7. 700～1,000万円未満 |
| 3. 200～300万円未満 | 8. 1,000～1,500万円未満 |
| 4. 300～400万円未満 | 9. 1,500～2,000万円未満 |
| 5. 400～500万円未満 | 10. 2,000万円以上 |

問31 生活するうえで、どのような不安や悩みをもっていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 生活費に関すること | 6. 健康に関すること |
| 2. 教育費に関すること | 7. 友人・知人との付き合いに関すること |
| 3. 仕事（就職・転職含む）に関すること | 8. その他（ ） |
| 4. 住居に関すること | 9. 特にない |
| 5. 子育て・教育に関すること | |

問32 あなたの家庭では、1週間にどれくらい、お子さんに手作りの夕食を用意しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1. 毎日 | 4. 週に4日 | 7. 週に1日 |
| 2. 週に6日 | 5. 週に3日 | 8. まったく用意しない |
| 3. 週に5日 | 6. 週に2日 | |

子育てに対する意識などについてうかがいます

問36 自分にとって子育てを楽しいと感じるときが多いと思いますか。それとも辛いと感じるときが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いつも楽しい（辛いと感じるときはない）
2. 楽しいと感じるときの方が多い
3. 楽しいと感じるときと辛いと感じるときが同じくらい
4. 辛いと感じるときの方が多い
5. いつも辛い（楽しいと感じるときはない）
6. その他（ ）

問37 自分にとって子育ての楽しさ、やりがいとはどんなことだと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの日々の成長ぶりがわかること
2. 子どもとともに自分が成長できること
3. 仕事や人間関係でいやなことがあっても、子どもといることでいやされること
4. 一人の人格を育てること
5. 自分の理想に合わせて、子どもを育てること
6. 自分のことを必要とする存在があること
7. 子どもを通して家族の意識・絆が深まること
8. 子どもを通して友人が増えること
9. 子どもを通して自分の活動範囲が広がること
10. その他（ ）

問38 子育てに関して、不安や負担を感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 4. まったく感じない |
| 2. しばしば不安や負担を感じる | 5. なんともいえない |
| 3. あまり不安や負担は感じない | |

問39 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い ←————→ 満足度が高い				
1	2	3	4	5

就学前児童【調査票】

問40 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号3つ以内に○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 登園しぶり、不登校などの問題について
11. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周りの見る目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. 子育てに出費がかさむこと
19. その他（ ）
20. 特にない

→問40-1 問40で「20. 特にない」以外に○をつけた方に伺います。

日頃悩んでいること、気になることをどのように解決しようと思いますか。もしくは、解決しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分の時間やストレス解消の時間をとるようにする。
2. 保護者で役割分担をする。
3. 公共機関への相談や公共サービスを利用する。
4. 民間の有料サービスを利用する。
5. 親族や友人を頼る、相談する。
6. 子育てをする親同士で相談する。
7. SNSや書籍などで子育てに関する知識を習得する。
8. 副業・転職、もしくは節約などを行い生活費・養育費の確保
9. その他（ ）

1. 定員拡大などの特種児童対策
2. 幼稚園での2歳児からの受け入れ
3. 一時預かりの充実
4. 幼児教育・保育サービスの質の向上
5. 子育てに関する経済的支援
6. 妊娠・出産・子育てのための切れ目のない支援
7. 親同士の交流の場の充実
8. 子育てに関する情報提供の充実
9. 子育てに関する相談支援の充実
10. 子どもの居場所づくりの充実
11. 子どもに関する手続きや子どもが利用する施設の入退室・出欠席等における電子化の推進
12. その他（ ）

就学前児童【調査票】

ヤングケアラーについてうかがいます

問42 ヤングケアラーとは以下のとおりとされています。ヤングケアラーを知っていましたが、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. 詳しく知っている | 2. 知っている | 3. 知らない |
|-------------|----------|---------|

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。例えば以下のような状態の子どもたちです。

- ・障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。
- ・家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。
- ・障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。
- ・目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている 他

(厚生労働省・子ども家庭庁ホームページ)

問43 ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにいると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. いると思う | 2. いないと思う | 3. わからない |
|----------|-----------|----------|

問44 ヤングケアラーに対してどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. ヤングケアラー自身がいつでも相談できる窓口の創設 |
| 2. ヤングケアラー同士が悩みや経験を共有し合うオンラインサロンの設置 |
| 3. 家庭が抱えている不安や悩み等の傾聴及び相談支援の充実 |
| 4. 家事・育児支援などのサービスの充実 |
| 5. ヤングケアラーの社会的認知度向上のための広報啓発活動 |
| 6. その他 () |

登校についてうかがいます

問45 あなたのまわりに学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していない（家などで過ごしている）お子さん（おおむね小学生～大学生）がいた場合、対象のお子さんに対してどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 相談窓口の周知・相談窓口の充実 | 4. 当事者や家族の交流機会の創出 |
| 2. 当事者や家族のための居場所づくり | 5. 東京都、市や民間団体等の連携の充実 |
| 3. 市県等への講演会・研修会の開催 | 6. その他 () |

羽村市についてうかがいます

問46 羽村市に住むことになったきっかけについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. もともと羽村市に住んでいる | 6. 自然環境が身近にあるから |
| 2. 交通（通勤や通学等）の便が良いから | 7. 文化・スポーツ施設が充実しているから |
| 3. 親族（親など）が近くにいてから | 8. 羽村市が好きだから |
| 4. 日頃の買い物などが便利だから | 9. その他（ ） |
| 5. 保育所や学校など子育て・教育環境がよいから | |

問47 羽村市における、子育て環境の強みと弱みはどのようなものだと思いますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【強み】（当てはまる番号すべてに○）	【弱み】（当てはまる番号すべてに○）
1. 子どもが安全に遊べる場所がある	1. 子どもが安全に遊べる場所が少ない
2. 身近に公園や緑があり、自然に触れる場所がある	2. 自然に触れる場所や公園が少ない
3. 子どもと一緒にでかけられる施設がある	3. 子どもと一緒にでかけられる施設が少ない
4. 住んでいる人が温かく、コミュニティ活動が活発である	4. 住民同士があまり干渉せず、コミュニティ活動が希薄である
5. 希望する幼稚園や保育所等に通うことができる	5. 希望する幼稚園や保育所等に通うことができない
6. 教育・保育の質が高い	6. 教育・保育の質が低い
7. 気軽に相談できる窓口が整備されている	7. 気軽に相談できる窓口が少ない
8. 児童館や図書館などの公共施設が充実している	8. 児童館や図書館などの公共施設が少ない
9. 助成金や手当などの経済的支援が充実している	9. 経済的支援が不十分である
10. その他（ ）	10. その他（ ）

問48 「こどもまんなか社会」とは以下のとおりとされています。以下の文を読んで、羽村市は、現時点でこどもまんなか社会を実現していると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 実現している 2. やや実現している 3. やや実現していない 4. 実現していない

「こどもまんなか社会」とは・・・

全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的（バイオサイコソーシャル）に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。

出典：「今後5年程度を見据えたこども施策の基本的な方針と重要事項等—こども大綱の策定に向けて—（中間整理）（案）」こども家庭審議会

就学前児童【調査票】

問49 「こどもまんなか社会」と聞いて、どのような社会をイメージしますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。【新規】

1. こどもや子育て当事者の意見を聞き、それが反映された社会
2. すべてのこどもが幸せに暮らせる社会
3. こどもの権利が保障された社会
4. 子どもに関する取組が最優先になる社会

問50 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見をご記入ください。

This image shows a full page of primary-ruled notebook paper. It features multiple sets of horizontal lines designed to help children learn letter height and placement. Each set consists of a solid top blue line, a dashed middle blue line, and a solid bottom blue line. The sets are repeated down the page with small gaps between them. There are also vertical margin lines on the left and right sides. The paper is otherwise blank, with no writing or markings.

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、12月8日（金）までにご投函ください。

2 羽村市子ども・子育て支援事業計画に関する調査票（就学児童）

＼みなさまのお声をおきかせください／

羽村市子ども・子育てに関する調査

アンケート調査へのご協力についてのお願い

日頃より市政にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和5年4月に子ども基本法が施行され、今後、子どもに関する取組や政策が、我が国の真ん中に据えられ、強力に進んでいくことが想定されます。羽村市においても、子どもを真ん中に据え、子ども・子育て施策を包括的に推進するため「子ども計画」を策定することとしております。計画を策定するにあたり、より良い子ども・子育て施策を展開するため、アンケート調査を実施させていただきます。この調査は小学生のお子さんを無作為に600人抽出し、その保護者の方にご協力をお願いするものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願いいたします。

2023（令和5）年11月
羽村市長 橋本 弘山



みなさまの意見が計画に反映されます

子育て家庭のニーズを把握し、利用希望等を考慮して今後の計画を策定します。計画に基づいて制度整備や各種事業を実施することで、「子どもみんなが社会」の実現に取り組んでいきます。



「子どもみんなが社会」って？

全ての子どもや若者が、保護者や社会に支えられながら、以下のことなどが実現できる社会とされています。

夢や希望がかなえるために「希望と能力に即して」のびのびとチャレンジでき、未来を切り拓くことができます。

個性や多様性が尊重され、特徴が活かされ、自分らしく、ひたひたの力を発揮することができます。

進歩に楽しく参画ことができ、様々な学びや体験をすることができ、生き抜く力を培うことができます。

詳しくはこちら



<https://www.city.tama.lg.jp/child/1419/>
子ども未来局「計画」のページに詳細が掲載されておりますので、ご確認ください。

封入の返信用封筒に入れて、お近くのポストにご投函ください。

回答期日：令和5年12月8日(金)

回答方法

回答の内容はすべて厳密に処理しますので、個人が特定されるようなことはありません。

～記入上の注意～

- 特にことわり書きのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。
- アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- 当てはまるものを選択肢では、選択肢の番号に○印をつけてください。該当によっては、1つだけを選択もの、当てはまるものすべてを並べるものがあります。
- 選択肢「その他」に当てはまる場合は、その番号に○印をつけ、()内に具体的な内容を記入してください。
- 年齢や時間など、具体的な数値をご記入いただく場合、枠内にご記入ください。時間は24時間制（例：正午は12時、午後5時は17時）でご記入ください。

お問い合わせ： 子ども家庭部子育て支援課 係・幼稚園係 TEL042-555-1111 内線233

就学児童【調査票】

お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------------|---------------|
| 1. 小作台1～5丁目 | 7. 神明台1～4丁目 | 13. 羽東1～3丁目 |
| 2. 川崎1～4丁目 | 8. 玉川1～2丁目 | 14. 羽西1～3丁目 |
| 3. 川崎番地 | 9. 羽690～742 | 15. 富士見平1～3丁目 |
| 4. 栄町1～3丁目 | 10. 羽4141～4151 | 16. 双葉町1～3丁目 |
| 5. 五ノ神1～4丁目 | 11. 羽加美1～4丁目 | 17. 緑ヶ丘1～5丁目 |
| 6. 五ノ神番地 | 12. 羽中1～4丁目 | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの学年として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 | 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をカッコ内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月日をご記入ください。

きょうだい数 ()人 末子の生年月 平成・令和 ()年 ()月生まれ

問4 宛名のお子さんの世帯（住民票上同じ世帯）は次のうちどれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。【新規】

※祖父母については、どちらか一方だけの場合でも、祖父母としてカウントしてください。

※お子さんには、きょうだいも含んでいます。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. お子さん+ご両親 | 5. お子さん+母親+祖父母 |
| 2. お子さん+ご両親+祖父母 | 6. お子さん+父親+祖父母 |
| 3. お子さん+母親（ひとり親） | 7. お子さん+祖父母 |
| 4. お子さん+父親（ひとり親） | 8. その他 () |

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|----------------|

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 父母ともに | 4. 主に祖父母 |
| 2. 主に母親 | 5. その他 () |
| 3. 主に父親 | |

就学児童【調査票】

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. いる(ある) | 2. いない(ない) |
|-----------|------------|

→問9-1 問9で「1.いる(ある)」と回答した方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 配偶者 | 8. 小学校教育 |
| 2. 祖父母等の親族 | 9. スクールカウンセラー |
| 3. 友人や知人 | 10. 教育相談室（教育相談員） |
| 4. 近所の人 | 11. 保育士 |
| 5. 地域子育て支援拠点（子育てひろば）・NPO | 12. 幼稚園教諭 |
| 6. 子育て相談課母子保健・相談係（保健センター内） | 13. 学童クラブ職員 |
| 7. 子ども家庭支援センター | 14. 民生委員・児童委員 |
| | 15. かかりつけの医師 |
| | 16. その他（ ） |

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て中の保護者が、気軽に相談でき、適切な支援やサービスなどを紹介してもらえること
2. 親同士が知り合う機会づくり
3. 異なる年齢の子どもが交流できる機会づくり
4. 親子で一緒に遊んだり、学ぶ機会づくり
5. 親子でお昼ごはんやおやつを食べられるような場所づくり
6. メール配信・SNSなどの情報提供の充実
7. 子育て中の家庭を訪問し、子育てに関する相談に応じたり子どもとの遊び方等を教えてくれる事業
8. その他（ ）
9. 特になし

就学児童【調査票】

宛名のお子さんの子育てに関する情報の収集についてうかがいます

問11 子育てに関する情報をどのように得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 広報はむら
2. 羽村市公式サイト（ホームページ）
3. 羽村市公式PRサイト
4. テレビはむら
5. 市の教育広報「はむらの教育」
6. 羽村市暮らしのガイドブック
7. 羽村市子育て応援ガイドブック
8. 羽村市メール配信サービス
9. 市公共施設が発行しているお知らせ（児童館・保健センター・子ども家庭支援センターなど）
10. 市内公共施設や町内会などの掲示板
11. 同年代の子どもを持つ子育ての仲間
12. SNSなどのインターネットを通じた子育て仲間
13. 民間のウェブサイト（ホームページ）
14. 新聞
15. テレビの子育てに関する情報番組
16. 子育てに関する図書
17. 子育てに関する相談機関
18. その他（ ）
19. 特に情報を得たことはない

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

問12 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった

2. なかった →次ページ問13へ

→ 問12-1 問12で「1. あった」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

1年間の対処方法	日数/年	
1. 母親が休んだ	日	次ページの 問12-2へ
2. 父親が休んだ	日	
3. (同居者を含む) 祖父母・知人に子どもをみてもらった	日	次ページの 問13へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日	
5. 病児・病後児の保育を利用した	日	
6. ベビーシッターを利用した	日	
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日	
9. その他（ ）	日	

就学児童【調査票】

問12-1で「1. 母親が休んだ」「2. 父親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問12-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか、
当てはまる番号1つに○をつけ、日数についてもカッコ内に数字でご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日/年
2. 利用したいとは思わない

問12-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方に伺います。

→ 問12-3 病児・病後児保育施設等を利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. サービスの質に不安がある | 5. 利用料がわからない |
| 2. 利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | 6. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 3. 利用登録等に手間がかかる | 7. 利用したいときに定員に達していた |
| 4. 利用料がかかる・高い | 8. その他（ ） |

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問13 宛名のお子さんに関して、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、1年間に預けたおおよその日数をご記入ください。

1. ある		年間の合計		日
内 訳	ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の買い物等）、リレバ目的			日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等			日
	ウ. 不定期の就労			日
	エ. その他（ ）			日
2. ない				

問14 一時預かりについて、どの程度の利用意向がありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、意向ありの場合には、1年間に希望するおおよその日数もカッコ内に数字でご記入ください。

1. 意向あり ⇒ 年に()日程度 2. 意向なし 3. わからない

就学児童【調査票】

問15 羽村市では乳幼児向けのショートステイ事業（児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）を実施しています。就学児童向けのショートステイ事業があった場合、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）における利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけてください。

1. 利用したい	
内 訳	ア. 冠婚葬祭
	イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安
	ウ. 保護者や家族の病気
	エ. その他（ ）
2. 利用する必要はない⇒問16へ	

問16 現在、ファミリー・サポート・センターを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。※各施設・事業の内容については、表紙裏をご覧ください。

1. 利用している	⇒月に（ ）日 1日当たり（ ）時間
2. 利用していない	

→ 問16-1 問16で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知らない人に子どもを預けることに不安がある	)
2. サービスの利便性が悪く利用しづらい	
3. サービスの利用方法（手続き等）がわからない	
4. 利用料金が高い	
5. ファミリー・サポート・センターのことを知らなかった	
6. その他（ ）	
7. 利用する必要がない	

問17 ファミリー・サポート・センターの今後の利用希望についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 今後も利用を続けたい	⇒月に（ ）日 1日当たり（ ）時間
2. 現在利用していないが、今後利用したい	⇒月に（ ）日 1日当たり（ ）時間
3. 利用予定はない	

就学児童【調査票】

放課後の過ごし方についてうかがいます

問18 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけ、週当たり日数を数字でご記入ください。

現在過ごしている場所	過ごさせたい場所
1. 自宅 週()日くらい	1. 自宅 週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 週()日くらい	2. 祖父母宅や友人・知人宅 週()日くらい
3. 習い事（ピアノ/教室、お茶会など） 週()日くらい	3. 習い事（ピアノ/教室、お茶会など） 週()日くらい
4. 児童館 週()日くらい	4. 児童館 週()日くらい
5. 放課後子ども教室 週()日くらい	5. 放課後子ども教室 週()日くらい
6. 学童クラブ 週()日くらい	6. 学童クラブ 週()日くらい
7. ファミリー・サポート・センター 週()日くらい	7. ファミリー・サポート・センター 週()日くらい
8. 公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など） 週()日くらい	8. 公共施設（図書館、ゆとりぎ、公園など） 週()日くらい
9. その他（ ） 週()日くらい	9. その他（ ） 週()日くらい

問19 問18で「6. 学童クラブ」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、学童クラブを何年生まで利用したいと思いますか。平日の放課後、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等の長期休暇期間中のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯も、〈例〉9～18時のように24時間制でご記入ください。

平日の放課後	土曜日	日曜日・祝日	夏休み・冬休み等
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生まで利用したい	2. 4年生まで利用したい	2. 4年生まで利用したい	2. 4年生まで利用したい
3. 5年生まで利用したい	3. 5年生まで利用したい	3. 5年生まで利用したい	3. 5年生まで利用したい
4. 6年生まで利用したい	4. 6年生まで利用したい	4. 6年生まで利用したい	4. 6年生まで利用したい
5. 利用する必要はない	5. 利用する必要はない	5. 利用する必要はない	5. 利用する必要はない
利用したい時間帯 （ ）時～（ ）時まで	利用したい時間帯 （ ）時～（ ）時まで	利用したい時間帯 （ ）時～（ ）時まで	利用したい時間帯 （ ）時～（ ）時まで

就学児童【調査票】

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問20 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→（1）-1 （1）で「1」～「4」（就労している）と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（カッコ内に数字でご記入ください。）

1週当たり （ ）日 1日当たり （ ）時間

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→（2）-1 （2）で「1」～「4」（就労している）と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（カッコ内に数字でご記入ください。）

1週当たり （ ）日 1日当たり （ ）時間

就労児童【調査票】

問21 母親又は父親の就労状況（問20）で「3」「4」のいずれか（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問22へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい

問22 母親又は父親の就労状況（問20）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は問23へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当するカッコ内には数字をご記入ください。

（1）母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

（2）父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

就学児童【調査票】

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

問23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由として当てはまる番号すべてを選択肢から選んでご記入ください。

母親（いずれか1つに○）	父親（いずれか1つに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した 3. 取得していない 【取得していない理由】 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 〈産休後に〉仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格が遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ るなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則 に定めがなかった） 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさ なかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を 取得できることを知らず、退職した 15. その他 ()	1. 働いていなかった 2. 取得した 3. 取得していない 【取得していない理由】 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 〈産休後に〉仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格が遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ るなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則 に定めがなかった） 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさ なかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を 取得できることを知らず、退職した 15. その他 ()

子育て環境や生活状況についてうかがいます

問24 あなたの世帯の現在の暮らし向きについてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変ゆとりがある	4. やや苦しい
2. ややゆとりがある	5. 大変苦しい
3. 普通	

就学児童【調査票】

問25 世帯全体（住民票上同じ世帯）の昨年の収入の合計額はおよそいくらでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 100万円未満 | 6. 500～700万円未満 |
| 2. 100～200万円未満 | 7. 700～1,000万円未満 |
| 3. 200～300万円未満 | 8. 1,000～1,500万円未満 |
| 4. 300～400万円未満 | 9. 1,500～2,000万円未満 |
| 5. 400～500万円未満 | 10. 2,000万円以上 |

問26 生活するうえで、どのような不安や悩みをもっていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 生活費に関すること | 6. 健康に関すること |
| 2. 教育費に関すること | 7. 友人・隣人との付き合いに関すること |
| 3. 仕事（就職・転職含む）に関すること | 8. その他（ ） |
| 4. 住居に関すること | 9. 特にない |
| 5. 子育て・教育に関すること | |

問27 あなたの家庭では、1週間にどれくらい、お子さんに手作りの夕食を用意しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1. 毎日 | 4. 週に4日 | 7. 週に1日 |
| 2. 週に6日 | 5. 週に3日 | 8. まったく用意しない |
| 3. 週に5日 | 6. 週に2日 | |

問28 お子さんは普段どのように夕食をとっていますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 家族で食べる | 3. 1人で食べる |
| 2. 兄弟・姉妹で食べる | 4. その他（ ） |

問29 あなたを含めた、ご家族との関係についてうかがいます。あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

	週に5回以上	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない
(1) お子さんの勉強を見る	1	2	3	4	5
(2) お子さんと一緒に外で遊ぶ	1	2	3	4	5
(3) お子さんと一緒に家の中で遊ぶ	1	2	3	4	5
(4) お子さんと学校生活などの話しをする	1	2	3	4	5
(5) お子さんと一緒に家事をする	1	2	3	4	5
(6) お子さんと一緒に外出する（買い物含む）	1	2	3	4	5

就学児童【調査票】

問30 地域に子どもへの食事の提供や学習支援を行う場所があったら、お子さんを参加させたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 食事の提供	1. 参加させたい	2. 参加させたくない	3. わからない
(2) 学習支援	1. 参加させたい	2. 参加させたくない	3. わからない

子育てに対する意識などについてうかがいます

問31 自分にとって子育てを楽しいと感じるときが多いと思いますが、それとも辛いと感じるときが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いつも楽しい（辛いと感じるときはない）
2. 楽しいと感じるときの方が多い
3. 楽しいと感じるときと辛いと感じるときが同じくらい
4. 辛いと感じるときの方が多い
5. いつも辛い（楽しいと感じるときはない）
6. その他（ ）

問32 自分にとって子育ての楽しさ、やりがいとはどんなことだと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの日々の成長ぶりがわかること
2. 子どもとともに自分が成長できること
3. 仕事や人間関係でいやなことがあっても、子どもといることでいやされること
4. 一人の人格を育てること
5. 自分の理想に合わせて、子どもを育てること
6. 自分のことを必要とする存在があること
7. 子どもを通して家族の意識・絆が深まること
8. 子どもを通して友人が増えること
9. 子どもを通して自分の活動範囲が広がること
10. その他（ ）

問33 子育てに関して、不安や負担を感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 4. まったく感じない |
| 2. しばしば不安や負担を感じる | 5. なんともいえない |
| 3. あまり不安や負担は感じない | |

問34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



就学児童【調査票】

問35 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号3つ以内に○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 登校しぶり、不登校などの問題について
11. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周りの見る目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. 子育てに出費がかさむこと
19. その他（ ）
20. 特になし

→ 問35-1 問35で「20. 特になし」以外に○をつけた方に伺います。日頃悩んでいること、気になることをどのように解決しようと思いますか。もしくは、解決しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分の時間やストレス解消の時間をとるようにする。
2. 保護者で役割分担をする。
3. 公共機関への相談や公共サービスを利用する。
4. 民間の有料サービスを利用する。
5. 親族や友人を頼る、相談する。
6. 子育てをする親同士で相談する。
7. SNSや書籍などで子育てに関する知識を習得する。
8. 副業・転職、もしくは節約などを行い生活費・養育費の確保
9. その他（ ）

就学児童【調査票】

問36 あなたは、市にどのような子育て支援策を期待しますか。当てはまる番号3つ以内に○をつけてください。

1. 定員拡大などの待機児童対策
2. 幼稚園での2歳児からの受け入れ
3. 一時預かりの充実
4. 幼児教育・保育サービスの質の向上
5. 子育てに関する経済的支援
6. 妊娠・出産・子育てのための切れ目のない支援
7. 親同士の交流の場の充実
8. 子育てに関する情報提供の充実
9. 子育てに関する相談支援の充実
10. 子どもの居場所づくりの充実
11. 子どもに関する手続きや子どもが利用する施設の入退室・出欠席等における電子化の推進
12. その他（ ）

就学児童【調査票】

ヤングケアラーについてうかがいます

問37 ヤングケアラーとは以下のとおりとされています。ヤングケアラーを知っていましたか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. 詳しく知っている | 2. 知っている | 3. 知らない |
|-------------|----------|---------|

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。例えば以下のような状態のこどもたちです。

- ・障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。
- ・家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。
- ・障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。
- ・目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている 他

(厚生労働省・こども家庭庁ホームページ)

問38 ヤングケアラーと思われる子どもがあなたの周りにいると思いますか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. いると思う | 2. いないと思う | 3. わからない |
|----------|-----------|----------|

問39 ヤングケアラーに対してどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. ヤングケアラー自身がいつでも相談できる窓口の創設 |
| 2. ヤングケアラー同士が悩みや経験を共有し合うオンラインサロンの設置 |
| 3. 家庭が抱えている不安や悩み等の傾聴及び相談支援の充実 |
| 4. 家事・育児支援などのサービスの充実 |
| 5. ヤングケアラーの社会的認知度向上のための広報啓発活動 |
| 6. その他 () |

登校についてうかがいます

問40 あなたのまわりに学校に在籍しながら、登校を渋り、常態として通学していない（家などで過ごしている）お子さん（おおむね小学生～大学生）がいた場合、対象のお子さんに対して、どのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 相談窓口の周知・相談窓口の充実 | 4. 当事者や家族の交流機会の創出 |
| 2. 当事者や家族のための居場所づくり | 5. 東京都、市や民間団体等の連携の充実 |
| 3. 市民等への講演会・研修会の開催 | 6. その他 () |

問41 豊村市に住むことになったきっかけについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 問42 宮村市における、子育て環境の強みと弱みはどのようなものだと思いますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【強み】（当てはまる番号すべてに○）	【弱み】（当てはまる番号すべてに○）
1. 子どもが安全に遊べる場所がある	1. 子どもが安全に遊べる場所が少ない
2. 身近に公園や緑があり、自然に触れる場所がある	2. 自然に触れる場所や公園が少ない
3. 子どもと一緒にでかけられる施設がある	3. 子どもと一緒にでかけられる施設が少ない
4. 住んでいる人が温かく、コミュニティ活動が活発である	4. 住民同士があまり干渉せず、コミュニティ活動が希薄である
5. 希望する幼稚園や保育所等に通うことができる	5. 希望する幼稚園や保育所等に通うことができない
6. 教育・保育の質が高い	6. 教育・保育の質が低い
7. 気軽に相談できる窓口が整備されている	7. 気軽に相談できる窓口が少ない
8. 児童館や図書館などの公共施設が充実している	8. 児童館や図書館などの公共施設が少ない
9. 助成金や手当などの経済的支援が充実している	9. 経済的支援が不十分である
10. その他（ ）	10. その他（ ）

問4 「こどもまんなか社会」とは以下のとおりとされています。以下の文を読んで、羽村市は、現時点でこどもまんなか社会を実現していると思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 実現している 2. やや実現している 3. やや実現していない 4. 実現していない

「こどもまんなか社会」とは・・・

全ての子ども・若者が、日本国憲法、子ども基本法及び子どもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の

基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的（バイオサイコソーシャル）に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。

出典：「今後5年程度を見越えたことも施策の基本的な方針と重要事項等～ことも大綱の策定に向けて～」(中間整理)(案) ことも家庭課委員会

就學兒童【調査票】

問44 「こどもまんなか社会」と聞いて、どのような社会をイメージしますか。当てはまる番号1~2に○をつけてください。

1. こどもや子育て当事者の意見を聞き、それが反映された社会
2. すべてのこどもが幸せに暮らせる社会
3. こどもの権利が保障された社会
4. 子どもに関する取組が最優先になる社会

問45 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見をご記入ください。

This image shows a full page of primary-ruled paper designed for handwriting practice. It features multiple sets of horizontal lines. Each set consists of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line, providing a guide for letter height and placement. The paper is otherwise blank, with no text or markings other than the ruling lines.

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、12月8日(金)までにご投函ください。

羽村市子ども・子育てに関する調査報告書

発行日：令和6年3月

発 行：羽村市子ども家庭部子育て支援課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘五丁目2番地1

TEL：042-555-1111（代表）

FAX：042-554-2921

ホームページ：<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>
